

BladeSymphony BS500

Web コンソールユーザズガイド

BS500008-39

登録商標・商標

HITACHI, BladeSymphony, Cosminexus, HiRDB, JP1, Virtage は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

Intel, Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft, Windows, Windows Server および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行者情報

株式会社日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

発行

2021年7月（第39版）

著作権

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright © Hitachi,Ltd.2012,2021,All rights reserved.

目次

はじめに	11
お知らせ	12
重要なお知らせ	12
システム装置の信頼性について	12
規制・対策などについて	12
このマニュアルで使用している記号	13
安全にお使いいただくために	14
安全に関する注意事項	14
安全に関する共通的な注意について	15
操作や動作は	15
自分自身でもご注意を	15
一般的な安全上の注意事項	15
オペレーティングシステム（OS）の略称について	21
1. Web コンソールの準備	23
1.1 事前に準備いただくもの	24
1.2 ログイン・ログアウト	24
1.2.1 ログイン	25
1.2.2 ログアウト	27
1.3 Web コンソールの構成	28
1.3.1 画面構成	28
1.3.2 機能一覧	30
1.4 ロール	34
1.4.1 ロール概要	34
1.4.2 権限と実行可能機能	34
2. [Dashboard]	37
2.1 画面表示	38
2.1.1 [シャーシ状態]	38
2.1.2 [電力サマリ]	39
2.1.3 [システムイベントログ]	39
3. [Resources] - [Modules]	41
3.1 [全モジュール]	42
3.2 [シャーシ]	42
3.2.1 [シャーシサマリ]	43
3.2.2 [状態] タブ	44
3.2.3 [設定] タブ	45

3.2.4 [ハードウェア] タブ	46
3.2.5 [フロントパネル] タブ	47
3.2.6 [USB デバイス] タブ	48
3.3 サーバブレード一覧	49
3.3.1 [サーバブレードサマリ]	49
3.3.2 [状態] タブ	50
3.3.3 [Hosts] タブ	52
3.4 [サーバブレード]	53
3.4.1 [サーバブレードN サマリ]	53
3.4.2 [構成情報のバックアップ]	55
3.4.3 [構成情報のリストア]	55
3.4.4 [構成情報のリストア (確認用)]	56
3.4.5 [構成情報の初期化]	57
3.4.6 [状態] タブ	57
3.4.7 [ハードウェア] タブ	60
3.4.8 [設定] タブ	64
3.4.9 [BMC] タブ	67
3.4.10 証明書設定	79
3.4.11 CSR 作成時の入力項目	80
3.4.12 [EFI] タブ	81
3.4.13 [I/O カード] タブ	84
3.4.14 [HVM] タブ	86
3.4.15 [HVM ログイン]	96
3.4.16 [HVM ログアウト]	96
3.4.17 [セーフモード解除]	97
3.4.18 [HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)]	97
3.4.19 [HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)]	98
3.4.20 [HVM ファームウェア割り当て (確認)]	98
3.4.21 [HVM モデル変更]	99
3.4.22 [キーチェック結果]	100
3.4.23 [システム設定]	101
3.4.24 [DNS 設定]	103
3.4.25 [HVM CLI 設定]	103
3.4.26 [仮想 COM コンソール設定]	104
3.4.27 [Syslog 転送設定]	105
3.4.28 [ユーザ認証設定]	106
3.4.29 [ユーザアカウント管理]	107
3.4.30 [期限切れパスワード変更]	108
3.4.31 [HVM ログインアカウント設定]	109
3.4.32 [LDAP 設定]	110
3.4.33 [RADIUS 設定]	112
3.4.34 [証明書設定]	113
3.4.35 [その他セキュリティ設定]	115
3.4.36 [SSH ホスト鍵再作成]	115
3.4.37 [HVM オプション設定]	116
3.4.38 [HVM システムログ] 表示	116
3.4.39 [認証ログ] 表示	117
3.4.40 [管理パス診断]	118
3.4.41 [RADIUS サーバ接続確認]	118
3.4.42 [LPAR] タブ	119
3.4.43 [HVM 設定]	123
3.4.44 [HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)]	127
3.4.45 [HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)]	128
3.4.46 [HVM ファームウェア割り当て (確認)]	128
3.4.47 [HVM モデル変更]	129
3.4.48 [キーチェック結果]	130
3.4.49 [HVM 設定 (編集)]	131

3.4.50	[HVM 設定確認]	133
3.4.51	[LPAR 情報]	134
3.4.52	[LPAR 編集]	135
3.4.53	[HBA ポート設定]	136
3.4.54	[NIC ポート設定]	138
3.4.55	[USB ポート設定]	139
3.4.56	[LPAR 編集(確認用)]	140
3.4.57	[LPAR 追加] ダイアログ	141
3.4.58	[LPAR 追加ダイアログ(確認用)]	142
3.4.59	[ブートオーダー設定]	143
3.4.60	[HBA ブート設定]	146
3.4.61	[ブートオーダー設定確認]	146
3.4.62	[Hosts] タブ	147
3.5	スイッチモジュール一覧	148
3.5.1	[スイッチモジュールサマリ]	148
3.5.2	[スイッチモジュール情報]	149
3.6	[スイッチモジュール]	150
3.6.1	[スイッチモジュールN サマリ]	150
3.6.2	[状態] タブ	151
3.6.3	[設定] タブ	153
3.6.4	[ハードウェア] タブ	155
3.7	マネジメントモジュール一覧	155
3.7.1	[マネジメントモジュールサマリ]	156
3.7.2	[マネジメントモジュール情報]	157
3.8	[マネジメントモジュール]	158
3.8.1	[マネジメントモジュールN サマリ]	158
3.8.2	[状態] タブ	159
3.8.3	[ハードウェア] タブ	161
3.9	ファンモジュール一覧	162
3.9.1	[ファンモジュール情報]	162
3.10	電源モジュール一覧	163
3.10.1	[電源モジュール情報]	163
3.11	[電源モジュール]	164
3.11.1	[状態] タブ	164
3.11.2	[ハードウェア] タブ	165
4.	[Resources] - [Systems]	167
4.1	[管理 LAN]	168
4.1.1	[IP アドレス(v4)] タブ	168
4.1.2	[IP アドレス(v6)] タブ	170
4.1.3	[DNS] タブ	171
4.1.4	[VLAN] タブ	172
4.1.5	[MAC アドレス] タブ	173
4.2	[保守 LAN]	173
4.3	[内部 LAN]	174
4.4	[Link Fault Tolerance]	175
4.4.1	[Link Fault Tolerance サマリ]	175
4.4.2	[管理 LAN] タブ	176
4.4.3	[保守 LAN] タブ	177
4.5	[WWN 管理]	177
4.5.1	[WWN 管理]	178
4.5.2	Additional WWN 表示	179
4.5.3	Original WWN 表示	180
4.5.4	Virtual WWN 表示	180

4.6	[MAC 管理]	181
4.6.1	[MAC 管理]	181
4.6.2	Additional MAC 表示	182
4.6.3	Original MAC 表示	183
4.6.4	Virtual MAC 表示	184
4.7	[電力管理]	184
4.7.1	[電力サマリ]	185
4.7.2	[状態] タブ	186
4.7.3	[サーバブレード] タブ	188
4.7.4	[スイッチモジュール] タブ	190
4.7.5	[マネジメントモジュール] タブ	191
4.7.6	[電源モジュール] タブ	192
4.8	[HA モニタ連携]	193
4.9	[ファームウェア管理]	194
4.9.1	[サーバブレード] タブ	194
4.9.2	[HVM] タブ	195
4.10	[HVM ライセンス管理]	196
4.10.1	[HVM モデル変更]	197
4.10.2	[HVM モデル変更] の [キーチェック結果]	197
4.10.3	[バージョンアップキー登録]	198
4.10.4	[バージョンアップキー登録] の [キーチェック結果]	199
4.11	[HVM 管理通信設定]	199
4.12	[セキュリティ強度設定]	200
4.12.1	[セキュリティ強度] タブ	201
4.12.2	[TLS/SSL バージョン] タブ	202
5.	[Alerts]	203
5.1	[システムイベントログ]	204
5.1.1	[システムイベントログサマリ]	204
5.1.2	[システムイベントログ]	204
5.2	[Additional WWN 変更ログ]	206
5.3	[Additional MAC 変更ログ]	207
5.4	[操作ログ]	208
5.5	[MAR ログ]	209
5.6	[環境ログ]	209
6.	[Administration]	211
6.1	[ユーザとロール]	212
6.1.1	[ユーザアカウント]	212
6.1.2	アカウント作成・編集	213
6.1.3	[パスワードポリシー]	215
6.1.4	[ロール]	216
6.2	[LDAP/RADIUS]	217
6.2.1	[LDAP]	218
6.2.2	[RADIUS]	221
6.3	[セッション管理]	223
6.4	[時刻設定]	223
6.4.1	[ローカルタイム] タブ	224
6.4.2	[タイムゾーン] タブ	225
6.4.3	[NTP 同期] タブ	226
6.5	[言語設定]	227
6.5.1	[言語]	227

6.6	[サービス]	228
6.6.1	[Telnet] タブ	229
6.6.2	[FTP] タブ	230
6.6.3	[SSH/SFTP] タブ	231
6.6.4	[HTTP] タブ	232
6.6.5	[HTTPS] タブ	233
6.7	[SNMP]	233
6.7.1	[SNMP エージェント] タブ	234
6.7.2	[SNMP マネージャ] タブ	235
6.7.3	[マネージャ設定] ダイアログ	236
6.7.4	[トラップメッセージ] タブ	237
6.7.5	[MIB] タブ	238
6.8	[E-Mail 遠隔通報]	238
6.8.1	[通報設定] タブ	239
6.8.2	[宛先設定] タブ	240
6.9	[JP1/SC/BSM 連携]	241
6.10	[HCSM 連携]	243
6.10.1	[HCSM サービス] タブ	243
6.10.2	[HCSM サーバ] タブ	244
6.11	[証明書]	245
6.12	[ログインバナー]	247

表目次

表 1-1 システムコンソールの要件	24
表 1-2 設定内容	25
表 1-3 権限一覧	34
表 1-4 機能一覧	34
表 1-5 権限一覧	34
表 2-1 筐体図	38
表 2-2 [シャーシ状態] サマリ表 (シャーシ図右側)	38
表 3-1 SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合の表示項目	60
表 3-2 SMP 構成のサーバブレードを選択した場合の表示項目	62
表 3-3 SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合の表示項目	64
表 3-4 プライマリサーバブレードを選択した場合の表示項目	65
表 3-5 [EFI] タブの表示項目 (BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2, BS520A サーバブレード A1, BS540A サーバブレード A1/B1 の場合)	82
表 3-6 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが Basic, サーバブレードの電源が OFF の場合)	119
表 3-7 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが HVM, サーバブレードの電源が OFF の場合)	120
表 3-8 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが HVM, サーバブレードの電源が ON の場合)	121
表 3-9 [設定] タブ - 表示項目 (Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20 ポート/40 ポート), Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの場合)	153
表 3-10 [設定] タブ - 表示項目 (Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール, Brocade 8/16Gb ファイ バチャネルスイッチモジュール, Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの場合)	154



はじめに

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

- お知らせ
- このマニュアルで使用している記号
- 安全にお使いいただくために
- オペレーティングシステム (OS) の略称について

お知らせ

重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複製することは固くお断わりします。
- ・ 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ この製品には、RSA Data Security からライセンスを受けたコードが含まれています。
- ・ BS520H サーバブレード B5 は個別対応品です。

システム装置の信頼性について

ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

- ・ 化学プラント制御・医療機器制御・緊急連絡制御等

規制・対策などについて

電波障害自主規制について

電波障害自主規制については、次の説明文をお読みください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 準用品について

JIS C61000-3-2 準用品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値(1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」を準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

雑音耐力について

本製品の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。

輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は弊社担当営業にお問い合わせください。なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンやシステム装置はオフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのシステム装置の中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのシステム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」処理を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する

などの作業ををすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows®などのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このシステム装置のハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。システム装置ユーザが、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくシステム装置を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

ハードディスクのデータを消去するユーティリティは、『CLEAR-DA』、『CLEAR-DA RAID』などがあります。詳細は担当営業へお問い合わせください。

制限

『CLEAR-DA』は、CDより起動させて使用します。

本システム装置については、別途USB外付けCD装置が必要となります。

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、次に示すアイコンを使用します。

アイコン	ラベル	説明
 警告	警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
通知	通知	これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損傷を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 重要	重要	重要情報や追加情報、および装置やソフトウェアの制限事項を説明します。
 参考	参考	より効率的に業務を行うために、知っておくと役に立つ情報や指針となる情報を説明します。

このマニュアルでは、次に示す記号を使用しています。

記号	意味
[] (角括弧)	GUI 操作の説明 メニュータイトル、メニュー項目、タブ名、およびボタンの名称を示します。メニュー項目を連続して選択する場合は、[] を「-」(ハイフン) でつないで説明しています。 キー操作の説明 キーの名称を示します。
斜体文字	次のどちらかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 可変値であることを示します。 ドキュメントタイトルであることを示します。

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項

この項で説明する安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害をひき起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

通知

これは、人身傷害とは関係のない損害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



【表記例 1】感電注意

⚠ の図記号は注意していただきたいことを示し、⚠ の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】分解禁止

⊘ の図記号は禁止事項を示し、⊘ の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。なお、⊘ の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

● の図記号は行っていただきたいことを示し、● の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。なお、⚠ は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- ・ 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- ・ 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お問い合わせ先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

一般的な安全上の注意事項

本製品の取り扱いにあたり次の注意事項を常に守ってください。



電源ケーブルの扱い

電源ケーブルは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出し、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因になります。

- 物を載せない
- 熱器具のそばで使用しない
- 加熱しない
- 束ねない
- 紫外線や強い可視光線を連続して当てない
- コードに傷がついた状態で使用しない
- 高温環境で使用しない
- 定格以上で使用しない
- ほかの装置で使用しない
- 電源プラグを濡れた手で触らない

なお、電源プラグはすぐに抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。



電源コンセントの扱い

- 電源コンセントは接地型 2 極差し込みコンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。
- コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと、万一電源の故障時などに感電するおそれがあります。



電源プラグの抜き差し

電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。



電源モジュールについて

電源モジュールは、高電圧部分があるためカバーを開けないでください。感電や装置の故障の原因になります。



電源スロットカバーの取り付け

電源ユニットの取り外し時、手や工具を内部に差し入れないでください。また、取り外し後は電源スロットカバーを取り付けてください。電源スロット内部には導体が露出した部分があり、万一手や工具などで触れると感電や装置の故障の原因になります。



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、装置のすべて（最大4本）の電源プラグをコンセントから抜いてください。



修理・改造・分解

本書の指示にしたがって行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一手をさわると危険です。



カバー・ブラケットの取り外し

カバー・ブラケットの取り外しは行わないでください。感電ややけど、または装置の故障の原因となります。



電源モジュールのカバーの高温について

電源モジュールは動作時カバーやハンドルが熱くなっています。障害が発生したモジュールを交換する場合などご注意ください。やけどをするおそれがあります。



10GBASE-R トランシーバの高温について

1/10Gbps LAN スイッチモジュールの10GBASE-R トランシーバは、動作時に熱くなっています。トランシーバの取り外しは、マネジメントモジュールから10Gbps LAN スイッチモジュールの電源を停止してから約5分以上、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。



装置内部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。本マニュアルで指示のない限り装置内部品の追加・交換は、電源を切った直後約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。



レーザー光について

- 本製品に搭載されているレーザーは、クラス1レーザー製品です。レーザー光を直視しないようにしてください。光学器械を用いてレーザー光を見ないようにしてください。

- 。 レーザーモジュールのカバーを外すと、レーザー光が発射されています。使用していないボードのカバーは外さないようにしてください。



製品の取り扱い

- 。 製品は固定したラックに搭載してください。製品に寄りかかったり、上に乗ったりしないでください。また、床や壁などが弱い場所には設置しないでください。
- 。 過度な振動は与えないでください。落ちたり倒れたり、故障の原因となります。



ラック搭載について

- 。 システム装置をラックキャビネットに取り付けたり取り外したりする場合は、必ず2人以上で作業を行い、無理をせず器具などを使用してください。また、ラックキャビネットの31U以上にシステム装置を取り付けたり、取り付けられている場合は、作業は行わず、保守員にお任せください。取り付け不備によりシステム装置が落下し、怪我をしたり装置が故障するおそれがあります。
- 。 ラックキャビネットから装置を引き出して作業を行う場合、必ずラックキャビネットにスタビライザーを取り付けてください。無理な力がかかるとラックキャビネットが転倒し、怪我や故障の原因となります。取り付けられていない場合は保守員をお呼びください。



ラックキャビネット搭載時の取り扱い

ラックキャビネット搭載時、装置上面の空きエリアを柵または作業空間として使用しないでください。装置上面の空きエリアに重量物を置くと、落下による怪我の原因となります。



金属など端面への接触

装置の移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。



不適切なバッテリー

不正な種類のバッテリーと交換すると爆発の危険があります。
使用済みのバッテリーは指示にしたがって廃棄してください。



電池の取り扱い

電池の交換は保守員が行います。交換は行わないでください。また、次のことに注意してください。取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火などでけがの原因となります。

- 。 充電しない
- 。 ショートしない
- 。 分解しない



バッテリーの保管

バッテリーを保管する際は、バッテリー端子に接着テープを貼付して絶縁してください。絶縁しないと、端子同士の接触によりショートして、過熱や破裂を引き起こすことがあり、怪我や火災につながります。



装置内部への異物の混入

通気孔などから、内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、故障の原因になります。



落下などによる衝撃

落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると故障の原因になります。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがらないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因になります。また、通気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。



接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。短絡が起きて故障の原因になります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると装置の故障の原因となります。すぐに電源を入れたりせず、使用する場所で数時間そのまま放置し、室温と装置内温度がほぼ同じに安定してからご使用ください。

たとえば、5℃の環境から25℃の環境に持ち込む場合、2時間ほど放置してください。



周辺機器の増設や接続

マニュアルの説明にしたがい、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器をご使用ください。それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や装置の故障の原因になります。



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。



強い磁気の発生体

磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけないでください。システム装置の故障の原因になります。



ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは精密機械です。ご使用にあたっては、大切に取り扱いってください。取り扱い方法によっては、ハードディスク故障の原因になります。



障害ディスクについて

障害ディスクの交換では、操作手順の誤りや交換ディスクの故障などにより、データが破壊されるおそれがあります。交換の前にデータのバックアップを取ってください。



アルミ電解コンデンサ

アルミ電解コンデンサは有寿命部品です。耐用期間を過ぎた製品は使用しないでください。耐用期間を過ぎた製品を使用した場合、電解質の漏洩や消耗により、発煙や感電を引き起こすことがあります。こうした危険な状況を起こさないために、所定の耐用期間を過ぎた有寿命部品は交換してください。



分電盤

分電盤は出入り口付近に設置して、コンピュータシステムのデバイスを保護し、緊急時の電源遮断器として使用してください。



信号ケーブルについて

- ケーブルは足などをひっかかないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



電源を切る前に

- 電源操作は決められた手順にしたがって行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、システム装置の故障の原因になります。
- 電源を切る前に、装置に接続するすべてのデバイスが停止していることを確認してください。装置の稼働中に電源を切ると、装置が故障したり、データが消えることがあります。
- シャットダウンを必要とする OS を使用している場合は、電源を切る前に必ずシャットダウンを終了してください。シャットダウン終了前に電源を切ると、データが消えることがあります。



ラック搭載時の注意

- 周囲温度の上昇について**
 閉鎖型或いはマルチユニット型組み立てラックへ装置を搭載する場合は、装置稼働時のラック内温度が室内周辺温度より高くなる場合があります。装置の最大定格周囲温度を超えないようご注意ください。
- エアフローの低下について**
 装置をラックに搭載する際は、装置の安全稼働に必要なエアフロー量が低下しないようご注意ください。
- リフターによる搭載について**
 装置をリフターでラック搭載する際は、高低差のない水平な場所で作業を行い、危険な状態とならないようご注意ください。
- 過負荷について**
 装置への給電を行う際には、過電流による回路の遮断や電源ケーブルの発熱にご注意ください。このため、定格に十分注意して使用することが必要です。
- 接地の接続**
 ラック搭載装置は、常に確実なアース接続を行ってください。分岐回路(例: テーブルタップ)への電源接続で接地接続されない装置では、特にご注意ください。

オペレーティングシステム (OS) の略称について

このマニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。なお、32bit 版や 64bit 版、Service Pack (以降、SP と表記します) の有無を区別する必要がある場合は、必要に応じて本文中に記載します。

このマニュアルでの表記	OS の正式名称
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows Server® 2016 Standard Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter
Windows Server 2012 R2	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter
Windows Server 2012	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows Server® 2012 Standard Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter
Windows Server 2008 R2	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter
Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2
Windows 10	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows® 10 Education Microsoft® Windows® 10 Enterprise Microsoft® Windows® 10 Pro
Windows 8.1	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows 8.1 Enterprise Microsoft® Windows 8.1 Pro
Windows 8	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows 8 Enterprise Microsoft® Windows 8 Pro
Windows 7	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows 7 Enterprise

このマニュアルでの表記	OS の正式名称
	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft® Windows 7 Ultimate
Windows Vista	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft® Windows Vista Business • Microsoft® Windows Vista Enterprise • Microsoft® Windows Vista Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows XP Professional
Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server • Windows 10 • Windows 8.1 • Windows 8 • Windows 7 • Windows Vista • Windows XP

Web コンソールの準備

この章では、Web コンソールの準備について説明します。

- 1.1 事前に準備いただくもの
- 1.2 ログイン・ログアウト
- 1.3 Web コンソールの構成
- 1.4 ロール

1.1 事前に準備いただくもの

BS500 Web コンソールは、システムコンソールから BS500 の各種機能を GUI にて利用するためのマネジメントモジュールの機能です。システムコンソールの動作環境を次の表に示します。

表 1-1 システムコンソールの要件

項目	仕様
Flash player	Adobe® Flash® Player version 10.2 以上 BS500 Web コンソール管理ツールを使用する場合は不要です。
Java software	リモートコンソールを使用する場合に必要です。 詳細は「 <i>BladeSymphony BS500</i> リモートコンソールユーザーズガイド」を参照してください。
OS	Microsoft® Windows® Red Hat® Enterprise Linux®
ブラウザ	Internet Explorer 7 以上 Firefox 3.0 以上 BS500 Web コンソール管理ツールを使用する場合で、かつリモートコンソールを使用しない場合は不要です。
ディスプレイ	Super VGA : 1024 x 768 以上 Wide VGA : 1280 x 1024 以上を推奨
BS500 Web コンソール管理ツール *1	Web ブラウザを使用しないで、BS500 Web コンソールを使用する場合は必要です。BS500 Web コンソール管理ツールは、 <i>BladeSymphony</i> ホームページからダウンロードしてください。 ダウンロード方法等は、「 <i>BladeSymphony BS500</i> スタートアップガイド」を参照してください。 Flash player のサポート終了以降に BS500 Web コンソールを使用する場合は、必須となります。

注※1

BS500 Web コンソール管理ツールを使用する場合は、マネジメントモジュールファームウェアを A0330 以降にアップデートする必要があります。

重要 Web ブラウザから Web コンソールを使用する場合の注意事項を以下に示します。

- 64bit 版 Internet Explorer は使用しないでください。64bit 版の Windows をお使いの場合でも、32bit 版 Internet Explorer を使用してください。Web コンソールが正常に動作しないおそれがあります。64bit 版の Windows の場合、32bit 版 Internet Explorer は次のフォルダにあるプログラムを起動してください。
C:\Program Files (x86)\Internet Explorer\iexplore.exe
64bit 版の Windows は標準で 64bit 版 Internet Explorer が起動する可能性があるため、ご注意ください。
- Windows 8 および Windows Server 2012 よりサポートされている「Modern UI」画面の Internet Explorer は使用しないでください。
「デスクトップ」画面の Internet Explorer を使用してください。
- マネジメントモジュールのセキュリティ強度設定を高に設定して Web ブラウザから Web コンソールを使用する場合、マネジメントモジュールの Web コンソール接続には、Internet Explorer を使用してください。
Firefox を用いてマネジメントモジュールの Web コンソールに接続する場合は、マネジメントモジュールのセキュリティ強度設定をデフォルトに設定してください。
- Windows 10 を使用する場合は、Microsoft Edge は使わないでください。

1.2 ログイン・ログアウト

Web コンソールへのログイン・ログアウト方法を説明します。

1.2.1 ログイン

1. Web コンソールに接続します。

- **Web ブラウザから Web コンソールを使用する場合**

システムコンソールの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーにマネジメントモジュールの Web コンソールの URL（工場出荷時の場合は https://192.168.0.1/）を入力します。



重要 Web コンソールに接続する際は、ホスト名ではなく IP アドレスでアクセスしてください。

参考 上記の URL はデフォルト設定の例です。

マネジメントモジュールの IP アドレスおよびポート番号を変更した場合は、設定に合わせて URL を入力してください。

- **BS500 Web コンソール管理ツールを使用する場合**

BS500 Web コンソール管理ツールを起動後、マネジメントモジュールの IP アドレスと https で接続するポート番号を入力して、「connect」ボタンをクリックします。

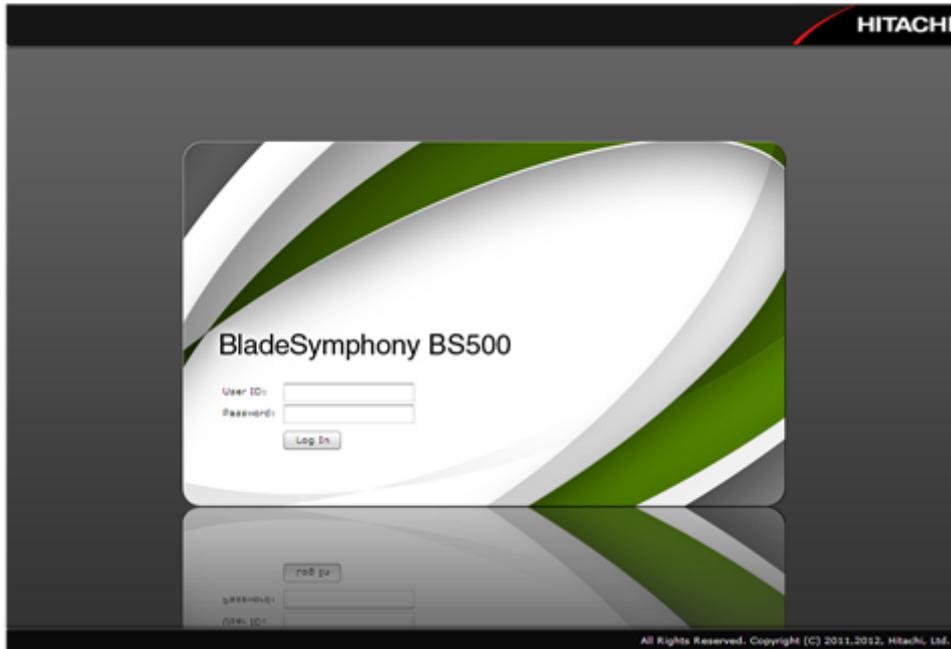


表 1-2 設定内容

項目	工場出荷時の初期値
マネジメントモジュールの IP アドレス	192.168.0.1
https で接続するポート番号	443
http で接続するポート番号	80

参考 BS500 Web コンソール管理ツールのバージョンが 1.0.4 以降の場合、http で接続するポート番号を入力し、http を選択することで、http で接続することができます。

2. 接続に成功すると、[ログイン] 画面が表示されます。



参考

- ログインバナーを設定すると、[ログイン] 画面にメッセージを表示することができます。
- ログイン時にパスワードの有効期限が切れていると、パスワードの変更画面が表示される場合があります。
パスワードの変更画面が表示された場合、パスワードを変更しないとログインすることができません。
- ログイン時にパスワードの有効期限が近づいていると、パスワード有効期限の警告ダイアログが表示されます。
警告ダイアログが表示された場合は速やかにパスワードを変更してください。

3. システム管理者のユーザアカウントとパスワードは、工場出荷時の初期値で設定されています。次に示す値を入力してください。

工場出荷時の初期値

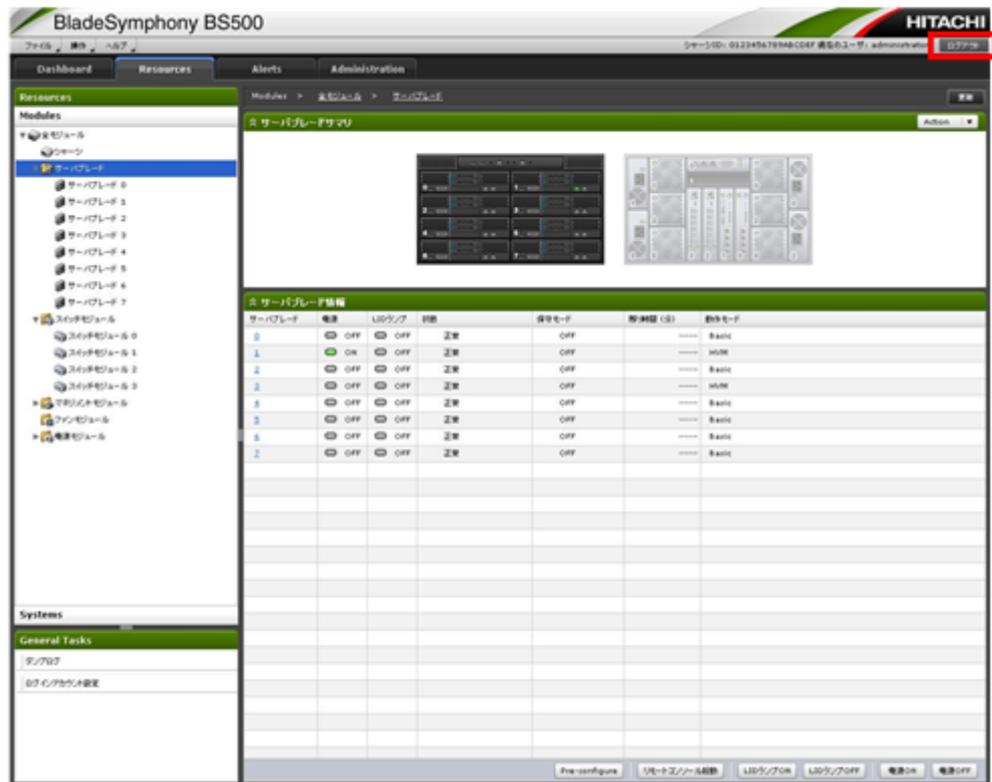
ユーザアカウント : administrator

パスワード : password

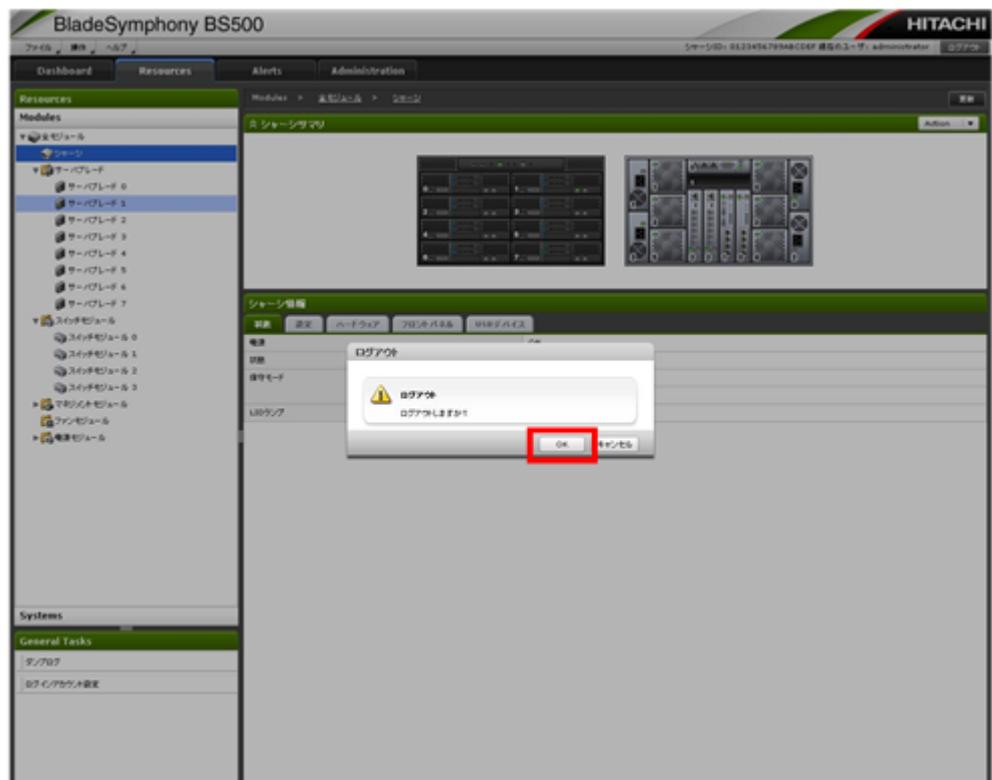
- 参考 セキュリティ上、装置管理者アカウントのパスワード変更を強く推奨します。
これらの設定は「6.1.1 [ユーザアカウント]」で変更できます。

1.2.2 ログアウト

1. Web コンソールのメニューから [ログアウト] ボタンをクリックしてください。または [ファイル] メニューの [ログアウト] を選択してください。

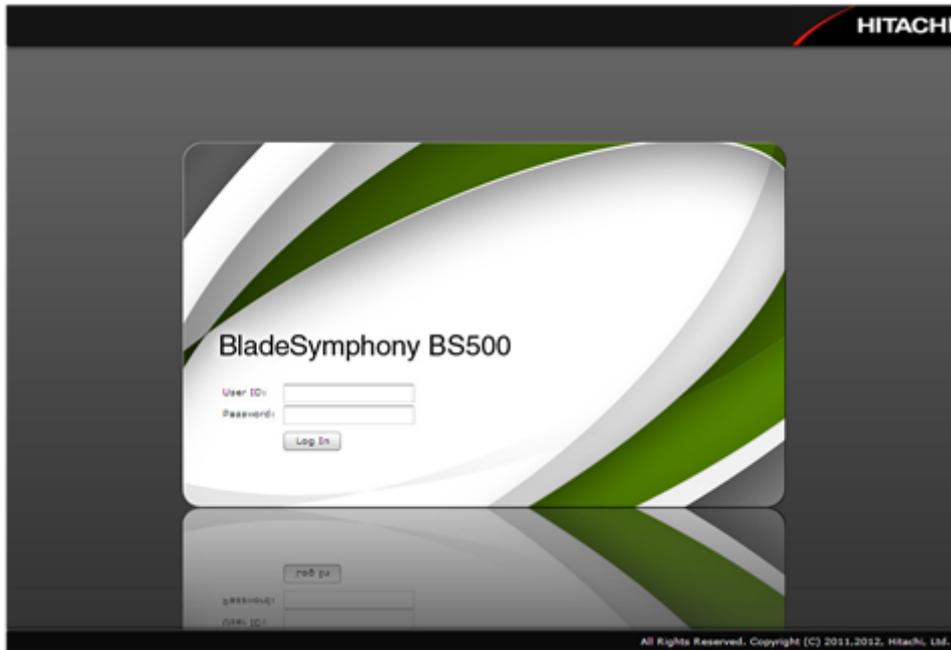


2. [ログアウト] ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてください。



3. Web ブラウザから Web コンソールを使用する場合は、ログアウトに成功するとログイン画面が表示されます。設定を終了する場合は、Web ブラウザを終了してください。BS500 Web コン

ソール管理ツールを使用する場合は、ログアウトに成功すると BS500 Web コンソール管理ツールが終了して、ウィンドウが閉じます。

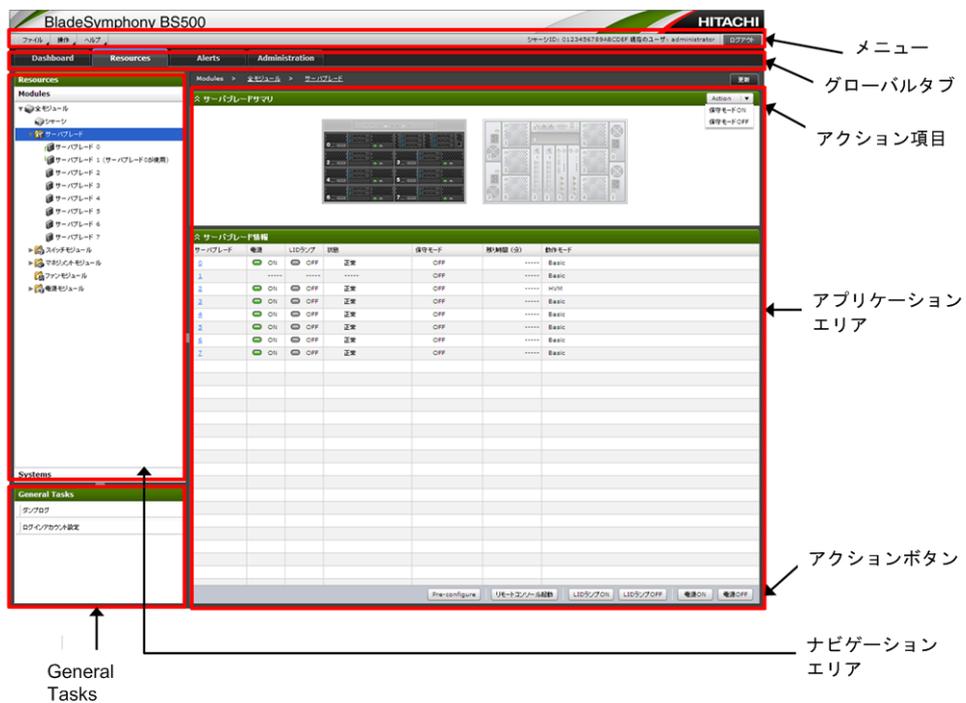


1.3 Web コンソールの構成

Web コンソールの画面構成と、機能およびロールについて説明します。

1.3.1 画面構成

Web コンソールの画面構成を説明します。



画面構成

メニュー

[ファイル]

[Web コンソールログの保存]

Web コンソールログをダウンロードします。

[ログアウト]

Web コンソールからログアウトします。

[操作]

[ダンプログ]

マネジメントモジュールからログをダウンロードします。

[ログインアカウント設定]

ログイン中のユーザのパスワード、表示言語等の設定を変更します。

[ヘルプ]

[ユーザーズガイド]

ユーザーズガイドを参照します。

[バージョン情報]

マネジメントモジュールファームウェアのバージョンを表示します。

[保守モード]

搭載されているモジュールが、1 つ以上保守モードに設定されていることを示します。

[ログアウト]

Web コンソールからログアウトします。

グローバルタブ

「1.3.2 機能一覧」を参照してください。

[Dashboard] タブ

「2. [Dashboard]」を参照してください。

[Resources] タブ

「3. [Resources] - [Modules]」「4. [Resources] - [Systems]」を参照してください。

[Alerts] タブ

「5. [Alerts]」を参照してください。

[Administration] タブ

「6. [Administration]」を参照してください。

ナビゲーションエリア

画面左側に、設定・操作の対象となるモジュール、機能がツリー形式で表示されます。設定はこのツリー上でモジュールまたは機能を選択し、実施します。

General Tasks

[ダンプログ]

マネジメントモジュールからログをダウンロードします。

[ログインアカウント設定]

ログイン中のユーザのパスワード、表示言語などの設定を変更します。

アプリケーションエリア

ナビゲーションエリアで選択したモジュールまたは機能と、それを操作するためのアクション項目、アクションボタンが表示されます。

「3. [Resources] - [Modules]」「4. [Resources] - [Systems]」「5. [Alerts]」「6. [Administration]」を参照してください。

参考

- Web コンソール上の表示は自動では更新されません。表示内容を更新する場合には、[更新] ボタンを押してください。[更新] ボタンはアプリケーションエリアの上部にあります。
- 以降の説明で使用している Web コンソールの画面はサンプルです。最新情報でない場合があります。

1.3.2 機能一覧

Web コンソールの機能の概要を示します。

[Dashboard] タブ

ログイン後、最初に表示される画面です。

装置の動作状態概要、消費電力および装置で発生した

イベントの一覧（ログ）が表示されます。

[Resources] タブ

搭載されているモジュールとリソースを管理します。

[Modules]

搭載されているモジュールを管理します。

[シャーシ]

システム装置を管理します。

動作状態の表示、接続 USB デバイスの管理、シャーシ ID 設定、システム装置のシャットダウンができます。

[サーバブレード]

搭載されているすべてのサーバブレードの動作状態の表示と操作を実施します。

すべて、または選択した複数のサーバブレードに対して、電源操作などの基本的な操作が可能です。

[サーバブレード 0~7] :

選択した 1 つのサーバブレードの動作状態、ハードウェア情報、構成の表示と、各種操作を実施します。

また、BMC, EFI, 搭載されている拡張カード, LPAR もこの画面で設定および操作できます。

[スイッチモジュール]

搭載されているすべてのスイッチモジュールの動作状態の表示と操作を実施します。

すべて、または選択した複数のスイッチモジュールに対して、電源操作などの基本的な操作が可能です。

[スイッチモジュール 0~3] :

選択した 1 つのスイッチモジュールの動作状態、ハードウェア情報の表示と、各種操作を実施します。

また、Hitachi 1Gb LAN スwitchモジュール(20 ポート/40 ポート)、Hitachi 1Gb/10Gb LAN スwitchモジュールの主要な設定、Brocade 8Gb ファイバチャネルスitchモジュール、Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスitchモジュール、Brocade 16Gb ファイバチャネルスitchモジュールの Web コンソール画面の起動 (リンク) もこの画面から実施します。

[マネジメントモジュール]

マネジメントモジュールの動作状態の表示と操作を実施します。

すべて、または選択した複数のマネジメントモジュールに対して、電源操作などの基本的な操作ができます。

[マネジメントモジュール 0~1] :

選択した 1 つのマネジメントモジュールの動作状態、ハードウェア情報の表示と、各種操作を実施します。

[ファンモジュール]

ファンモジュールの動作状態を表示します。

[電源モジュール]

電源モジュールの動作状態、入力電圧 (100V, 200V) を表示します。

[電源モジュール 0~3] :

選択した 1 つの電源モジュールの動作状態の表示、ハードウェア情報を表示します。

[Systems]

システム装置が管理するモジュール以外のリソースを管理します。

[ネットワーク管理]

管理ネットワークを設定します。この画面は次のネットワーク設定へのリンクが表示されます。

[管理 LAN] :

サーバブレード (BMC)、スitchモジュール、マネジメントモジュールの管理 LAN インタフェースの設定を実施します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を設定できます。IPv6 アドレス、プレフィックス、ゲートウェイ、DNS の設定もできます。

[保守 LAN] :

マネジメントモジュールの保守 LAN インタフェースの設定を表示します。設定の変更はできません。

[内部 LAN] :

システム装置の内部で使用するネットワークを設定します。

[Link Fault Tolerance] :

管理 LAN インタフェースの冗長化を設定します。

冗長機能の有効、無効の切り替え、監視時間を設定できます。

[WWN 管理]

サーバブレードに搭載される拡張カードが使用する WWN (ハードウェア固有の WWN (Original WWN), Additional WWN, Virtual WWN) を表示、設定します。

[MAC 管理]

サーバブレードに搭載される拡張カードが使用する MAC アドレス（ハードウェア固有の MAC アドレス (Original MAC), Additional MAC, Virtual MAC) を表示、設定します。

[電力管理]

システム装置全体、および個々のモジュールの電力を管理します。供給と消費の状態の表示、消費電力の制限、電源の冗長の設定ができます。

[HA モニタ管理]

HA モニタを使用する場合、HA モニタとの連携の設定を実施します。

[ファームウェア管理]

サーバブレードファームウェア、HVM ファームウェアのバージョン表示とアップデートを実施します。

複数のサーバブレードのサーバブレードファームウェアを一度にアップデートすることができます。

[HVM ライセンス管理]

HVM ライセンスの表示とアップグレードを実施します。

[HVM 管理通信設定]

HVM とマネジメントモジュール間の通信に使用するポート番号を設定します。

[セキュリティ強度設定]

マネジメントモジュールとサーバブレードのセキュリティ強度の設定を実施します。

[Alerts] タブ

システム装置で記録した障害情報、ログを表示、ダウンロードします。

[システムイベントログ]

システムイベントログ (SEL) を表示します。

イベントが障害の場合はその詳細を表示できます。

[Additional WWN 変更ログ]

Additional WWN の変更の履歴を表示します。

Additional WWN は N+M コールドスタンバイで切り替え、復帰の際に変更されます。

[Additional MAC 変更ログ]

Additional MAC アドレスの変更の履歴を表示します。

Additional MAC アドレスは N+M コールドスタンバイで切り替え、復帰の際に変更されます。

[操作ログ]

マネジメントモジュール、サーバブレード (BMC) に対する操作のログを管理します。

操作ログはダウンロードすることが可能です。

[MAR ログ]

障害通報の要因となった事象のログ (Maintenance Action Report, MAR) の一覧を表示します。

障害の詳細の表示と障害時に採取したログをダウンロードすることができます。

[環境ログ]

システムの入排気温の最高、最低を表示します。また履歴をダウンロードすることが可能です。

[Administration] タブ

システム装置の基本的な設定、他システムとの接続を設定します。

[ユーザとロール]

アカウントとロールの追加、削除、変更を実施します。また、LCD タッチコンソールの暗証番号の初期化ができます。

[LDAP/RADIUS]

LDAP サーバまたは RADIUS サーバとの連携を設定します。LDAP サーバまたは RADIUS サーバと連携することにより、アカウントを一元管理することが可能となります。

[セッション管理]

ログインしているユーザの一覧を表示します。不要な接続は強制的に切断することができます。

[時刻設定]

マネジメントモジュールの時刻を管理します。

ローカルタイム、タイムゾーン、夏時間、NTP サーバの設定ができます。

[言語設定]

システム装置のコンソール、アラート通知、e-mail 通報に使用する言語を日本語、英語から選択します。

[サービス]

マネジメントモジュールが提供するサービス (Telnet, FTP, SSH/SFTP, HTTP, HTTPS) の有効/無効の切り替え、ポート番号変更、接続制限を実施します。

[SNMP]

SNMP マネージャと接続設定、SNMP エージェント (マネジメントモジュール) の設定を表示、編集します。

[E-Mail 遠隔通報]

E-Mail による遠隔通報を管理します。

通報方法の設定、現状通報および通報履歴を表示します。

[JP1/SC/BSM 連携] ※

JP1/ServerConductor/Blade Server Manager との連携設定を実施します。

[HCSM 連携]

Hitachi Compute Systems Manager との連携設定を実施します。

[証明書]

マネジメントモジュールの SSL 鍵、証明書の表示、作成、インポートを実施します。

[ログインバナー]

ログインバナーの設定を表示、編集します。

注※

JP1/SC/BSM : JP1/ServerConductor/Blade Server Manager

重要 Web コンソールには、マネジメントモジュールやサーバブレードなどファームウェアのバージョン要件を満たさないと、一部実行できない機能があります。

1.4 ロール

ロールと権限について説明します。

1.4.1 ロール概要

マネジメントモジュールのコンソール機能では、お客様のユーザ管理にあわせて、各権限の許可・不許可を設定することで、権限をカスタマイズしたロールが定義できます。ロールに設定可能な権限の一覧を次に示します。

表 1-3 権限一覧

権限名称	説明
サーバブレード	サーバブレードの操作，設定が可能な権限です。 サーバブレードのスロットごとに権限が分かれています。
rKVM	リモートコンソールの操作，設定が可能な権限です。 サーバブレードのスロットごとに権限が分かれています。
スイッチモジュール	スイッチモジュールの操作，設定が可能な権限です。 スイッチモジュールのスロットごとに権限が分かれています。
ネットワーク	ネットワークの設定が可能な権限です。
シャーシ	サーバシャーシの操作，設定が可能な権限です。
アカウント	アカウント，ロールの追加や削除が可能な権限です。

また，上記設定とは独立して，ロールに「操作権限なし」と「リモートコンソール起動権限なし」の属性を付与することができます。「操作権限なし」の属性を付与した場合，権限を持つ項目のうち，内容の参照のみが行えます。設定や操作は行えません。「リモートコンソール起動権限なし」の属性を付与した場合，サーバブレードのリモートコンソール・OS コンソールには接続できません。

システム装置には，次の組み込みロールが用意されています。このロールは変更，および削除することができません。

表 1-4 機能一覧

ロール名称	説明
Administrators	すべての権限が付与されたロールです。



重要 SMP 構成のサーバブレードに権限を付与するとき，SMP を構成するすべてのサーバブレードに付与してください。

1.4.2 権限と実行可能機能

各画面・機能を実行するために必要な権限を次の表に示します。

表 1-5 権限一覧

構成		必要権限	
Dashboard タブ		-	
Resources タブ	Modules	シャーシ	シャーシ
		サーバブレード	サーバブレード 0～サーバブレード 7 のいずれか
		サーバブレード 0～7	サーバブレード 0～サーバブレード 7

構成		必要権限	
		スイッチモジュール	スイッチモジュール 0～スイッチモジュール 3 のいずれか
		スイッチモジュール 0～3	スイッチモジュール 0～スイッチモジュール 3
		マネジメントモジュール	シャーシ
		マネジメントモジュール 0～1	シャーシ
		ファンモジュール	シャーシ
		電源モジュール	シャーシ
		電源モジュール 0～3	シャーシ
	Systems	ネットワーク管理	ネットワーク
		管理 LAN	ネットワーク
		保守 LAN	ネットワーク
		内部 LAN	ネットワーク
		Link Fault Tolerance	ネットワーク
		WWN 管理	シャーシ
		MAC 管理	シャーシ
		電力管理	シャーシ
		HA モニタ連携	シャーシ
		ファームウェア管理	シャーシ
		HVM ライセンス管理	シャーシ
		HVM 管理通信設定	シャーシ
セキュリティ強度設定	シャーシ		
Alerts タブ	システムイベントログ	シャーシ	
	Additional WWN 変更ログ	シャーシ	
	Additional MAC 変更ログ	シャーシ	
	操作ログ	シャーシ	
	MAR ログ	シャーシ	
	環境ログ	シャーシ	
Administration タブ	ユーザとロール	アカウント	
	LDAP/RADIUS	アカウント	
	セッション管理	アカウント	
	時刻設定	シャーシ	
	言語設定	シャーシ	
	サービス	シャーシ	
	SNMP	シャーシ	
	JP1/SC/BSM 連携	シャーシ	
	HCSM 連携	シャーシ	
	証明書	シャーシ	
ログインバナー	シャーシ		

[Dashboard]

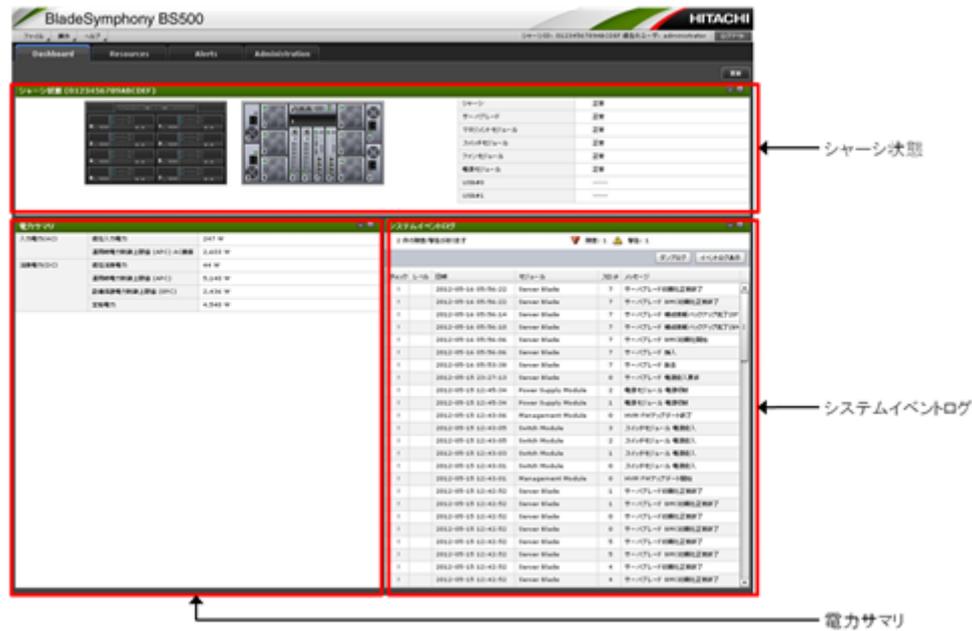
ログイン後、[Dashboard] が最初に表示されます。

ここでは、装置の動作状態、消費電力および装置で発生したイベントの一覧（ログ）が表示されます。

□ 2.1 画面表示

2.1 画面表示

[Dashboard] に表示される項目について説明します。



2.1.1 [シャーシ状態]

搭載モジュールの種類ごとに、動作状態を表示します。表示される動作状態を次に示します。警告または障害となっているモジュールがある場合には、システムイベントログ一覧でその内容を確認してください。

また、フロントパネルの USB ポートにデバイスが接続されている場合、そのデバイス名称を表示します。

表 2-1 筐体図

表示	説明
	該当位置に搭載されているモジュールが正常に動作していることを示します。
	該当位置に搭載されているモジュールが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。
	該当位置に搭載されているモジュールが障害状態となっていることを示します。イベント一覧で障害内容を確認してください。
	該当位置に搭載されているモジュールが初期化中であり、その種別がまだ認識されていないことを示します。
	該当位置に搭載されているモジュールを保守モードに設定していることを示します。

表 2-2 [シャーシ状態] サマリ表 (シャーシ図右側)

表示	説明
正常	モジュールは正常に動作しています。
警告	1つ以上のモジュールが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。
障害	1つ以上のモジュールで障害状態となっていることを示します。イベント一覧で障害内容を確認してください。

2.1.2 [電力サマリ]

入力電力と消費電力の値を表示します。

[電力サマリ] - 表示項目

表示		説明
入力電力(AC)	現在入力電力	現在の装置に対する入力電力(AC)を表示します。
	運用時電力制御上限値(APC)AC 換算 (現在値)	APC で設定された消費電力上限値を AC 電力に換算した値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
消費電力(DC)	現在消費電力	搭載されているモジュールの現在の消費電力の合計を表示します。
	運用時電力制御上限値(APC) (現在値)	APC の消費電力上限値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
	設備保護電力制御上限値(EPC)	EPC の消費電力上限値を表示します。
	定格電力	搭載されているモジュールの定格電力の合計を表示します。

2.1.3 [システムイベントログ]

装置で発生したシステムイベントログを表示します。未確認の障害が発生している場合には、その件数がサマリとして上部に表示されます。

なお、この一覧では、最新の 100 件のみを表示しています。装置で記録されているすべてのシステムイベントログを表示する場合には [イベントログ表示] ボタンをクリックして [システムイベントログ] 画面を表示してください。[ダンプログ] をクリックすると、マネジメントモジュールからログをダウンロードします。

[システムイベントログ] - 発生イベント

表示	説明
チェック	イベントが確認済みであるかどうかを表示します。 空欄 : このイベントが確認済みであることを示します。 確認済みのイベントはサマリの件数にはカウントされません。 ! : このイベントが未確認であることを示します。 未確認のイベントはサマリの件数にカウントされます。
レベル	イベントのレベルは、正常、注意、警告、障害の 4 段階にわかれており、次のように表されます。 空欄 : 装置を操作した場合など、正常な操作・動作した場合に記録されます。注意レベルのイベントも空欄として表示されます。  : 通信の異常や設定誤りの可能性など、ユーザに注意すべきイベントが発生した場合に記録されます。  : いずれかのモジュールで継続可能な障害が発生した場合に記録されます。警告の詳細を確認し、警告となる要因を取り除いてください。  : いずれかのモジュールで動作不可能な障害が発生した場合に記録されます。障害の詳細を確認し、障害に対応してください。
日時	イベントが発生した日時を表示します。
モジュール	イベントが発生したモジュールを表示します。
スロット	該当モジュールが搭載されているスロット番号を表示します。

表示	説明
メッセージ	イベントの概要を示すメッセージを表示します。

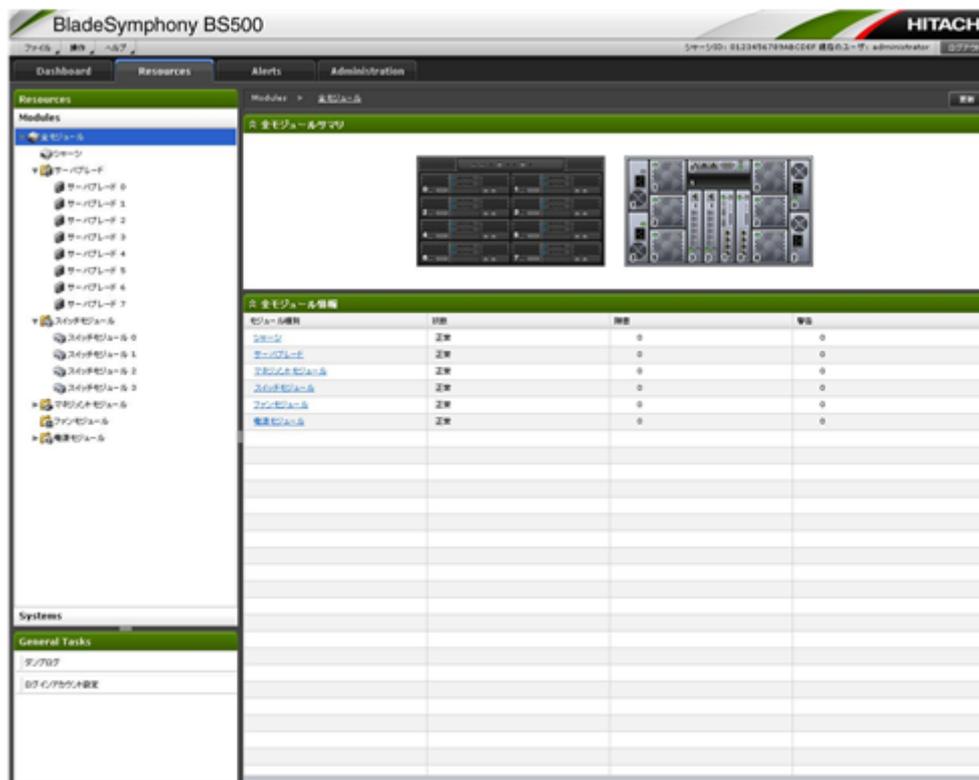
[Resources] - [Modules]

この章では、[Resources] タブの [Modules] に表示される項目について説明します。

- 3.1 [全モジュール]
- 3.2 [シャーシ]
- 3.3 サーバブレード一覧
- 3.4 [サーバブレード]
- 3.5 スイッチモジュール一覧
- 3.6 [スイッチモジュール]
- 3.7 マネジメントモジュール一覧
- 3.8 [マネジメントモジュール]
- 3.9 ファンモジュール一覧
- 3.10 電源モジュール一覧
- 3.11 [電源モジュール]

3.1 [全モジュール]

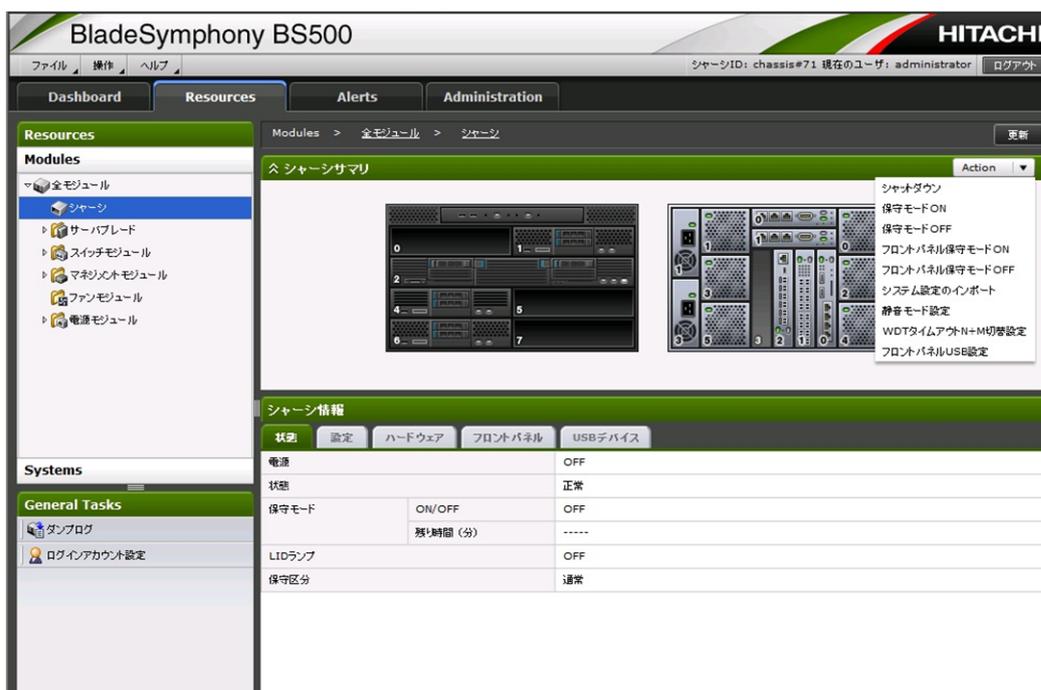
全モジュールの動作状態の概要を表示します。



3.2 [シャーシ]

システム装置を管理します。動作状態の表示、接続 USB デバイスの管理、シャーシ ID 設定、システム装置のシャットダウンができます。

3.2.1 [シャーシサマリ]



[シャーシサマリ] - アクション項目

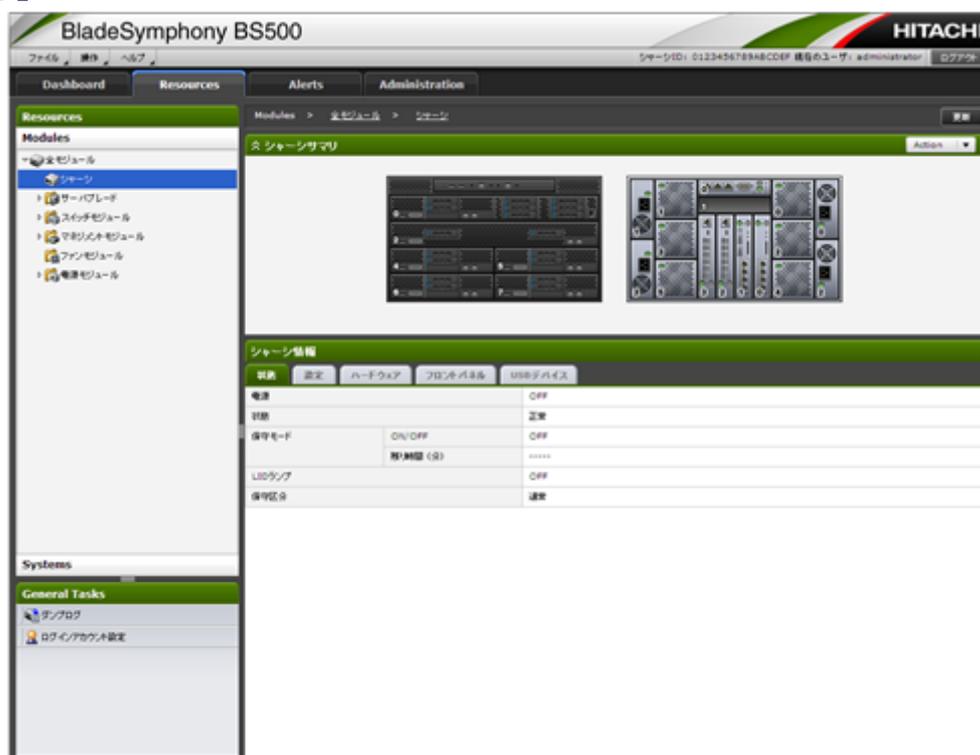
表示	説明
シャットダウン	システム装置をシャットダウンします。 シャットダウンする前に全サーバブレードの電源を OFF する必要があります。 シャットダウンした後に再度起動するためには、電源ケーブルの抜き差しなどを行い、通電してください。
保守モード ON	サーバシャーシを保守モードに設定する場合にクリックします。 サーバシャーシの保守モードには、ファンモジュール、電源モジュールが含まれます。 サーバブレード、スイッチモジュール、マネジメントモジュール、フロントパネルは保守モードには設定されません。保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	サーバシャーシの保守モードを解除する場合にクリックします。 サーバシャーシの保守モードには、ファンモジュール、電源モジュールが含まれます。 サーバブレード、スイッチモジュール、マネジメントモジュール、フロントパネルの保守モードは解除されません。
フロントパネル保守モード ON	フロントパネルを保守モードに設定する場合にクリックします。 保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
フロントパネル保守モード OFF	フロントパネルの保守モードを解除する場合にクリックします。
システム設定のインポート	システム設定のインポートを行います。 詳細は「 <i>BladeSymphony BS500</i> マネジメントモジュール セットアップガイド」を参照してください。
静音モード設定	シャーシの静音モード動作設定を行います。 静音モードを有効にするには、静音モードをサポートしたモジュールが搭載されている必要があります。システム装置の工場出荷時には無効に設定されています。
WDT タイムアウト N+M 切替設定	WDT タイムアウト N+M 切替設定の有効、無効を設定します。 ウォッチドッグタイムアウトを契機に N+M 切り替えを実行したい場合、有効にします。システム装置の工場出荷時には無効に設定されています。

表示	説明
フロントパネル USB 設定	フロントパネルの USB ポート 0, ポート 1 の有効, 無効を設定します。システム装置の工場出荷時には USB ポート 0, ポート 1 ともに有効に設定されています。

重要

- 無効に設定した USB ポートに USB デバイスを接続した状態で、USB ポートの設定を無効から有効に切り替えた場合、USB デバイスが認識されるまで数秒掛かります。このとき、[USB デバイス] タブを表示すると、接続状態表示には「未接続」と表示されます。その場合は [更新] ボタンをクリックしてください。
- USB ポートを無効にする際には、無効に設定する前に USB デバイスをポートから抜去してください。
- USB ポートが無効の場合に LCD タッチコンソールを接続すると、"Please wait..."の画面のまま先に進みません。
また、LCD タッチパネルを使用したインポートおよびダンプログの採取、マネジメントモジュールおよびサーバブレードのファームウェアアップデートはできません。

3.2.2 [状態] タブ

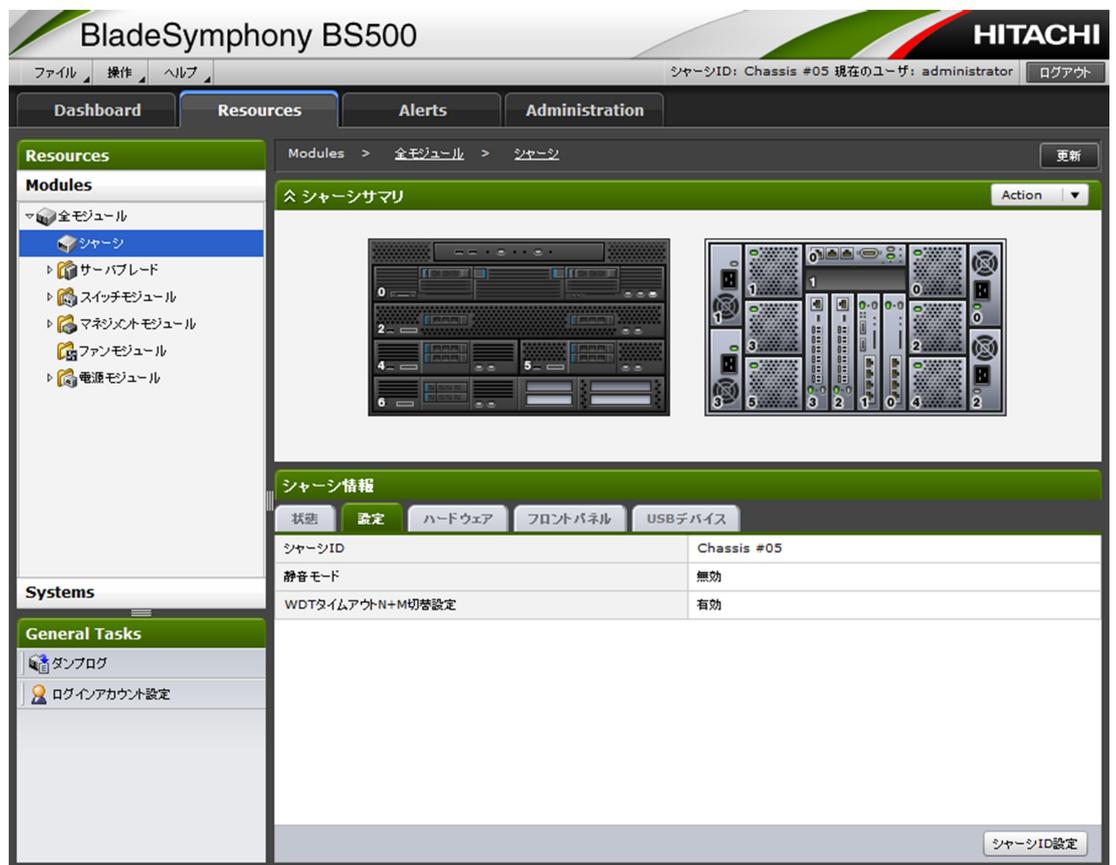


[状態] タブ - 表示項目

表示	説明
電源	ON : 1つ以上のサーバブレードの電源が ON であることを示します。 OFF : すべてのサーバブレードの電源が OFF であることを示します。
状態	サーバシャーンシの動作状態を表示します。 正常 : 正常であることを示します。 警告 : 警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。 障害 : 障害状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。

表示		説明
保守モード	ON/OFF	ON：サーバシャーシが保守モードに設定されていることを示します。 OFF：サーバシャーシが保守モードに設定されていないことを示します。
	残り時間（分）	サーバシャーシが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。
LID ランプ		ON：フロントパネルの LID(識別 LED)が点灯していることを示します。 OFF：フロントパネルの LID(識別 LED)が消灯していることを示します。
保守区分		シャーシの保守区分を表示します。 通常：通常保守で動作しています。 ロングライフ：ロングライフサポートで動作しています。

3.2.3 [設定] タブ



[設定] タブ - 表示項目

表示	説明
シャーシ ID	シャーシ ID を表示します。 シャーシ ID は JP1/Server Conductor/Blade Server Manager でシステム装置を識別するために使用します。 「シャーシ ID 設定」からシャーシ ID を変更することができます。
静音モード	シャーシの静音モード設定状態を表示します。 静音モード設定はアクション項目から行います。

表示	説明
WDT タイムアウト N+M 切替設定	WDT タイムアウト N+M 切替設定の状態を表示します。 WDT タイムアウト N+M 切替設定はアクション項目から行います。

[設定] タブ - アクションボタン

[シャーシ ID 設定]

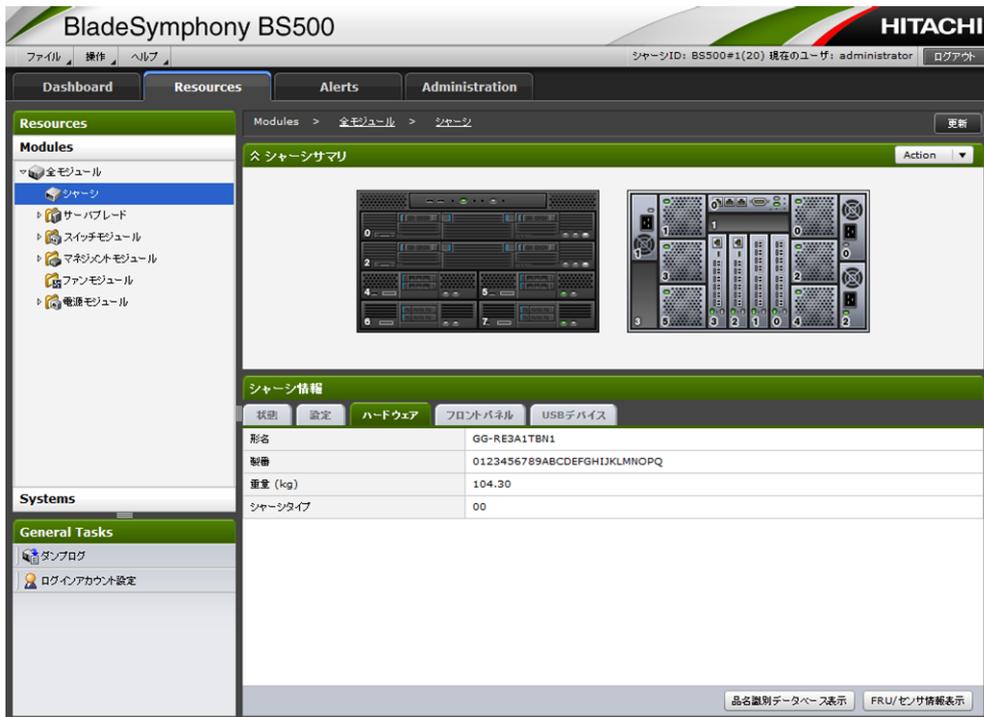
シャーシ ID を変更します。

シャーシ ID は最大 20 文字で、次の文字が使用可能です。

使用可能文字：表示可能な英数字、記号、空白

ただし、先頭、末尾の空白は無視されます。

3.2.4 [ハードウェア] タブ



[ハードウェア] タブ - 表示項目

表示	説明
形名	システム装置の形名を表示します。
製番	システム装置の製造番号を表示します。
重量(kg)	システム装置の総重量(kg)を表示します。 総重量には搭載されているモジュールを含みます。
シャーシタイプ	シャーシタイプを表示します。 シャーシタイプは 2 桁の数字で表します。

[ハードウェア] タブ - アクションボタン

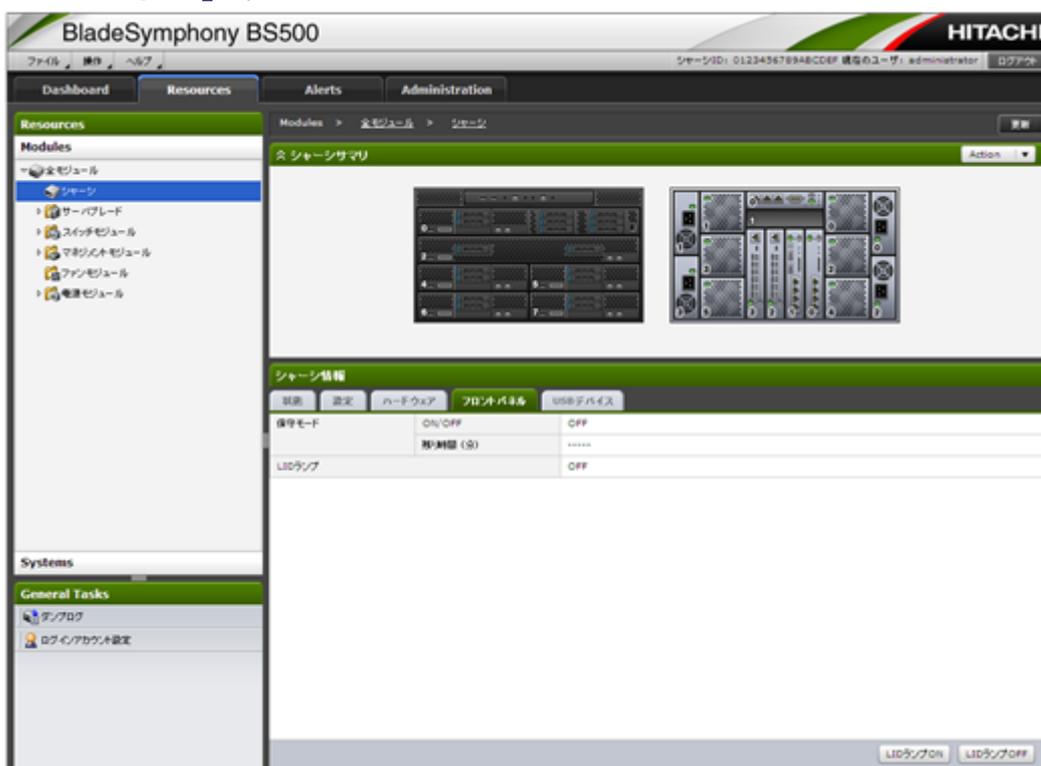
[品名識別データベース表示]

品名識別データベースのユニット情報を表示します。

[FRU /センサ情報表示]

サーバシャーシの FRU, センサの値を表示します。

3.2.5 [フロントパネル] タブ



[フロントパネル] タブ - 表示項目

表示		説明
保守モード	ON/OFF	ON : フロントパネルが保守モードに設定されていることを示します。 OFF : フロントパネルが保守モードに設定されていないことを示します。
	残り時間 (分)	フロントパネルが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。
LID ランプ		ON : フロントパネルの LID(識別 LED)が点灯していることを示します。 OFF : フロントパネルの LID(識別 LED)が消灯していることを示します。

[フロントパネル] タブ - アクションボタン

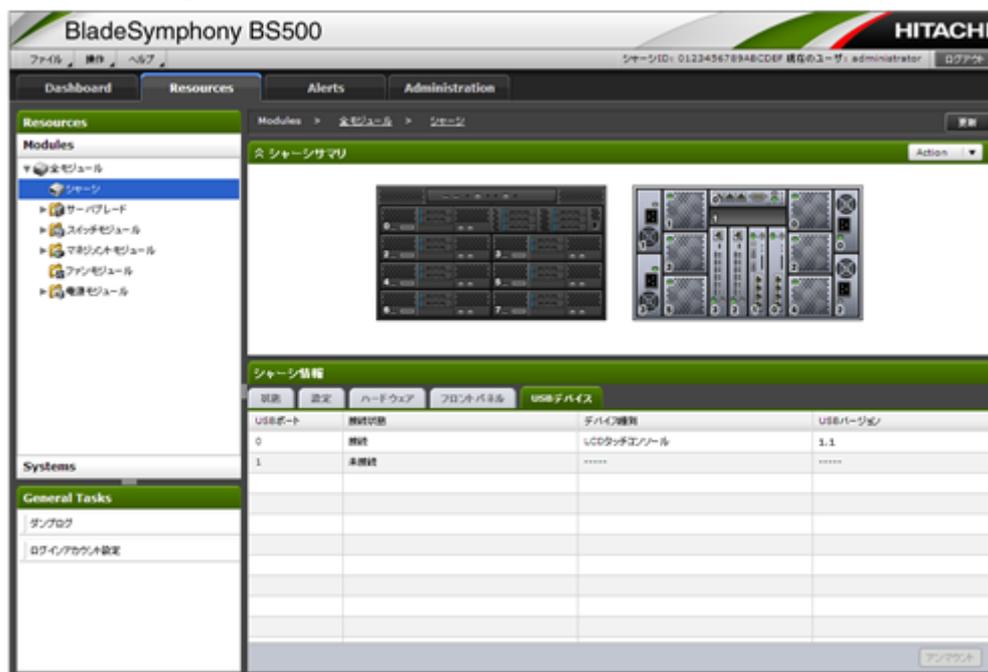
[LID ランプ ON]

フロントパネルの LID(識別 LED)を点灯します。

[LID ランプ OFF]

フロントパネルの LID(識別 LED)を消灯します。

3.2.6 [USB デバイス] タブ



[USB デバイス] タブ - 表示項目

表示	説明
USB ポート	USB ポートの番号を表示します。
接続状態	<p>USB デバイスの接続状態、マウント状態は次のように表示されます。</p> <p>未接続：USB デバイスが未接続であることを示します。</p> <p>接続：LCD タッチコンソールが接続済みであることを示します。</p> <p>接続（メディア無し）：CD-ROM が接続済みで、ディスクがセットされていないことを示します。</p> <p>接続（マウント済み）：ディスクデバイス、ディスクがセットされた CD-ROM、大容量記憶装置（フラッシュメモリ）が接続されていることを示します。</p> <p>マウント解除中：USB デバイスがマウント解除中であることを示します。</p> <p>マウント解除：USB デバイスがマウント解除済みであることを示します。</p> <p>無効：USB ポートが無効であることを示します。</p>
デバイス種別	<p>USB デバイスが接続されている場合、そのデバイス種を次の種別で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LCD タッチコンソール • CD-ROM デバイス • ディスクデバイス • 大容量記憶装置（フラッシュメモリ）
USB バージョン	USB バージョン（1.1 または 2.0）を表示します。

[USB デバイス] タブ - アクションボタン

[アンマウント]

選択した USB デバイスのマウントを解除する場合に使用します。

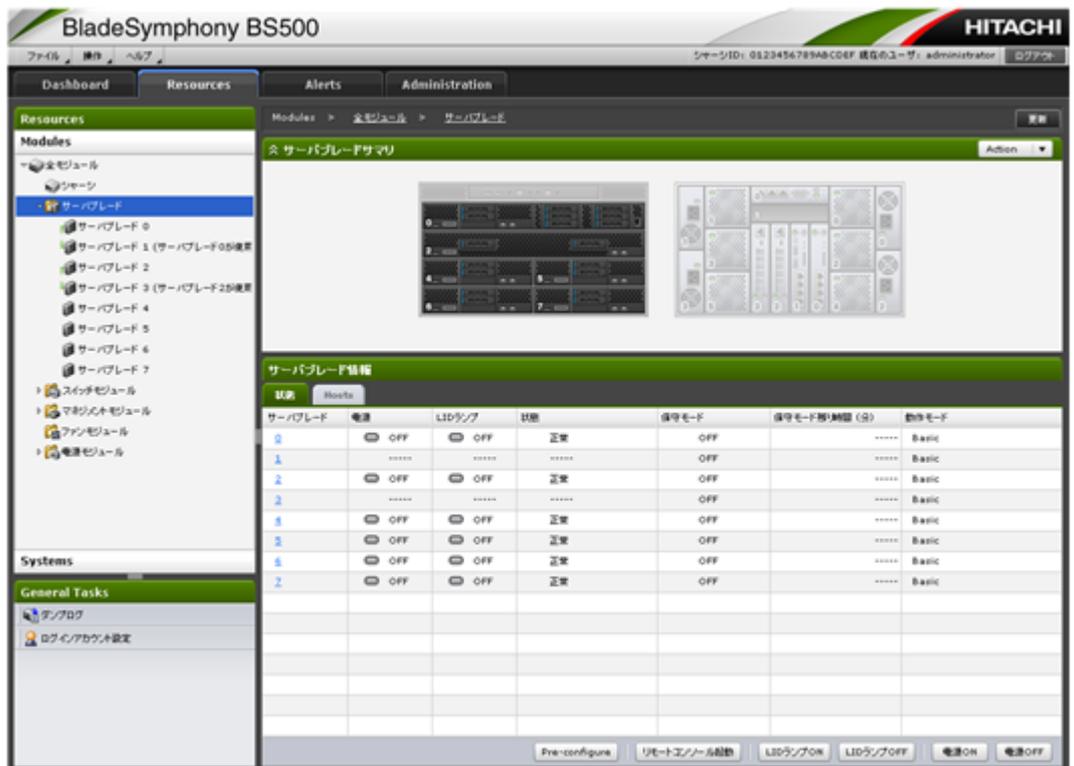
マウントを解除しないでデバイスを取り外した場合、USB デバイスが破損する場合がありますので、必ずマウントを解除してから USB デバイスを取り外してください。

LCD タッチコンソールはマウント解除できません。

LCD タッチコンソールからログアウトしてから取り外してください。

3.3 サーバブレード一覧

搭載されているすべてのサーバブレードの動作状態の表示と操作を実施します。すべて、または選択した複数のサーバブレードに対して、電源操作などの基本的な操作が可能です。

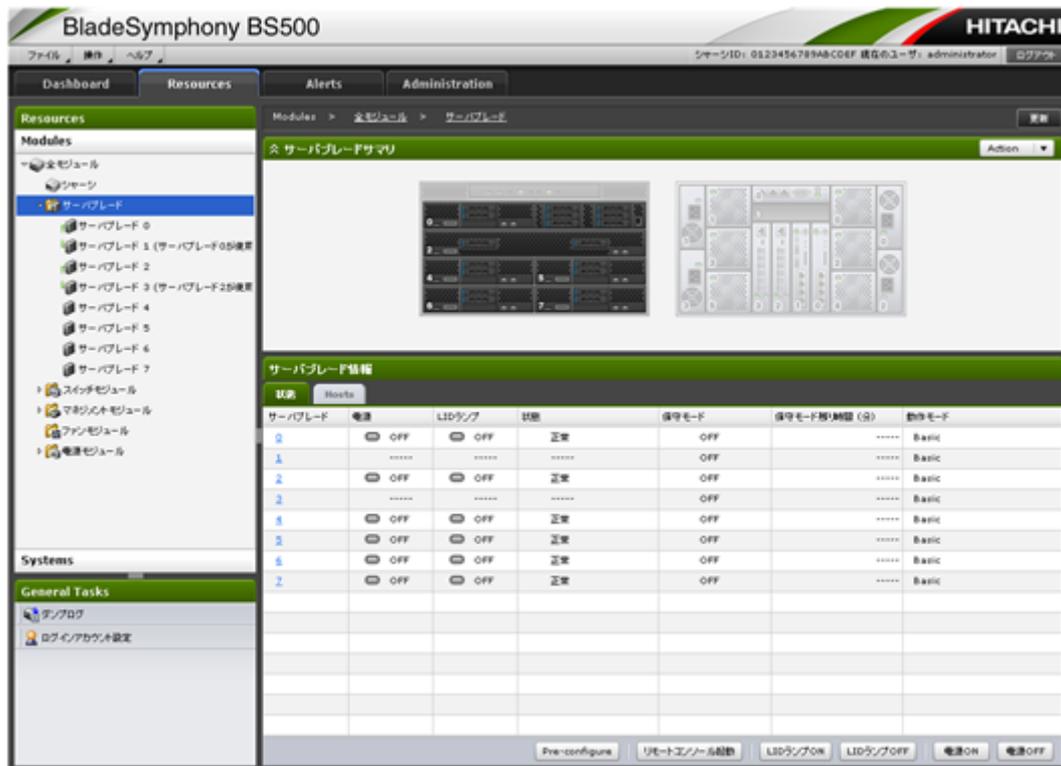


3.3.1 [サーバブレードサマリ]

[サーバブレードサマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	サーバブレードスロットを選択して保守モードに設定します。保守モードは、サーバブレードスロットに対して設定されます。サーバブレードが搭載されている場合には、サーバブレードも保守モードに設定されます。保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	サーバブレードスロットを選択して保守モードを解除します。保守モードの解除は、サーバブレードスロットに対して実施されます。サーバブレードが搭載されている場合には、サーバブレードの保守モードも解除されます。

3.3.2 [状態] タブ



[状態] タブ - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。 次のアイコンは SMP 構成であることを示します。  : プライマリブレードであることを示します。  : ノンプライマリブレードであることを示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : サーバブレードの電源が ON (Pre-configure 中含む) であるか ON 処理中であることを示します。  OFF : サーバブレードの電源が OFF (スリープ状態含む) であることを示します。 ----- : サーバブレードが搭載されていません。または、ノンプライマリブレードが搭載されています。
LID ランプ	LID(識別 LED)点灯状態を表示します。  ON : LID(識別 LED)が点灯していることを示します。  OFF : LID(識別 LED)が消灯していることを示します。 ----- : サーバブレードが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : サーバブレードが正常であることを示します。  警告 : サーバブレードが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。  障害 : サーバブレードが障害状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。 ----- : サーバブレードが搭載されていません。

表示	説明
保守モード	 ON : サーバブレードが保守モードに設定されていることを示します。 OFF : サーバブレードが保守モードに設定されていないことを示します。
保守モード残り時間(分)	サーバブレードが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。
動作モード	OS 動作モードを表示します。 Basic : HVM 以外の OS が起動します。 HVM : HVM が起動します。 ----- : サーバブレードが搭載されていません。または、ノンプライマリブレードが搭載されています。

[状態] タブ - アクションボタン

[Pre-configure]

選択したサーバブレードで Pre-configure を実行します。複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[リモートコンソール起動]

選択したサーバブレードのリモートコンソールを起動します。リモートコンソールは別ウィンドウで開きます。複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[LID ランプ ON]

複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[LID ランプ OFF]

選択したサーバブレードの LID(識別 LED)を消灯します。
 複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[電源 ON]

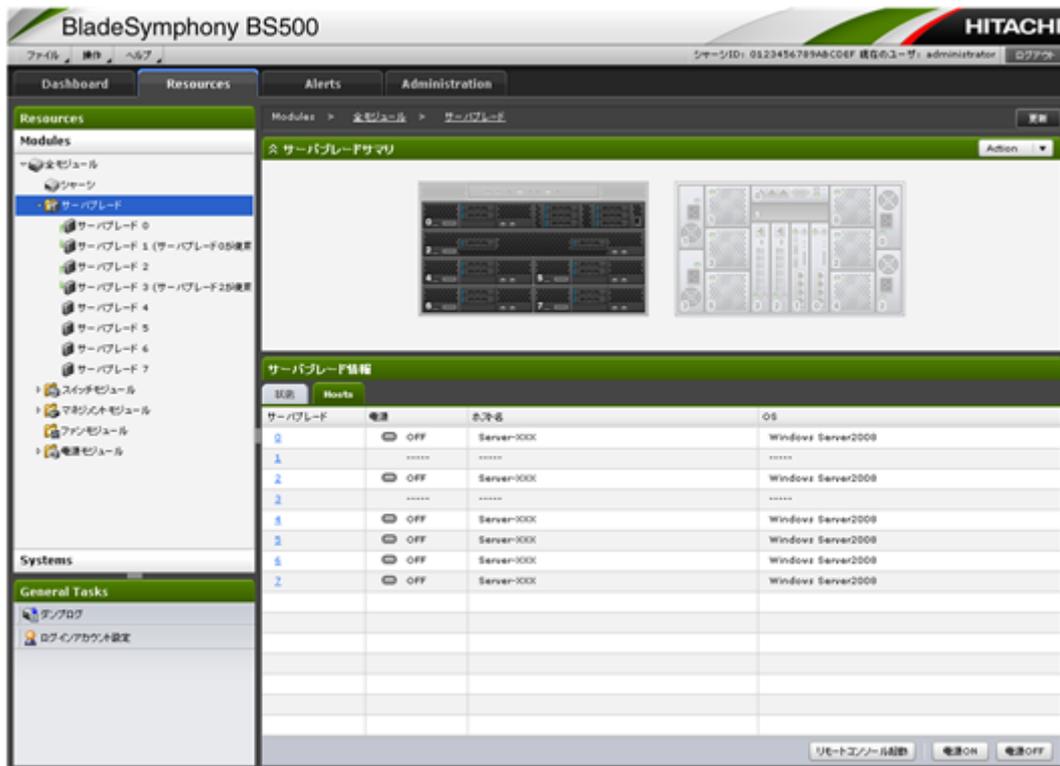
選択したサーバブレードの電源を ON します。複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[電源 OFF]

選択したサーバブレードをシャットダウンし電源を OFF します。
 複数のサーバブレードを選択して実行することができます。
 動作中の OS の設定によっては電源が OFF しない場合があります。ご使用に際しては、OS の設定を確認してください。

 **参考** BS500 Web コンソール管理ツールを使用している場合、[リモートコンソール起動] を実行すると、サーバブレードの Web コンソールのログイン画面が表示されます。サーバブレードへの接続については、マニュアル「*BladeSymphony BS500 リモートコンソール ユーザーズガイド*」を参照してください。また、サーバブレードの選択は1つだけにしてください。

3.3.3 [Hosts] タブ



[Hosts] タブ - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。 次のアイコンは SMP 構成であることを表します。  : プライマリブレードであることを示します。  : ノンプライマリブレードであることを示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : サーバブレードの電源が ON (Pre-configure 中含む) であるか ON 処理中であることを示します。  OFF : サーバブレードの電源が OFF (スリープ状態含む) であることを示します。 ----- : サーバブレードが搭載されていません。または、ノンプライマリブレードが搭載されています。
ホスト名	サーバブレードから取得したホスト名を表示します。 取得できなかった場合は"-----"を表示します。
OS	サーバブレードから取得した OS を表示します。 取得できなかった場合は"-----"を表示します。

[Hosts] タブ - アクションボタン

[リモートコンソール起動]

選択したサーバブレードのリモートコンソールを起動します。リモートコンソールは別ウィンドウで開きます。複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[電源 ON]

選択したサーバブレードの電源を ON します。複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

[電源 OFF]

選択したサーバブレードをシャットダウンし電源を OFF します。

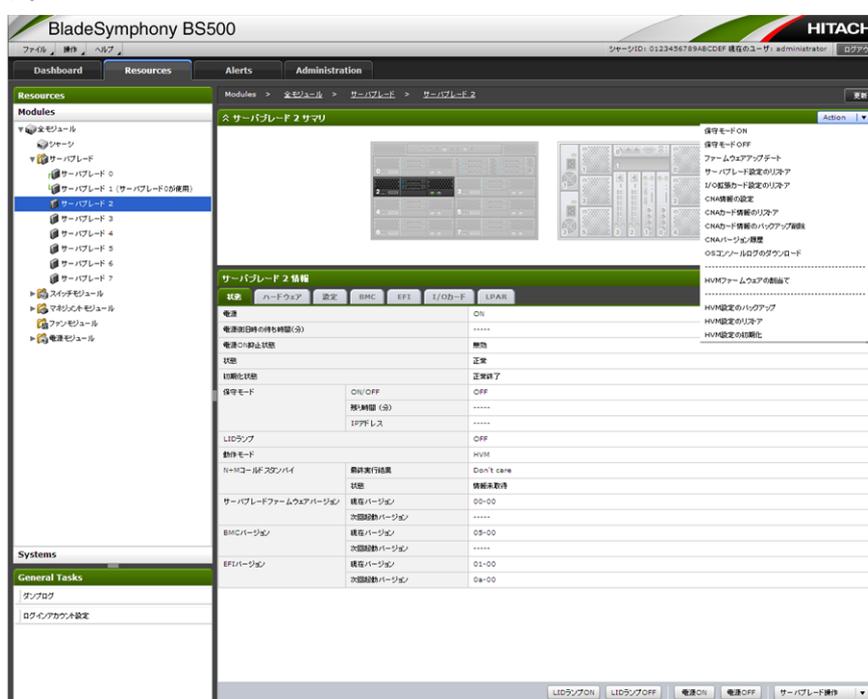
複数のサーバブレードを選択して実行することができます。

動作中の OS の設定によっては電源が OFF しない場合があります。ご使用に際しては、OS の設定を確認してください。

参考 BS500 Web コンソール管理ツールを使用している場合、[リモートコンソール起動] を実行すると、サーバブレードの Web コンソールのログイン画面が表示されます。サーバブレードへの接続については、マニュアル「BladeSymphony BS500 リモートコンソール ユーザーズガイド」を参照してください。また、サーバブレードの選択は 1 つだけにしてください。

3.4 [サーバブレード]

選択した 1 つのサーバブレードの動作状態、ハードウェア情報、構成の表示と、各種操作を実施します。また、BMC, EFI, 搭載されている拡張カード、LPAR もこの画面で設定および操作できます。



3.4.1 [サーバブレード N サマリ]

[サーバブレード N サマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	表示しているサーバブレードスロットを保守モードにします。サーバブレードが搭載されている場合には、サーバブレードも保守モードに設定されます。保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	表示しているサーバブレードスロットの保守モードを解除します。サーバブレードが搭載されている場合には、サーバブレードの保守モードも解除されます。
ファームウェアアップデート	表示しているサーバブレードのファームウェアをアップデートします。表示されるダイアログに従い、アップデートを実行してください。プライマリブレードから操作した場合は、ノンプライマリブレードも同時にアップデートを行います。

表示	説明
サーバブレード設定のリストア	自動でバックアップされたデータを使用して、サーバブレードの BMC, EFI 設定をリストアします。表示されるダイアログに従い、リストアを実行してください。 バックアップは BMC, EFI 設定の変更時, Pre-configure 実行時に自動的に作成され、最大 5 回分保持されます。 バックアップファイルを採取したサーバブレードファームウェアのバージョンより新しいバージョンにアップデートしサーバブレードの設定を復元する際、バックアップファイル採取時のサーバブレードファームウェアでサポートされていなかった機能の設定は、すべてデフォルト値で設定されます。
I/O 拡張カード設定のリストア	自動でバックアップされたデータを利用して、I/O カード設定をリストアします。表示されるダイアログに従いリストアを実行してください。 バックアップは I/O カード設定の変更時, Pre-configure 実行時に自動的に作成され、最大 5 回分保持されます。 次のカードがリストア機能をサポートしています。 ・ ファイバチャネルアダプタ
CNA 情報の設定	保守作業時専用の機能です。通常運用時は使用しないでください。 Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード, オンボード CNA で, N+M 引継ぎ情報の iSCSI 設定のクリアを実施できます。
CNA カード情報のリストア	保守作業時専用の機能です。通常運用時は使用しないでください。 自動でバックアップされたデータを使用して, Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード, オンボード CNA の情報をリストアします。 表示されるダイアログに従い, リストアを実行してください。 バックアップは Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード, オンボード CNA の情報の変更時, Pre-configure 実行時に自動的に作成され, 最大 5 回分保持されます。
CNA カード情報バックアップの削除	保守作業時専用の機能です。通常運用時は使用しないでください。 バックアップされた Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード, オンボード CNA の情報を削除します。 表示されるダイアログに従い, 実行してください。
CNA バージョン履歴	保守作業時専用の機能です。通常運用時は使用しないでください。 Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード, オンボード CNA のバージョンを表示します。
OS コンソールログのダウンロード	OS コンソールログをダウンロードします。SMP 構成の場合は, プライマリブレードを選択してください。 OS コンソールログについては, 「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュールセットアップガイド」を参照してください。
HVM ファームウェアの割り当て	サーバブレードに HVM ファームウェアを割り当てます。 (HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択) ダイアログを表示します) SMP 構成を組んでいる場合は, プライマリブレードに HVM ファームウェアを割り当ててください。
HVM 設定のバックアップ	HVM 構成情報のバックアップファイルを出力します。 (構成情報のバックアップダイアログを表示します) SMP 構成の場合は, プライマリブレードを選択してください。
HVM 設定のリストア	HVM 構成情報をリストアします。 (構成情報のリストアダイアログを表示します) SMP 構成の場合は, プライマリブレードを選択してください。
HVM 設定の初期化	HVM 構成情報を初期化します。 (構成情報の初期化ダイアログを表示します)

3.4.2 [構成情報のバックアップ]



[構成情報のバックアップ] - 表示項目

表示		説明
現在の構成情報のバックアップパネル	—	サーバブレード番号と HVM ファームウェアバージョンを表示します。
	サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。
	HVM ファームウェア	HVM ファームウェアバージョンを表示します。

[構成情報のバックアップ] - アクションボタン

[保存]

HVM 構成情報を保存します。

[キャンセル]

[構成情報のバックアップ] ダイアログを閉じます。

参考

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0145 以降】

バックアップファイルのファイル名称は次のようになります。

hvm-pX-VVRR-YYYYMMDDhhmmss.backup

ここで、X はパーティション(サーバブレード)番号、VVRR は現在割り当てられている HVM バージョンが入ります。

重要 SMP 構成の場合は、プライマリブレードを選択してください。

3.4.3 [構成情報のリストア]



[構成情報のリストア] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。

表示		説明
HVM ファームウェア割り当て	—	現在割り当てられている HVM ファームウェアバージョン、次回起動時に割り当てられる HVM ファームウェアバージョン、およびそれぞれの面番号を表示します。
	Current	現在割り当てられている HVM ファームウェアバージョンと面番号を表示します。
	Next	次回起動時に割り当てられる HVM ファームウェアバージョンと面番号を表示します。
参照ボタン		リストアに使用する HVM 構成情報を選択します。

[構成情報のリストア] - アクションボタン

[確認]

[構成情報のリストア (確認用)] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

[構成情報のリストア] ダイアログを閉じます。



重要 SMP 構成の場合は、プライマリブレードを選択してください。

3.4.4 [構成情報のリストア (確認用)]



[構成情報のリストア (確認用)] - 表示項目

表示		説明
構成情報のリストアパネル	—	サーバブレード番号と HVM ファームウェアバージョンを表示します。
	サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。
	HVM ファームウェア	HVM ファームウェアバージョンを表示します。
	構成情報ファイル	構成情報ファイル名を表示します。

[構成情報のリストア (確認用)] - アクションボタン

[戻る]

[構成情報のリストア] ダイアログに戻ります。

[OK]

HVM 構成情報をリストアします。

[キャンセル]

[構成情報のリストア (確認用)] ダイアログを閉じます。

3.4.5 [構成情報の初期化]



[構成情報の初期化] - 表示項目

表示	説明
初期化対象のサーバブレード情報	—
サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。
HVM ファームウェア	HVM ファームウェアバージョンを表示します。

[構成情報の初期化] - アクションボタン

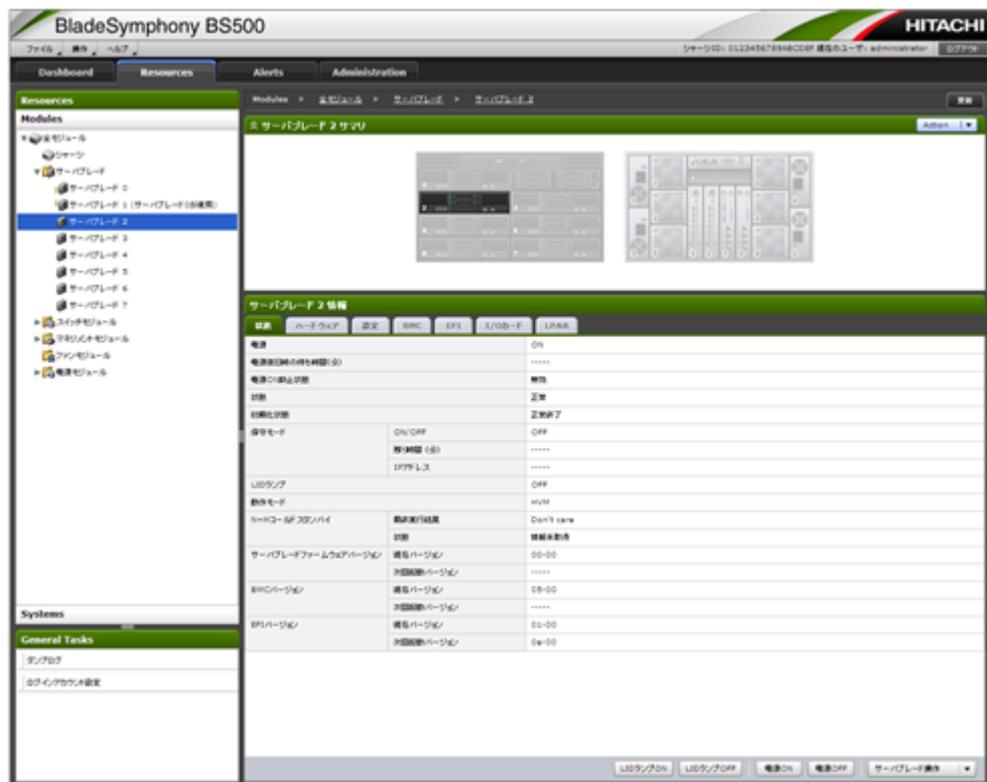
[OK]

HVM 構成情報を初期化します。

[キャンセル]

[構成情報の初期化] ダイアログを閉じます。

3.4.6 [状態] タブ



[状態] タブ - 表示項目

表示		説明
電源		<p>電源状態を表示します。</p> <p>Web コンソールでの電源状態表示は次のとおりです。</p> <p>ON : 電源が ON (Pre-configure 中含む) であることを示します。</p> <p>ON 処理中 : 電源 ON 処理中であることを示します。</p> <p>OFF : 電源が OFF (スリープ状態含む) であることを示します。</p> <p>OFF 処理中 : 電源 OFF 処理中であることを示します。</p>
電源復旧時の待ち時間(分)		<p>電源復旧時の待ち時間が設定されている状態でサーバシャーシの電源を ON した場合のサーバブレード電源 ON までの残り時間を表示します。</p> <p>サーバブレードの電源 ON を解除するためにはサーバブレードに対し電源 OFF を実行してください。</p>
電源 ON 抑止状態		<p>有効</p> <p>サーバブレードの電源 ON が抑止されていることを示します。N+M 切り替え途中に、現用系サーバブレード、予備系サーバブレードで一時的に発生する状態です。</p> <p>無効</p> <p>電源 ON 抑止状態ではありません。</p>
状態		<p>サーバブレードの動作状態を表示します。</p> <p>正常 : サーバブレードが正常であることを示します。</p> <p>警告 : サーバブレードが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。</p> <p>障害 : サーバブレードが障害状態となっていることを示します。イベント一覧で障害内容を確認してください。</p> <p>なお、サーバブレードファームウェアのアップデート中は、末尾に (アップデート中) と付加されます。</p>
初期化状態		<p>サーバブレードの初期化状態を示します。正常終了になっている時、電源操作などが可能となります。</p> <p>未初期化 : 初期化されていないことを示します。</p> <p>正常終了 : 初期化が正常に終了したことを示します。</p> <p>初期化中 : 初期化中であることを示します。</p> <p>再初期化中 : 正常終了後、再度初期化中であることを示します。(BMC リスタート、サーバブレードのファームウェアアップデートなど)</p> <p>初期化エラー : 初期化が失敗したことを示します。</p>
保守モード	ON/OFF	<p>ON : サーバブレードが保守モードに設定されていることを示します。</p> <p>OFF : サーバブレードが保守モードに設定されていないことを示します。</p>
	残り時間(分)	<p>サーバブレードが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。</p>
	IP アドレス	<p>保守員が保守作業中の場合に、保守用の IP アドレスが表示されます。保守用 IP アドレスが設定されている間は、リモートコンソールに接続することはできません。</p>
LID ランプ		<p>LID(識別 LED)点灯状態を表示します。</p> <p>ON : LID(識別 LED)が点灯していることを示します。</p> <p>OFF : LID(識別 LED)が消灯していることを示します。</p> <p>----- : サーバブレードが搭載されていません。</p>
動作モード		<p>サーバブレードで HVM を実行するかどうかを表示します。</p> <p>HVM : HVM を実行します。HVM 設定詳細は LPAR タブに表示されます。</p> <p>Basic : HVM を実行せず、通常の OS を起動します。</p>

表示		説明
N+M コールドスタンバイ	最終実行結果	最後に Pre-configure を実行した際の実行結果を表示します。 OK：最終実行時に成功したことを示します。このままサーバブレードは使用可能です。 NG：最終実行時に失敗したことを示します。状態に応じて Pre-configure または電源 ON を実行してください。 Don't care：Pre-configure が無効であることを示します。
	状態	情報未取得：サーバシャーシ電源 ON 以降または、サーバブレード構成変更以降、Pre-configure を実行していないことを示します。 情報取得中：Pre-configure が手動または自動で実行されていることを示します。 情報有効：Pre-configure の実行が完了していることを示します。 情報未設定：N+M コールドスタンバイ切り替えが発生しましたが、切り替え先、または復帰先のサーバブレードがまだ起動していない状態であることを示しています。 N+M コールドスタンバイ切り替えまたは復帰に一時的に発生する状態です。
サーバブレードファームウェアバージョン	現在のバージョン	現在のサーバブレードファームウェアのバージョンを表示します。
	次回起動バージョン	次回起動時に使用するサーバブレードファームウェアのバージョンを表示します。サーバブレードファームウェアのアップデートを実施した後にのみ表示されます。
BMC バージョン	現在のバージョン	現在の BMC のバージョンを表示します。
	次回起動バージョン	次回起動時に使用する BMC のバージョンを表示します。サーバブレードファームウェアのアップデートを実施した後にのみ表示されます。
EFI バージョン	現在のバージョン	現在の EFI のバージョンを表示します。
	次回起動バージョン	次回起動時に使用する EFI のバージョンを表示します。サーバブレードファームウェアのアップデートを実施した後にのみ表示されます。

【状態】 タブ - アクションボタン

【LID ランプ ON】

選択したサーバブレードの LID(識別 LED)を点灯します。
サーバブレードを選択していない場合、ボタンは非活性となります。

【LID ランプ OFF】

選択したサーバブレードの LID(識別 LED)を消灯します。
サーバブレードを選択していない場合、ボタンは非活性となります。

【電源 ON】

選択したサーバブレードの電源を ON します。

【電源 OFF】

選択したサーバブレードの電源を OFF します。
動作中の OS の設定によっては電源が OFF しない場合があります。ご使用に際しては、OS の設定を確認してください。

【強制電源 OFF】

選択したサーバブレードの電源を強制的に OFF します。

[電源 ON 抑止解除]

選択したサーバブレードの電源 ON 抑止状態を解除します。

N+M 切り替えが途中で失敗した場合に電源 ON 抑止状態になる場合があります。

[リセット]

選択したサーバブレードにハードリセットを実行します。

[NMI 発行]

選択したサーバブレードで動作中の OS に対して NMI (Non-Maskable Interrupt) を発行します。

[Pre-configure 実行]

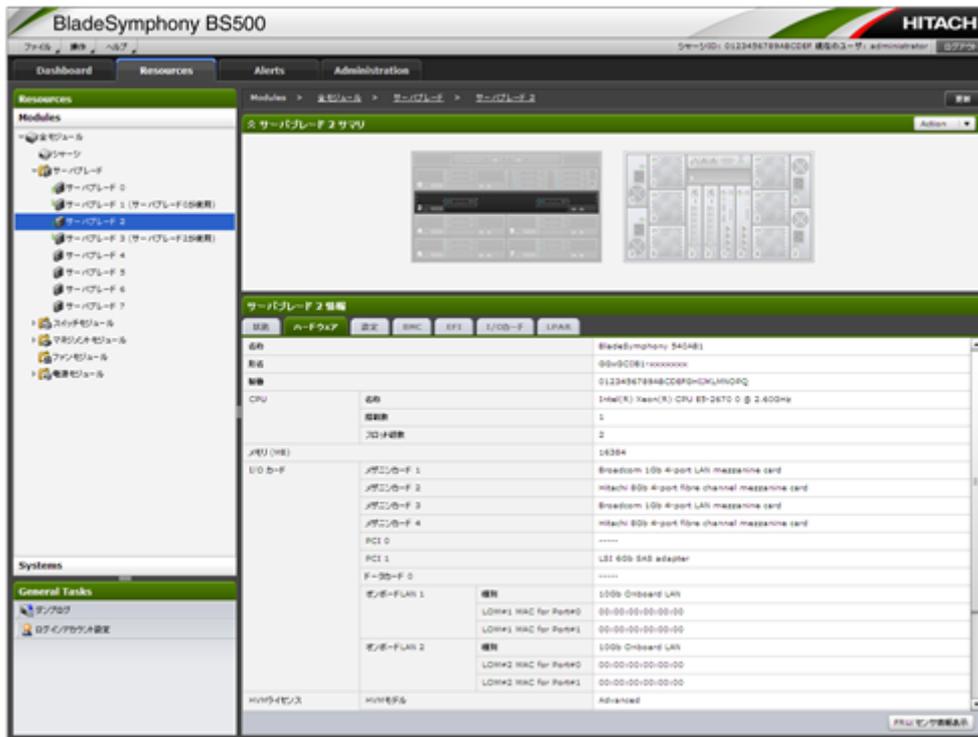
選択したサーバブレードで Pre-configure を実行します。

[リモートコンソール起動]

選択したサーバブレードのリモートコンソールを起動します。

参考 BS500 Web コンソール管理ツールを使用している場合、[リモートコンソール起動] を実行すると、サーバブレードの Web コンソールのログイン画面が表示されます。サーバブレードへの接続については、マニュアル「BladeSymphony BS500 リモートコンソール ユーザーズガイド」を参照してください。

3.4.7 [ハードウェア] タブ



[ハードウェア] タブ - 表示項目

SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合は、以下のように表示します。

表 3-1 SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合の表示項目

表示	説明
名称	サーバブレードの名称を表示します。

表示		説明	
		「3.4.9」で資産管理タグを設定した場合は、「資産管理タグ (サーバブレードの名称)」を表示します。	
形名		形名を表示します。	
製番		製造番号を表示します。	
CPU	名称	CPU 名称を表示します。	
	搭載数	CPU 搭載数を表示します。	
	スロット総数	CPU スロットの総数を表示します。	
メモリ(MB)		サーバブレードに搭載されたメモリの合計を MB 単位で表示します。	
I/O カード	メザニンカード 1		拡張カードの名称を表示します。
	メザニンカード 2		拡張カードの名称を表示します。
	メザニンカード 3		拡張カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	メザニンカード 4		拡張カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	PCI 0		PCI カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	PCI 1		PCI カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	ドータカード 0		ドータカードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	オンボード LAN 1	種別	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、種別を表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
		LOM#1 MAC for Port#0	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、ポート 0 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
		LOM#1 MAC for Port#1	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、ポート 1 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
		LOM#1 MAC for Port#2	BS520H サーバブレード B4 または BS520X サーバブレード B1/B2 にオンボード LAN1 が搭載されている場合、ポート 2 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合および上記サーバブレード以外では表示されません。
LOM#1 MAC for Port#3		BS520H サーバブレード B4 または BS520X サーバブレード B1/B2 にオンボード LAN1 が搭載されている場合、ポート 3 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合および上記サーバブレード以外では表示されません。	
オンボード LAN 2		BS540A サーバブレード B1 にオンボード LAN 2 が搭載されている場合、オンボード LAN 1 と同じ内容を表示します。オンボード LAN 2 が搭載されていない場合および上記サーバブレード以外では表示されません。	
HVM ライセンス	HVM モデル	HVM モデル名を表示します。	
	利用可能バージョン上限	利用可能な HVM ファームウェアのバージョンの上限を表示します。	
定格電力(W)		サーバブレードの定格電力を表示します。	
重量 (kg)		サーバブレードの重量を表示します。	
UUID		サーバブレードの UUID を表示します。	

表示		説明
BMC MAC アドレス		BMC の MAC アドレスを表示します。
拡張部	名称	拡張部の名称を表示します。拡張部が搭載されていない場合は表示しません。
	形式	拡張部の形式を表示します。拡張部が搭載されていない場合は表示しません。
	製番	拡張部の製番を表示します。拡張部が搭載されていない場合は表示しません。
静音モード		サーバブレードの静音モードサポートの有無を表示します。
LOM		サーバブレードの LOM サポートの有無を表示します。

SMP 構成のサーバブレードを選択した場合は、以下のように表示します。

表 3-2 SMP 構成のサーバブレードを選択した場合の表示項目

表示		説明	
名称		名称を表示します。	
形名		形名を表示します。	
製番		製造番号を表示します。	
CPU	名称	CPU 名称を表示します。	
	搭載数	指定したサーバブレードの CPU 搭載数を表示します。	
	スロット総数	指定したサーバブレードの CPU スロット数を表示します。	
CPU (SMP 構成)	搭載数	SMP 構成の全サーバブレードの CPU の総搭載数を表示します。 プライマリブレード選択時のみ表示します。	
	スロット数	SMP 構成の全サーバブレードの CPU スロットの総数を表示します。 プライマリブレード選択時のみ表示します。	
メモリ (MB)		サーバブレードに搭載されたメモリの合計を MB 単位で表示します。	
メモリ (SMP 構成)(MB)		SMP 構成に搭載されたメモリの合計を MB 単位で表示します。 プライマリブレード選択時のみ表示します。	
I/O カード	メザニンカード 1		拡張カードの名称を表示します。
	メザニンカード 2		拡張カードの名称を表示します。
	メザニンカード 3		拡張カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	メザニンカード 4		拡張カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	PCI 0		PCI カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	PCI 1		PCI カードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	ドータカード 0		ドータカードの名称を表示します。搭載されていない場合は表示しません。
	オンボード LAN 1	種別	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、種別を表示します。

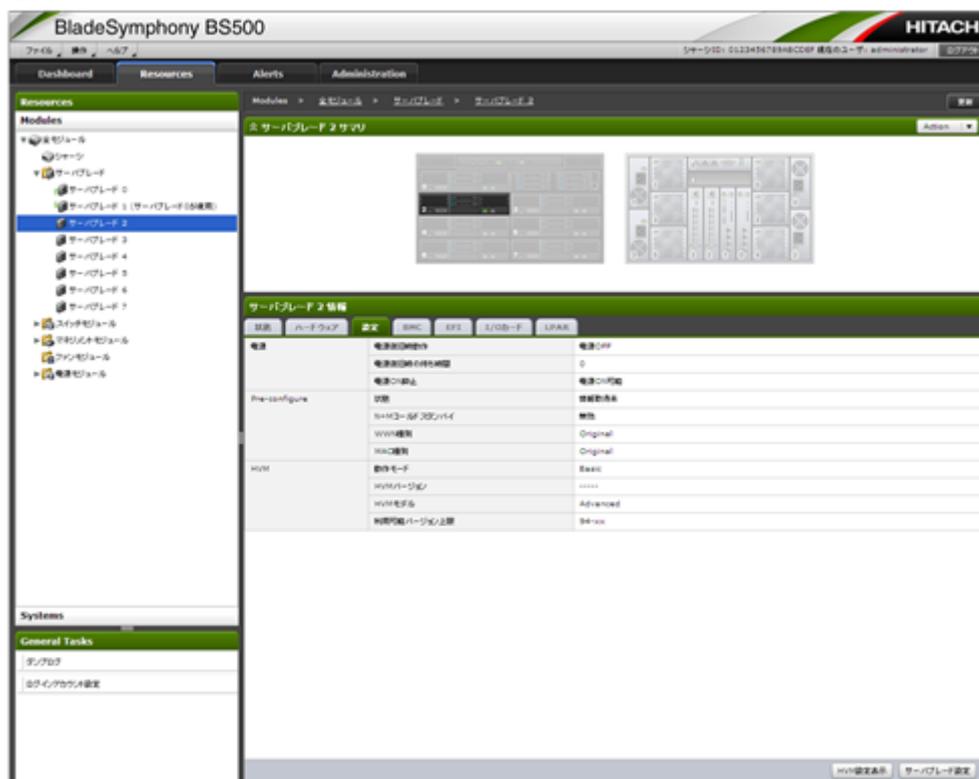
表示		説明
		オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
	LOM#1 MAC for Port#0	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、ポート 0 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
	LOM#1 MAC for Port#1	オンボード LAN 1 が搭載されている場合、ポート 1 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN 1 が搭載されていない場合、表示されません。
	LOM#1 MAC for Port#2	オンボード LAN1 が搭載されている場合、ポート 2 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN1 が搭載されていない場合、表示されません。
	LOM#1 MAC for Port#3	オンボード LAN1 が搭載されている場合、ポート 3 の MAC アドレスを表示します。オンボード LAN1 が搭載されていない場合、表示されません。
HVM ライセンス	HVM モデル	HVM モデル名を表示します。
	利用可能バージョン上限	利用可能な HVM ファームウェアのバージョンの上限を表示します。
定格電力(W)		サーバブレードの定格電力を表示します。
重量 (kg)		サーバブレードの重量を表示します。
UUID		サーバブレードの UUID を表示します。
BMC MAC アドレス		BMC の MAC アドレスを表示します。
静音モード		サーバブレードの静音モードサポートの有無を表示します。
LOM		サーバブレードの LOM サポートの有無を表示します。
SMP 構成	SMP 接続ボード	SMP 接続ボード名称を表示します。
	プライマリブレード番号	プライマリブレード番号を表示します。
	ブレード一覧	SMP 構成の全サーバブレード番号を表示します。

[ハードウェア] タブ - アクションボタン

[FRU / センサ情報表示]

サーバブレードの FRU, センサの値を表示します。

3.4.8 [設定] タブ



[設定] タブ - 表示項目

SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合は、以下のように表示します。

表 3-3 SMP 構成でないサーバブレードを選択した場合の表示項目

表示	説明	
電源	電源復旧時動作	電源 ON : サーバシャーシに電源が供給された際に、サーバブレードの電源を ON することを示します。 電源 OFF : サーバシャーシに電源が供給された際に、サーバブレードの電源を OFF したままにすることを示します。 障害発生前の状態 : サーバシャーシに電源が供給された際に、サーバブレードの電源を前回シャーシの電源が OFF された時点の状態に戻すことを示します。
	電源復旧時の待ち時間	電源復旧時の動作が「電源 ON」、「障害発生前の状態」の場合、サーバブレードの電源を ON するまでの待ち時間を表示します。 待ち時間は、0 分から 60 分の値となります。
	電源 ON 抑止	電源 ON 抑止 : 電源 ON 抑止サーバブレードの電源 ON が抑止されていることを示します。N+M 切り替え途中に、現用系サーバブレード、予備系サーバブレードで一時的に発生する状態です。 電源 ON 可能 : 電源 ON 抑止状態ではありません。
Pre-configure	状態	Pre-configure の実行状態です。 情報取得未/ 情報取得中/ 情報設定未/ 情報有効の値を取ります。
	N+M コールドスタンバイ	N+M コールドスタンバイの有効/ 無効設定です。 有効/ 無効の値を取ります。N+M コールドスタンバイを構築する場合には有効にしてください。 有効にした際に、Pre-configure が一度実行されます。また、有効に設定した場合、サーバシャーシの起動時、サーバブレード挿入時に自動で Pre-configure が実行されるようになります。
	WWN 種別	サーバブレードに搭載されているファイバチャネル拡張カードが使用する WWN を original WWN, additional WWN のいずれかから選択します。N+M コールドスタン

表示		説明
		バイが有効に設定されている場合は、WWN タイプは additional WWN に固定されま す。
	MAC 種別	サーバブレードに搭載されている LAN 拡張カードが使用する MAC アドレスを original MAC, additional MAC のいずれかから選択します。N+M コールドスタンバ イの設定には関係なく選択できます。
HVM	動作モード	サーバブレードの動作モードを表示します。 Basic/HVM の値をとります。 Basic : HVM を使用しないモードです。 HVM : HVM を使用するモードです。
	HVM バージョ ン	サーバブレードの動作モードが HVM の場合、割り当てられている HVM ファームウェ アのバージョンを表示します。 Basic の場合は、"-....."と表示します。
	HVM モデル	HVM モデルを表示します。
	利用可能バー ジョン上限	アップグレード可能な HVM の上限バージョンを表示します。

プライマリサーバブレードを選択した場合は、HVM 欄の [HVM バージョン] [HVM モデル] [利
用可能なバージョン上限] の 3 項目は SMP 構成内の全サーバブレードの情報を表示します。

表 3-4 プライマリサーバブレードを選択した場合の表示項目

表示		説明
電源	電源復旧時動作	電源 ON : サーバシャーシに電源が供給された際に、サーバブレード の電源を ON することを示します。 電源 OFF : サーバシャーシに電源が供給された際に、サーバブ レードの電源を OFF したままにすることを示します。 障害発生前の状態 : サーバシャーシに電源が供給された際に、サー バブレードの電源を前回シャーシの電源が OFF された時点の状態 に戻すことを示します。
	電源復旧時の待ち時間	電源復旧時の動作が「電源 ON」、「障害発生前の状態」の場合、 サーバブレードの電源を ON するまでの待ち時間を表示します。 待ち時間は、0 分から 60 分の値となります。
	電源 ON 抑止	電源 ON 抑止 : 電源 ON 抑止サーバブレードの電源 ON が抑止さ れていることを示します。N+M 切り替え途中に、現用系サーバブ レード、予備系サーバブレードで一時的に発生する状態です。 電源 ON 可能 : 電源 ON 抑止状態ではありません。
Pre-configure	状態	Pre-configure の実行状態です。 情報取得未/ 情報取得中/ 情報設定未/ 情報有効の値を取ります。
	N+M コールドスタンバイ	N+M コールドスタンバイの有効/ 無効設定です。 有効/ 無効の値を取ります。N+M コールドスタンバイを構築する 場合には有効にしてください。 有効にした際に、Pre-configure が一度実行されます。また、有効 に設定した場合、サーバシャーシの起動時、サーバブレード挿入時 に自動で Pre-configure が実行されるようになります。
	WWN 種別	サーバブレードに搭載されているファイバチャネル拡張カードが 使用する WWN を original WWN, additional WWN のいずれかか ら選択します。N+M コールドスタンバイが有効に設定されている 場合は、WWN タイプは additional WWN に固定されます。
	MAC 種別	サーバブレードに搭載されている LAN 拡張カードが使用する MAC アドレスを original MAC, additional MAC のいずれかか ら選択します。N+M コールドスタンバイの設定には関係なく選択で きます。
HVM	動作モード	サーバブレードの動作モードを表示します。

表示		説明
		Basic/HVM の値をとります。 Basic : HVM を使用しないモードです。 HVM : HVM を使用するモードです。
サーバブレード 0	HVM バージョン	サーバブレードの動作モードが HVM の場合、割り当てられている HVM ファームウェアのバージョンを表示します。 Basic の場合は、"-----" と表示します。
	HVM モデル	HVM モデルを表示します。
	利用可能バージョン上限	アップグレード可能な HVM の上限バージョンを表示します。
サーバブレード 2	HVM バージョン	サーバブレードの動作モードが HVM の場合、割り当てられている HVM ファームウェアのバージョンを表示します。 Basic の場合は、"-----" と表示します。
	HVM モデル	HVM モデルを表示します。
	利用可能バージョン上限	アップグレード可能な HVM の上限バージョンを表示します。

【設定】タブ - アクションボタン

[HVM 設定表示]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】

[HVM 設定] ダイアログを表示します。

[HVM 設定] ダイアログの操作説明につきましては、[3.4.42 \[LPAR\] タブ](#)を参照してください。

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】

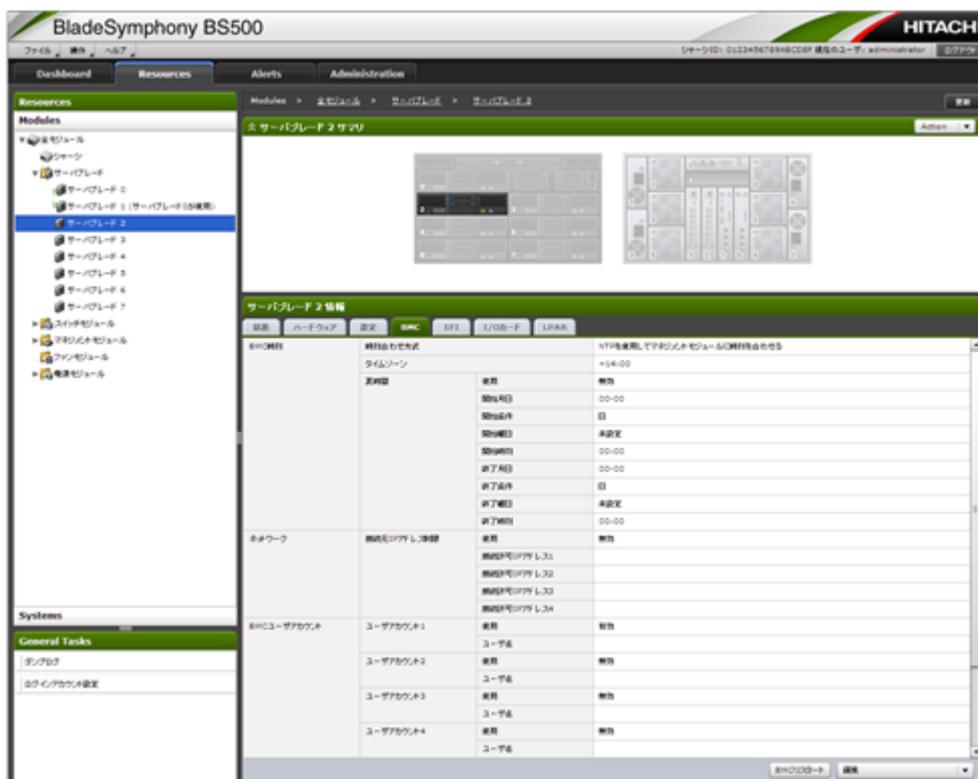
[3.4.14 \[HVM\] タブ](#)に移動します。HVM 設定は [3.4.14 \[HVM\] タブ](#)に表示されます。

[サーバブレード設定]

サーバブレードの動作を設定します。

電源復旧時の動作、Pre-configure について設定できます。

3.4.9 [BMC] タブ



BMC 時刻設定画面

表示		説明
時刻合わせ方式		<p>BMC の時刻合わせ方式を次の選択肢から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手動または IPMI コマンドによる時刻合わせを行う 手動または Set SEL Time コマンドにより時刻合わせを行います。 自動で時刻合わせは行いません。 JP1/SC/Agent を使用する場合、本設定にしてください。 NTP を使用してマネジメントモジュールに時刻を合わせる マネジメントモジュールと定期的に時刻合わせを実施します。 <p>ただし、BS520X サーバブレード B1/B2 および BS520H サーバブレード B5 の場合、NTP を使用した時刻同期だけ選択できます。</p>
タイムゾーン		BMC のタイムゾーンを-12:00~+14:00 の範囲で入力します。
夏時間	使用	BMC の夏時間を有効(Enable)、無効(Disable)から選択します。
	開始月日	MM-DD の形式で入力します。(M, D は 0~9 の数字) 00-00 およびカレンダー上で有効な日付を指定できます。
	開始条件	次の選択肢から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 日 日以降の最初の 日以前の最後の 最終の
	開始曜日	未設定、日、月、火、水、木、金、土から選択します。

表示		説明
	開始時刻	HH:MM の形式で入力します。(H, M は 0~9 の数字) 00:00~23:59 の範囲を指定できます。
	終了月日	設定形式は開始月日と同じです。
	終了条件	次の選択肢から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 日 日以降の最初の 日以前の最後の 最終の
	終了曜日	設定形式は開始曜日と同じです。
	終了時刻	設定形式は開始時刻と同じです。

ネットワーク設定画面

項目		説明
接続元 IPv4 アドレス制限	使用	有効、無効から選択します。 有効を選択した場合、接続許可 IPv4 アドレス 1~4 に設定した IPv4 アドレスからの接続だけを許可します。 無効を選択した場合、どの IPv4 アドレスからも接続を許可します。 ただし、無効を選択した場合でも、接続許可 IPv4 アドレス 1~4 に不正な値が入力されていると設定に失敗します。
	接続許可 IPv4 アドレス 1	BMC への接続を許可する IPv4 アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式または CIDR 形式 (xxx.xxx.xxx.xxx/yy) で入力します。指定した IPv4 アドレスだけを許可したい場合は、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。IPv4 アドレスの上位ビットによってまとめて許可したい場合は、CIDR 形式で入力します。xxx.xxx.xxx.xxx の部分で指定した IPv4 アドレスの先頭から yy で指定したビット数分の数値が共通な IPv4 アドレスをすべて許可します (xxx は 0~255 の数字)。yy の部分にはネットワークアドレスプレフィックス長として 8~30 の数字を指定します。 例：192.168.0.1/16 を指定した場合、192.168.xxx.xxx の形の IPv4 アドレスをすべて許可します。 この設定で接続を制限する機能は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> サーバブレード Web コンソール リモートコンソール IPMI over LAN
	接続許可 IP アドレス 2	
	接続許可 IP アドレス 3	
接続許可 IP アドレス 4		
接続元 IPv6 アドレス制限	使用	有効、無効から選択します。 有効を選択した場合、接続許可 IPv6 アドレス 1~4 に設定した IP アドレスからの接続だけを許可します。 無効を選択した場合、どの IP アドレスからも接続を許可します。 ただし、無効を選択した場合でも、接続許可 IPv6 アドレス 1~4 に不正な値が入力されていると設定に失敗します。
	接続許可 IPv6 アドレス 1	BMC への接続を許可する IPv6 アドレスを 16 ビットごとにコロン (:) で区切った 16 進数による形式 (xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx) またはプレフィックス表記を追加した形式 (xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx/yy) で入力します。アドレスに連続する"0"が存在する場合、""
	接続許可 IPv6 アドレス 2	
	接続許可 IPv6 アドレス 3	

項目		説明
	接続許可 IPv6 アドレス 4	<p>を使用することで省略することができます。省略できるのは 1 個所のみとなります。</p> <p>例：FEDC:0:0:3210:0:0:7654:3210→ FEDC::3210:0:0:7654:3210</p> <p>IPv6 アドレスの上位ビットによってまとめて許可したい場合は、プレフィックス表記を追加した形式で入力します。IPv6 アドレスの先頭から yyy で指定したビット数分の数値が共通な IPv6 アドレスをすべて許可します。yyy の部分にはプレフィックス長として 1～128 の数字を指定します。</p> <p>例：FEDC:BA98:7654:3210:FEDC:BA98:7654:3210/64 または FEDC:BA98:7654:3210::/64 を指定した場合、 <i>FEDC:BA98:7654:3210:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx</i> の形の IPv6 アドレスをすべて許可します。</p> <p>この設定で接続を制限する機能は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバブレード Web コンソール リモートコンソール IPMI over LAN

BMC ユーザアカウント設定画面

表示		説明
パスワードエージング	使用	無効、有効から選択します。
	有効期間 (日)	使用を無効にした場合、0 が設定されます。使用を有効にした場合、有効期間を 1～365 の範囲で入力します。
ユーザアカウント 1	使用	無効、有効から選択します。ユーザアカウント 1 は「無効」に設定することはできません。
	ユーザ名	<p>BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2, BS520A サーバブレード A1 および BS540A サーバブレード A1/B1 の場合は、英数字と“.”(ピリオド), “_”(アンダースコア)の記号からなる長さ 1～16 文字の文字列を入力できます。ただし、先頭は英数字のみを指定できます。</p> <p>BS520X サーバブレード B1/B2 および BS520H サーバブレード B3/B4 の場合は、英数字と._\$-+=*%?@/!'~;^()[]{} ` からなる長さ 1～16 文字の文字列を入力できます。<> & # "\ (空白) は使用できません。ただし、先頭は英数字のみを指定できます。</p> <p>BS520H サーバブレード B5 の場合は、英数字、および._\$-+=*%?@!~;^()[]{} ` からなる長さ 1～16 文字の文字列を入力できます。<> & # "/ \ ' (空白) は使用できません。ただし、先頭は英数字のみを指定できます。</p>
	パスワード	<p>英数字、および“&”を除く記号を入力できます。1～20 文字の文字列を入力できます。</p> <p>BS520X サーバブレード B1/B2 の場合は、英数字、および記号 (以下の使用できない記号を除く) からなる長さ 1～20 文字の文字列を入力できます。</p> <p>使用できない記号：<> & # " (空白)</p> <p>入力が無い場合はパスワード変更なしとなります。</p>
	パスワード (確認)	パスワードと同じ文字列を入力します。

表示		説明
	パスワードの有効期限	パスワードの有効期限を表示します。パスワードエージング機能の使用を「有効」に設定した状態で、有効期限を過ぎた場合、パスワードを再設定する必要があります。
ユーザアカウント 2	使用	ユーザアカウント 1 に同じです。 ただし、ユーザアカウント 2~4 では、「使用」を「無効」に設定できます。
	ユーザ名	
	パスワード	
	パスワード (確認)	
	パスワードの有効期限	
ユーザアカウント 3	使用	
	ユーザ名	
	パスワード	
	パスワード (確認)	
	パスワードの有効期限	
ユーザアカウント 4	使用	
	ユーザ名	
	パスワード	
	パスワード (確認)	
	パスワードの有効期限	

IPMI ユーザアカウント設定画面

表示		説明
パスワードエージング	使用	無効, 有効から選択します。
	有効期間 (日)	使用を無効にした場合, 0 が設定されます。 使用を有効にした場合, 有効期間を 1~365 の範囲で入力します。
ユーザアカウント 1	使用	無効, 有効から選択します。
	ユーザ名	BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2, BS520A サーバブレード A1 および BS540A サーバブレード A1/B1 の場合は, 英数字と“.”(ピリオド), “_”(アンダースコア)の記号からなる長さ 1~16 文字の文字列を入力できます。ただし, 先頭は英数字のみを指定できます。 BS520X サーバブレード B1/B2 および BS520H サーバブレード B3/B4 の場合は, 英数字と._\$-+=*%?@/!~;^()[]{} ` からなる長さ 1~16 文字の文字列を入力できます。<> & # "\ (空白) は使用できません。ただし, 先頭は英数字のみを指定できます。 BS520H サーバブレード B5 の場合は, 英数字, および._\$-+=*%?@/!~;^()[]{} ` からなる長さ 1~16 文字の文字列を入力できます。<> & # "/\ ', (空白) は使用できません。ただし, 先頭は英数字のみを指定できます。
	パスワード	英数字, および“&”を除く記号を入力できます。 1~20 文字の文字列を入力できます。

表示		説明
		BS520X サーバブレード B1/B2 の場合は、英数字および記号（以下の使用できない記号を除く）からなる長さ 1～20 文字の文字列を入力できます。 使用できない記号： <>&#" (空白) 入力が無い場合はパスワード変更なしとなります。
	パスワード(確認)	パスワードと同じ文字列を入力します。
	権限	以下の権限レベルを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Administrator (初期値) • Operator • User • Callback • NO ACCESS
	パスワードの有効期限	パスワードの有効期限を表示します。パスワードエージング機能の使用を「有効」に設定した状態で、有効期限を過ぎた場合、パスワードを再設定する必要があります。
ユーザアカウント 2	使用	ユーザアカウント 1 に同じです。 ただし、ユーザアカウント 2～9 では、ユーザ名を変更することができます。
	ユーザ名	
	パスワード	
	パスワード(確認)	
	権限	
	パスワードの有効期限	
:	:	
ユーザアカウント 9	使用	
	ユーザ名	
	パスワード	
	パスワード(確認)	
	権限	
	パスワードの有効期限	

サーバブレード Web コンソール設定画面

表示		説明
使用		無効、有効から選択します。 サーバブレード Web コンソールは、https での接続のみサポートしています。 無効にすると、BMC は https 接続を破棄するようになります。 また、リモートコンソールを起動できなくなります。
ログイン許可		無効、有効から選択します。 デフォルト値は有効です。 無効にすると、https 接続は受け付けますが、ログインは不可になります。
HTTPS ポート番号		サーバブレード Web コンソールのポート番号です。 443 を表示します。ポート番号を変更することはできません。
TLS バージョン	TLS v1.0	無効、有効から選択します。 無効にした場合、Web コンソールやリモートコンソールから該当する SSL/TLS のバージョンを使って、サーバブレードに接続することはできません。
	TLS v1.1	
	TLS v1.2	

表示		説明
		セキュリティの強度を「高」に設定した場合、TLS v1.2 を使った暗号通信が実行できます。ただし、ほかのバージョンによる通信は無効となります。

リモートコンソール設定画面

表示		説明
使用		無効、有効から選択します。 無効にすると、BMC は KVM/vMedia クライアントからの接続要求を破棄するようになります。
ポート番号	KVM ポート番号 CD メディアポート番号 FD メディアポート番号 HD メディアポート番号	KVM/vMedia クライアントからの接続要求を受け付けるポート番号を入力します。 1024～65535 の範囲のポート番号を指定します。
TLS バージョン	TLS v1.0 TLS v1.1 TLS v1.2	無効、有効から選択します。 無効を選択した場合、当該バージョンの TLS を用いたリモートコンソールの接続はできません。 セキュリティ強度を「高」に設定した場合は、TLS1.2 だけ有効になり、ほかのバージョンは無効に固定されます。

重要 リモートコンソールのポート番号として次の番号は使用できません。

- BS520H サーバブレード B5 以外の場合
5985, 5986, 5988, 5989
- BS520H サーバブレード B5 の場合
5120, 5122, 5123, 7578

リモートコンソールを使用するには、ポート番号をこれら以外の番号に設定してください。

重要 CD メディアポート番号、FD メディアポート番号、HD メディアポート番号設定は、次のサーバブレードでだけサポートしています。次のサーバブレード以外では、KVM ポート番号はポート番号と表示されます。

- BS520H サーバブレード B5

IPMI over LAN 設定画面

表示		説明
使用		無効、有効から選択します。 無効にすると、BMC は RMCP/RMCP+のパケットを破棄するようになります。
ポート番号		623 を表示します。ポート番号を変更することはできません。
IPMI over LAN v1.5 と null アカウントの接続		無効、有効から選択します。 無効に設定した場合、IPMI over LAN v1.5 によるセッションの確立は行えません。また、null ユーザ名、null パスワードの設定および null ユーザ名、null パスワードを使用したユーザ認証は行えません。 セキュリティ強度を「高」に設定した場合は、本項目は無効に固定されます。
RMCP+ messaging cipher suite privilege levels	Cipher suite ID0	以下の権限レベルを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Callback

表示		説明
		<ul style="list-style-type: none"> • User • Operator • Administrator(初期値) セキュリティ強度を「高」に設定した場合は、本項目は無効に固定されます。
	Cipher suite ID3	以下の権限レベルを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Callback • User • Operator • Administrator(初期値) セキュリティ強度を「高」に設定した場合も権限レベルを選択することができます。
	Other cipher suite IDs	無効、Get/Set LAN Configuration Parameters コマンドにより設定を行うから選択できます。 Cipher suite ID0, 3 以外の全ての Cipher suite ID が無効になっている場合、無効と表示されます。それ以外の場合は Get/Set LAN Configuration Parameters コマンドにより設定を行うと表示されます。 本項目を無効に設定すると、Cipher suite ID0, 3 以外の Cipher suite ID は全て無効となります。 セキュリティ強度を「高」に設定した場合は、本設定は無効に固定されます。

資産管理情報設定画面

表示	説明
資産管理タグ	サーバブレードの資産管理タグを設定します。 最大 63 文字の英数字および記号が入力できます。

TLS 設定画面

表示		説明
TLS バージョン	SSLv3	無効、有効から選択します。
	TLSv1.0	有効に設定した場合、当該バージョンの SSL/TLS を用いてサーバブレード Web コンソールおよびリモートコンソールに接続します。
	TLSv1.1	
	TLSv1.2	無効に設定した場合、当該バージョンの SSL/TLS を用いたサーバブレード Web コンソールおよびリモートコンソールの接続は行えません。 セキュリティ強度を「高」に設定した場合は、TLSv1.2 のみ有効になり、他は無効に固定されます。

BMC ホスト名設定画面

表示	説明
ホスト名	ホスト名には、英数字および「-」（ハイフン）の記号を指定できます。指定できる長さは 1～63 文字です。 ただし、先頭末尾は英数字のみを指定できます。 ホスト名のデフォルト値はサーバブレードの製品番号になります。 サーバブレードの出荷時期によってホスト名のデフォルト値が DCMI<MAC アドレス>になることがあります。サーバブレードの保守交換が行われたときホスト名が DCMI<MAC アドレス>または保守

表示	説明
	部品のサーブブレードの製品番号になることがあります。いずれの場合もホスト名のデフォルト値が重複することはありません。
ドメイン名	ドメイン名には、英数字および"."(ピリオド), "-"(ハイフン)の記号を指定できます。指定できる長さは1~63文字です。ドメイン名の指定は省略できます。 ただし、ドメイン名の最初と最後の文字には英数字だけが指定できます。また、"."(ピリオド)を連続して指定できません。

エラーリカバリ設定画面

表示	説明
電力異常	電力異常が発生した場合に BMC が実施するアクションを、以下から選択できます。ただし、DCMI モード有効時は ME リスタートは動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> 最低 CPU 周波数で動作（初期値） ME リスタート
CPU 周波数異常	CPU 周波数異常が発生した場合に BMC が実施するアクションを、以下から選択できます。ただし、DCMI モード有効時はどのアクションも動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> ME リスタート（初期値） N+M コールドスタンバイ NMI 発行 強制電源 OFF 何もしない

証明書設定 - 現在の証明書情報

項目	設定	
バージョン	証明書バージョンを表示します。 1~3 のいずれかの値となります。	
シリアル番号	鍵のシリアル番号を表示します。	
公開鍵のアルゴリズム・鍵長	SSL 公開鍵に使用しているアルゴリズム、鍵長を表示します。 使用可能なアルゴリズム、鍵長は RSA, 2048 ビットです。	
証明書の発行日時	証明書の発行日時を表示します。	
証明書の有効期限	証明書の有効期限を表示します。	
発行者	一般名 (CN)	認証局 (発行者) を表示します。
発行対象	国 (C)	国名を示す 2 文字の英字を表示します。
	州・県名 (ST)	州、県名を表示します。 最大 30 文字で、英数字、(空白), !, (,), +, ,, -, ., /, :, =, ? の文字が使用できます。
	都市・地域名 (L)	都市、地域名を表示します。 最大 50 文字で、英数字、(空白), !, (,), +, ,, -, ., /, :, =, ? の文字が使用できます。
	組織名 (O)	組織名 (会社名) を表示します。 最大 60 文字で、英数字、(空白), !, (,), +, ,, -, ., /, :, =, ? の文字が使用できます。
	組織単位 (OU)	組織単位名 (部署名) を表示します。 最大 60 文字で、英数字、(空白), !, (,), +, ,, -, ., /, :, =, ? の文字が使用できます。

項目		設定
	一般名 (CN)	入力必須です。 一般名 (マネジメントモジュール接続時のドメイン名) を表示します。最大 60 文字で、英数字、(空白), ' , (,) , + , , , - , . の文字が使用できます。
	メールアドレス	メールアドレスを表示します。 表示できる ASCII 文字が使用できます。
	DN 修飾子	DN 修飾子を表示します。 最大 60 文字で、英数字、(空白), ' , (,) , + , , , - , . , / , ; , = , ? の文字が使用できます。
	姓	姓を表示します。 最大 60 文字で、英数字、(空白), ' , (,) , + , , , - , . , / , ; , = , ? の文字が使用できます。
	名	名を表示します。 最大 60 文字で、英数字、(空白), ' , (,) , + , , , - , . , / , ; , = , ? の文字が使用できます。
	イニシャル	イニシャルを表示します。 最大 20 文字で、英数字、(空白), ' , (,) , + , , , - , . , / , ; , = , ? の文字が使用できます。
SHA1 フィンガープリント		証明書のフィンガープリント (指紋) を表示します。 指紋は (SHA1 アルゴリズムによる 20 バイトのハッシュ値) です。

証明書設定 - アクションボタン

[CSR 作成]

SSL サーバ証明書を発行するための署名要求 (Certificate Signing Request : CSR) を作成します。

CSR 作成に必要な項目は「CSR 作成時の入力項目」を参照してください。

[サーバ証明書のインポート]

インポート可能な証明書ファイルの形式は PEM 形式です。

インポート完了後、HTTP、HTTPS での接続が最大 15 秒程度不可となります。

[BMC] タブ - アクションボタン

[BMC リスタート]

BMC を再起動します。

再起動の代わりにサーバブレードのサブ電源の OFF→ON することもできます。この場合、サーバブレードの電源が ON の場合、サーバブレードも強制的に電源が OFF されます。

[編集]

BMC 設定項目を編集するアクションボタンのリストが表示されます。次から編集する項目を選択してください。

- [BMC 時刻]
- [ネットワーク]
- [BMC ユーザアカウント]
- [IPMI ユーザアカウント]
- [サーバブレード Web コンソール]

- [リモートコンソール]
- [IPMI over LAN]
- [証明書設定]

編集後に各項目が編集した値に更新されない場合は、しばらく待って [更新] ボタンをクリックしてください。

重要

- プライマリブレードを選択しているときの BMC リスタートはそのサーバブレードのみ、または SMP を構成する全サーバブレードの一括 BMC リスタートが実施できます。一括 BMC リスタートは、サーバブレードのサブ電源 OFF→ON も実施することができます。ノンプライマリブレードを選択しているときは、そのサーバブレードのみ BMC リスタートが実施できます。ノンプライマリブレードからは、サーバブレードのサブ電源 OFF→ON は実施できません。
- JP1/Server Conductor/Blade Server Manager からサーバブレードの電源 ON/OFF を実行する場合、IPMI over LAN のポートの使用許可、または IPMI ユーザアカウント 1 の設定を変更する前に、JP1/Server Conductor/Blade Server Manager にてサーバシャーシを管理対象に登録してください。

重要 ネットワークの IPv6 アドレス設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2/B5
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520X サーバブレード B1 : サーバブレードファームウェア 07-02 以前

重要 BMC ユーザアカウント設定のパスワードエージング機能は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-15 以前
- BS520X サーバブレード B1 : サーバブレードファームウェア 06-22, 07-14 以前

重要 IPMI ユーザアカウント設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 01-60 以前
- BS520A サーバブレード A1 : サーバブレードファームウェア 02-30 以前
- BS540A サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 03-11 以前
- BS520H サーバブレード A2/B2 : サーバブレードファームウェア 04-07 以前

重要 IPMI ユーザアカウントのユーザアカウント 1 は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード B3/B4
- BS520X サーバブレード B1/B2

重要 IPMI ユーザアカウント設定のパスワードエージング機能は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-15 以前
- BS520X サーバブレード B1 : サーバブレードファームウェア 06-22, 07-14 以前

重要 サーバブレード Web コンソールの TLS バージョン設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1

重要 リモートコンソールの TLS バージョン設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520X サーバブレード B1 : サーバブレードファームウェア 06-09 以前

重要 IPMI over LAN 設定の IPMI over LAN v1.5 と null アカウントの接続および、RMCP+ messaging cipher suite privilege levels は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード B3/B4/B5
- BS520X サーバブレード B1/B2

重要 資産管理情報設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 01-91 以前
- BS520H サーバブレード A2/B2 : サーバブレードファームウェア 04-21 以前
- BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-36 以前
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1

重要 TLS 設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 05-02 以前
- BS520H サーバブレード A2/B2 : サーバブレードファームウェア 04-21 以前
- BS520A サーバブレード A1 : サーバブレードファームウェア 02-57 以前
- BS540A サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 03-34 以前
- BS520H サーバブレード B3/B4/B5
- BS520X サーバブレード B1/B2

重要 TLS 設定に関わらず、次のサーバブレードやファームウェアでは SSL3.0 および TLS1.0 は使用できません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1 : サーバブレードファームウェア 05-15 以降
- BS520H サーバブレード A2/B2 : サーバブレードファームウェア 04-59 以降
- BS520A サーバブレード : サーバブレードファームウェア 02-73 以降
- BS540A サーバブレード : サーバブレードファームウェア 03-46 以降

重要 BMC ホスト名設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1
- BS520H サーバブレード A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520X サーバブレード B1
- BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-46 以前
- BS520X サーバブレード B2 : サーバブレードファームウェア 09-27 以前

重要 エラーリカバリ設定の電力異常設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1
- BS520H サーバブレード A2/B2
- BS520A サーバブレード A1
- BS540A サーバブレード A1/B1
- BS520X サーバブレード B1/B2
- BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-90 以前
- BS520H サーバブレード B4 : サーバブレードファームウェア 10-20 以前
- BS520H サーバブレード B5

重要 エラーリカバリ設定の CPU 周波数異常設定は、次のサーバブレードやファームウェアではサポートしていません。

サーバブレードファームウェア

- BS520H サーバブレード A1/B1
 - BS520H サーバブレード A2/B2
 - BS520A サーバブレード A1
 - BS540A サーバブレード A1/B1
 - BS520X サーバブレード B1/B2
 - BS520H サーバブレード B3 : サーバブレードファームウェア 08-84 以前
 - BS520H サーバブレード B4 : サーバブレードファームウェア 10-16 以前
 - BS520H サーバブレード B5
-

3.4.10 証明書設定

サーバブレード BMC の SSL 鍵、証明書の表示、作成、インポートを実施します。



証明書設定 - 表示項目

表示	説明
バージョン	証明書バージョンを表示します。 1~3 のいずれかの値となります。
シリアル番号	鍵のシリアル番号を表示します。
公開鍵のアルゴリズム・鍵長	SSL 公開鍵に使用しているアルゴリズム、鍵長を表示します。 使用可能なアルゴリズム、鍵長は RSA, 2048 ビットです。
証明書の発行日時	証明書の発行日時を表示します。
証明書の有効期限	証明書の有効期限を表示します。
発行者	一般名 (CN) 認証局 (発行者)
発行対象	国 (C) 国名を示す 2 文字の英字を表示します。
	州・県名 (ST) 州、県名を表示します。 最大 30 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。
	都市・地域名 (L) 都市、地域名を表示します。 最大 50 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。
	組織名 (O) 組織名 (会社名) を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。
	組織単位 (OU) 組織単位名 (部署名) を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。
	一般名 (CN) 一般名 (マネジメントモジュール接続時のドメイン名) を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/" の文字が使用できます。 必ず入力する必要があります。
	メールアドレス メールアドレスを表示します。 表示可能な ASCII 文字が使用できます。
DN 修飾子 DN 修飾子を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	

表示		説明
	姓	姓を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	名	名を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	イニシャル	イニシャルを表示します。 最大 20 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
SHA1 フィンガープリント		証明書のフィンガープリント（指紋）を表示します。 指紋は、(SHA1 アルゴリズムによる 20 バイトのハッシュ値) です。

証明書設定 - アクションボタン

[CSR 作成]

SSL サーバ証明書を発行するための署名要求（Certificate Signing Request : CSR）を作成します。

CSR 作成に必要な項目は「[3.4.11 CSR 作成時の入力項目](#)」を参照してください。

[サーバ証明書のインポート]

インポート可能な証明書ファイルの形式は PEM 形式です。

インポート完了後、HTTP、HTTPS での接続が最大 15 秒程度不可となります。

3.4.11 CSR 作成時の入力項目

CSR 作成時は、次の項目を入力することができます。

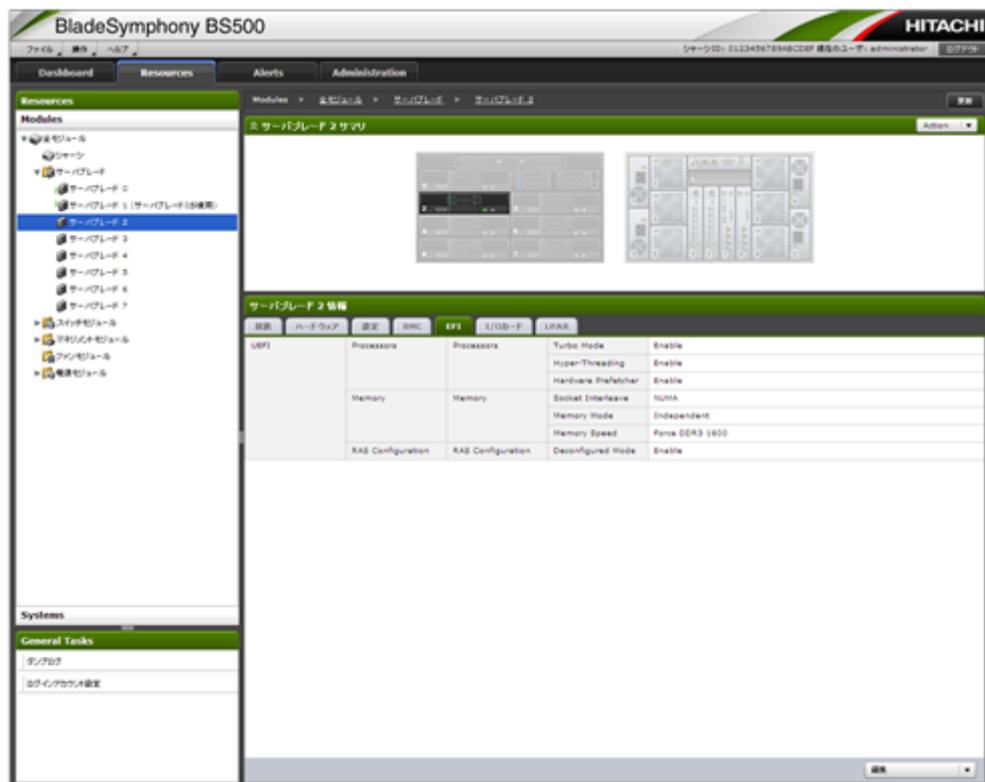
なお、使用可能なアルゴリズム、鍵長、CSR ファイル形式は、RSA、2048 ビット、PEM 形式です。

CSR 作成時の入力項目 - 表示項目

表示		説明
発行対象	国(C)	国名を示す 2 文字の英字を入力します。
	州・県名 (ST)	州、県名を入力します。 最大 30 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	都市・地域名(L)	都市、地域名を入力します。 最大 50 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	組織名(O)	組織名（会社名）を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	組織単位 (OU)	組織単位名（部署名）を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	一般名 (CN)	一般名（マネジメントモジュール接続時のドメイン名）を入力します。最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ";", "-", ".", "/"の文字が使用できます。 必ず入力する必要があります。

表示	説明	
メールアドレス	メールアドレスを入力します。 表示可能な ASCII 文字が使用できます。	
DN 修飾子	DN 修飾子を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	
姓	姓を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	
名	名を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	
イニシャル	イニシャルを入力します。 最大 20 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	
非構造体名称	非構造体名称 (非公式な名称) を入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	
証明書取り消しパスワード	証明書取り消し時のパスワードを入力します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(", ")", "+", ";", "-", ".", "/", ":", "=", "?" の文字が使用できます。	

3.4.12 [EFI] タブ



[EFI] タブ - 表示項目

表 3-5 [EFI] タブの表示項目 (BS520H サーバブレード A1/B1/A2/B2, BS520A サーバブレード A1, BS540A サーバブレード A1/B1 の場合)

表示	説明
Turbo Mode	Turbo Mode の有効, 無効を設定します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Processors→Turbo Mode
Hyper-Threading	Hyper-Threading の有効, 無効を設定します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Processors→Hyper-Threading
Hardware Prefetcher	Hardware Prefetcher の有効, 無効を設定します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Processors→Hardware Prefetcher
Memory Mode	メモリ動作モードを設定します。 次のいずれかを選択します。 Independent : 通常使用の状態です。冗長化されません。 Mirroring : 実装容量の半分をミラーリングとして冗長化します。 Sparing : Rank 単位でメモリの一部をスペアとして冗長化します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Memory→Memory Mode
Memory Speed	メモリスピードの上限を設定します。 実装されているメモリのスピードより高速では動作しません。 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • BS520H サーバブレード A1/B1, BS520A サーバブレード A1, BS540A サーバブレード A1/B1 モデルの場合 <ul style="list-style-type: none"> ◦ Force DDR3 800 ◦ Force DDR3 1333 ◦ Force DDR3 1600 • BS520H サーバブレード A2/B2 モデルの場合 <ul style="list-style-type: none"> ◦ AUTO(自動的に最大周波数を設定) ◦ Force DDR3 800 ◦ Force DDR3 1066 ◦ Force DDR3 1333 ◦ Force DDR3 1600 ◦ Force DDR3 1866 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Memory→Memory Speed
Socket Interleave	NUMA の有効, 無効を設定します。 HVM モードでサーバブレードを稼働する場合は, Non-NUMA に設定することを推奨します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Memory→Socket Interleave
Deconfigured Mode	構成縮退の有効, 無効を設定します。 UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→RAS Configuration→Deconfigured Mode
DDR Voltage Level	メモリの駆動電圧を設定します。 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto • Force to 1.50V • Force to 1.35V UEFI セットアップメニューでの項目名 System Settings→Operating Modes→DDR Voltage Level

BS520X サーバブレード B1/B2, BS520H サーバブレード B3/B4/B5 の場合, [EFI] タブで設定できるブートオーダー, ブートマネージャー, プロセッサ, デバイスと I/O ポート, メモリとセキュア

ブート環境設定などの詳細については、マニュアル「*BladeSymphony BS500 EFI ユーザーズガイド*」を参照してください。

重要

- 次の構成では、DDR Voltage Level に Force to 1.35V を設定した時の動作はサポートしていないので、設定を行わないでください。
 - BS520H サーバブレード A1/B1 CPU 1socket 構成時：DIMM を 9 枚以上搭載
 - BS520H サーバブレード A1/B1 CPU 2socket 構成時：DIMM を 18 枚以上搭載
 - BS540A サーバブレード A1/B1 CPU 2socket 構成時：DIMM を 18 枚以上搭載
 - BS540A サーバブレード A1/B1 CPU 4socket 構成時：DIMM を 36 枚以上搭載
- 1600MT/s 対応の DDR3 RDIMM 使用時に、Memory Speed を Force to 1600 に設定していても、Memory Speed が 1600MT/s とならないケースがあります。
 - DDR Voltage Level に Auto もしくは Force to 1.35V を選択した場合 Memory Speed は 1333MT/s となります。
 - BS520H サーバブレード A1/B1, BS540A サーバブレード A1/B1 にてメモリチャネルあたり 3 枚の DIMM を搭載した場合 Memory Speed は 1066MT/s となります。
- サーバブレードの電源 ON 後、OS が起動するまでの間に設定変更した場合、タイミングによっては設定が反映されない場合があります。
設定変更は、サーバブレード電源 OFF 時もしくは OS 起動後に実施してください。
- Web コンソールからマネジメントモジュールに接続しても、メザニンカードやオンボード LAN の設定はできません。
- UEFI セットアップメニューで UEFI の設定を変更した場合、変更した設定値を Web コンソールに反映するため、OS を再起動してください。

[EFI] タブ - アクションボタン

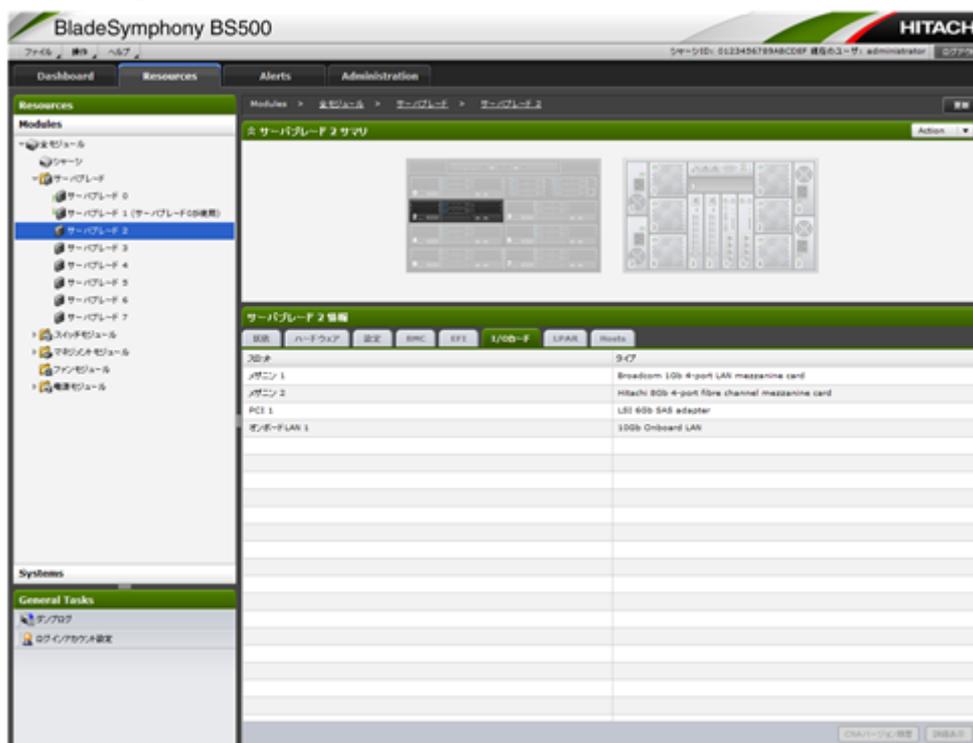
[編集]

EFI 設定項目を編集するアクションボタンのリストが表示されます。編集する項目を選択してください。

編集後に各項目が編集した値に更新されない場合は、しばらく待って [更新] ボタンをクリックしてください。

設定した項目は、次のサーバブレード電源 ON 時に反映されます。

3.4.13 [I/O カード] タブ



[I/O カード] タブ - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	プライマリサーバブレードが選択されたとき、メザニンカードが装着されているサーバブレードの番号が表示されます。
スロット	拡張カードが搭載されているスロット番号を表示します。
タイプ	拡張カードが搭載されている場合、カード名称が表示されます。

[I/O カード] タブ - アクションボタン

[CNA バージョン履歴]

保守作業時専用の機能です。通常運用時は使用しないでください。

Emulex 10Gb CNA/LAN 拡張カード、オンボード CNA のバージョンを表示します。対象の I/O カードを選択した場合に、ボタンが活性になります。

[詳細表示]

拡張カードの設定を表示、変更する際に使用します。

Hitachi ファイバチャネルアダプタを選択した場合に、ボタンが活性になります。

Hitachi ファイバチャネルアダプタの設定は、Basic モードで使用する場合と HVM モードで使用する場合で、使用するタブが異なります。Basic モードの場合は、本タブで設定してください。HVM モードの場合は、3.4.60 [HBA ブート設定] を参照してください。

設定した項目は、次のサーバブレード電源 ON 時に反映されます。

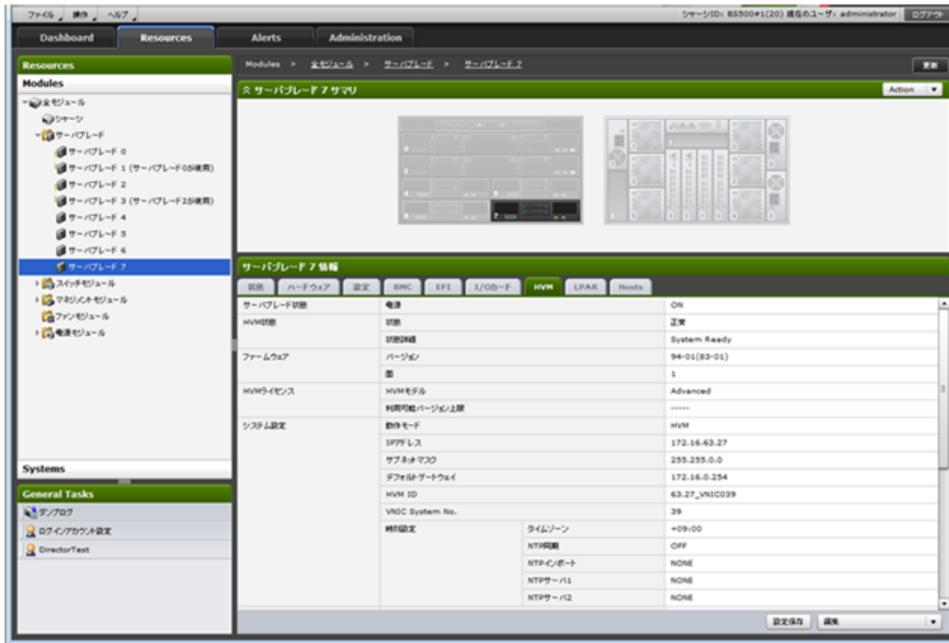
[I/O カード] タブ - 表示項目

表示	説明
HBA BIOS Enable/ Disable	SAN ブート機能有効/無効を設定します。 LU の検出処理を行う場合、有効に設定します。

表示	説明
	<p>通常はブートパスの HBA ポートだけ有効に設定し、他の HBA ポートは無効に設定します。</p> <p>設定可能な値は Enable または Disable で、初期値は Disable です。</p>
Connection Type	<p>コネクションタイプを設定します。</p> <p>ファイバチャネルインタフェースの接続形態を指定します。</p> <p>設定可能な値は Auto, Point to Point, Arbitrated Loop で、初期値は Auto です。</p>
Data Rate(Gbps)	<p>データ転送レートを設定します。</p> <p>ファイバチャネルインタフェースのデータ転送速度を指定します。</p> <p>設定可能な値は、搭載カードにより次の値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi 8Gbps ファイバチャネルアダプタの場合 Auto(初期値), 2Gbps, 4Gbps, 8Gbps Hitachi 16Gbps ファイバチャネルアダプタの場合 Auto(初期値), 4Gbps, 8Gbps, 16Gbps
Login Delay Time(sec)	<p>ログイン前のデレイ時間を設定します。</p> <p>ターゲットポートへのログイン前に、ファイバチャネル接続構成が変更されたことを各装置が認識するまでの想定時間を挿入します。構成の大きさや、高負荷状態を考慮して時間を設定する必要があります。</p> <p>設定可能な値は 0 秒～60 秒で、初期値は 3 秒です。</p>
Persistent Binding	<p>OS ドライバのパーシステントバインディング機能を設定します。</p> <p>OS 上に保存しているパーシステントバインディング設定を、強制的に無効にして OS を起動する場合に、Disable に設定します。</p> <p>本設定は Linux でのみ有効で、ブートドライバは使用しません。</p> <p>また、設定値は全アダプタで統一する必要があります。</p> <p>設定可能な値は Enable または Disable で、初期値は Enable です。</p>
Boot Priority	<p>LU 検出の優先順位設定の有効/無効を設定します。</p> <p>Boot Priority List の有効/無効を設定します。</p> <p>有効に設定された場合、ターゲット LU の検索は Boot Priority List に登録されている LU の中からのみ行い、無効に設定された場合、Boot Device List は無視してカレントの使用可能 LU を検索します。</p> <p>設定可能な値は Enable または Disable で、初期値は Disable です。</p>
HBA ISOL cmd	<p>HBA ポート立ち上げ時の閉塞状態を設定します。閉塞状態で立ち上げる場合に ON に設定します。</p> <p>設定可能な値は ON または OFF で、初期値は OFF です。</p> <p>Hitachi 16Gbps ファイバチャネルアダプタの場合のみ表示されます。</p>
Multiple PortID	<p>Connection Type と組合わせて使用するパラメータで、直結接続構成の接続形態を拡張する場合に Enable に設定します。</p> <p>本パラメータは使用環境の制限および注意事項があり、詳細は「<i>Hitachi Gigabit FibreChannel アダプタユーザーズ・ガイド(BIOS/EFI 編)</i>」を参照してください。</p> <p>設定可能な値は Enable または Disable で、初期値は Disable です。</p> <p>Hitachi 16Gbps ファイバチャネルアダプタの場合のみ表示されます。</p>
Boot Device List	<p>優先順位設定用のターゲット LU のリストです。</p> <p>Boot Priority が Enable に設定されている場合に使用する検索対象ターゲット LU のリストを登録します。</p> <p>リストに登録されたターゲット LU だけが検索対象となり、登録 LU が検出できない場合もカレントの使用可能 LU の検索は行いません。</p> <p>マネジメントモジュールのファームウェアバージョンによって、Priority 開始番号が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファームウェアバージョン A0120 以前：開始番号が 0 (Priority 0～7) ファームウェアバージョン A0125 以降：開始番号が 1 (Priority 1～8)

3.4.14 [HVM] タブ

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】



[HVM] タブ - 表示項目

表示		説明
サーバブレード状態	電源	サーバブレードの電源状態を表示します。
HVM 状態	状態※1	HVM の稼働状態を表示します。 正常：正常に稼働していることを表します。 起動中：HVM を起動していることを表します。 エラー：エラーが発生していることを表します。 警告：警告が発生していることを表します。 状態不明：状態が不明であることを表します。
	状態詳細※1	HVM の稼働状態の詳細メッセージを表示します。 System firmware is starting. EFI の起動中であることを表します。 Starting load f/w image and config files. HVM ファームウェアの読み込みを開始したことを表します。 Load *** function done. 各種設定ファイルを読み込んでいることを表します。 (***には読み込み中の機能を表す文字が入ります) HVM F/W Load completed.

表示		説明	
		<p>HVM ファームウェアの読み込みが完了したことを表します。</p> <p>Starting HVM. HVM の起動を開始したことを表します。</p> <p>System Initializing HVM システムの初期設定中であることを表します。</p> <p>System Ready HVM が正常に稼働していることを表します。</p> <p>The HVM is running in safe mode. HVM がセーフモードで起動していることを表します。</p>	
ファームウェア	バージョン	割り当てた HVM ファームウェアのバージョンを表示します。	
	面	割り当てた面番号を表示します。	
HVM ライセンス	HVM モデル	<p>HVM モデルを表示します。</p> <p>Essential/Advanced/Enterprise の値をとります。</p> <p>Essential :</p> <p>同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 4 です。 (プロセッサグループは、グループ 0 から 3 まで定義できます)</p> <p>Advanced :</p> <p>同時に Activate できる LPAR 数が 30 と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 30 です。 (プロセッサグループは、グループ 0 から 29 まで定義できます)</p> <p>Enterprise :</p> <p>同時に Activate できる LPAR 数が 60 と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 60 です。 (プロセッサグループは、グループ 0 から 59 まで定義できます)</p>	
	利用可能バージョン上限	利用可能な HVM ファームウェアのバージョンの上限を表示します。	
システム設定	動作モード	サーバブレードの動作モードを表示します。	
	IP アドレス(v4)	IP アドレス	HVM IP アドレスを表示します。
		サブネットマスク	サブネットマスクを表示します。

表示			説明
		デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示します。
IP アドレス(v6) ^{※3}	スタティックアドレス	設定	スタティックアドレスを使用するかどうかを表示します。 有効: スタティックアドレスを使用します。 無効: スタティックアドレスを使用しません。
		IP アドレス/プレフィックス長	IP アドレス, プレフィックス長を表示します。 スタティックアドレスが無効に設定されている場合は, "-----"を表示します。
	デフォルトゲートウェイ	使用	デフォルトゲートウェイを使用するかどうかを表示します。 使用する: デフォルトゲートウェイを使用します。 使用しない: デフォルトゲートウェイを使用しません。
		アドレス	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを表示します。 スタティックアドレスが無効, またはデフォルトゲートウェイを使用しないに設定されている場合は, "-----"を表示します。
リンクローカルアドレス	IP アドレス/プレフィックス長	リンクローカルアドレス, プレフィックス長を表示します。 スタティックアドレス設定, ステートレスアドレス設定の両方が無効に設定されている場合は, リンクローカルアドレスは無効になり, "-----"を表示します。	
ステートレスアドレス	設定	ステートレスアドレス自動設定を使用するかどうかを表示します。 有効: ステートレスアドレス自動設定を使用します。 無効: ステートレスアドレス自動設定を使用しません。	
	IP アドレス/プレフィックス長	IP アドレス, プレフィックス長を表示します。 複数のルータが存在する場合, すべてのアドレスが表示されます。 スタティックアドレスが無効に設定されている場合は, "-----"を表示します。	
ルータ探索	デフォルトゲートウェイ	ルータ探索により設定されたデフォルトゲートウェイを表示します。 複数のデフォルトゲートウェイが設定された場合, すべてのデフォルトゲートウェイが表示されません。	

表示			説明
			デフォルトゲートウェイが設定されない場合は,"----"が表示されません。
	HVM・マネジメントモジュール間通信 ※3		HVM とマネジメントモジュール間の通信に使用するプロトコルを表示します。 IPv4: IPv4 を使用します。 IPv6(スタティックアドレス): IPv6 を使用します。
	HVM ID		HVM ID を表示します。
	VNIC System No.		VNIC System No.を表示します。
時刻設定	タイムゾーン		タイムゾーンを表示します。
	NTP 同期※1		時刻を同期するサーバを表示します。 NTP: NTP サーバと同期しています。 SVP: マネジメントモジュールと同期しています。 OFF: 時刻の同期をしていません。
	NTP インポート※1		NTP 設定をインポートした相手を表示します。 SVP: マネジメントモジュールの NTP 設定をインポートしました。 BMC: BMC の NTP 設定をインポートしました。 NONE: NTP 設定をインポートしません。
	NTP サーバ 1, NTP サーバ 2※1		時刻を同期する NTP サーバの IP アドレスを表示します。 なお、本設定は"NTP 同期"が"NTP"に設定されている場合のみ有効です。
管理パス ※2	管理 NIC 指定		管理パスの管理 NIC 指定を表示します。 有効: 指定した NIC とポートを管理パスとして使用します。 無効: 1a/1b を管理パスとして使用します。
	ポート 0	ポート	管理パスとして指定された NIC の名称, 搭載位置, ポート番号を示します。
		状態	サーバブレードの電源状態により表示が異なります。 【電源オン状態】 Active 現在このポートを管理パスとして使用していることを示します。 Standby このポートは通信状態に問題なく, 正常な状態で待機していることを示します。 Error

表示			説明
			<p>このポートがリンクアップ状態ですが、外部との通信ができなくなっている可能性があることを示します。</p> <p>Link down このポートがリンクダウンしていることを示します。</p> <p>Unknown HVM の起動が完了していないことを示します。</p> <p>【電源オフ状態】 管理パスとして使用する NIC の指定に問題がある場合に、メッセージを表示します。</p>
	ポート 1	ポート	<p>管理パスとして指定された NIC の名称、搭載位置、ポート番号を示します。</p>
		状態	<p>サーバブレードの電源状態により表示が異なります。</p> <p>【電源オン状態】</p> <p>Active 現在このポートを管理パスとして使用していることを示します。</p> <p>Standby このポートは通信状態に問題なく、正常な状態で待機していることを示します。</p> <p>Error このポートがリンクアップ状態ですが、外部との通信ができなくなっている可能性があることを示します。</p> <p>Link down このポートがリンクダウンしていることを示します。</p> <p>Unknown HVM の起動が完了していないことを示します。</p> <p>-----</p> <p>ポート 1 が指定されていない場合に表示されます。</p> <p>【電源オフ状態】 管理パスとして使用する NIC の指定に問題がある場合に、メッセージを表示します。</p>
DNS※4	DNS サーバ 1		DNS サーバの IP アドレス (IPv4 または IPv6) を表示します。
	DNS サーバ 2		
	DNS サーバ 3		
HVM CLI	ユーザ認証※1※6		<p>HVM CLI のユーザ認証設定を表示します。</p> <p>有効: HvmSh から接続する場合にユーザ認証が必要です。</p> <p>無効: HvmSh から接続する場合にユーザ認証は不要です。</p>

表示		説明	
	許可する通信プロトコル※5※6	HvmSh と HVM の通信に使用するプロトコルを表示します。次のいずれかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> UDP, TCP, TLSv1.0, v1.1 and v1.2 TLSv1.2 	
	CLI IP アドレス (v4)	CLI IP アドレス 1~8	HVM CLI IP アドレス(IPv4)を表示します。
	CLI IP アドレス (v6)※3	CLI IP アドレス 1~8	HVM CLI IP アドレス(IPv6)を表示します。
仮想 COM コンソール	接続モード※1※6		仮想 COM 接続モード (Telnet または SSH) を表示します。
	Telnet ユーザ認証※1※6		Telnet 接続の場合のユーザ認証設定を表示します。 有効: Telnet で接続する場合にユーザ認証が必要です。 無効: Telnet で接続する場合にユーザ認証は不要です。 ※SSH で接続する場合はユーザ認証が必須です。
	仮想 COM コンソールポート※1		仮想 COM コンソールに Telnet または SSH 接続する TCP ポートを表示します。
Syslog 転送設定※4※6	Syslog 転送機能		監査ログを Syslog サーバへ転送するかどうかを表示します。
	Syslog 採取対象		ログ採取の対象となる操作を表示します。
	Syslog サーバ 1		Syslog サーバの IP アドレス (IPv4 または IPv6) やホスト名を表示します。
	Syslog サーバ 2		
	ポート番号		Syslog サーバへの接続時に使用するポート番号を表示します。
	転送プロトコル		Syslog サーバとの通信に使用する転送プロトコルを表示します。
	TLS バージョン		Syslog サーバとの通信に使用する TLS バージョンを表示します。
	サーバ証明書検証		HVM に登録された Syslog サーバの証明書の検証有無について表示します。
ユーザ認証設定※6	ユーザ認証方式※4		ユーザ認証の認証方式を表示します。 ローカル認証のみ: HVM に登録されたアカウントを使用します。 ローカル認証 (優先) + LDAP 認証: HVM に登録されたアカウントに該当するユーザがない場合、LDAP サーバに登録されたアカウントを使用します。 ローカル認証 (優先) + RADIUS 認証: HVM に登録されたアカウントに該当するユーザがない場

表示		説明		
			合, RADIUS サーバに登録されたアカウントを使用します。 ※5	
	ローカル認証設定	パスワード有効期間※1	パスワードの有効期間を表示します。無期限または1日から365日の間の日数です。	
LDAP※4※6	LDAP サーバ設定	LDAP サーバ 1	LDAP サーバの IP アドレス (IPv4 または IPv6) やホスト名を表示します。	
		LDAP サーバ 2		
		LDAP サーバ 3		
		ポート番号	LDAP サーバへの接続に使用するポート番号を表示します。	
	接続設定	TLS バージョン	LDAP サーバとの通信に使用する TLS バージョンを表示します。	
		サーバ証明書検証	HVM に登録された LDAP サーバの証明書の検証有無について表示します。	
	バインド設定	匿名バインド	バインド DN を使用した認証の有無を表示します。	
		バインド DN	LDAP サーバへの接続時に使用するバインド DN を表示します。バインド DN はユーザ名に相当する DN (識別名) です。バインドパスワードとペアで使用します。	
ディレクトリ検索設定	ベース DN	検索の起点を指定する DN を表示します。ここで指定したエントリ以下すべてが、ユーザ認証時の検索範囲となります。		
	ログイン ID 属性	ログイン ID を表す属性を表示します。ここで指定された属性をユーザ ID として、ユーザ認証に使用します。LDAP サーバに Active Directory を使用する場合は、"sAMAccountName"を指定します。		
ロール設定※5	共通ロール	LDAP で認証されたすべてのユーザに共通で適用されるロールを表示します。		
RADIUS※5※6	RADIUS サーバ設定	RADIUS サーバ 1~3	サーバ名	RADIUS サーバの IP アドレス (IPv4 または IPv6) やホスト名を表示します。
			認証方法	RADIUS サーバが使用する認証方法を表示します。以下のいずれかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • PAP • CHAP • MS-CHAPv2
			ポート番号(認証)	RADIUS サーバへの接続に使用するポート番号を表示します。

表示			説明
		再送回数	RADIUS サーバへの接続要求を再送する上限を表示します。
		タイムアウト時間(秒)	RADIUS サーバからの応答を待つ時間(秒)を表示します。
	ロール設定	共通ロール	RADIUS で認証されたすべてのユーザに共通で適用されるロールを表示します。
その他セキュリティ設定※5※6	HCSM	許可する通信プロトコル	HCSM と HVM の通信に使用するプロトコルを表示します。次のいずれかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP, SSLv3.0, TLSv1.0, v1.1 and v1.2 • TCP, TLSv1.0, v1.1 and v1.2 • TLSv1.2
		サーバ証明書検証	HVM に登録された HCSM サーバの証明書の検証有無について表示します。
	BSM	接続	BSM から HVM への接続を許可するかどうかを表示します。
HVM SSH ホスト鍵※6	アルゴリズム※1		SSH ホスト鍵のアルゴリズムを表示します。HVM では RSA 2048 ビット固定です。
	フィンガープリント※1		SSH ホスト鍵のフィンガープリントを表示します。
HVM オプション	管理パス定期診断設定※1※2		管理パス定期診断の設定を表示します。 有効: 管理パス定期診断を実行します。 無効: 管理パス定期診断を実行しません。

注※1

サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します。OFF の場合には「-----」を表示します。

注※2

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0245 以降でサポートします。

注※3

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降でサポートします。

注※4

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0280 以降でサポートします。

注※5

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

注※6

Web コンソールを操作している HVM ユーザ(またはマネジメントモジュールユーザ)が HVM セキュリティ権限を持っている場合のみ表示されます。

[HVM] タブ - アクションボタン

[HVM ログイン] ※3

HVM ユーザーアカウントを使用して HVM にログインします。

ログイン後は、HVM ユーザーとして HVM を操作します。その際は、指定した HVM ユーザーに割り当てたロールを適用します。

このボタンは、HVM ファームウェア 02-45 以降、かつ HVM にログインしていない場合のみ活性になります。

また、HVM のログインに 5 秒以上かかる場合は、タイムアウトします。

マネジメントモジュールにログインした直後は、マネジメントモジュールユーザーとして HVM を操作します。

[HVM ログアウト] ※3

HVM からログアウトします。

ログアウト後は、マネジメントモジュールユーザーとして HVM を操作します。その際は、マネジメントモジュールユーザーに割り当てたロールを適用します。

このボタンは、HVM にログインしている場合のみ活性になります。

また、HVM を操作しない状態が 30 分続くと、自動的にログアウトされます。

[セーフモード解除] ※1

HVM がセーフモードで動作していることを示します。

このボタンは HVM がセーフモードで起動した場合にだけ表示されます。

[設定保存]

設定を保存します。

[HVM ファームウェア割り当て]

サーバブレードに HVM ファームウェアを割り当てます。

([HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログを表示します)

[HVM モデル変更]

サーバブレードに HVM モデルを割り当てます。

([HVM モデル変更] ダイアログを表示します)

サーバブレード起動中は、非活性になります。

[システム設定]

HVM の起動に必要な項目を設定します。

([システム設定] ダイアログを表示します)

[DNS 設定] ※2

DNS を設定します。

[HVM CLI 設定]

HVM CLI を設定します。

([HVM CLI 設定] ダイアログを表示します)

[仮想 COM コンソール設定]

仮想 COM コンソールを設定します。

([仮想 COM コンソール設定] ダイアログを表示します)

[Syslog 転送設定] ※2※4

Syslog 転送を設定します。

[ユーザ認証設定] ※4

ユーザ認証機能を設定します。

[ユーザアカウント管理] ※4

ユーザアカウントを管理します。

[期限切れパスワード変更] ※3

HVM セキュリティ権限を持つ HVM のローカルユーザの有効期限切れパスワードを変更します。

次の条件をすべて満たす場合のみ表示されます。

- マネジメントモジュールユーザとして HVM を操作している (HVM にログインしていない)
- マネジメントモジュールユーザに割り当てられたロールが、HVM セキュリティ権限を持っていない

[HVM ログインアカウント設定] ※3

HVM にログインしている場合に、HVM ユーザ情報を表示・設定します。

[LDAP 設定] ※2※4

LDAP を設定します。

[RADIUS 設定] ※3※4

RADIUS を設定します。

[証明書設定] ※4※5

証明書を設定します。

[その他セキュリティ設定] ※3※4

HCSM などに関するセキュリティを設定します。

[SSH ホスト鍵再作成] ※4

SSH ホスト鍵を再作成します。

[HVM オプション] ※1

HVM オプションを設定します。

([HVM オプション設定] ダイアログを表示します)

[HVM システムログ表示] ※1

[HVM システムログ] を表示します。

[認証ログ表示] ※4

[認証ログ] を表示します。

[管理パス診断] ※1

管理パスの診断を実行し、管理パスの状態表示を更新します。

[RADIUS サーバ接続確認] ※3※4

RADIUS サーバとの接続可否を確認します。

注※1

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0245 以降でサポートします。

注※2

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0280 以降でサポートします。

注※3

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

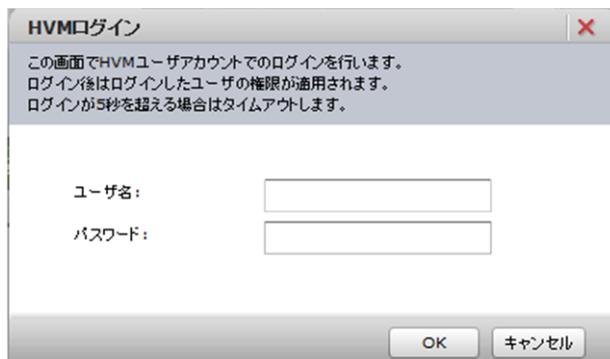
注※4

Web コンソールを操作している HVM ユーザ(またはマネジメントモジュールユーザ)が HVM セキュリティ権限を持っている場合のみ表示されます。

注※5

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0315 以降でサポートします。

3.4.15 [HVM ログイン]



[HVM ログイン] - 表示項目

表示	説明
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

[HVM ログイン] - アクションボタン

[OK]

HVM ユーザアカウントを使用して HVM にログインします。

[キャンセル]

HVM へのログインを中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.16 [HVM ログアウト]



[HVM ログアウト] - アクションボタン

[OK]

HVM からログアウトします。

[キャンセル]

HVM からのログアウトを中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.17 [セーフモード解除]



[セーフモード解除] - アクションボタン

[OK]

セーフモードを解除します。

[キャンセル]

セーフモードの解除を中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.18 [HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)]



[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード番号	HVM ファームウェアを割り当てる対象サーバブレードを表示します。
HVM ファームウェアバージョンプルダウンリスト	HVM ファームウェアを選択します。

[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] - アクションボタン

[次へ]

HVM ファームウェアを決定し、[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] に移ります。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログを閉じます。

参考 SMP 構成の場合、プライマリサーバブレードに対してファームウェアを割り当てることができます。ノンプライマリサーバブレードの場合、割り当てられているファームウェアが表示されますが、HVM が動作するバージョンとは異なります。

3.4.19 [HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)]



[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] - アクションボタン

[戻る]

[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログに戻ります。

[バックアップ]

HVM 構成情報をバックアップします。

([構成情報のバックアップ] ダイアログを表示します。[構成情報のバックアップ] ダイアログについては、「3.4.2 [構成情報のバックアップ]」を参照してください)

[リストア]

HVM 構成情報をリストアします。

([構成情報のリストア] ダイアログを表示します。[構成情報のリストア] ダイアログについては、「3.4.3 [構成情報のリストア]」を参照してください)

サーバブレード起動中は非活性になります。

[確認]

[HVM ファームウェア割り当て (確認)] に移ります。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] ダイアログを閉じます。

3.4.20 [HVM ファームウェア割り当て (確認)]



[HVM ファームウェア割り当て (確認)] - 表示項目

表示		説明
HVM ファームウェア割り当てパネル	—	HVM ファームウェア割り当ての設定内容を表示します。
	サーバブレード番号	HVM ファームウェアを割り当てるサーバブレードを表示します。
	HVM ファームウェアバージョン	Current 現在の HVM ファームウェアバージョンを表示します。

表示		説明
	Next	次回起動時の HVM ファームウェアバージョンを表示します。
構成情報のバックアップ/リストアパネル	—	構成情報のバックアップ/リストアを実行したかどうかを表示します。
	構成情報のバックアップ	構成情報のバックアップを実行したかどうかを表示します。
	構成情報のリストア	構成情報のリストアを実行したかどうかを表示します。

[HVM ファームウェア割り当て (確認)] - アクションボタン

[戻る]

[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] に戻ります。

[OK]

HVM ファームウェアの割り当てを実行します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM ファームウェア割り当て (確認)] ダイアログを閉じます。

参考 [戻る] ボタンの操作により、この画面から [HVM ファームウェア割り当て(HVM 構成情報操作)] ダイアログや、[HVM ファームウェア割り当て(ファームウェアバージョン選択)] ダイアログへ戻ることができますが、[HVM ファームウェア割り当て(ファームウェアバージョン選択)] ダイアログまで戻った場合、バックアップ/リストアの実行結果はクリアされます。

3.4.21 [HVM モデル変更]



[HVM モデル変更] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード番号	HVM モデルを変更するサーバブレードを選択します。
HVM モデル	現在の HVM モデルを表示します。 Essential/Advanced/Enterprise の値をとります。 Essential：同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 4 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 3 まで定義できます) Advanced：同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 30 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 29 まで定義できます) Enterprise：同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 60 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 59 まで定義できます)
キー 直接入力ラジオボタン	ライセンスキーを直接入力する方法を選択します。
キー 直接入力テキストボックス	ライセンスキーを入力します。 キー 直接入力ラジオボタンが選択されている場合に活性になります。

表示	説明
キー ファイル名ラジオボタン	ライセンスキーをキーファイルから読み込ませる方法を選択します。
参照ボタン	ライセンスキーを読み込ませるキーファイルを選択します。 キーファイル名ラジオボタンが選択されている場合に活性になります。

[HVM モデル変更] - アクションボタン

[確認]

[キーチェック結果] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM モデル変更] ダイアログを閉じます。

重要 SMP 構成の場合、SMP を構成するすべてのサーバブレードに対して HVM モードを設定する必要があります。

3.4.22 [キーチェック結果]



[キーチェック結果] - 表示項目

表示	説明
HVM モデル更新パネル	—
サーバブレード番号	HVM モデル変更対象サーバブレード番号を表示します。
キー	HVM ライセンスキーを表示します。
キーファイル	HVM ライセンスキーファイルが表示されます。 ライセンスキーを直接入力した場合は、表示されません。
HVM モデル	現在
	更新後
	現在の HVM モデルが表示されます。
	更新後の HVM モデルが表示されます。

[キーチェック結果] - アクションボタン

[戻る]

[HVM モデル変更]ダイアログに戻ります。

[OK]

HVM モデルを反映します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[キーチェック結果] ダイアログを閉じます。

3.4.23 [システム設定]

重要

- HVM 稼働中、一部の項目は入力および変更できません。入力および変更できない項目はグレーアウトされます。
- この Web コンソールで入力、設定、変更がサポートされていない項目は、Virtage Navigator または HVM スクリーンで入力、設定、変更を行ってください。

[システム設定] - 表示項目

表示		説明
動作モード		サーバブレードの動作モードを設定します。 以降の表示項目は、HVM を選択した場合に表示、設定できます。
IPv4 タブ	IP アドレス	HVM が使用する IP アドレス(IPv4 形式、xxx.xxx.xxx.xxx)を入力します。(xxx は 0 ~ 255 の数字) IP アドレスは、マネジメントモジュールやサーバブレードの IP アドレスなどと重複しないように設定してください。重複して設定した場合は、Web コンソールやリモートコンソールなどに接続できなくなります。 管理サーバ (仮想 COM コンソールなど) から、IPv4 を使って HVM へ接続することを禁止したい場合は、「0.0.0.0」を設定してください。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 HVM ファームウェアバージョン 01-5X 以前の場合、HVM とマネジメントモジュールの IP アドレス、デフォルトゲートウェイは、同一ネットワークとなるように設定してください。 HVM ファームウェアバージョン 01-60 以降の場合、HVM の IP アドレス、デフォルトゲートウェイは、同一ネットワークとなるように設定してください。 デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」としてください。

表示		説明
		なお、マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降では、空白とした場合「0.0.0.0」が設定されます。
IPv6 タブ※	スタティックアドレス	スタティックアドレスを使用するかどうかを設定します。この項目と IPv4 タブの IP アドレスの両方を指定すると、IPv4 と IPv6 を併用することもできます。
	IP アドレス	スタティックアドレスを設定します。 RFC4291 で規定された形式で設定します。また、IPv4 互換アドレス (::192.168.1.1 など)、IPv4 射影アドレス (::ffff.192.168.1.1 など) は使用できません。
	プレフィックス長	プレフィックス長を設定します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを使用するかどうかを設定します。
	アドレス	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
	ステートレスアドレス	ステートレスアドレス自動設定を使用するかどうかを設定します。
HVM-マネジメントモジュール間通信※		HVM とマネジメントモジュール間の通信に使用するプロトコルを設定します。 IPv4 を設定した場合、HVM およびマネジメントモジュールに IPv4 のアドレスが設定されている必要があります。IPv6(スタティックアドレス)を設定した場合、HVM およびマネジメントモジュールに IPv6 のアドレスが設定されている必要があります。
VNIC System No.		VNIC System No. を設定します。 なお、VNIC System No. は、共有 NIC および仮想 NIC の MAC アドレスの重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。 BladeSymphony シリーズの HVM システムにユニークな値を設定する必要があります。 VNIC System No.は、1 以上の値を設定してください。最大値は HVM ファームウェアバージョンによって変化します。
HVM ID		HVM を識別する ID を設定します。 設定できる最大文字数は 16 文字です。 設定できる文字は次のとおりです。 英数字, "~", "@", "#", "\$", "%", "^", "-"(ハイフン), "+", "=", "_"(アンダースコア), "."(ピリオド), "[", "]" HVM ID の初期値は以下のようになります。 IPv4 の IP アドレスが設定されている場合、「HVM_」に続いて、HVM IP アドレスから「.(ピリオド)」を省略した数字が初期値として反映されます。 IPv6 の IP アドレスだけを設定した場合、「HVM_」に続いて、HVM IP アドレスから「:(コロン)を省略」「0 省略なし」の値 (スタティックアドレスの 16 進数表記下位 12 桁) が初期値として反映されます。
タイムゾーン		タイムゾーンを設定します。
管理パス		管理パスを設定します。

注※

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降でサポートします。

[システム設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.24 [DNS 設定]

[DNS 設定] - 表示項目

表示	説明
DNS サーバ 1	DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS サーバ 2	IPv4 アドレスの場合は、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。(xxx は 0~255 の数字)
DNS サーバ 3	IPv6 アドレスの場合は、RFC4291 で規定された形式で入力します。

[DNS 設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.25 [HVM CLI 設定]

[HVM CLI 設定] - 表示項目

表示	説明
ユーザ認証 ^{※3}	HVM CLI のユーザ認証有無を設定します。 本項目は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ表示されます。 有効: HvmSh から接続する場合にユーザ認証が必要です。HVM ファームウェア 02-45 以降の HVM を操作する場合は、HVM の操作に対して、HVM ユーザ(またはマネジメントモジュールユーザ)に割り当てたロールに従ってアクセス制限が適用されます。 無効: HvmSh から接続する場合にユーザ認証は不要です。HVM を操作する場合に、アクセス制限を受けません。 ^{※4}
許可する通信プロトコル ^{※2※3}	HvmSh と HVM の通信に使用するプロトコルを設定します。次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> UDP, TCP, TLSv1.0, v1.1 and v1.2 TLSv1.2

表示		説明
IPv4 タブ	CLI IP アドレス	HVM CLI IP アドレス(IPv4) 1~8 を設定します。
IPv6 タブ※1	CLI IP アドレス	HVM CLI IP アドレス(IPv6) 1~8 を設定します。

注※1

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降でサポートします。

注※2

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

注※3

Web コンソールを操作している HVM ユーザ(またはマネジメントモジュールユーザ)が HVM セキュリティ権限を持っている場合のみ表示されます。

注※4

HVM ファームウェア 02-45 以降では、 マネジメントモジュールユーザが HVM セキュリティ権限を持っている場合のみ、 無効を設定できます。

[HVM CLI 設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、 [HVM] タブに戻ります。

3.4.26 [仮想 COM コンソール設定]



本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

[仮想 COM コンソール設定] - 表示項目

表示	説明
接続モード※	仮想 COM 接続モード (Telnet または SSH) を設定します。
Telnet ユーザ認証※	Telnet 接続の場合のユーザ認証有無を設定します。 有効 : Telnet で接続する場合にユーザ認証が必要です。 無効 : Telnet で接続する場合にユーザ認証は不要です。 SSH で接続する場合はユーザ認証が必須です。
仮想 COM コンソールポート	仮想 COM コンソールに Telnet または SSH 接続する TCP ポートを設定します。

注※

Web コンソールを操作している HVM ユーザ(またはマネジメントモジュールユーザ)が HVM セキュリティ権限を持っている場合のみ表示されます。

重要

- IPv4 の HVM IP アドレスが設定されていない場合、Telnet ユーザ認証に無効を設定できません。Telnet ユーザ認証に有効を設定するか、接続モードに SSH を設定してください。
- Telnet ユーザ認証が無効の場合、IPv6 の HVM IP アドレスへの Telnet 接続はできません。

[仮想 COM コンソール設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.27 [Syslog 転送設定]

Syslog転送設定

この画面でSyslog転送設定を変更します。

Syslog転送機能: 有効 無効

Syslog採取対象: 認証

Syslogサーバ1:

Syslogサーバ2:

ポート番号: 6514

転送プロトコル: TLS

TLSバージョン: TLS v1.0, v1.1 and v1.2

サーバ証明書検証: 有効 無効

確認 キャンセル

本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合のみ設定可能です。

[Syslog 転送設定] - 表示項目

表示	説明
Syslog 転送機能	監査ログを Syslog サーバへ転送するかどうかを設定します。
Syslog 採取対象	ログ採取の対象となる操作を設定します。 認証：認証ログを採取します。 認証と変更：認証ログと変更ログを採取します。※
Syslog サーバ 1	Syslog サーバの IP アドレスやホスト名を設定します。 IPv4 アドレス：xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。(xxx は 0～255 の数字)
Syslog サーバ 2	IPv6 アドレス：RFC4291 で規定された形式で入力します。 ホスト名：FQDN (最大 255 文字) で入力します。使用できる文字種は英字 ([A-Z] [a-z])、数字 ([0-9])、ハイフン (-)、ピリオド (.) です。
ポート番号	Syslog サーバへの接続時に使用するポート番号を設定します。 入力できる値は 1～65535 です。 デフォルトのポート番号 (6514) 以外を使用する必要がある場合にだけ、設定を変更してください。
転送プロトコル	Syslog サーバとの通信に使用する転送プロトコルを設定します。次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none">TLSUDP

表示	説明
TLS バージョン	Syslog サーバとの通信に使用する TLS バージョンを設定します。次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TLS v1.0 v1.1 and v1.2 • TLS v1.2
サーバ証明書検証	HVM に登録された Syslog サーバの証明書の検証有無について設定します。

注※

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0315 以降でサポートします。

[Syslog 転送設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.28 [ユーザ認証設定]



本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

[ユーザ認証設定] - 表示項目

表示	説明
ユーザ認証方式※1	ユーザ認証の認証方式を設定します。 ローカル認証のみ：HVM に登録されたアカウントを使用します。 ローカル認証（優先） + LDAP 認証：HVM に登録されたアカウントに該当するユーザが無い場合、LDAP サーバに登録されたアカウントを使用します。 ローカル認証（優先） + RADIUS 認証：HVM に登録されたアカウントに該当するユーザがない場合、RADIUS サーバに登録されたアカウントを使用します。※2
ローカル認証設定	パスワード有効期間を設定します。 期限なし：パスワードの有効期間を無期限に設定します。 有効期間：有効期間（日数）を 1～365 日の間で設定します。期限無しをチェックした場合には設定することはできません。

注※1

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0280 以降でサポートします。

注※2

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

ユーザ名は、1～31 文字まで設定できます。設定できる文字は、英数字と記号（'（ピリオド），'（ハイフン），'（アンダーバー））です。なお、先頭文字は、英字とします。

パスワードは、1～31 文字まで設定できます。設定できる文字は、英数字と記号（空白を除く）です。

ロールが非サポートの場合は、ロールは表示されません。

[削除]

選択しているアカウントを削除します。

Administrators ロールを持つ最後のユーザは削除できません。

[編集]

選択しているアカウントのパスワードまたはロールを変更します。

パスワードは、1～31 文字まで設定できます。設定できる文字は、英数字と記号（空白を除く）です。

ロールが非サポートの場合は、ロールは表示されません。

[マネジメントモジュールユーザ編集] ※

マネジメントモジュールユーザに関する設定を編集します。

このボタンは、HVM にログインしている場合のみ活性になります。

[ロール設定の表示と編集] ※

ロールを表示、編集します。

[閉じる]

HVM の [ユーザアカウント管理] ダイアログを閉じ、[HVM] タブに戻ります。

注※

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

参考 HVM のロールの詳細については、「*BladeSymphony BS500 HVM ユーザーズガイド*」を参照してください。

3.4.30 [期限切れパスワード変更]

[期限切れパスワード変更] - 表示項目

表示	説明
ユーザ名	ユーザ名を入力します。
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新パスワード	新パスワードを入力します。

表示	説明
新パスワード(確認)	パスワードは、1～31文字まで設定できます。設定できる文字は、英数字と記号（空白を除く）です。

[期限切れパスワード変更] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.31 [HVM ログインアカウント設定]

HVMログインアカウント設定

この画面でログイン中のHVMユーザーアカウント情報を編集できます。

ユーザー名: HITACHI

パスワード:

パスワード(確認):

パスワード有効期間残り日数: 364日

確認 キャンセル

[HVM ログインアカウント設定] - 表示項目

表示	説明
ユーザ名	ユーザ名を表示します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワード(確認)	パスワードは、1～31文字まで設定できます。設定できる文字は、英数字と記号（空白を除く）です。 HVMのローカルユーザとしてログインしている場合のみ表示されます。
パスワード有効期間残り日数(ログイン時点)	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0315 以前】 ログイン時のパスワード有効期間残り日数を表示します。
パスワード有効期間残り日数	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0320 以降】 現在のパスワード有効期間残り日数を表示します。

[HVM ログインアカウント設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

HVMのローカルユーザとしてログインしている場合のみ表示されます。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.32 [LDAP 設定]

本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

[LDAP 設定] - 表示項目

表示		説明
LDAP サーバ設 定	LDAP サーバ 1	LDAP サーバの IP アドレスやホスト名を設定します。 IPv4 アドレス：xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。(xxx は 0～255 の数字)
	LDAP サーバ 2	IPv6 アドレス：RFC4291 で規定された形式で入力します。 ホスト名：FQDN (最大 255 文字) で入力します。入力できる最大文字数は 255 文字であり、使用できる文字種は英字 ([A-Z] [a-z]), 数字 ([0-9]), ハイフン (-), ピリオド (.) です。
	LDAP サーバ 3	
	ポート番 号	LDAP サーバへの接続時に使用するポート番号を設定します。 入力できる値は 1～65535 です。 デフォルトのポート番号 (389) 以外を使用する必要がある場合だけ設定を変更してください。
接続設定	TLS バ ージョ ン	LDAP サーバとの通信に使用する TLS バージョンを設定します。以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TLS v1.0 v1.1 and v1.2 • TLS v1.2
	サーバ証 明書検 証	HVM に登録された LDAP サーバの証明書の検証有無について設定します。
バインド 設定	匿名バ インド	バインド DN を使用した認証の有無を設定します。 有効：バインド DN を使用せずに接続します。 無効：バインド DN を使用し、接続します。
	バインド DN	LDAP サーバに接続する際に用いるバインド DN を設定します。 バインド DN はユーザ名に相当する DN(識別名)で、バインドパスワードとペアで使用します。 1 文字以上 254 文字以下の ASCII 文字を入力できます。

表示		説明
	バインドパスワード	LDAP サーバに接続する際に用いるバインドパスワードを設定します。 1 文字以上 32 文字以下の ASCII 文字を入力できます。
	バインドパスワード再入力	
ディレクトリ検索設定	ベース DN	検索の起点を指定する DN を設定します。 ここで指定したエントリ以下すべてが、ユーザ認証時の検索範囲となります。 1 文字以上 254 文字以下の ASCII 文字を入力できます。
	ログイン ID 属性	ログイン ID を表す属性を設定します。 ここで指定された属性をユーザ ID としてユーザ認証に使用します。 LDAP サーバとして Active Directory を使用する場合は、"sAMAccountName" を指定します。 1 文字以上 64 文字以下の文字列を指定可能で、1 文字目は英字 ([A-Z] [a-z])、2 文字目以降は英数字 ([A-Z] [a-z] [0-9]) のみ入力できます。
ロール設定※	共通ロール	LDAP で認証されたすべてのユーザに共通で適用されるロールを設定します。

注※

マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0290 以降でサポートします。

[LDAP 設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.33 [RADIUS 設定]

The screenshot shows a window titled "RADIUS設定" with a subtitle "この画面でRADIUSの設定を変更します。". It contains three sections for "RADIUSサーバ1", "RADIUSサーバ2", and "RADIUSサーバ3". Each section has the following fields: "サーバ名" (IP address), "認証方法" (dropdown menu set to "PAP"), "ポート番号(認証)" (1812), a checkbox for "Shared secretを変更する", "Shared secret" (password field), "再送回数" (3), and "タイムアウト時間(秒)" (10). At the bottom right, there are "確認" and "キャンセル" buttons.

本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

[RADIUS 設定] - 表示項目

表示		説明
RADIUS サーバ 1～3	サーバ名	RADIUS サーバの IP アドレスやホスト名を設定します。 IPv4 アドレス : xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。(xxx は 0～255 の数字) IPv6 アドレス : RFC4291 で規定された形式で入力します。 ホスト名 : FQDN (最大 255 文字) で入力します。入力できる最大文字数は 255 文字であり、使用できる文字種は英字 ([A-Z][a-z]), 数字 ([0-9]), ハイフン (-), ピリオド (.) です。
	認証方法	RADIUS サーバが使用する認証方法を設定します。以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • PAP • CHAP • MS-CHAPv2
	ポート番号(認証)	RADIUS サーバへの接続時に使用するポート番号を設定します。 入力できる値は 1～65535 です。 デフォルトのポート番号 (1812) 以外を使用する必要がある場合だけ設定を変更してください。
	Shared secret	RADIUS サーバへの接続時に使用する暗号鍵を設定します。 1 文字以上 64 文字以下の空白を除く英数字および記号を入力できます。
	再送回数	RADIUS サーバへの接続要求を再送する回数を設定します。 0 回～3 回の値を設定できます。デフォルトは 3 回です。 0 回を指定した場合は、リトライしません。
	タイムアウト時間(秒)	RADIUS サーバからの応答を待つ時間 (秒) を設定します。 1 秒～10 秒の値を設定できます。デフォルトは 10 秒です。

表示		説明
		タイムアウトが発生した場合は、再送回数で設定した回数だけリトライします。
ロール設定	共通ロール	RADIUS で認証されたすべてのユーザに共通で適用されるロールを設定します。

[RADIUS 設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

重要

- RADIUS 設定完了後に、RADIUS サーバ接続確認で RADIUS サーバとの接続を確認してください。
- タイムアウト時間と再送回数は、Web コンソール以外から HVM にログインする場合に適用されます。Web コンソールから HVM にログインする場合のタイムアウト時間は、5 秒となります。
- RADIUS サーバが応答しない場合、HVM がタイムアウトするまでの総所要時間は、タイムアウト時間×(再送回数+1) [秒]となります。その間、HVM が次のコマンドを処理できなくなるため、タイムアウト時間と再送回数を余り大きくしないでください。

3.4.34 [証明書設定]

証明書設定 ✕

この画面で各証明書の設定ができます。

⌵ HVMの証明書

バージョン	1	
シリアル番号	AF:D7:AA:2B:5E:93:51:33	
公開鍵のアルゴリズム・鍵長	rsaEncryption	
証明書の発行日時	2015-12-31 23:59:59 GMT	
証明書の有効期限	2030-8-31 9:30:38 GMT	
発行者	一般名 (CN) CA	
発行対象	国 (C)	
	州・県名 (ST)	
	都市・地域名 (L)	
	組織名 (O)	
	組織単位 (OU)	
	一般名 (CN)	Server Blade
	メールアドレス	
	DN 修飾子	
	姓	
	名	
イニシャル		
フィンガープリント	4f:5e:35:df:52:31:09:f5:e7:7c:4a:ea:f7:18:ae:ab:58:8d:21:7e	

インポート済み証明書

#	発行対象 一般名 (CN)	発行者 一般名 (CN)	有効期限	詳細情報
0	HCSM	CA	2030-8-31 9:30:38 GMT	表示
1	LDAP	CA	2030-8-31 9:30:38 GMT	表示
2	Syslog	CA	2030-8-31 9:30:38 GMT	表示
3	HvmSh	CA	2030-8-31 9:30:38 GMT	表示

証明書 ▼ 閉じる

本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

【証明書設定】 - 表示項目

表示		説明	
HVM の証明書	バージョン	証明書バージョンを表示します。 1～3 のいずれかの値となります。	
	シリアル番号	鍵のシリアル番号を表示します。	
	公開鍵のアルゴリズム・鍵長	SSL 公開鍵に使用しているアルゴリズム、鍵長を表示します。	
	証明書の発行日時	証明書の発行日時を表示します。	
	証明書の有効期限	証明書の有効期限を表示します。	
	発行者	一般名 (CN)	認証局 (発行者) を表示します。
	発行対象	国 (C)	国名を示す 2 文字の英字を表示します。
		州・県名 (ST)	州, 県名を表示します。
		都市・地域名 (L)	都市, 地域名を表示します。
		組織名 (O)	組織名 (会社名) を表示します。
		組織単位 (OU)	組織単位名 (部署名) を表示します。
		一般名 (CN)	一般名 (HVM 接続時のドメイン名) を表示します。
		メールアドレス	メールアドレスを表示します。
		DN 修飾子	DN 修飾子を表示します。
		姓	姓を表示します。
		名	名を表示します。
イニシャル	イニシャルを表示します。		
フィンガープリント	証明書のフィンガープリント (指紋) を表示します。 指紋は SHA1 アルゴリズムによる 20 バイトのハッシュ値です。		
インポート済み証明書	発行対象 一般名 (CN)	発行対象の一般名 (HVM 接続時のドメイン名) を表示します。	
	発行者 一般名 (CN)	認証局 (発行者) を表示します。	
	有効期限	証明書の有効期限を表示します。	
	詳細情報	証明書の詳細情報を表示します。	

【証明書設定】 - アクションボタン

[CSR 作成]

CSR を作成します。

設定項目の詳細については、「*BladeSymphony BS500 HVM ユーザーズガイド*」を参照してください。

[HVM の証明書のインポート]

HVM の証明書のインポートを行います。

[証明書のインポート]

証明書のインポートを行います。

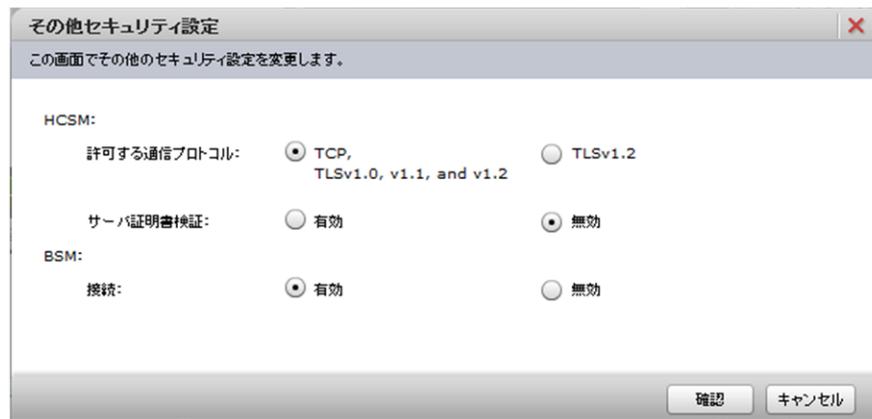
[証明書の削除]

登録されている証明書を削除します。

[閉じる]

[証明書設定] ダイアログを閉じ、[HVM] タブに戻ります。

3.4.35 [その他セキュリティ設定]



本設定は、サーバブレードの電源が ON の場合にのみ設定可能です。

[その他セキュリティ設定] - 表示項目

表示		説明
HCSM	許可する通信プロトコル	HCSM と HVM の通信に使用するプロトコルを設定します。次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• TCP, SSLv3.0, TLSv1.0, v1.1 and v1.2• TCP, TLSv1.0, v1.1 and v1.2• TLSv1.2
	サーバ証明書検証	HVM に登録された HCSM サーバの証明書の検証有無について設定します。
BSM	接続	BSM から HVM への接続を許可するかどうかを設定します。

[その他セキュリティ設定] - アクションボタン

[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.36 [SSH ホスト鍵再作成]



[SSH ホスト鍵再作成] - アクションボタン

[OK]

SSH ホスト鍵を作成します。

[キャンセル]

内容 SSH ホスト鍵の作成を中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.37 [HVM オプション設定]



[HVM オプション設定] - 表示項目

表示	説明
管理バス定期診断設定	管理バス定期診断の有無を設定します。本項目は、HVM との通信が可能である場合にのみ表示されます。 有効: 管理バス定期診断を実行します。 無効: 管理バス定期診断を実行しません。

[HVM オプション設定] - アクションボタン

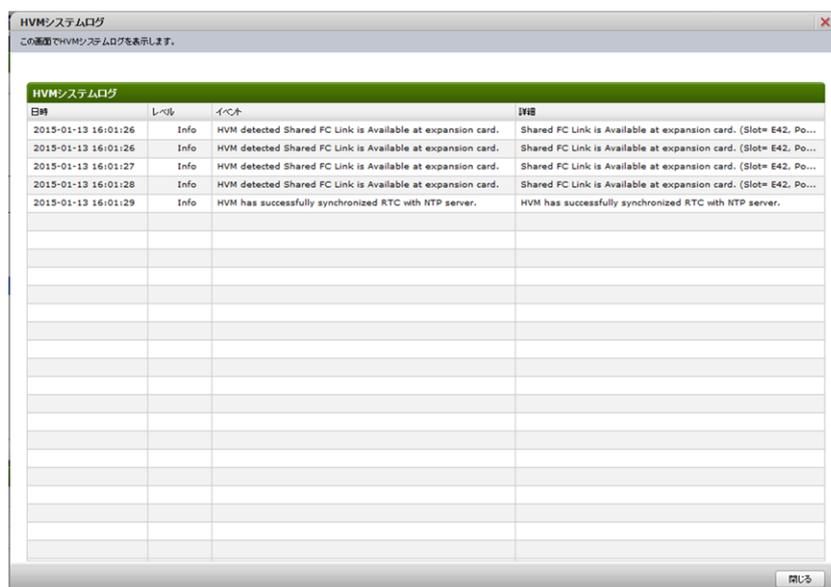
[確認]

[確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

入力内容を破棄し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.38 [HVM システムログ] 表示



[HVM システムログ] 表示 - 表示項目

表示	説明
日時	日時を表示します。
レベル	障害レベルを表示します。
イベント	メッセージを表示します。
詳細	詳細メッセージを表示します。

[HVM システムログ] 表示 - アクションボタン

[閉じる]

[HVM システムログ] を閉じ、[HVM] タブに戻ります。

3.4.39 [認証ログ] 表示

ログイン日時	結果	ユーザ名	ログアウト日時	接続元IPアドレス	インタフェース	LPAR番号	ポート	付加情報
2014-10-07 21:40:58	成功	user01	2014-10-07 21:41:59	192.168.1.5	HVM CLI	*****	23250	
2014-10-07 21:43:59	失敗	user01	-----	192.168.2.7	HVM CLI	*****	23250	
2014-10-08 21:10:59	成功	admin	2014-10-08 21:13:03	192.168.1.10	HVM Webシステム	*****	80	
2014-10-09 21:27:54	成功	user01	2014-10-09 21:40:00	192.168.4.4	仮想COMコンソール	20	20820	
2014-10-10 21:27:08	成功	admin	ログイン中	192.168.8.10	HVM Webシステム	*****	80	
2014-10-10 21:46:59	成功	admin	ログイン中	192.168.8.10	HVM Webシステム	*****	80	
2014-10-10 21:59:30	成功	user01	ログイン中	192.168.8.11	仮想COMコンソール	2	20802	
2014-10-10 22:10:61	成功	user02	ログイン中	192.168.8.12	仮想COMコンソール	3	20803	
2014-10-10 22:11:62	成功	user03	ログイン中	192.168.8.13	HVM CLI	*****	23250	

[認証ログ] 表示 - 表示項目

表示	説明
ログイン日時	ログインした日時を表示します。
結果	ログインの成功、失敗を表示します。
ユーザ名	接続時に使用したユーザ名を表示します。
ログアウト日時	ログアウトした日時を表示します。 ログイン中は"ログイン中"を表示、ログイン失敗時は"-----"を表示します。 HVM Web システム（論理 VGA スナップショット）では、[Logout] ボタンを押してログアウトした時刻が表示されます。ログアウトをしなかった場合、ログ上はログインしたままとなります。これは次回ログイン時にログアウトしたものと記録されます。ログアウト日時を記録するためには [Logout] ボタンによりログアウトしてください。
接続元 IP アドレス	接続元の IP アドレスを表示します。
インタフェース	以下のいずれかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 仮想 COM コンソール HVM Web システム HVM CLI マネジメントモジュール
LPAR 番号	仮想 COM コンソールの場合、接続した LPAR 番号を表示します。
ポート	接続クライアントのポート番号を表示します。
付加情報	ネットワークシャットダウンの情報を表示します。 切断された要因が HVM をシャットダウンまたは各種設定の反映処理である場合に表示されます。

[認証ログ] 表示 - アクションボタン

[閉じる]

[認証ログ] ダイアログを閉じ、[HVM] タブに戻ります。

3.4.40 [管理パス診断]



[管理パス診断] - アクションボタン

[OK]

管理パス診断を実行します。

[キャンセル]

管理パスの診断を中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.41 [RADIUS サーバ接続確認]



[RADIUS サーバ接続確認] - 表示項目

表示	説明
RADIUS サーバ名	RADIUS サーバ名を選択します。
ユーザ ID	ユーザ ID を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

[RADIUS サーバ接続確認] - アクションボタン

[OK]

RADIUS サーバ接続確認を実行します。

[キャンセル]

RADIUS サーバ接続確認を中止し、[HVM] タブに戻ります。

3.4.42 [LPAR] タブ

[LPAR] タブ - 表示項目

動作モードが Basic, サーバブレードの電源が OFF の場合

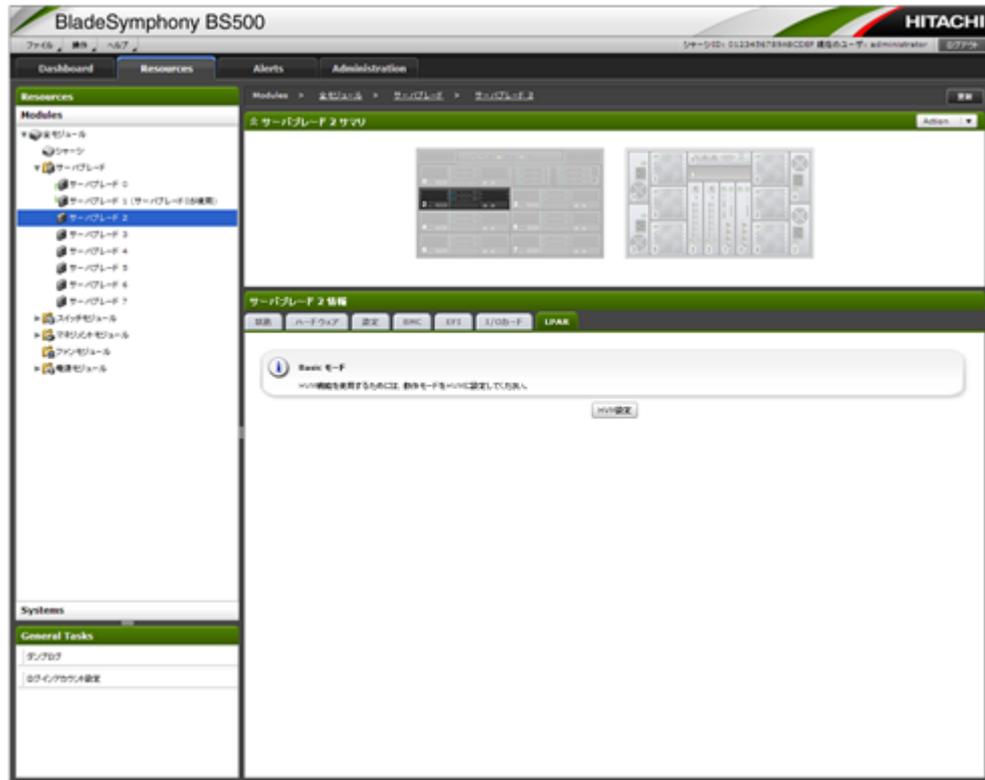
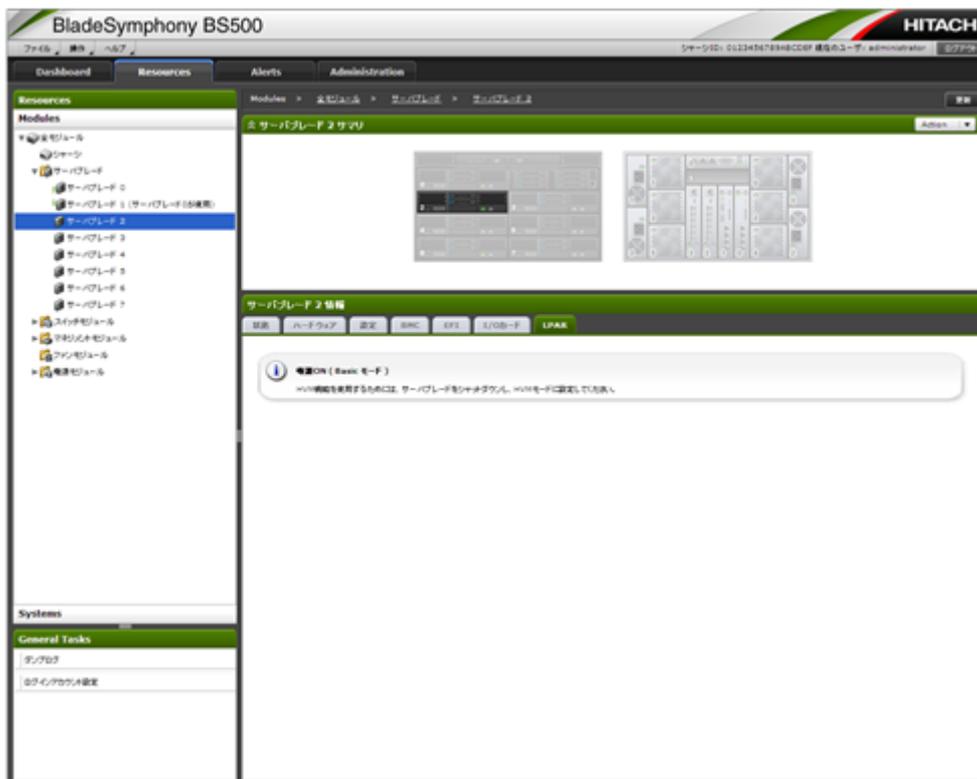


表 3-6 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが Basic, サーバブレードの電源が OFF の場合)

表示	説明
HVM 設定ボタン	<p>【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】 HVM 設定ダイアログを表示します。</p> <p>【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 HVM タブに移動します。</p>

動作モードが Basic, サーバブレードの電源が ON の場合



動作モードが HVM, サーバブレードの電源が OFF の場合

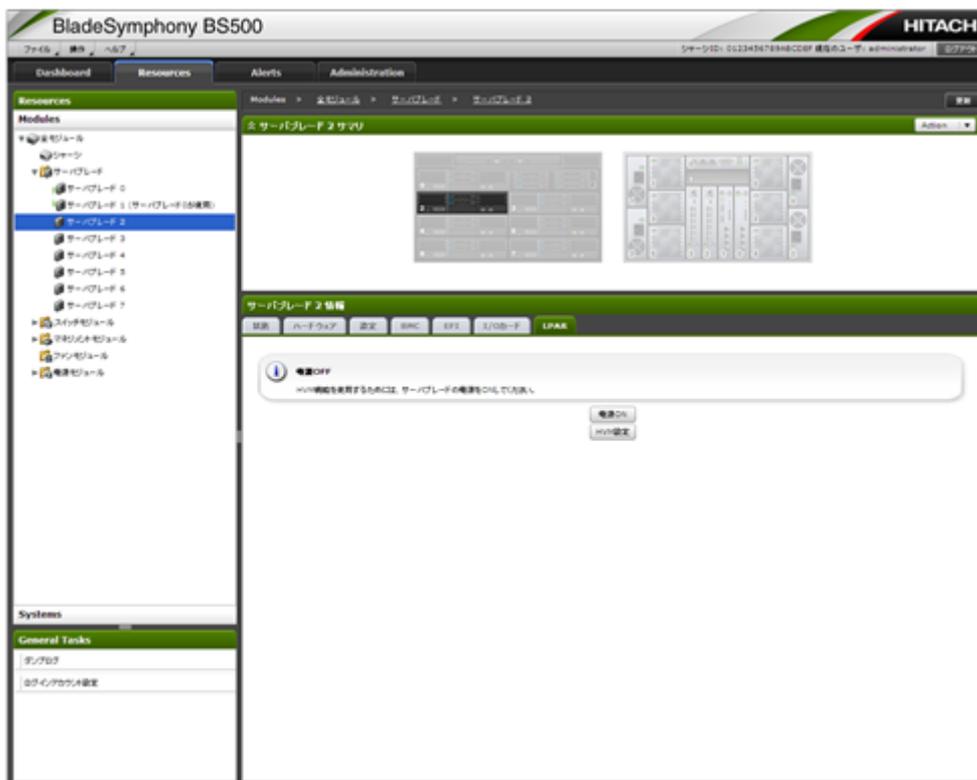


表 3-7 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが HVM, サーバブレードの電源が OFF の場合)

表示	説明
電源 ON ボタン	HVM が起動します。

表示	説明
HVM 設定ボタン	<p>【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】 HVM 設定ダイアログを表示します。</p> <p>【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 HVM タブに移動します。</p>

重要 電源 ON 指示後、HVM の起動が完了するまでの間は、[LPAR] タブ内に HVM の起動状態が表示されません。([更新] ボタンをクリックすることで、内容が更新されます) ただし、電源投入直後は、次のメッセージが表示されます。

- ・ 状態取得に失敗したことを意味するメッセージ
 - ・ HVM シャットダウン中を意味するメッセージ
- 本現象が発生した場合は、[更新] ボタンのクリックにより、画面を更新してください。

動作モードが HVM、サーバブレードの電源が ON の場合

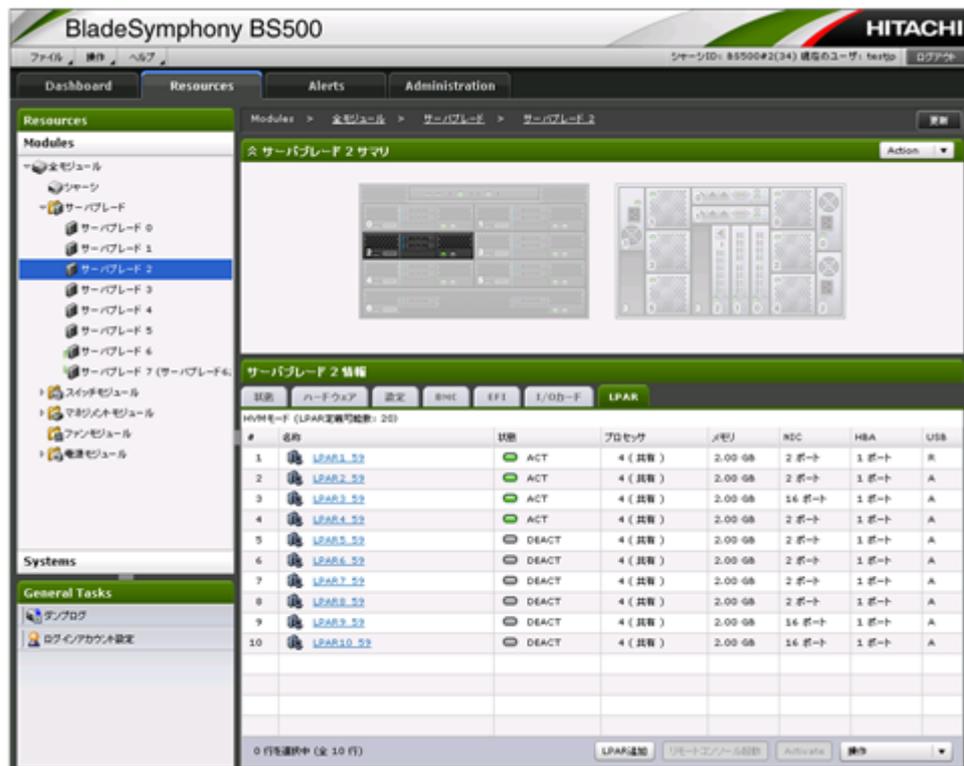


表 3-8 [LPAR] タブ - 表示項目 (動作モードが HVM, サーバブレードの電源が ON の場合)

表示	説明
#	LPAR 番号を表示します。
名称	LPAR 名称を表示します。 また、LPAR 名称をクリックすると、LPAR 情報ダイアログを表示します。
状態	次のいずれかの LPAR のステータスを表示します。 ACT(Activate) : 電源が入っている状態です。 DEACT(Deactivate) : 電源が切れている状態です。 FAILURE(Failure) : 回復不能な障害により、使用ができない状態です。
プロセッサ	LPAR に割り当てた論理プロセッサ数を表示します。 論理プロセッサのスケジューリングモード(共有モード/占有モード)も表示します。
メモリ	LPAR に割り当てるメモリ容量を表示します。
NIC	LPAR に割り当てられた NIC のポート数を表示します。
HBA	LPAR に割り当てられた HBA のポート数を表示します。

表示	説明
USB (USB/ KVM)	USB デバイスの割り当て状態を表示します。 ----- : 未割り当て A : 割り当て R : 使用中 (使用可能状態) 【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 複数の USB デバイスを使用するとき、リモートコンソールと接続されている USB/KVM が表示されます。
USB (前面 パネル)	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 使用している USB デバイスが表示されます。 LPAR に割り当てられる USB デバイスのポート数が表示されます。リモートコンソール接続に使われるデバイスは含まれません。

【LPAR】 タブ - アクションボタン

[LPAR 追加]

[LPAR 追加] ダイアログを表示します。

[リモートコンソール起動]

リモートコンソールを開きます。

[Activate]

LPAR を Activate します。([確認] ダイアログを表示します)

[操作]

[USB/KVM アタッチ]

USB デバイス、リモートコンソールを指定した LPAR に取り付けます。

[USB/KVM デタッチ]

USB デバイス、リモートコンソールを指定した LPAR から取り外します。

[USB 割り当て編集]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】

USB デバイス割り当てを編集するための、[USB ポート設定] ダイアログを表示します。

[スケジューリングモード]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】

スケジューリングモードを設定します。

[Deactivate]

LPAR を Deactivate します。

[Reactivate]

LPAR を Reactivate します。

[LPAR 削除]

LPAR を削除します。

[HVM シャットダウン]

HVM を停止します。

[HVM 再起動]

HVM を再起動します。

[構成情報保存]

HVM 構成情報を保存します。

[HVM 稼働時ダンプログ採取]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0145 以降】

HVM 稼働時ダンプを採取し、ダウンロードします。

参考 USB デバイスの割り当て状態、および状態遷移については、「*BladeSymphony BS500 HVM ユーザーズガイド*」の USB/KVM を参照してください。

重要 マネジメントモジュールファームウェアが A0330 より前のバージョンの場合、サーバブレードで障害が発生していると、「サーバブレードの状態を確認してください」と表示して LPAR タブの操作ができません。障害要因を排除して再度操作をしてください。

参考 BS500 Web コンソール管理ツールを使用している場合、[リモートコンソール起動] を実行すると、サーバブレードの Web コンソールのログイン画面が表示されます。サーバブレードへの接続については、マニュアル「*BladeSymphony BS500 リモートコンソールユーザーズガイド*」を参照してください。

3.4.43 [HVM 設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】

サーバブレードの [設定] タブの [HVM 設定表示] ボタン、または電源が OFF の場合の [LPAR] タブの [HVM 設定] ボタンにより表示されます。



[HVM 設定] - 表示項目

表示		説明	
サーバブレード状態パネル	—	サーバブレードの状態を表示します。	
	サーバブレード状態	電源	サーバブレードの電源状態を表示します。
	HVM	状態	HVM の稼働状態を表示します。 なお、稼働状態はサーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します。 正常：正常に稼働していることを表します。 起動中：HVM を起動していることを表します。 エラー：エラーが発生していることを表します。 警告：警告が発生していることを表します。 状態不明：状態が不明であることを表します。

表示		説明	
	状態詳細	<p>HVM の稼働状態の詳細メッセージを表示します。</p> <p>-----</p> <p>電源 OFF 中などの理由で状態が取得できないことを表します。</p> <p>System firmware is starting. EFI の起動中であることを表します。</p> <p>Starting load f/w image and config files. HVM ファームウェアの読み込みを開始したことを表します。</p> <p>Load *** function done. 各種設定ファイルを読み込んでいることを表します。(***には読み込み中の機能を表す文字が入ります)</p> <p>HVM F/W Load completed. HVM ファームウェアの読み込みが完了したことを表します。</p> <p>Starting HVM. HVM の起動を開始したことを表します。</p> <p>System Initializing HVM システムの初期設定中であることを表します。</p> <p>System Ready HVM が正常に稼働していることを表します。</p>	
サーバブレードシステム設定パネル	—	サーバブレードの設定内容を表示します。	
	動作モード	Basic/HVM サーバブレードの動作モードを表示します。	
	ファームウェア	バージョン	割り当てた HVM ファームウェアのバージョンを表示します。
		面	割り当てた面番号を表示します。
	HVM ライセンス	HVM モデル HVM モデルを表示します。	
	HVM 機能	HVM ID	HVM ID を表示します。
		IP アドレス	HVM IP アドレスを表示します。
		サブネットマスク	サブネットマスクを表示します。
		デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示します。
		VNIC System No.	VNIC System No.を表示します。
アラート言語		HVM のアラートメッセージの言語を表示します。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します) Japanese : アラートメッセージを日本語で表示します。 English : アラートメッセージを英語で表示します。	
仮想コンソールポート	仮想 COM コンソールに Telnet 接続する TCP ポートを表示します。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します)		

表示		説明
時刻設定	タイムゾーン	タイムゾーンを表示します。
	NTP 同期	時刻を同期するサーバを表示します。 NTP : NTP サーバと同期しています。 SVP : マネジメントモジュールと同期しています。 OFF : 時刻の同期をしていません。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します)
	NTP インポート	NTP 設定をインポートした相手を表示します。 SVP : マネジメントモジュールの NTP 設定をインポートしました。 BMC : BMC の NTP 設定をインポートしました。 NONE : NTP 設定をインポートしません。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します)
	NTP サーバ 1	時刻を同期するサーバの IP アドレスを表示します。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します) なお、本設定は"NTP 同期"が"NTP"に設定されている場合のみ有効です。
	NTP サーバ 2	時刻を同期するサーバの IP アドレスを表示します。 (サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します) なお、本設定は"NTP 同期"が"NTP"に設定されている場合のみ有効です。
サーバブレード CLI 設定パネル		CLI IP アドレスの設定内容を表示します。
サーバブレード BSM インタフェース設定パネル	—	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager(BSM)の通信設定内容を表示します。(サーバブレードの電源が ON の場合のみ表示します)
	IP アドレス	BSM IP アドレスを表示します。
	アラートポート	BSM Alert Port を表示します。

重要

- VNIC System No.について、129 以上の値が設定されている場合、表示される内容は以下となります。
 【サーバブレードの電源が OFF の場合】
 設定されている値が表示されます。
 【マネジメントモジュールファームウェアバージョンが A0135 以前で、サーバブレードの電源が ON の場合】
 255 と表示されます。
 【マネジメントモジュールファームウェアバージョンが A0145 以降で、サーバブレードの電源が ON の場合】
 設定されている値が表示されます。
- サーバブレードの電源状態に関わらず、129 以上の VNIC System No.の値を正しく表示 するためには、バージョン A0145 以降のマネジメントモジュールファームウェアを適用 してください。

参考 [戻る] ボタンを使って、この画面から [HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] ダイアログや、[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログへ戻ることができま

す。ただし、[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログまで戻った場合、バックアップ/リストアの実行結果はクリアされます。

[HVM 設定] - アクションボタン

[HVM ファームウェア割り当て]

サーバブレードに HVM ファームウェアを割り当てます。

([HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログを表示します)

[HVM モデル変更]

サーバブレードに HVM モデルを割り当てます。

([HVM モデル変更] ダイアログを表示します)

サーバブレード起動中は、非活性になります。

[設定変更]

HVM の設定変更をします。

([HVM 設定編集] ダイアログを表示します)

[設定保存]

HVM 構成情報を保存します。

[閉じる]

[HVM 設定] ダイアログを閉じます。

[HVM 設定] - 操作項目

項目			HVM の状態		LPAR の状態	
			電源 OFF	電源 ON	Deactivate	Activate
サーバブレード状態パネル	サーバブレード状態	電源	—	—	—	—
		HVM	状態	—	—	—
		状態詳細	—	—	—	—
サーバブレードシステム設定パネル	動作モード	有効/無効	○	×	—	—
	ファームウェア	バージョン	—	—	—	—
		面	—	—	—	—
	HVM ライセンス	HVM モデル	—	—	—	—
	HVM 機能	HVM ID	○	○	○	×
		IP アドレス	○	×	—	—
		サブネットマスク	○	×	—	—
		デフォルトゲートウェイ	○	×	—	—
		VNIC System No.	○	○	○	×
アラート言語		○	○	○	×	
仮想コンソールポート		○	○	○	×	

項目			HVM の状態		LPAR の状態	
			電源 OFF	電源 ON	Deactivate	Activate
	時刻設定	タイムゾーン	○	○	○	○
		NTP 同期	○	○	○	○
		NTP インポート	○	○	○	○
		NTP サーバ 1	○	○	○	○
		NTP サーバ 2	○	○	○	○
サーバブレード CLI 設定パネル	CLI IP アドレス 1~8		○	○	○	○
サーバブレード BSM インタフェース設定パネル	BSM1~4	IP アドレス	○	○	○	○
		アラートポート	○	○	○	○

○：設定可能，×：設定不可，－：対象外

3.4.44 [HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】



[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード番号	HVM ファームウェアを割り当てる対象サーバブレードを表示します。
HVM ファームウェアバージョンプルダウンリスト	HVM ファームウェアを選択します。

[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] - アクションボタン

[次へ]

HVM ファームウェアを決定し，[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] に移ります。

[キャンセル]

設定内容を解除し，[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログを閉じます。

参考 SMP 構成の場合，プライマリサーバブレードに対してファームウェアを割り当てることができます。ノンプライマリサーバブレードの場合，割り当てられているファームウェアが表示されますが，HVM が動作するバージョンとは異なります。

3.4.45 [HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】



[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] - アクションボタン

[戻る]

[HVM ファームウェア割り当て (ファームウェアバージョン選択)] ダイアログに戻ります。

[バックアップ]

HVM 構成情報をバックアップします。

([構成情報のバックアップ] ダイアログを表示します。[構成情報のバックアップ] ダイアログについては、「3.4.2 [構成情報のバックアップ]」を参照してください)

[リストア]

HVM 構成情報をリストアします。

([構成情報のリストア] ダイアログを表示します。[構成情報のバックアップ] ダイアログについては、「3.4.3 [構成情報のリストア]」を参照してください)

サーバブレード起動中は非活性になります。

[確認]

[HVM ファームウェア割り当て (確認)] に移ります。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] ダイアログを閉じます。

3.4.46 [HVM ファームウェア割り当て (確認)]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】



[HVM ファームウェア割り当て (確認)] - 表示項目

表示		説明
HVM ファームウェア割り当てパネル	—	HVM ファームウェア割り当ての設定内容を表示します。

表示		説明	
	サーバブレード番号	HVM ファームウェアを割り当てるサーバブレードを表示します。	
	HVM ファームウェアバージョン	Current	現在の HVM ファームウェアバージョンを表示します。
		Next	次回起動時の HVM ファームウェアバージョンを表示します。
構成情報のバックアップ/リストアパネル	—	構成情報のバックアップ/リストアを実行したかどうかを表示します。	
	構成情報のバックアップ	構成情報のバックアップを実行したかどうかを表示します。	
	構成情報のリストア	構成情報のリストアを実行したかどうかを表示します。	

[HVM ファームウェア割り当て (確認)] - アクションボタン

[戻る]

[HVM ファームウェア割り当て (HVM 構成情報操作)] に戻ります。

[OK]

HVM ファームウェアの割り当てを実行します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM ファームウェア割り当て (確認)] ダイアログを閉じます。

参考 [戻る] ボタンの操作により、この画面から [HVM ファームウェア割り当て(HVM 構成情報操作)] ダイアログや、[HVM ファームウェア割り当て(ファームウェアバージョン選択)] ダイアログへ戻ることができますが、[HVM ファームウェア割り当て(ファームウェアバージョン選択)] ダイアログまで戻った場合、バックアップ/リストアの実行結果はクリアされます。

3.4.47 [HVM モデル変更]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】



[HVM モデル変更] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード番号	HVM モデルを変更するサーバブレードを選択します。
HVM モデル	現在の HVM モデルを表示します。 Essential/Advanced の値をとります。 Essential: 同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 4 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 3 まで定義できます)

表示	説明
	Advanced : 同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 30 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 29 まで定義できます) Enterprise : 同時に Activate できる LPAR 数と定義できるプロセッサグループ数がいずれも 60 です。(プロセッサグループは、グループ 0 から 59 まで定義できます)
キー 直接入力ラジオボタン	ライセンスキーを直接入力する方法を選択します。
キー 直接入力テキストボックス	ライセンスキーを入力します。 キー 直接入力ラジオボタンが選択されている場合に活性になります。
キー ファイル名ラジオボタン	ライセンスキーをキーファイルから読み込ませる方法を選択します。
参照ボタン	ライセンスキーを読み込ませるキーファイルを選択します。 キーファイル名ラジオボタンが選択されている場合に活性になります。

[HVM モデル変更] - アクションボタン

[確認]

[キーチェック結果] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM モデル変更] ダイアログを閉じます。

重要 SMP 構成の場合、SMP を構成するすべてのサーバブレードに対して HVM モードを設定する必要があります。

3.4.48 [キーチェック結果]

[マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前]



[キーチェック結果] - 表示項目

	表示	説明
HVM モデル更新パネル	—	HVM モデル変更内容を表示します。
	サーバブレード番号	HVM モデル変更対象サーバブレード番号を表示します。
	キー	HVM ライセンスキーを表示します。
	キーファイル	HVM ライセンスキーファイルが表示されます。

表示		説明
		ライセンスキーを直接入力した場合は、表示されません。
	HVM モデル	現在
		更新後
		現在の HVM モデルが表示されます。
		更新後の HVM モデルが表示されます。

[キーチェック結果] - アクションボタン

[戻る]

[HVM モデル変更] ダイアログに戻ります。

[OK]

HVM モデルを反映します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[キーチェック結果] ダイアログを閉じます。

3.4.49 [HVM 設定 (編集)]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】

重要

- HVM 稼働中、一部の項目は入力および変更できません。入力および変更できない項目はグレーアウトされます。
- この Web コンソールで入力、設定、変更がサポートされていない項目は、Virtage Navigator または HVM スクリーンで入力、設定、変更を行ってください。

参考

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0180～A023X】

HVM IP アドレスに 0.0.0.0 を設定した場合、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも 0.0.0.0 に設定されます。なお、HVM IP アドレスに 0.0.0.0 を設定した場合、HVM を使用することはできません。

[HVM 設定 (編集)] - 表示項目

表示		説明
動作モード	HVM ラジオボタン	動作モードを HVM に設定します。

表示		説明
	Basic ラジオボタン	動作モードを Basic に設定します。
IP アドレステキストボックス		HVM が使用する IP アドレス(IPv4 形式, xxx.xxx.xxx.xxx)を入力します。(xxx は 0~255 の数字) IP アドレスは、マネジメントモジュールやサーバブレードの IP アドレスなどと重複しないように設定してください。重複して設定した場合は、Web コンソールやリモートコンソールなどに接続できなくなります。
サブネットマスクテキストボックス		サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイテキストボックス		デフォルトゲートウェイを設定します。 HVM ファームウェアバージョン 01-5X 以前の場合、HVM とマネジメントモジュールの IP アドレス、デフォルトゲートウェイは、同一ネットワークとなるように設定してください。 HVM ファームウェアバージョン 01-60 以降の場合、HVM の IP アドレス、デフォルトゲートウェイは、同一ネットワークとなるように設定してください。 デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」としてください。空白とした場合、HVM の起動に失敗することがあります。
VNIC System No.テキストボックス		VNIC System No.を設定します。 なお、VNIC System No.は、共有 NIC および仮想 NIC の MAC アドレスの重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。BladeSymphony シリーズの HVM システムにユニークな値を設定する必要があります。 【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0135 以前】 1~128 の範囲で指定します。 【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0145 以降】 1 以上の範囲で指定します。最大値は HVM ファームウェアバージョンによって変化します。 【サーバブレードに HVM ファームウェアが未割り当ての場合】 1~128 の範囲で指定します。
HVM ID テキストボックス		HVM を識別する ID を設定します。 設定できる最大文字数は 16 文字です。 設定できる文字は次のとおりです。 英数字, "~", "@", "#", "\$", "%", "^", "-"(ハイフン), "+", "=", "_"(アンダースコア), "."(ピリオド), "[", "]" 「HVM_」に続いて、HVM IP アドレスから「.(ピリオド)」を省略した数字が初期値として反映されます。
タイムゾーンスピンボックス		タイムゾーンを設定します。
Advanced Option	—	上記以外の設定項目を表示します。 初期状態では折りたたまれた状態となっており、下線部をクリックすることで設定項目が表示されます。値が入力されている、または変更されている場合は、項目一覧が展開された状態で表示されます。
	CLI1~8 テキストボックス	HVM CLI アドレス 1~8 を設定します。

[HVM 設定 (編集)] - アクションボタン

[確認]

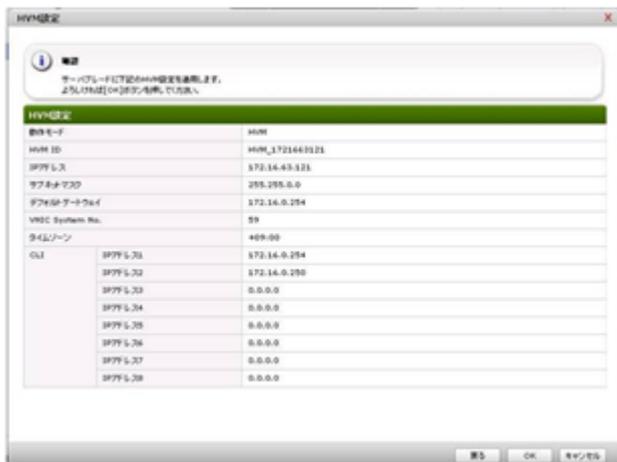
[HVM 設定確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM 設定] ダイアログに戻ります。

3.4.50 [HVM 設定確認]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A023X 以前】



[HVM 設定確認] - 表示項目

表示	説明	
HVM 設定パネル	—	HVM 初期設定の内容を表示します。
動作モード		サーバブレードの動作モードを表示します。
HVM ID		HVM ID を表示します。
IP アドレス		HVM IP アドレスを表示します。
サブネットマスク		サブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ		デフォルトゲートウェイを表示します。
VNIC System No.		VNIC System No.を表示します。
タイムゾーン		タイムゾーンを表示します。
CLI IP アドレス 1~8		HVM CLI アドレス 1~8 を表示します。

[HVM 設定確認] - アクションボタン

[戻る]

[HVM 設定編集] ダイアログに戻ります。

[OK]

HVM 初期設定を反映します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM 設定] ダイアログに戻ります。

3.4.51 [LPAR 情報]

HVM稼働中の [LPAR] タブより、LPAR 名称をクリックすることで表示されます。



[LPAR 情報] - 表示項目

表示		説明	
LPAR 状態パネル	—	LPAR のステータスを表示します。	
	LPAR 状態	LPAR の状態を表示します。	
	HVM ファームウェア	HVM ファームウェアバージョンと HVM ファームウェアの内部バージョンを表示します。	
LPAR 設定パネル	—	LPAR の設定を表示します。	
	名称	LPAR 名称を表示します。	
	プロセッサ	LPAR に割り当てた論理プロセッサ数を表示します。 論理プロセッサのスケジューリングモード(共有モード/占有モード)も表示します。	
	メモリ	LPAR に割り当てるメモリ容量を表示します。	
	HBA	番号	カード種別, コントローラ番号, スケジューリングモード, ポート番号, vfcID, World Wide Node Name, World Wide Port Name, ブート機能の有効/無効を表示します。 【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 ブート機能の有効/無効をクリックすることで, 該当 HBA ポートのブート設定内容が表示されます。
	NIC	番号	カード種別, コントローラ番号, スケジューリングモード, ポート番号, セグメント番号, Virtual NIC Number, MAC アドレスを表示します。
	USB	番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 ポート種別, 使用状況を表示します。
	Boot Mode		【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 LPAR のブートモードを表示します。

[LPAR 情報] - アクションボタン

[Activate]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】
LPAR を Activate します。 ([確認] ダイアログを表示します)
DEACT 状態の LPAR を表示している場合に活性になります。

[ブートオーダー設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】
LPAR の [ブートオーダー設定] ダイアログを表示します。
DEACT 状態の LPAR を表示している場合に活性になります。

[LPAR 編集]

LPAR の設定を変更, 修正します。
DEACT 状態の LPAR を表示している場合に活性になります。

[閉じる]

[LPAR 情報] ダイアログを閉じます。

3.4.52 [LPAR 編集]



[LPAR 編集] - 表示項目

表示		説明
LPAR	—	LPAR のリソース状況を表示します。
	名称テキストボックス	LPAR 名称を変更します。
	プロセッサスピンボックス	LPAR に割り当てるプロセッサ数を変更します。
	共有ラジオボタン	プロセッサを共有で割り当てます。
	占有ラジオボタン	プロセッサを占有で割り当てます。
	メモリスピンボックス	メモリサイズを 0.25GB 単位で変更します。
	HBA パネル	—
	ポート設定ボタン	HBA ポート設定ダイアログを表示します。

表示		説明	
	NIC パネル	—	割り当てられている NIC を表示します。
		ポート設定ボタン	NIC ポート設定ダイアログを表示します。
	USB パネル	—	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 割り当てられている USB を表示します。
		ポート設定ボタン	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 USB ポート設定ダイアログを表示します。
Advanced Option	—	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 上記以外の設定項目を表示します。 初期状態では折りたたまれた状態となっており、下線部をクリックすることで設定項目が表示されます。	
	Boot Mode プルダウンリスト	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 LPAR のブートモードを表示します。 この項目は、デフォルト設定のまま使用してください。	

[LPAR 編集] - アクションボタン

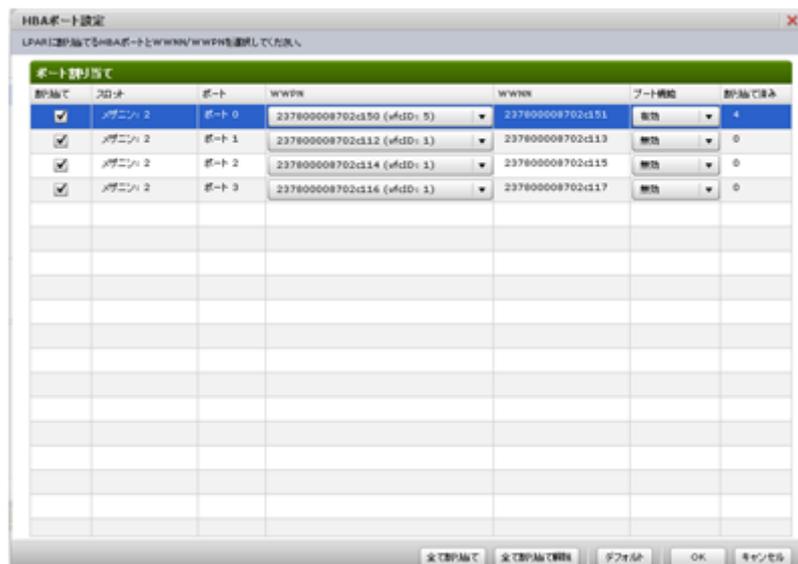
[確認]

[LPAR 編集(確認用)] を表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[LPAR 情報] ダイアログに戻ります。

3.4.53 [HBA ポート設定]



[HBA ポート設定] - 表示項目

表示		説明
ポート割り当てパネル	—	サーバブレードに搭載されている HBA ポートを表示します。
	割り当てチェックボックス	LPAR に割り当てる HBA ポートを選択します。
	スロット	サーバブレードに搭載されている HBA スロットを表示します。
	コントローラ番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 コントローラ番号を表示します。
	スケジューリングモード	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 スケジューリングモードを表示します。
	ポート	サーバブレードに搭載されている HBA ポートを表示します。
	WWPN コンボボックス	WWPN(vfcID)を選択します。 (割り当てにチェックがついている場合のみ選択できます)
	WWNN	WWNN を表示します。 (WWPN が選択されている場合のみ表示します)
	ブート機能	当該ポートの有効/無効の設定をします。 有効: 当該ポートから LU に接続できる状態 無効: 当該ポートから LU に接続できない状態
	割り当て済み	当該ポートが割り当てられている, 他 LPAR 数を表示します。

[HBA ポート設定] - アクションボタン

[全て割り当て]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】

割り当てにチェックがついていない HBA ポートすべてにチェックをつけ, 設定可能な WWPN(vfcID), WWNN の中でもっとも小さな値を選択します。

(割り当てにチェックがついている HBA ポートの設定は変更されません)

[全て割り当て解除]

割り当てにつけられたチェックをすべて解除します。

[デフォルト]

各ポートの WWPN(vfcID), WWNN をデフォルト設定(設定可能な値の中でもっとも小さな値)に戻します。

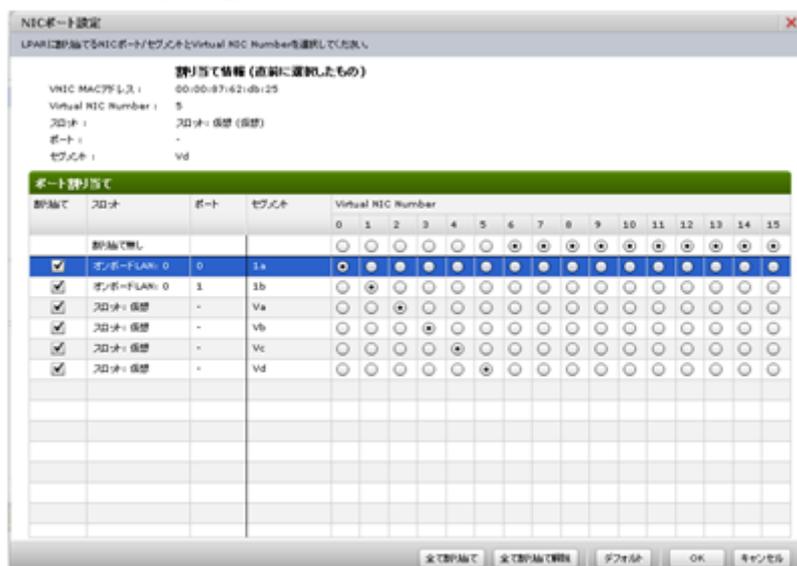
[OK]

HBA 設定を保存し, [HBA ポート設定] ダイアログを閉じます。

[キャンセル]

設定内容を解除し, [LPAR 編集] ダイアログに戻ります。

3.4.54 [NIC ポート設定]



[NIC ポート設定] - 表示項目

表示		説明
VNIC MAC アドレス		ポート割り当てパネルで選択されているセグメントと、Virtual NIC Number に割り当てられた MAC アドレスを表示します。
Virtual NIC Number		ポート割り当てパネルで選択されている Virtual NIC Number を表示します。
スロット		ポート割り当てパネルで選択されているセグメントのポートが付随しているカードの搭載位置を表示します。
ポート		ポート割り当てパネルで選択されているセグメントのポートが付随しているカード上のポート番号を表示します。
セグメント		ポート割り当てパネルで選択されているセグメントを表示します。
ポート割り当てパネル	—	サーバブレードに搭載されている NIC ポートを表示します。
	割り当てチェックボックス	LPAR に割り当てる NIC ポートを選択します。
	スロット	サーバブレードに搭載されている NIC スロットを表示します。
	ポート	サーバブレードに搭載されている NIC ポートを表示します。
	コントローラ番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 サーバブレードに搭載されている NIC のコントローラ番号を表示します。
	スケジューリングモード	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 サーバブレードに搭載されている NIC のスケジューリングモードを表示します。
	セグメント	NIC ポートに割り当てられているセグメントを表示します。

表示		説明
	Virtual NIC Number ラジオボタン	Virtual NIC Number を選択します。

[NIC ポート設定] - アクションボタン

[全て割り当て]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】

割り当てにチェックがついていない NIC ポートすべてにチェックをつけ、未選択の Virtual NIC Number を小さな値から順に設定します。

(割り当てにチェックがついている NIC ポートの設定は変更されません)

[全て割り当て解除]

割り当てにつけられたチェックをすべて解除します。

[デフォルト]

各ポートの Virtual NIC Number の割り当てをデフォルト設定(設定可能な値の中でもっとも小さな値一つ)に戻します。

[OK]

NIC 設定を保存し、[NIC ポート設定] ダイアログを閉じます。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[LPAR 編集] ダイアログに戻ります。

3.4.55 [USB ポート設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】



[USB ポート設定] - 表示項目

表示		説明
ポート割り当てパネル	—	サーバブレードに搭載されている USB ポートを表示します。
割り当てチェックボックス		LPAR に割り当てる USB ポートを選択します。
スロット		サーバブレードに搭載されている USB ポートを表示します。
使用状況		当該ポートを使用している LPAR 番号、LPAR 名称を表示します。使用中の LPAR がない場合、未使用と表示します。

[USB ポート設定] - アクションボタン

[確認]

USB ポート設定の [確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

USB ポート設定を中止し、ダイアログを閉じます。

3.4.56 [LPAR 編集(確認用)]



[LPAR 編集(確認用)] - 表示項目

表示		説明
LPAR 設定パネル/LPAR 設定 before パネル		設定後、および設定前の LPAR の設定内容を表示します。
名称		LPAR 名称を表示します。
プロセッサ		LPAR に割り当てられている論理プロセッサ数を表示します。 論理プロセッサのスケジューリングモード (共有モード/占有モード) も表示します。
メモリ		LPAR に割り当てられているメモリ容量を表示します。
HBA	割り当て番号	カード種別、コントローラ番号、スケジューリングモード、ポート番号、vfcID、World Wide Node Name、World Wide Port Name、ブート機能の設定内容を表示します。
NIC	割り当て番号	カード種別、コントローラ番号、スケジューリングモード、ポート番号、セグメント番号、Virtual NIC Number、MAC アドレスを表示します。
USB	割り当て番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 ポート種別を表示します。
Boot Mode		【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 LPAR のブートモードを表示します。

[LPAR 編集(確認用)] - アクションボタン

[戻る]

[LPAR 編集] ダイアログに戻ります。

[OK]

設定を保存し、[LPAR 編集(確認用)] ダイアログを閉じます。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[LPAR 情報] ダイアログに戻ります。

3.4.57 [LPAR 追加] ダイアログ

[LPAR 追加] ダイアログ - 表示項目

表示		説明
LPAR	—	LPAR のリソース状況を表示します。
	名称テキストボックス	LPAR 名称を変更します。
	プロセッサスピンボックス	LPAR に割り当てるプロセッサ数を変更します。
	共有ラジオボタン	プロセッサを共有で割り当てます。
	占有ラジオボタン	プロセッサを占有で割り当てます。
	メモリスピンボックス	メモリサイズを 0.25GB 単位で変更します。
HBA パネル	—	割り当てられている HBA を表示します。
	ポート設定ボタン	HBA ポート設定ダイアログを表示します。
NIC パネル	—	割り当てられている NIC を表示します。
	ポート設定ボタン	NIC ポート設定ダイアログを表示します。
USB パネル	—	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 割り当てられている USB を表示します。

表示		説明
	ポート設定ボタン	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 USB ポート設定ダイアログを表示します。
	Advanced Option	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 上記以外の設定項目を表示します。 初期状態では折りたたまれた状態となっており、下線部をクリックすることで設定項目が表示されます。
	Boot Mode プルダウンリスト	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 LPAR のブートモードを表示します。 この項目は、デフォルト設定のまま使用してください。

[LPAR 追加] ダイアログ - アクションボタン

[確認]

[LPAR 編集ダイアログ(確認用)] を表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[LPAR 追加] ダイアログを閉じます。

3.4.58 [LPAR 追加ダイアログ(確認用)]



[LPAR 追加ダイアログ(確認用)] - 操作項目

表示	説明
LPAR Settings パネル	追加する LPAR の設定内容を表示します。
名称	LPAR 名称を表示します。
プロセッサ	LPAR に割り当てる論理プロセッサ数を表示します。

表示		説明
		論理プロセッサのスケジューリングモード (共有モード/占有モード)も表示します。
	メモリ	LPAR に割り当てるメモリ容量を表示します。
HBA	割り当て番号	カード種別, コントローラ番号, スケジューリングモード, ポート番号, vfcID, World Wide Node Name, World Wide Port Name, ブート機能の設定内容を表示します。
NIC	割り当て番号	カード種別, コントローラ番号, スケジューリングモード, ポート番号, セグメント番号, Virtual NIC Number, MAC アドレスを表示します。
USB	割り当て番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 ポート種別を表示します。
Boot Mode		【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0205 以降】 LPAR のブートモードを表示します。

[LPAR 追加ダイアログ(確認用)] - アクションボタン

[戻る]

[LPAR 追加] ダイアログに戻ります。

[OK]

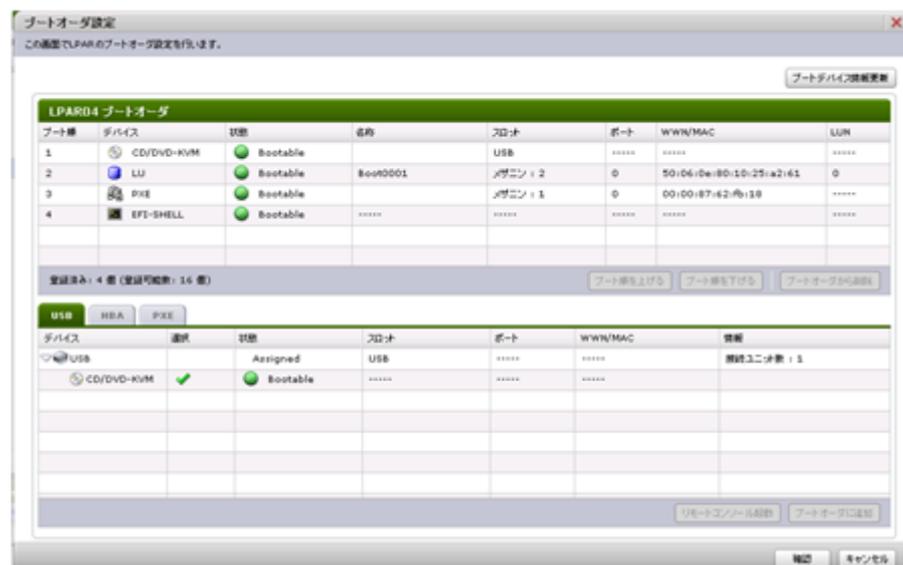
設定内容を反映し, [LPAR 追加ダイアログ(確認用)] を閉じます。

[キャンセル]

設定内容を解除し, [LPAR 追加ダイアログ(確認用)] を閉じます。

3.4.59 [ブートオーダ設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】



[ブートオーダー設定] - 表示項目

表示		説明
ブートデバイス情報更新ボタン		ブートデバイス情報を再取得し、ダイアログの表示内容を更新します。 情報を取得する際、LPAR の Activate と Deactivate を実行するため、完了までに数分かかる場合があります。
LPAR ブートオーダーパネル	—	LPAR のブートオーダーを表示します。
	ブート順	ブートの優先順位を表示します。
	デバイス	ブートデバイスタイプを表示します。
	状態	ブートデバイスの状態を表示します。
	名称	ブートデバイスの名称を表示します。
	スロット	ブートデバイスが接続されているカード種別を表示します。
	コントローラ番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 ブートデバイスが接続されているコントローラ番号を表示します。
	スケジューリングモード	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 ブートデバイスが接続されているスケジューリングモードを表示します。
	ポート	ブートデバイスが接続されているポート番号を表示します。
	WWN/MAC	ポートに割り当てられた WWN または MAC アドレスを表示します。
	LUN	ブートデバイスとして使用される LU 番号を表示します。
	ブート順を上げるボタン	選択されたブートデバイスのブート優先順位を上げます。
	ブート順を下げるボタン	選択されたブートデバイスのブート優先順位を下げます。
ブートオーダーから削除ボタン	選択されたブートデバイスをブートオーダーから削除します。	
USB/HBA/PXE タブ	—	それぞれのポートおよび接続されているデバイスの情報を表示します。
	デバイス	デバイスタイプを表示します。
	選択	ブートオーダーに選択されているかどうかを表示します。
	状態	論理ポートまたはデバイスの割り当て状態を表示します。 Assigned : USB デバイスがアサインされています。(USB) ----- : 占有モードのため、情報が取得できません。(HBA, PXE) Available : 正常に利用できます。(HBA) ConfigCheck : 構成上の問題で利用できません。(HBA) LinkDown : ケーブルが接続されていないため利用できません。(HBA) ErrorCheck : 回復不能な障害状態であるため利用できません。(HBA) Standby : 仮想 LAN セグメントが Standby 状態です。(PXE)

表示	説明
	Down : 仮想 LAN セグメントが Down 状態です。(PXE) Active : 仮想 LAN セグメントが Active 状態です。(PXE) Fault : 仮想 LAN セグメントが Fault 状態です。(PXE) Bootable : ブートデバイスとして利用できる状態です。 Not bootable : ブートデバイスとして利用できない状態です。
スロット	カード種別を表示します。
コントローラ番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 コントローラ番号を表示します。
スケジューリングモード	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 スケジューリングモードを表示します。
ポート	ポート番号、セグメント番号を表示します。
ブート機能	ブート機能の設定状態を表示します。有効/無効のリンクをクリックすることで、該当 HBA ポートのブート設定内容が表示されます。 (HBA タブを選択している場合に表示されます)
WWN/MAC	USB タブ : 常に"-----"となります。 HBA タブ : 論理ポートおよびストレージ装置の WWN を表示します。 PXE タブ : 論理ポートの MAC アドレスを表示します。
情報	USB タブ : ポートに接続されているデバイスの数を表示します。 HBA タブ : ポートに接続されているデバイスの数、または LU 番号を表示します。 PXE タブ : ポートに接続されているデバイスの数を表示します。
リモートコンソール起動ボタン	USB デバイスの追加・削除を行うために、リモートコンソールを起動します。 (USB タブを選択している場合に表示されます)
HBA ブート設定ボタン	選択されたポートに対する HBA ブート設定ダイアログを表示します。 (HBA タブを選択している場合に表示されます)
ブートオーダーに追加ボタン	選択されたデバイスをブートオーダーに追加します。

[ブートオーダー設定] - アクションボタン

[確認]

[ブートオーダー設定確認] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[LPAR 情報] ダイアログに戻ります。

3.4.60 [HBA ブート設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】



HBA の設定は、Basic モードで使用する場合と HVM モードで使用する場合で、使用するタブが異なります。HVM モードの場合は、本タブで設定してください。Basic モードの場合は、[3.4.13 \[I/O カード\]](#) タブを参照してください。

各項目で設定される内容や設定可能範囲については、「[HITACHI Gigabit Fibre Channel アダプタ ユーザーズガイド](#)」を参照してください。

なお、対象の HBA が共有モードの場合、[Connection Type] [Data Rate] の設定は変更できません。変更する必要がある場合は、いったん占有モードに切り替えてください。マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0245 以降では、共有モードでの変更をサポートしています。

3.4.61 [ブートオーダ設定確認]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0125 以降】



【ブートオーダ設定確認】 - 表示項目

表示	説明
ブート順	変更後のブート優先順位を表示します。
更新前ブート順	変更前のブート優先順位を表示します。
デバイス	ブートデバイスタイプを表示します。

表示	説明
状態	ブートデバイスの状態を表示します。
名称	ブートデバイスの名称を表示します。
スロット	ブートデバイスが接続されているカード種別を表示します。
コントローラ番号	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 ブートデバイスが接続されているコントローラ番号を表示します。
スケジューリングモード	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0240 以降】 ブートデバイスが接続されているスケジューリングモードを表示します。
ポート	ブートデバイスが接続されているポート番号を表示します。
WWN/MAC	ポートに割り当てられた WWN または MAC アドレスを表示します。
LUN	ブートデバイスとして使用される LU 番号を表示します。

【ブートオーダ設定確認】 - アクションボタン

[戻る]

[ブートオーダ設定] ダイアログに戻ります。

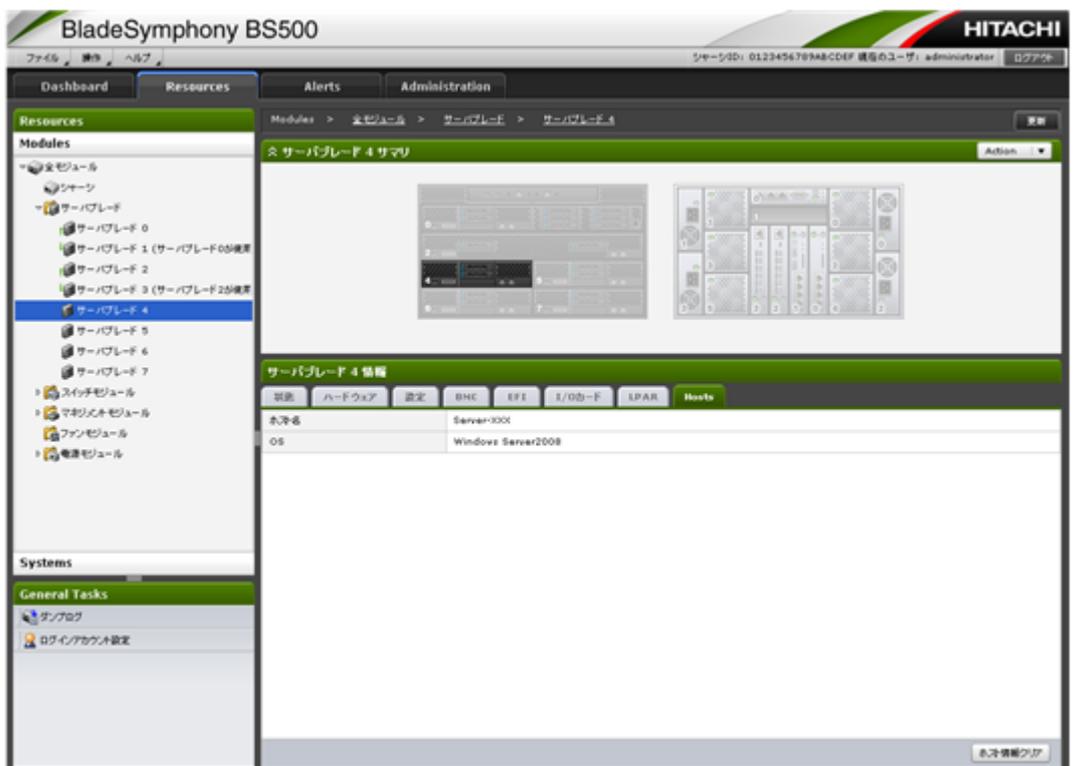
[OK]

ブートオーダ設定内容を保存し、[ブートオーダ設定確認] ダイアログを閉じます。

[キャンセル]

設定内容を破棄し、[LPAR 情報] ダイアログに戻ります。

3.4.62 [Hosts] タブ



[Hosts] タブ - 表示項目

表示	説明
ホスト名	サーバブレードから取得したホスト名を表示します。 取得できなかった場合は"-----"を表示します。
OS	サーバブレードから取得した OS を表示します。 取得できなかった場合は"-----"を表示します。

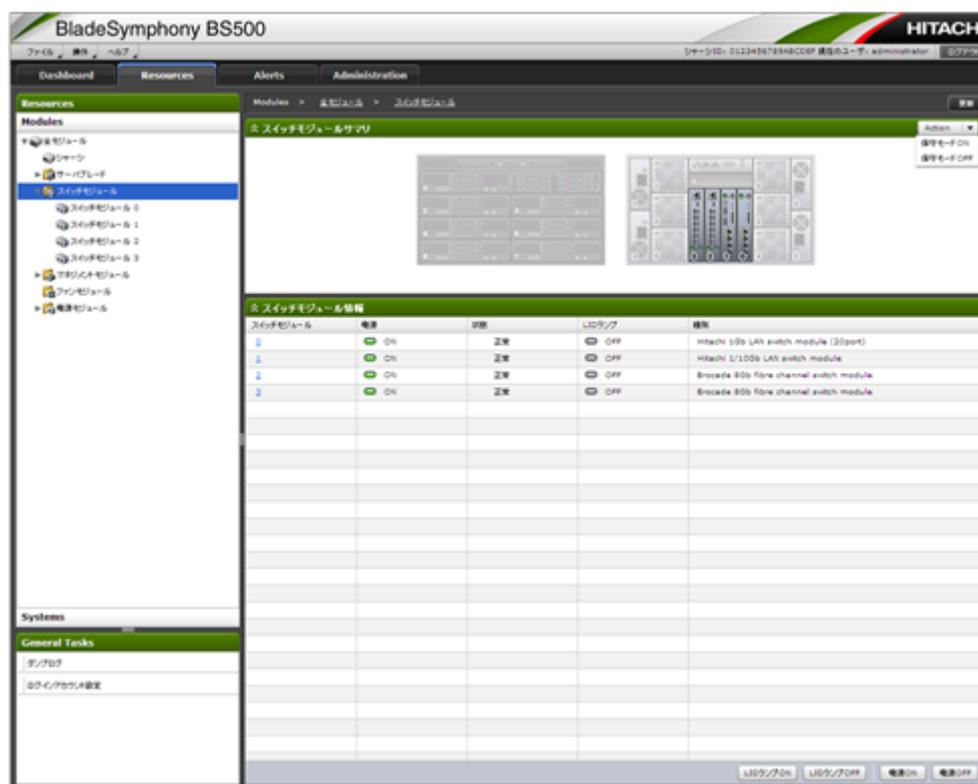
[Hosts] タブ - アクションボタン

[ホスト情報クリア]

サーバブレードから取得したホスト情報(ホスト名, OS 他)をクリアします。

3.5 スイッチモジュール一覧

搭載されているすべてのスイッチモジュールの動作状態の表示と操作を実施します。すべて、または選択した複数のスイッチモジュールに対して、電源操作などの基本的な操作が可能です。



3.5.1 [スイッチモジュールサマリ]

[スイッチモジュールサマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	スイッチモジュールスロットを選択して保守モードに設定します。 保守モードは、スイッチモジュールスロットに対して設定されます。 スイッチモジュールが搭載されている場合には、スイッチモジュールも保守モードに設定されます。 保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	スイッチモジュールスロットを選択して保守モードを解除します。 保守モードの解除は、スイッチモジュールスロットに対して実施されます。

表示	説明
	スイッチモジュールが搭載されている場合には、スイッチモジュールの保守モードも解除されます。

3.5.2 [スイッチモジュール情報]

[スイッチモジュール情報] - 表示項目

表示	説明
スイッチモジュール	スイッチモジュール番号を示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : スイッチモジュールの電源が ON であることを示します。  OFF : スイッチモジュールの電源が OFF であることを示します。 : スイッチモジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : スイッチモジュールが正常であることを示します。 起動中 : スイッチモジュールが初期化中であることを示します。  警告 : スイッチモジュールが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。  障害 : スイッチモジュールが障害状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。 : スイッチモジュールが搭載されていません。
LID ランプ	LID(識別 LED)点灯状態を表示します。  ON : LID(識別 LED)が ON であることを示します。  OFF : LID(識別 LED)が OFF であることを示します。 : スイッチモジュールが搭載されていません。
種別	スイッチモジュールの名称が表示されます。

[スイッチモジュール情報] - アクションボタン

[LID ランプ ON]

選択したスイッチモジュールの LID(識別 LED)を点灯します。
複数のスイッチモジュールを選択して実行することができます。

[LID ランプ OFF]

選択したスイッチモジュールの LID(識別 LED)を消灯します。
複数のスイッチモジュールを選択して実行することができます。

[電源 ON]

選択したスイッチモジュールの電源を ON します。
複数のスイッチモジュールを選択して実行することができます。

[電源 OFF]

選択したスイッチモジュールの電源を OFF します。
複数のスイッチモジュールを選択して実行することができます。

3.6 [スイッチモジュール]

選択した1つのスイッチモジュールの動作状態、ハードウェア情報の表示と、各種操作を実施します。また、Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20ポート/40ポート)、Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの主要な設定や、Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール、Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール、Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの Web コンソール画面の起動 (リンク) もこの画面から実施します。

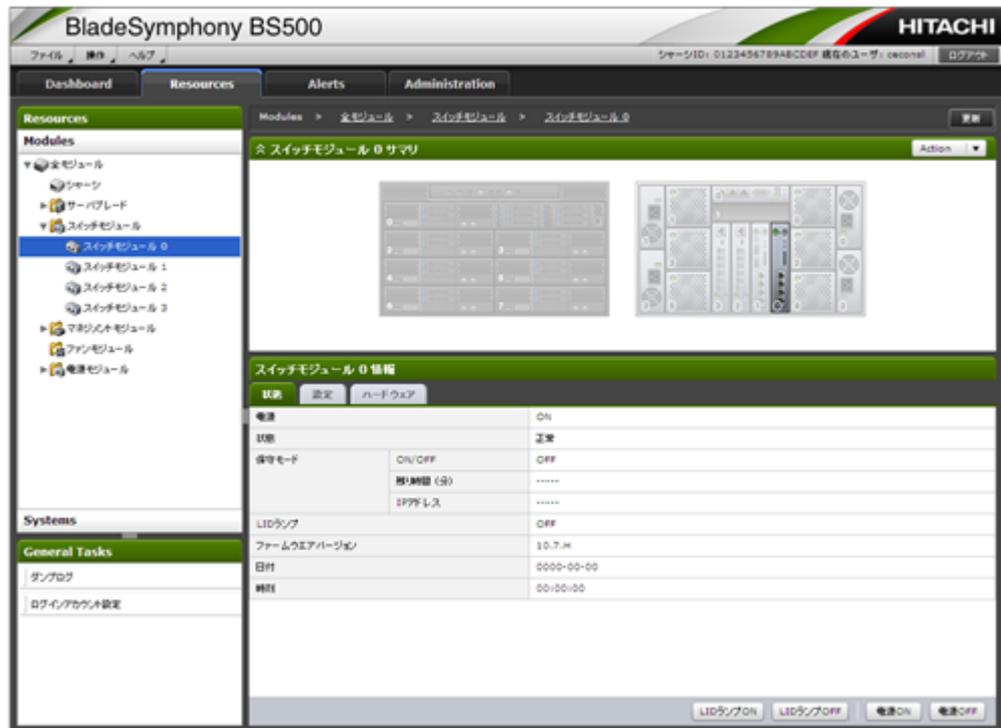


3.6.1 [スイッチモジュールN サマリ]

[スイッチモジュールN サマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	表示しているスイッチモジュールスロットを保守モードにします。スイッチモジュールが搭載されている場合には、スイッチモジュールも保守モードに設定されます。保守モードは設定から約2時間で自動解除されます。
保守モード OFF	表示しているスイッチモジュールスロットの保守モードを解除します。スイッチモジュールが搭載されている場合には、スイッチモジュールの保守モードも解除されます。
認証設定	表示しているスイッチモジュールの認証情報を設定します。スイッチモジュールのIPアドレス変更時に認証が失敗する場合、認証設定が必要です。
認証設定クリア	表示しているスイッチモジュールに設定されている認証情報をクリアします。クリアすると、認証には初期アカウント (operator, パスワード無し) を使用します。

3.6.2 [状態] タブ



[状態] タブ - 表示項目

表示		説明
電源		電源状態を表示します。 ON : スイッチモジュールの電源が ON であることを示します。 OFF : スイッチモジュールの電源が OFF であることを示します。 ---- : スイッチモジュールが搭載されていません。
状態		動作状態を表示します。 正常 : スイッチモジュールが正常であることを示します。 起動中 : スイッチモジュールが初期化中であることを示します。 警告 : スイッチモジュールが警告状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。 障害 : スイッチモジュールが障害状態となっていることを示します。イベント一覧で警告内容を確認してください。 ---- : スイッチモジュールが搭載されていません。
保守モード	ON/OFF	ON : スイッチモジュールが保守モードに設定されていることを示します。 OFF : スイッチモジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
	残り時間(分)	スイッチモジュールが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。
	IP アドレス	保守員が保守作業中の場合に、保守用の IP アドレスが表示されます。保守用 IP アドレスが設定されている間は、マネジメントモジュールの管理 LAN ポートからスイッチモジュールに接続することはできません。
LID ランプ		LID(識別 LED)点灯状態を表示します。 ON : LID(識別 LED)が点灯していることを示します。 OFF : LID(識別 LED)が消灯していることを示します。 ---- : スイッチモジュールが搭載されていません。
ファームウェアバージョン		スイッチモジュールのファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアバージョンは 4 桁までしか表示されません。

表示	説明
	ファームウェアバージョンが5桁以上である場合は、スイッチモジュールのコンソールから確認してください。
日付	スイッチモジュールの日付を表示します。 Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール (20 ポート/40 ポート)、 Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの場合のみ表示されます。
時刻	スイッチモジュールの時刻を表示します。 Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール (20 ポート/40 ポート)、 Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの場合のみ表示されます。

[状態] タブ - アクションボタン

[LID ランプ ON]

表示しているスイッチモジュールの LID(識別 LED)を点灯します。

[LID ランプ OFF]

表示しているスイッチモジュールの LID(識別 LED)を消灯します。

[電源 ON]

表示しているスイッチモジュールの電源を ON します。

[電源 OFF]

表示しているスイッチモジュールの電源を OFF します。

[診断付き電源 ON]

表示しているスイッチモジュールを、診断レベルを指定して電源 ON します。この操作は、保守作業時にのみ実施するもので、通常は実施する必要はありません。

Brocade 10Gb DCB スイッチモジュール、Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール、Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール、Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの場合のみ表示されます。

診断レベルは **Extended**、**Full** のいずれかを選択します。

Extended : 通常の電源 ON 時より詳細に診断機能を実施します。スイッチモジュールが起動完了するまでに数分程度かかることがあります。

Full : すべての診断機能を実施します。スイッチモジュールが起動完了するまでに 15 分程度かかることがあります。

3.6.3 [設定] タブ

[設定] タブ - 表示項目

Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20ポート/40ポート), Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの場合

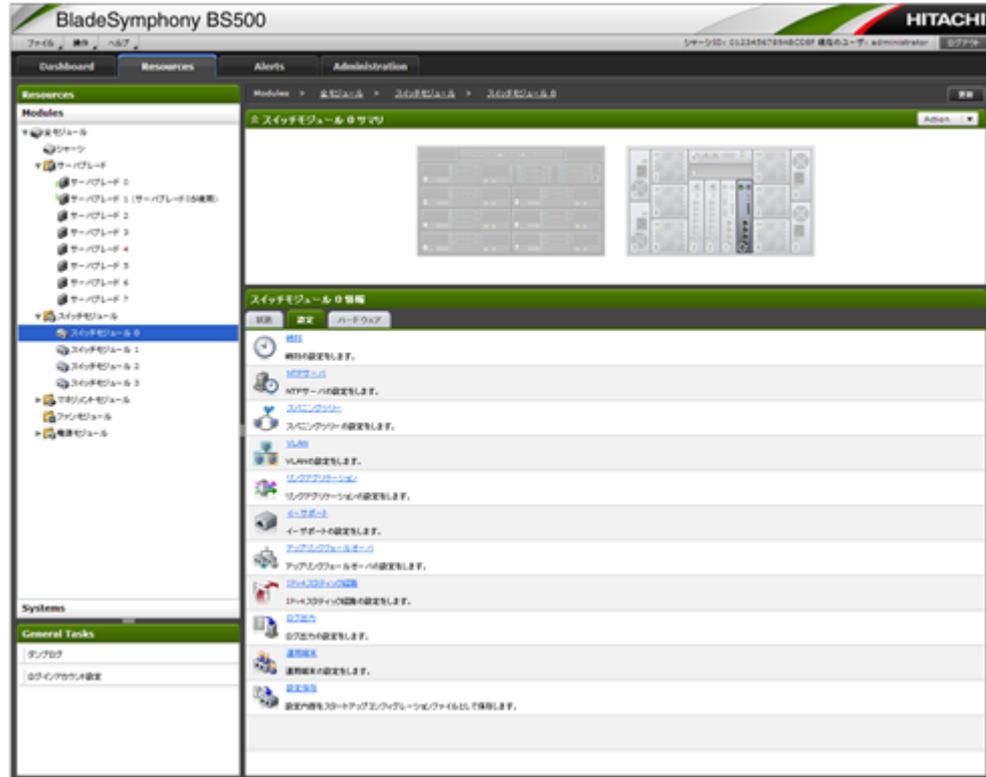


表 3-9 [設定] タブ - 表示項目 (Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20ポート/40ポート), Hitachi 1Gb/10Gb LAN スイッチモジュールの場合)

表示	説明
時刻	タイムゾーン識別名および UTC からの時間オフセットの設定をします。
NTP サーバ	NTP サーバの IP アドレス, バージョン番号, 認証キー, 優先指定の有無の設定をします。
スパニングツリー	スパニングツリーの有効, 無効を設定します。
VLAN	VLAN の追加, 削除, VLAN インタフェースの設定をします。
リンクアグリゲーション	リンクアグリゲーションに対して, VLAN, スパニングツリー (PortFast), アップリンクフェールオーバーの設定をします。
イーサポート	イーサポートに対して, SNMP トラップ抑止, VLAN, スパニングツリー (PortFast), アップリンクフェールオーバー, リンクアグリゲーションの設定をします。
アップリンクフェールオーバー	アップリンクフェールオーバーのモードの設定をします。
IPv4 スタティック経路	IPv4 スタティック経路の設定をします。 表示・設定はデフォルトゲートウェイのみとなります。 デフォルトゲートウェイが複数設定されている場合は, 最若番のデフォルトゲートウェイのみが表示されます。デフォルトゲートウェイが複数設定されている状態で設定を実行すると, デフォルトゲートウェイは設定した1つのみに書き換わります。
ログ出力	ログの転送先の設定をします。
運用端末	同時ログイン可能数の設定をします。
設定保存	編集したコンフィグレーションの内容を, スタートアップコンフィグレーションファイルへ保存します。

参考 リンクアグリゲーションとイーサポート設定のトランクポート VLAN ID は、最大 945 文字まで設定可能です。ただし、スイッチモジュールの種類やポート番号によって、最大文字数が少なくなる場合があります。最大文字数を超過して設定することはできません。

Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(40 ポート)は 945 文字を超えて設定可能ですが、Web コンソールから設定はできません。スイッチモジュールに直接接続して設定してください。設定方法については、「ブレードサーバ内蔵 LAN スイッチモジュール ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド」を参照してください。

Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール， Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール， Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの場合

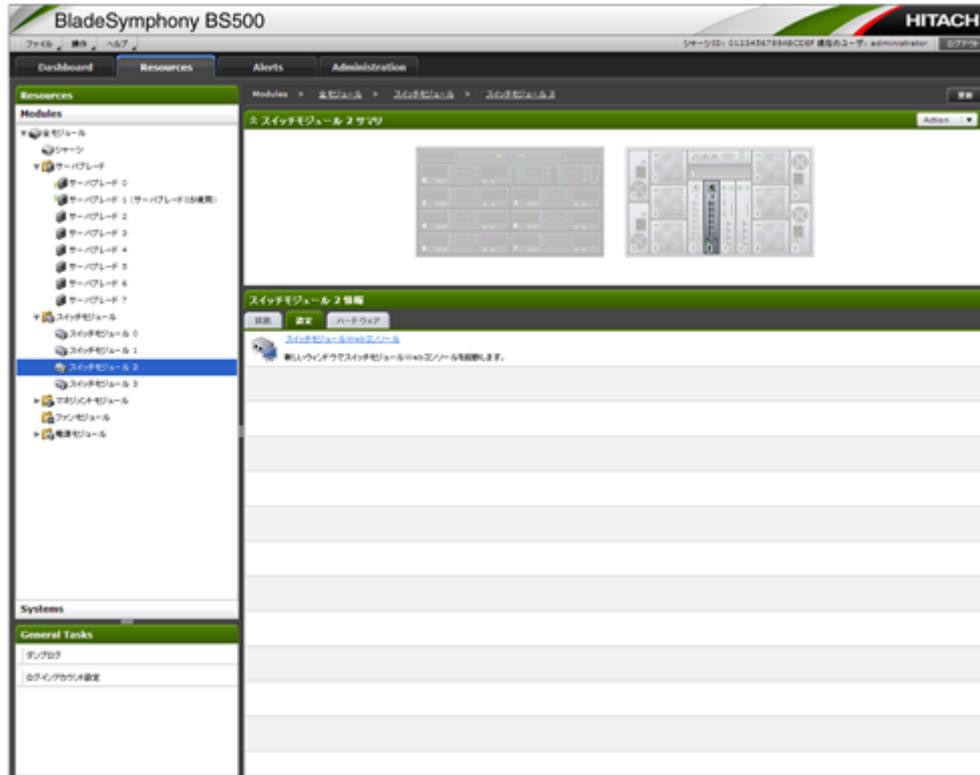


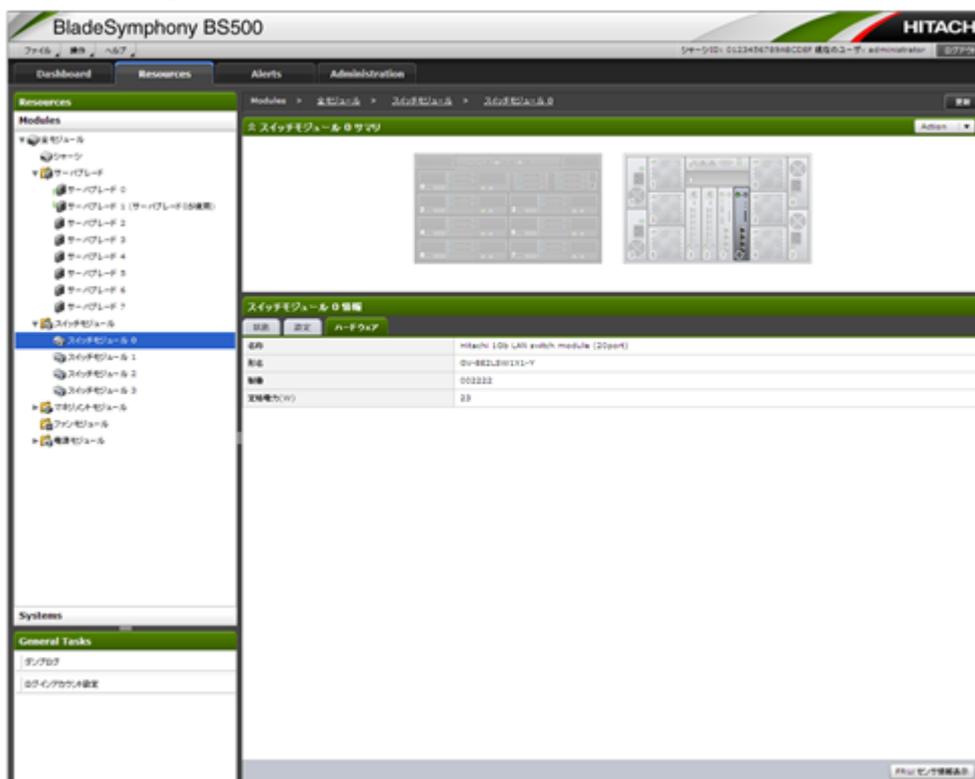
表 3-10 [設定] タブ - 表示項目 (Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール, Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール, Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの場合)

表示	説明
スイッチモジュール Web コンソール	スイッチモジュール Web コンソールを起動します。新規ウィンドウとして開きます。詳細はスイッチモジュールのユーザーズガイドを参照してください。

上記以外のスイッチモジュールの場合

Web コンソールから操作できません。CLI コンソールまたは各モジュールに直接接続して設定してください。詳細は各スイッチモジュールのユーザーズガイドを参照してください。

3.6.4 [ハードウェア] タブ



[ハードウェア] タブ - 表示項目

表示	説明
名称	名称を表示します。
形名	形名を表示します。
製番	製造番号を表示します。
定格電力(W)	定格消費電力を示します。

[ハードウェア] タブ - アクションボタン

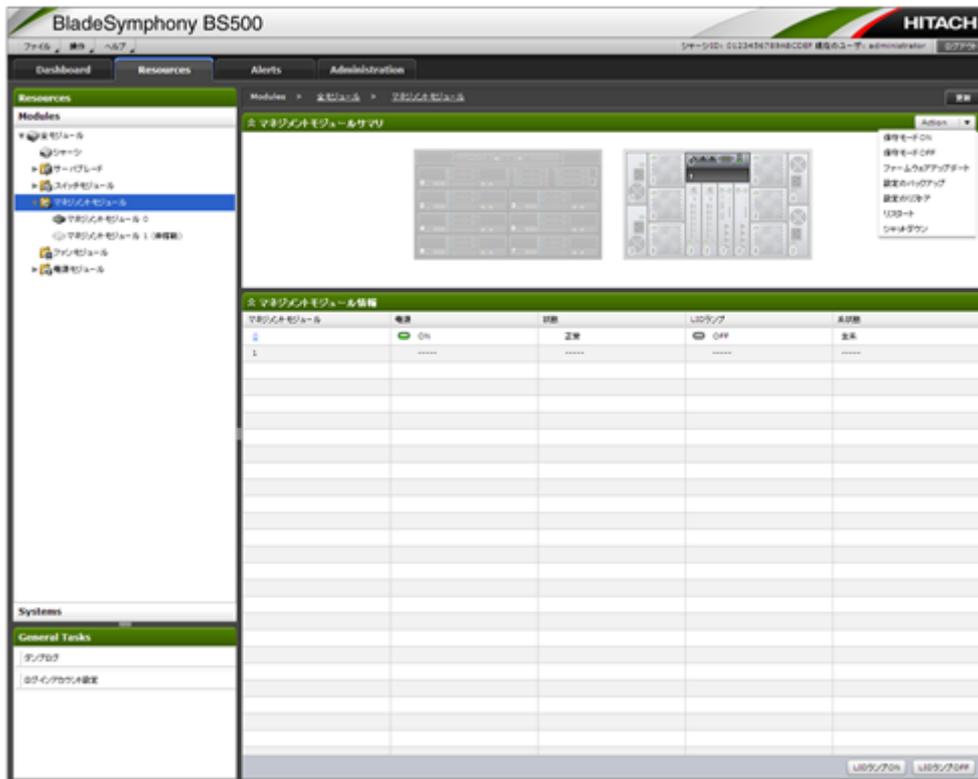
[FRU / センサ情報表示]

スイッチモジュールの FRU, センサの値を表示します。

3.7 マネジメントモジュール一覧

マネジメントモジュールの動作状態の表示と操作を実施します。

すべて、または選択したマネジメントモジュールに対して、電源操作などの基本的な操作ができます。



3.7.1 [マネジメントモジュールサマリ]

[マネジメントモジュールサマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	マネジメントモジュールスロットを選択して保守モードに設定します。保守モードは、マネジメントモジュールスロットに対して設定されます。マネジメントモジュールが搭載されている場合には、マネジメントモジュールも保守モードに設定されます。保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	マネジメントモジュールスロットを選択して保守モードを解除します。保守モードの解除は、マネジメントモジュールスロットに対して、実施されます。マネジメントモジュールが搭載されている場合には、マネジメントモジュールの保守モードも解除されます。
ファームウェアアップデート	マネジメントモジュール、辞書、装置パラメータをアップデートします。
ファームウェアコピー & アップデート	マネジメントモジュールの保守交換後、待機系のマネジメントモジュールファームウェアのバージョンを主系と合わせます。本操作を実施すると待機系のマネジメントモジュールは再起動します。本操作は、待機系マネジメントモジュールを交換した後に実施します。通常の運用では実施する必要はありません。この項目は、マネジメントモジュールの搭載数が 1 台の場合は表示されません。
設定のバックアップ	マネジメントモジュールの構成情報のバックアップを作成しダウンロードします。
設定のリストア	バックアップを使用してマネジメントモジュールの設定をリストアします。
内部アドレス同期	マネジメントモジュールの保守交換後、待機系の内部ネットワーク設定を主系と合わせます。本操作を実施すると待機系のマネジメントモジュールは再起動します。本操作は、待機系マネジメントモジュールを交換した後に実施します。通常の運用では実施する必要はありません。

表示	説明
	この項目は、 マネジメントモジュールの搭載数が 1 台の場合は表示されません。
FRU 情報コピー	マネジメントモジュールの保守交換後、 待機系の装置情報を主系と合わせます。 本操作は、 待機系マネジメントモジュールを交換した後に実施します。 通常の運用では実施する必要はありません。 この項目は、 マネジメントモジュールの搭載数が 1 台の場合は表示されません。
マネジメントモジュール交替	マネジメントモジュールの主系と待機系を交替します。 本操作により、 Web コンソールは切断されますので、 再度ログインしなおしてください。 この項目は、 マネジメントモジュールの搭載数が 1 台の場合は表示されません。
リスタート	両系のマネジメントモジュールを再起動します。 電源が ON 状態のサーバブレードがある場合、 再起動はできません。 本操作により、 Web コンソールは切断されます。 操作を継続する場合は、 再起動完了後、 再度ログインしなおしてください。
シャットダウン	両系のマネジメントモジュールをシャットダウンし電源を OFF します。 電源が ON 状態のサーバブレードがある場合、 シャットダウンはできません。 本操作により、 Web コンソールは切断されます。

3.7.2 [マネジメントモジュール情報]

[マネジメントモジュール情報] - 表示項目

表示	説明
マネジメントモジュール	マネジメントモジュールの番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : 電源が ON であることを示します。  OFF : 電源が OFF であることを示します。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : 正常動作中です。 起動中 : 起動中です。 シャットダウン中 : シャットダウン中です。 Boot disable : マネジメントモジュールを搭載し、 動作に必要な設定がされていないために起動抑止されていることを示します。  警告 : マネジメントモジュールが動作可能な警告が発生しています。  障害 : マネジメントモジュールが動作不可能な障害が発生し、 マネジメントモジュールが非冗長動作となっています。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
LID ランプ	LID(識別 LED)点灯状態を表示します。  ON : LID(識別 LED)が ON であることを示します。  OFF : LID(識別 LED)が OFF であることを示します。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
系状態	マネジメントモジュールが"主系", "待機系"のいずれの状態であることを表示します。 主系 : 主系であることを示します。 待機系 : 待機系であることを示します。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。

[マネジメントモジュール情報] - アクションボタン

[LID ランプ ON]

選択したマネジメントモジュールの LID(識別 LED)を点灯します。
 マネジメントモジュールを選択していない場合、ボタンは非活性となります。

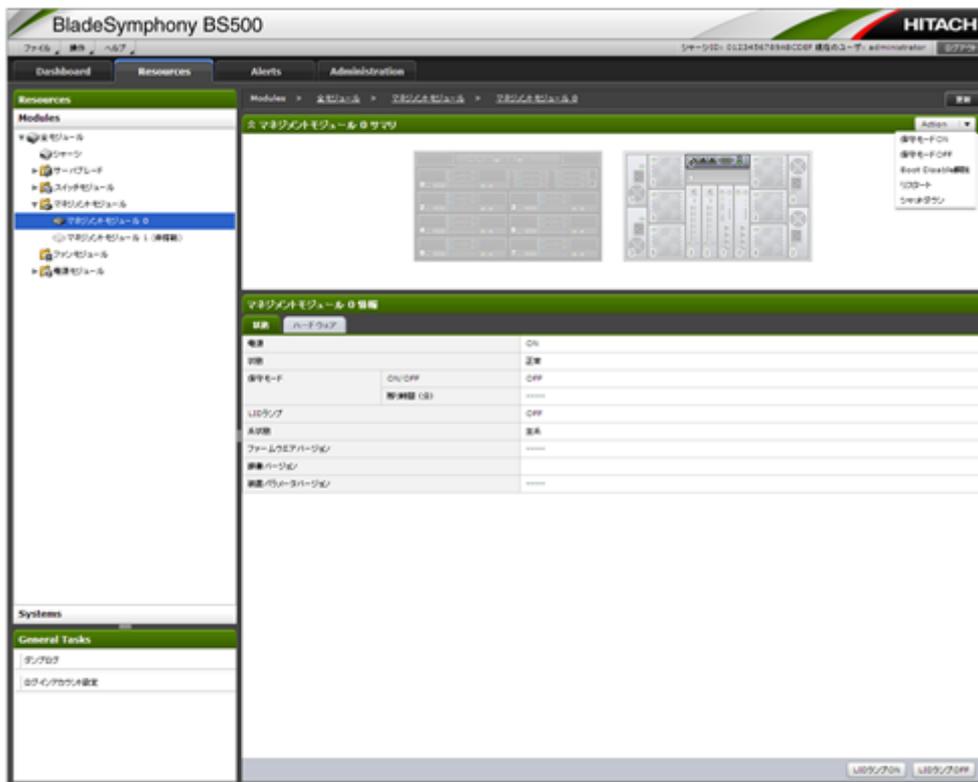
[LID ランプ OFF]

選択したマネジメントモジュールの LID(識別 LED)を消灯します。
 マネジメントモジュールを選択していない場合、ボタンは非活性となります。

3.8 [マネジメントモジュール]

選択した 1 つのマネジメントモジュールの動作状態、ハードウェア情報の表示と、各種操作を実施します。

3.8.1 [マネジメントモジュールN サマリ]

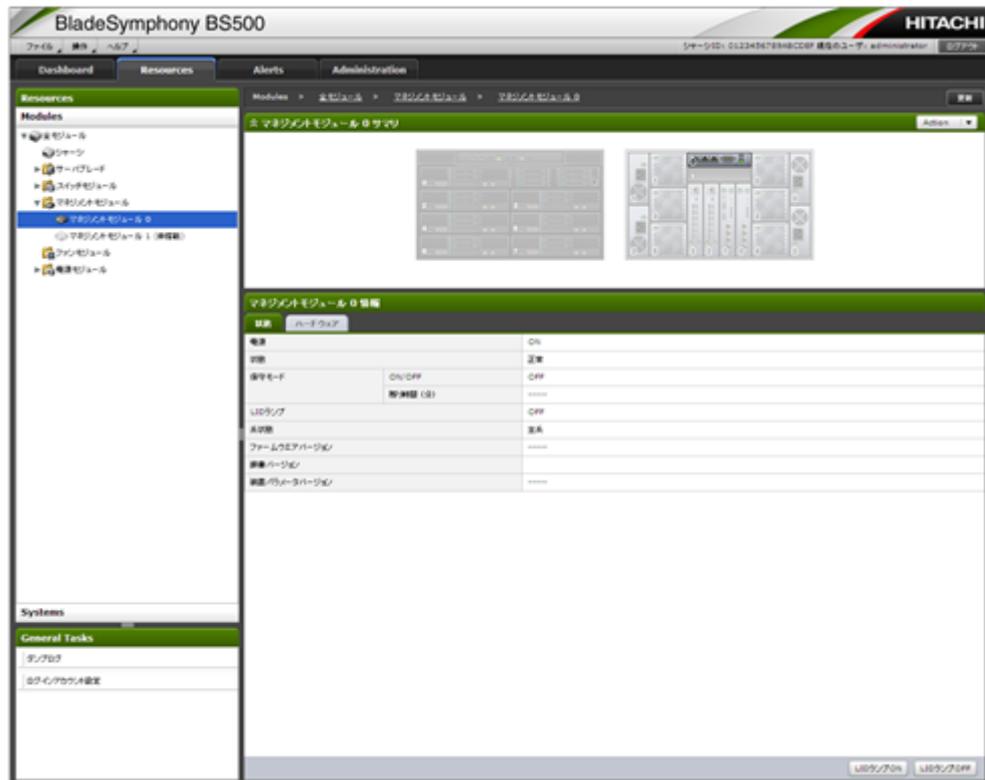


[マネジメントモジュールN サマリ] - アクション項目

表示	説明
保守モード ON	表示しているマネジメントモジュールスロットを保守モードにします。保守モードはマネジメントモジュールスロットに対して設定されます。マネジメントモジュールが搭載されている場合には、マネジメントモジュールも保守モードに設定されます。保守モードは設定から約 2 時間で自動解除されます。
保守モード OFF	表示しているマネジメントモジュールスロットの保守モードを解除します。保守モードの解除は、マネジメントモジュールスロットに対して実施されます。マネジメントモジュールが搭載されている場合には、マネジメントモジュールの保守モードも解除されます。
Boot Disable 解除	待機系の Boot Disable 状態を解除します。本操作により待機系は再起動し、再起動完了後にマネジメントモジュールは冗長構成となります。

表示	説明
	本操作は、待機系マネジメントモジュールを交換した後に実施します。通常の運用では実施する必要はありません。
リスタート	表示しているマネジメントモジュールを再起動します。 主系マネジメントモジュールを再起動した場合には、Web コンソールは切断されますので、再度ログインしなおしてください。
シャットダウン	表示しているマネジメントモジュールをシャットダウンします。 主系マネジメントモジュールをシャットダウンした場合には、Web コンソールは切断されますので、再度ログインしなおしてください。

3.8.2 [状態] タブ



[状態] タブ - 表示項目

表示	説明
電源	電源状態を表示します。 ON : 電源が ON であることを示します。 OFF : 電源が OFF であることを示します。 ---- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : 正常動作中です。 起動中 : 起動中です。 シャットダウン中 : シャットダウン中です。 Boot disable : マネジメントモジュールを搭載し、動作に必要な設定がされていないために起動抑止されていることを示します。 警告 : マネジメントモジュールが動作可能な警告が発生しています。 障害 : マネジメントモジュールが動作不可能な障害が発生し、マネジメントモジュールが非冗長動作となっています。

表示		説明
		----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
保守モード	ON/OFF	ON : マネジメントモジュールが保守モードに設定されていることを示します。 OFF : マネジメントモジュールが保守モードに設定されていないことを示します。
	残り時間(分)	マネジメントモジュールが保守モードに設定されている場合、保守モードが自動解除されるまでの時間を分単位で表示します。
LID ランプ		LID(識別 LED)点灯状態を表示します。 ON : LID(識別 LED)が ON であることを示します。 OFF : LID(識別 LED)が OFF であることを示します。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
系状態		マネジメントモジュールが"主系", "待機系"のいずれの状態であるかを表示します。 主系 : 主系であることを示します。 待機系 : 待機系であることを示します。 ----- : マネジメントモジュールが搭載されていません。
ファームウェアバージョン		マネジメントモジュールファームウェアのバージョンを表示します。
辞書バージョン		インストールされている辞書のバージョンを表示します。
装置パラメータ		インストールされている装置パラメータのバージョンを表示します。

[状態] タブ - アクションボタン

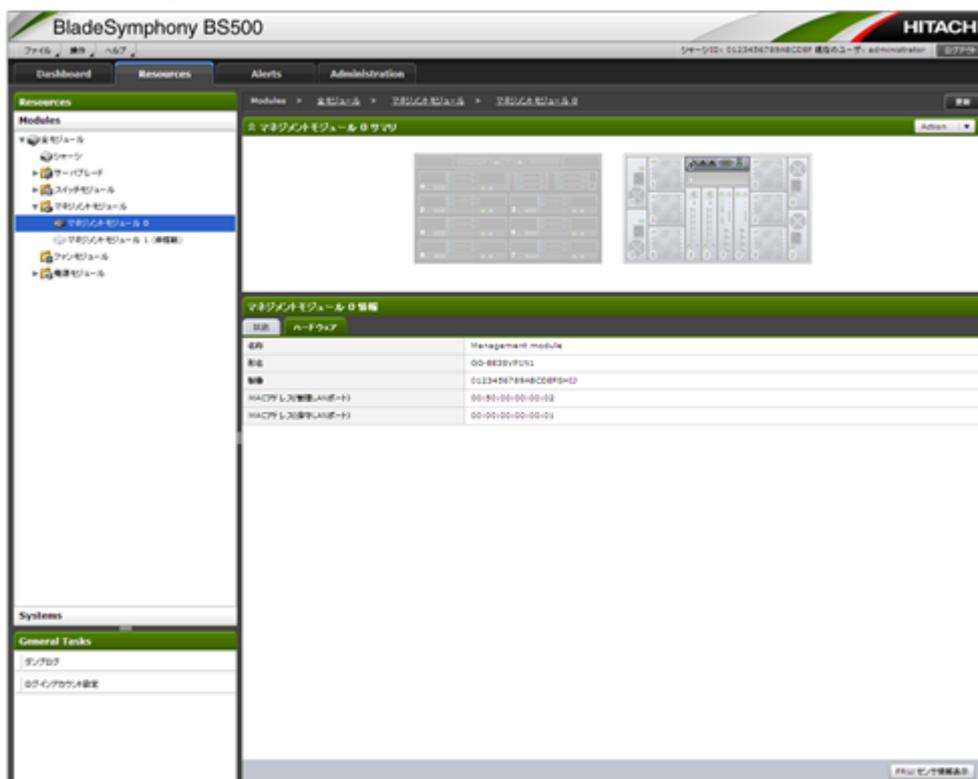
[LID ランプ ON]

表示しているマネジメントモジュールの LID(識別 LED)を点灯します。

[LID ランプ OFF]

表示しているマネジメントモジュールの LID(識別 LED)を消灯します。

3.8.3 [ハードウェア] タブ



[ハードウェア] タブ - 表示項目

表示	説明
名称	名称を表示します。
形名	形名を表示します。
製番	製造番号を表示します。
MAC アドレス(管理 LAN ポート)	管理 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
MAC アドレス(保守 LAN ポート)	保守 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。

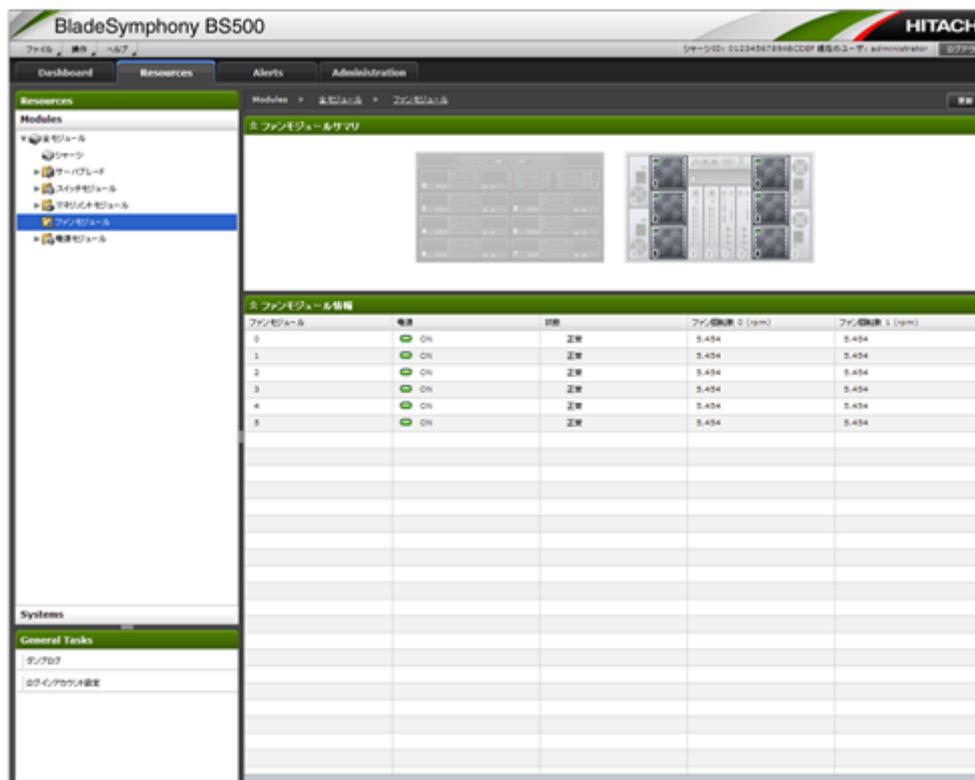
[ハードウェア] タブ - アクションボタン

[FRU/センサ情報表示]

スイッチモジュールの FRU，センサの値を表示します。

3.9 ファンモジュール一覧

ファンモジュールの動作状態を表示します。



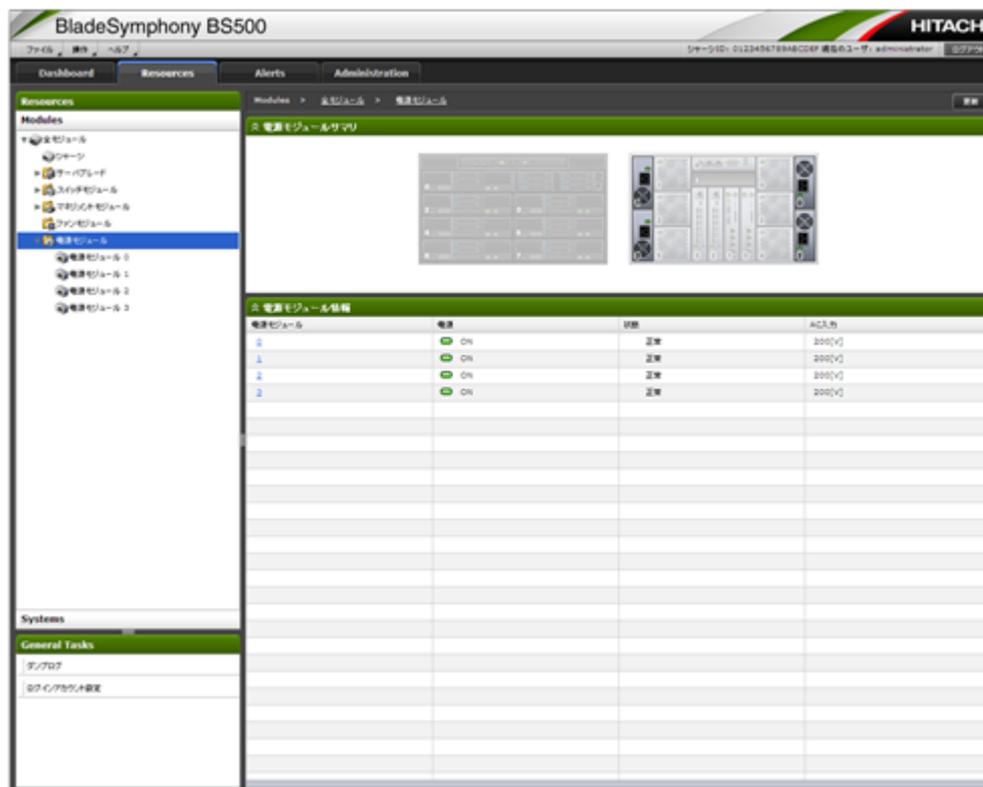
3.9.1 [ファンモジュール情報]

[ファンモジュール情報] - 表示項目

表示	説明
ファンモジュール	ファンモジュール番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : 電源が ON であることを示します。  OFF : 電源が OFF であることを示します。 ----- : ファンモジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : ファンモジュールが正常であることを示します。  警告 : ファンモジュールが警告状態となっていることを示します。システムイベントログで警告内容を確認してください。  障害 : ファンモジュールが障害状態となっていることを示します。システムイベントログで警告内容を確認してください。 ----- : ファンモジュールが搭載されていません。
ファン回転数 0 (rpm)	回転数を表示します。
ファン回転数 1 (rpm)	回転数を表示します。

3.10 電源モジュール一覧

電源モジュールの動作状態，入力電圧（100V，200V）を表示します。



3.10.1 [電源モジュール情報]

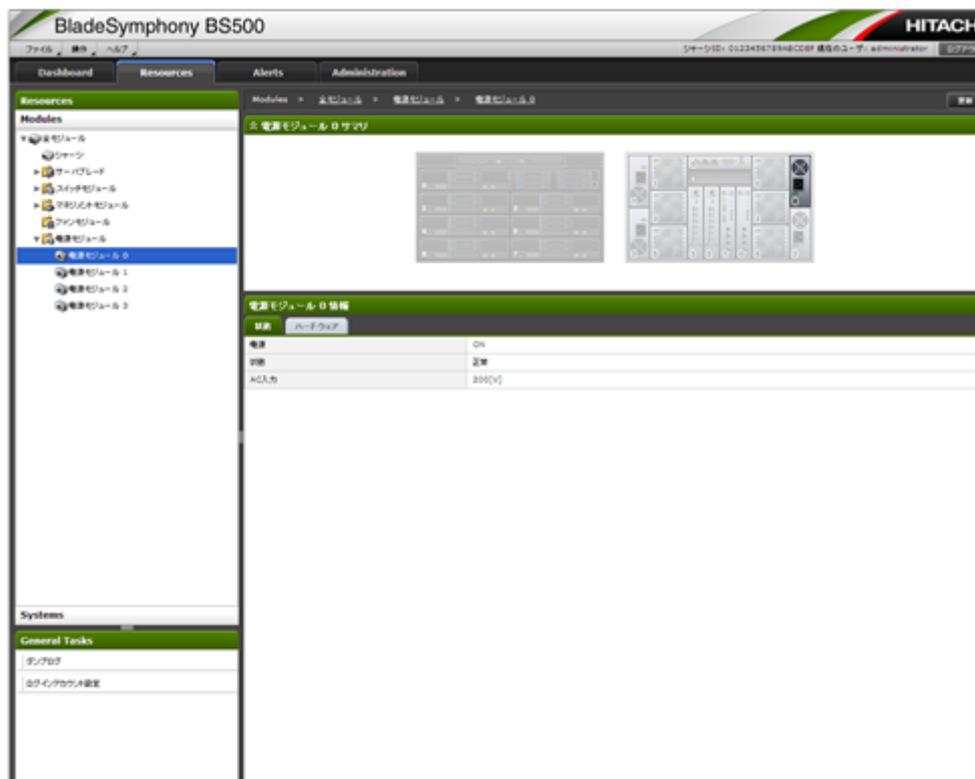
[電源モジュール情報] - 表示項目

表示	説明
電源モジュール	電源モジュールの番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。  ON : 電源が ON であることを示します。  OFF : 電源が OFF であることを示します。 ----- : 電源モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : 電源モジュールが正常であることを示します。  警告 : 電源モジュールが警告状態となっていることを示します。システムイベントログで警告内容を確認してください。  障害 : 電源モジュールが障害状態となっていることを示します。電源ケーブルが接続されていない場合も障害の状態になります。システムイベントログで警告内容を確認してください。 ----- : 電源モジュールが搭載されていません。
AC 入力	電源モジュールへの AC 入力状態を表示します。AC 入力がある場合，AC 電圧が 100V，200V のいずれであるかも表示します。なお，100V，200V は自動判定です。

3.11 [電源モジュール]

選択した1つの電源モジュールの動作状態を表示します。

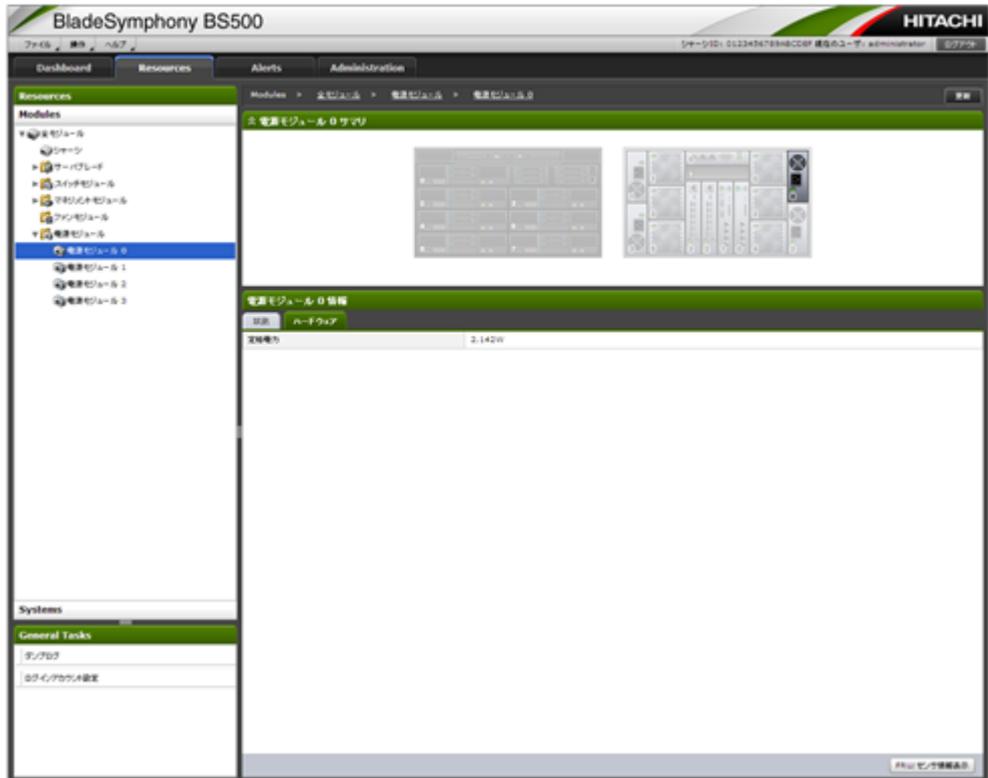
3.11.1 [状態] タブ



[状態] タブ - 表示項目

表示	説明
電源	電源状態を表示します。 ON : 電源が ON であることを示します。 OFF : 電源が OFF であることを示します。 ----- : 電源モジュールが搭載されていません。
状態	動作状態を表示します。 正常 : 電源モジュールが正常であることを示します。 警告 : 電源モジュールが警告状態となっていることを示します。システムイベントログで警告内容を確認してください。 障害 : 電源モジュールが障害状態となっていることを示します。電源ケーブルが接続されていない場合も障害の状態になります。システムイベントログで警告内容を確認してください。 ----- : 電源モジュールが搭載されていません。
AC 入力	電源モジュールへの AC 入力状態を表示します。AC 入力がある場合、AC 電圧が 100V、200V のいずれであるかも表示します。 なお、100V、200V は自動判定です。

3.11.2 [ハードウェア] タブ



[ハードウェア] タブ - 表示項目

表示	説明
定格電力	電源モジュールの定格電力を表示します。

[ハードウェア] タブ - アクションボタン

[FRU/センサ情報表示]

電源モジュールの FRU, センサの値を表示します。

[Resources] - [Systems]

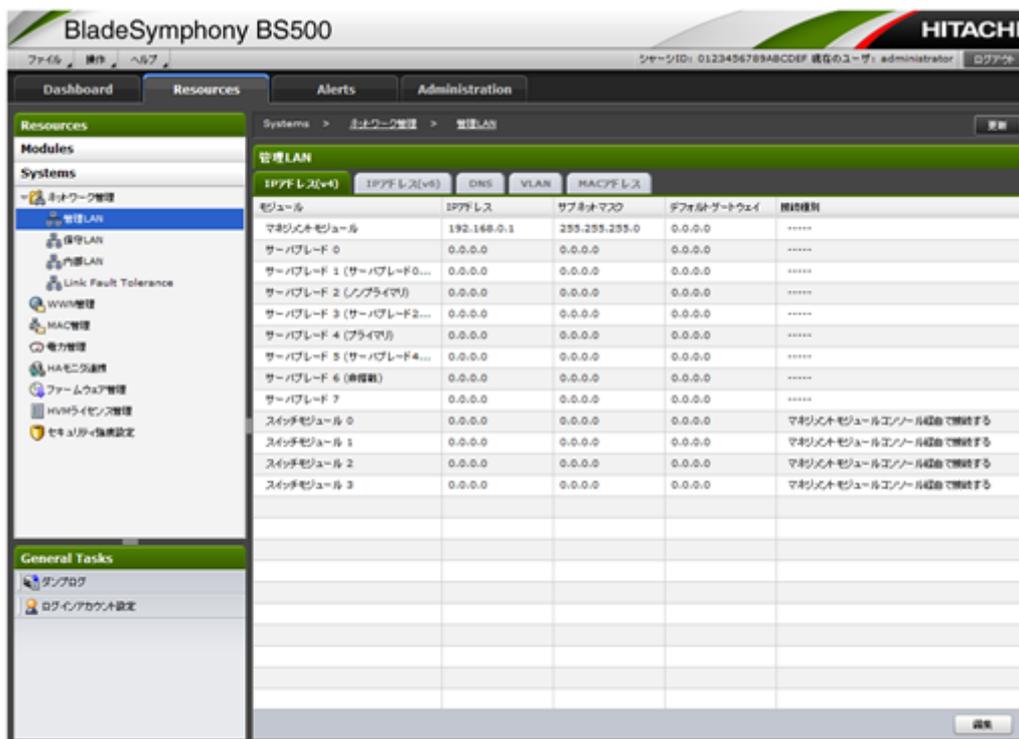
この章では、[Resources] タブの [Systems] に表示される項目について説明します。

- 4.1 [管理 LAN]
- 4.2 [保守 LAN]
- 4.3 [内部 LAN]
- 4.4 [Link Fault Tolerance]
- 4.5 [WWN 管理]
- 4.6 [MAC 管理]
- 4.7 [電力管理]
- 4.8 [HA モニタ連携]
- 4.9 [ファームウェア管理]
- 4.10 [HVM ライセンス管理]
- 4.11 [HVM 管理通信設定]
- 4.12 [セキュリティ強度設定]

4.1 [管理 LAN]

サーバブレード (BMC)、スイッチモジュール、マネジメントモジュールの管理 LAN インタフェースの設定を実施します。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を設定できます。管理 LAN インタフェースの設定については、「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド」を参照してください。

4.1.1 [IP アドレス(v4)] タブ



[IP アドレス(v4)] タブ - 表示項目

表示	説明
モジュール	モジュールの種類、番号を表示します。
IP アドレス	モジュールの管理インタフェースに設定されている IP アドレス(v4)、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
接続種別	接続種別を表示します。 スイッチモジュールの場合に表示されます。

[IP アドレス(v4)] タブ - アクションボタン

[編集]

管理インタフェースの IP アドレス(v4)設定を編集します。

IP アドレスの編集画面で表示される [内蔵 LAN スwitchモジュールには、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない] は、A0125 以前のマネジメントモジュールファームウェアとの互換性維持のための設定項目です。

LAN スイッチモジュールのデフォルトゲートウェイ設定を適用しない場合、IP アドレス編集画面で「内蔵 LAN スイッチモジュールは、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない」をチェックしてください。適用する場合は、チェックを外してください。

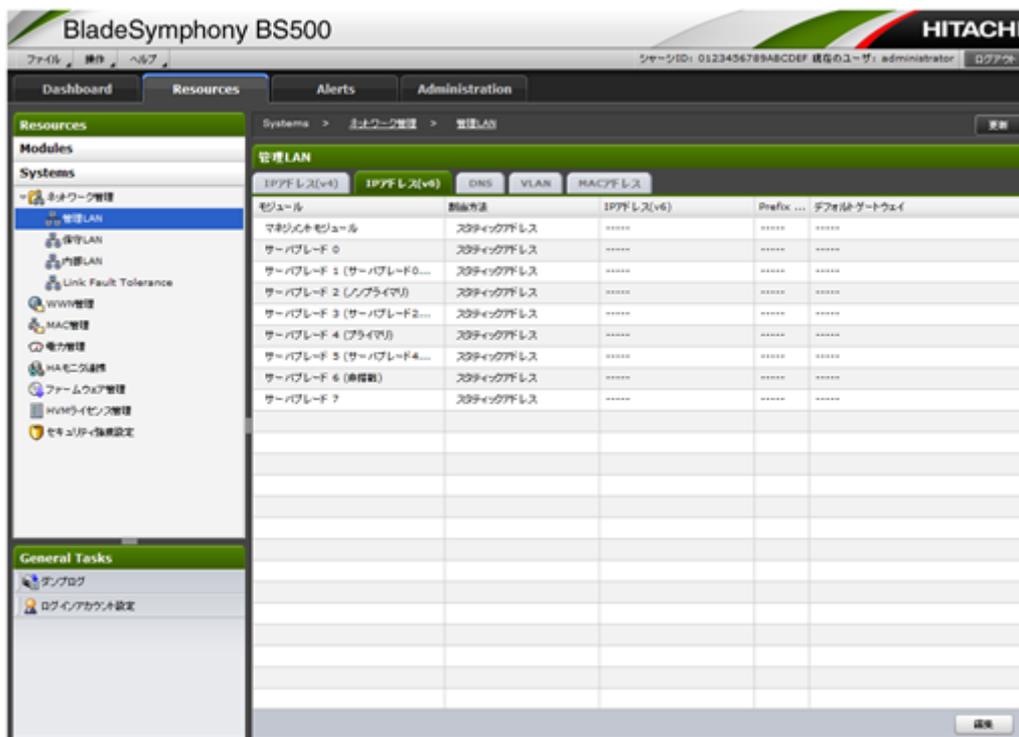
詳細については、「*BladeSymphony BS500* マネジメントモジュール セットアップガイド」を参照してください。

重要

- バージョンが「EBS V10.7.1 以前」および「EBS V11.6」の Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20, 40 ポート), Hitachi 1/10Gb LAN スイッチモジュールの初期アカウント (operator, パスワード無し) を削除した場合は、マネジメントモジュールのコンソールから、スイッチモジュールの認証情報 (アカウント, パスワード, 管理者パスワード) を設定してください。認証情報を設定しない場合、IP アドレスの設定に失敗します。
- Brocade 10Gb DCB スイッチモジュール, Brocade 8Gb ファイバチャネルスイッチモジュール, Brocade 8/16Gb ファイバチャネルスイッチモジュール, Brocade 16Gb ファイバチャネルスイッチモジュールの IP アドレスをスイッチモジュールのコンソールから変更しないでください。変更をした場合、変更直後は変更した IP アドレスが使用できますが、スイッチモジュールのリスタート、電源オフ/オンをすると、マネジメントモジュールのコンソールから設定した値で上書きされてしまいます。
- Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20, 40 ポート), Hitachi 1/10Gb LAN スイッチモジュールのデフォルトゲートウェイに 0.0.0.0 以外を指定した場合、インタフェース指定なしのデフォルトゲートウェイを全て削除した後に指定した値を追加します。したがって、VLAN にデフォルトゲートウェイを指定しておきたい場合は、VLAN ID 指定ありのデフォルトゲートウェイ設定としておく必要があります。また、マルチパス経路を指定したい場合は、デフォルトゲートウェイに 0.0.0.0 を指定しておき、LAN スイッチモジュールのコンソールに直接ログインして、デフォルトゲートウェイ設定を行う必要があります。
- Hitachi 1Gb LAN スイッチモジュール(20, 40 ポート), Hitachi 1/10Gb LAN スイッチモジュールのデフォルトゲートウェイを 0.0.0.0 以外に設定した後、デフォルトゲートウェイを 0.0.0.0 の設定に戻した場合、および、スイッチモジュールの接続種別を管理 LAN 以外に変更した場合は、マネジメントモジュールはデフォルトゲートウェイ設定を削除しませんので、LAN スイッチモジュールのコンソールに直接ログインして、デフォルトゲートウェイ設定の削除を行う必要があります。
- 「内蔵 LAN スイッチモジュールは、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない」のチェックを外して LAN スイッチモジュールのデフォルトゲートウェイ設定を 0.0.0.0 にしても適用されませんので、LAN スイッチモジュールのコンソールに直接ログインして、デフォルトゲートウェイを設定してください。
- 出荷時のマネジメントモジュールのファームウェアバージョンが A0125 以前の場合、「内蔵 LAN スイッチモジュールは、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない」のチェックがついています。マネジメントモジュールのファームウェアアップデートを行っても、この設定は変わりません。「内蔵 LAN スイッチモジュールは、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない」のチェックを外さない場合は、LAN スイッチモジュールに直接ログインして、デフォルトゲートウェイを設定してください。
- Brocade 10Gb DCB スイッチモジュールの Network OS が Ver.3.0.0 の場合、マネジメントモジュールからのデフォルトゲートウェイ設定は、DCB スイッチモジュールに反映されません。DCB スイッチモジュールにログインし、ip route コマンドを使って設定してください。設定方法については、「*Network OS 管理者ガイド*」を参照してください。なお、Network OS が Ver.2.0.1 の場合は、デフォルトゲートウェイの設定はできません。

参考 「内蔵 LAN スイッチモジュールは、本デフォルトゲートウェイ設定値を適用しない」のチェックを外した場合、マネジメントモジュールが内蔵 LAN スイッチのデフォルトゲートウェイ設定を書き換えますので、お客様のネットワークに影響を与える可能性があります。変更の際は十分ご注意ください。

4.1.2 [IP アドレス(v6)] タブ



[IP アドレス(v6)] タブ - 表示項目

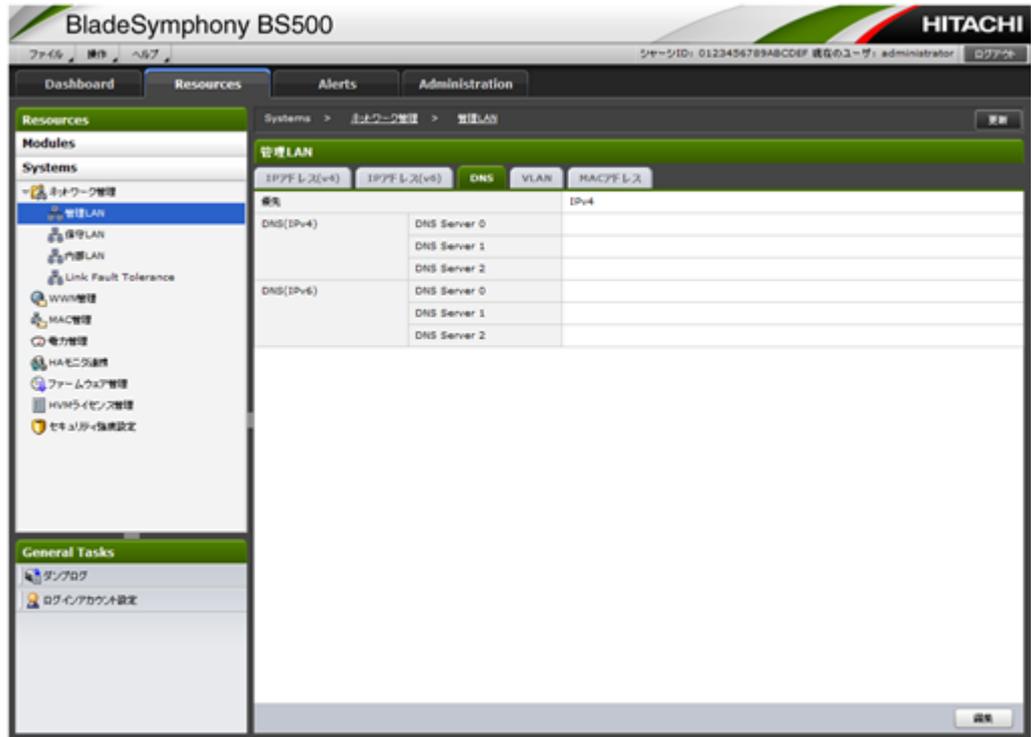
表示	説明
モジュール	モジュールの種類、番号を表示します。
割当方法	「スタティックアドレス」を表示します。(設定可能な割当方法はスタティックアドレスのみです)
IP アドレス(v6)	モジュールの管理インタフェースに設定されている IP アドレス(v6)、プレフィックスの長さ、デフォルトゲートウェイを表示します。スタティックアドレスが無効に設定されている場合は"-----"を表示します。
Prefix Len	
デフォルトゲートウェイ	

[IP アドレス(v6)] タブ - アクションボタン

[編集]

管理インタフェースの IP アドレス(v6)設定を編集します。

4.1.3 [DNS] タブ



[DNS] タブ - 表示項目

表示		説明
優先		IPv4 用 DNS サーバと IPv6 用 DNS サーバのどちらを優先するかを表示します。
DNS(IPv4)	DNS Server 0 DNS Server 1 DNS Server 2	IPv4 用 DNS サーバを表示します。 DNS サーバは、最大 3 件表示します。 DNS サーバは、0 から 2 へ順に優先して使われます。
DNS(IPv6)	DNS Server 0 DNS Server 1 DNS Server 2	IPv6 用 DNS サーバを表示します。 DNS サーバは、最大 3 件表示します。 DNS サーバは、0 から 2 へ順に優先して使われます。

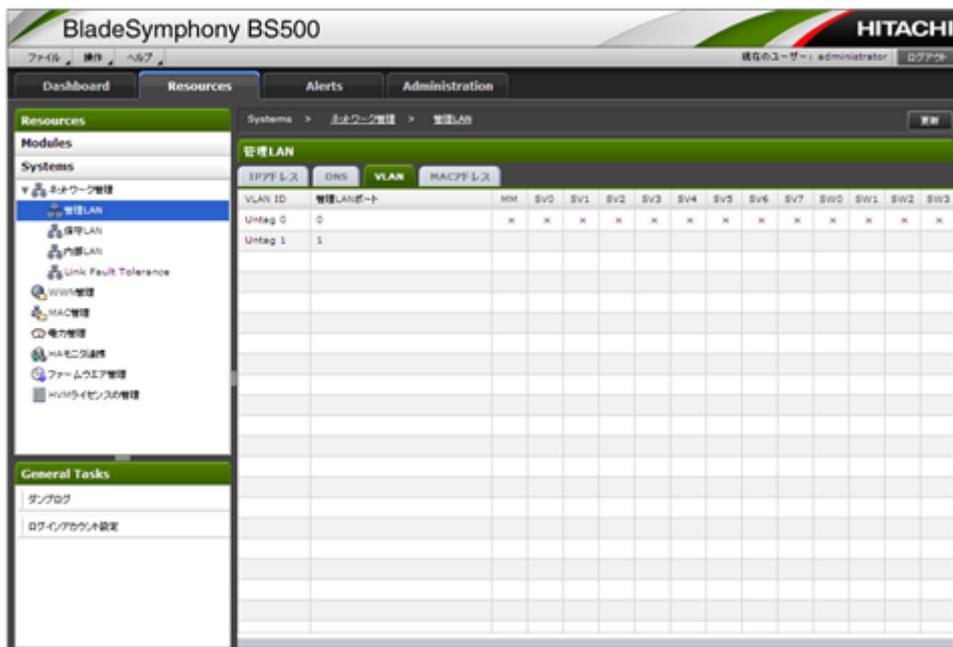
[DNS] タブ - アクションボタン

[編集]

DNS サーバの IP アドレスを編集します。

重要 本画面にて設定した DNS サーバは、IPv4 用 DNS サーバおよび IPv6 用 DNS サーバをあわせて最大 3 つまで使われます。優先設定によって IPv4 用 DNS サーバあるいは IPv6 用 DNS サーバのどちらかを優先して使用し、3 つまで使用した時点で DNS サーバへのアクセスは終了します。4 つ以上の DNS サーバ登録があった場合、優先度が 4 つ目以降の DNS サーバは使用されません。

4.1.4 [VLAN] タブ

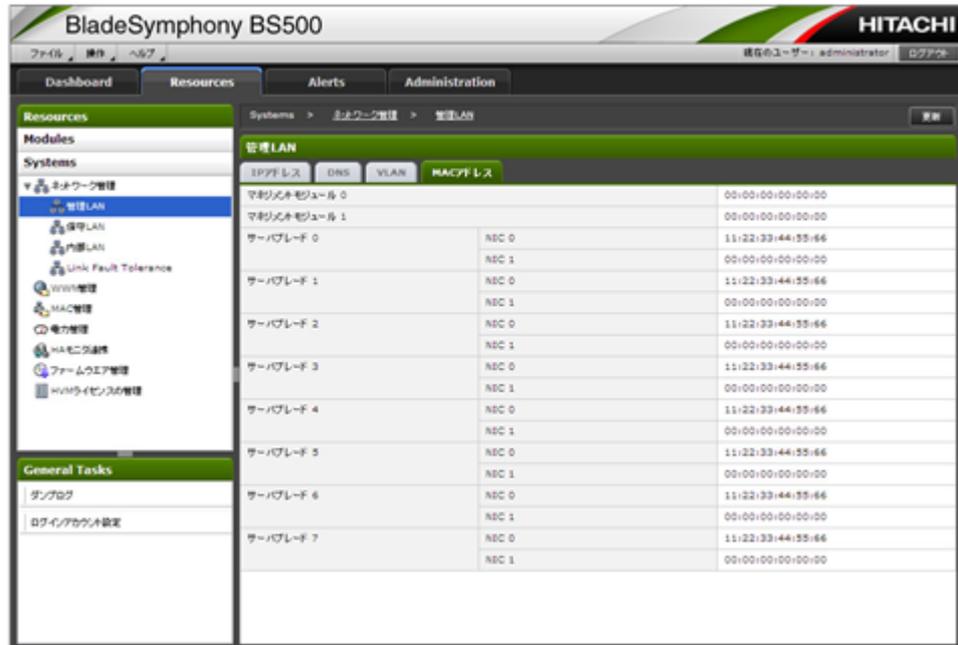


[VLAN] タブ - 表示項目

表示	説明
VLAN ID	VLAN ID を表示します。 2～4000 または Untag 0, Untag 1 のいずれかです。 Untag 0 : MGMT0 から Tag-VLAN を使用せず接続することを示します。 Untag 1 : MGMT1 から Tag-VLAN を使用せず接続することを示します。 2～4000 : MGMT0 または MGMT1 の指定したポートから Tag-VLAN を使用して接続することを示します。
管理 LAN ポート	接続する管理 LAN ポートの番号を表示します。 0: MGMT0 を示します。 1: MGMT1 を示します。 VLAN ID が Untag 0, Untag 1 の場合は、管理 LAN ポート番号はそれぞれ 0, 1 に固定です。
モジュール名 (MM, SVn, SWn)	指定した VLAN ID, 管理 LAN ポートから接続可能なモジュールを表示します。「X」マークのあるモジュールが接続可能です。モジュール名称は略記されています。それぞれ次のとおりです。 MM : マネジメントモジュール SVn : サーバブレード n SWn : スイッチモジュール n

参考 VLAN については、「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュールセットアップガイド」を参照してください。

4.1.5 [MAC アドレス] タブ

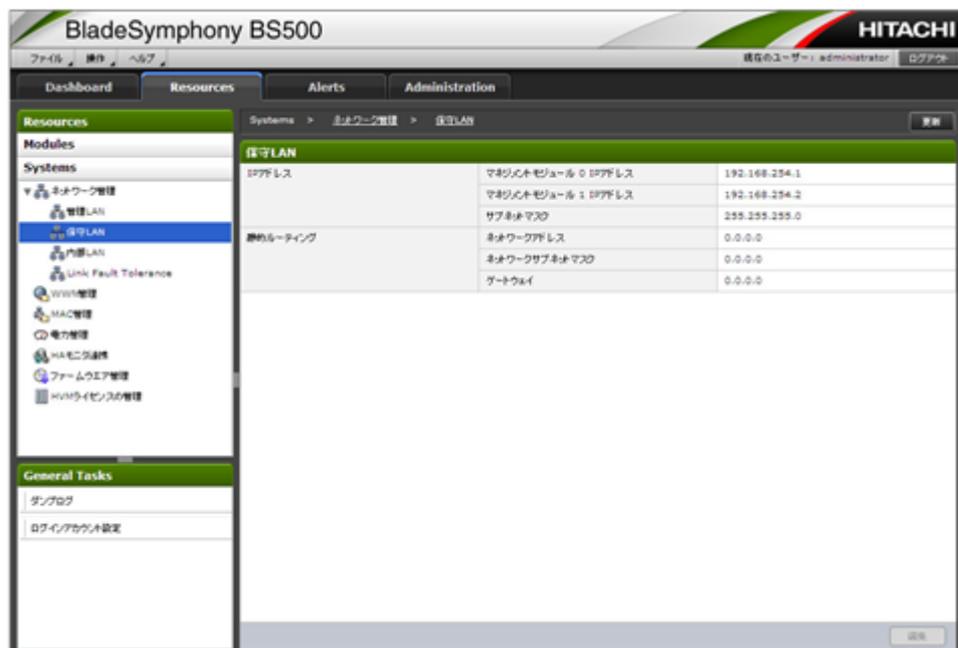


[MAC アドレス] タブ - 表示項目

表示	説明
マネジックモジュール 0~1	マネジックモジュール 0, 1 の管理 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
サーバブレード 0~7	サーバブレード BMC の MAC アドレスを表示します。

4.2 [保守 LAN]

マネジックモジュールの保守 LAN インタフェースの設定を表示します。設定の変更はできません。

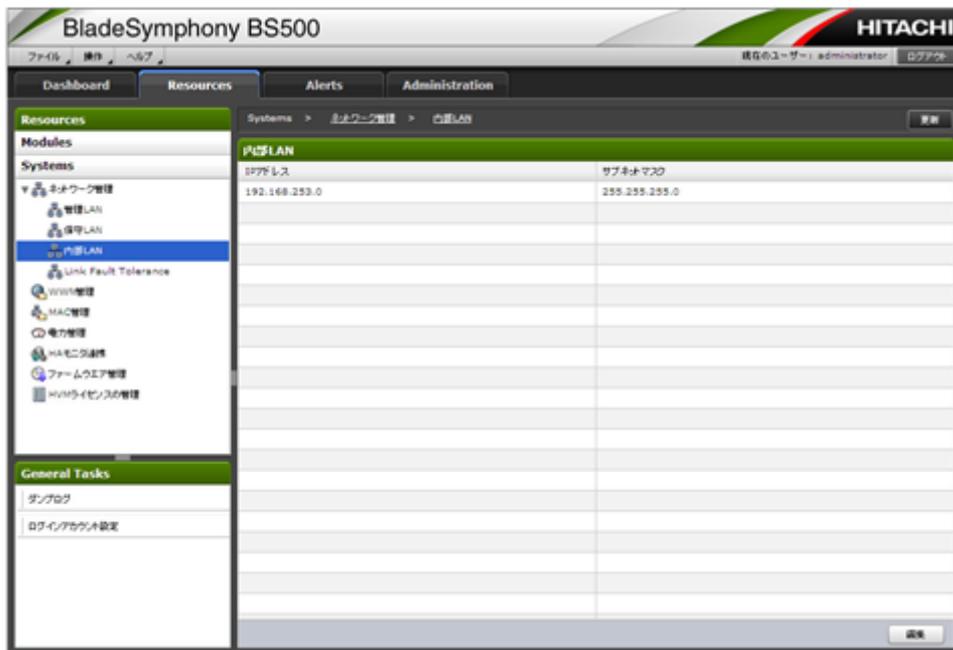


[保守 LAN] - 表示項目

表示		説明
IP アドレス	マネジメントモジュール 0 IP アドレス	マネジメントモジュール 0, 1 の保守 LAN ポートの IP アドレスとサブネットマスクを表示します。 設定の変更はできません。
	マネジメントモジュール 1 IP アドレス	
	サブネットマスク	
静的ルーティング	ネットワークアドレス	保守通報先のネットワークのネットワークアドレス、ネットワークサブネットマスク、ゲートウェイを表示します。 保守サポートの契約時のみ、保守員が設定します。設定の変更はできません。
	ネットワークサブネットマスク	
	ゲートウェイ	

4.3 [内部 LAN]

システム装置の内部で使用するネットワークを設定します。



[内部 LAN] - 表示項目

表示	説明
IP アドレス	装置内部で使用するネットワークを表示します。サブネットマスクは 255.255.255.0 から変更できません。
サブネットマスク	

重要

- 内部ネットワークの変更を行うと、マネジメントモジュールがリスタートします。
- サーバブレード稼働中の内部ネットワーク変更は実施しないでください。設定変更した場合、マネジメントモジュールがリスタートするため再起動中に発生した障害イベントを検出できない場合があります。

参考 192.168.253.0/255.255.255.0 で指定されるネットワークの IP アドレスをシステム装置外で使用しない場合は、内部ネットワークの設定変更は不要です。

[内部 LAN] - アクションボタン

[編集]

内部 LAN 設定を編集します。

4.4 [Link Fault Tolerance]

管理 LAN インタフェースの冗長化を設定します。冗長機能の有効、無効の切り替え、監視時間を設定できます。

4.4.1 [Link Fault Tolerance サマリ]

The screenshot shows the BladeSymphony BS500 web console interface. The main content area is titled "Link Fault Tolerance サマリ". It contains two tables:

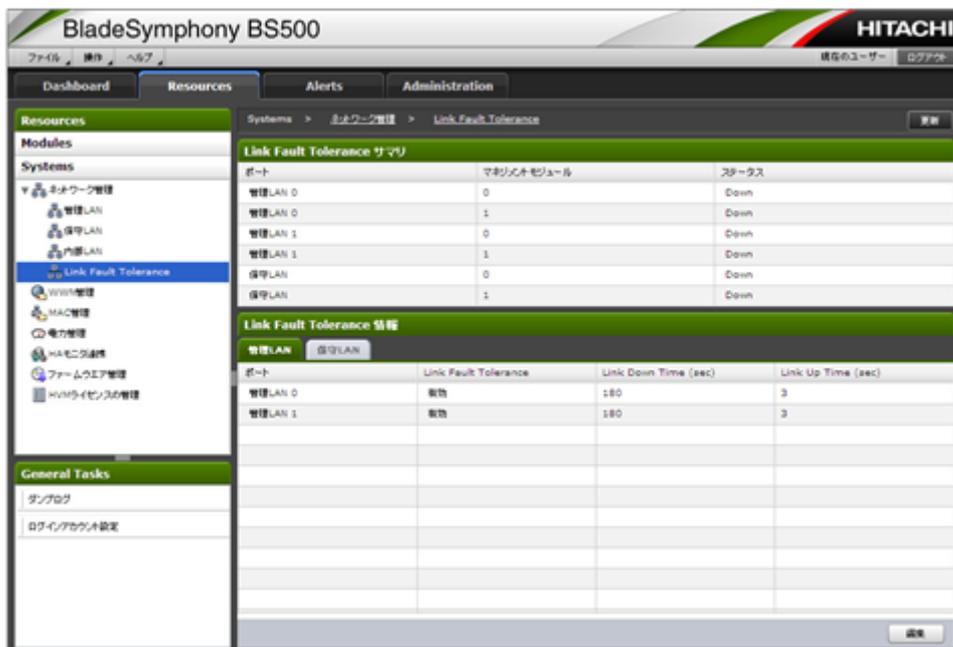
ポート	マネジメントモジュール	ステータス
管理 LAN 0	0	Down
管理 LAN 0	1	Down
管理 LAN 1	0	Down
管理 LAN 1	1	Down
保守 LAN	0	Down
保守 LAN	1	Down

ポート	Link Fault Tolerance	Link Down Time (sec)	Link Up Time (sec)
管理 LAN 0	有効	180	3
管理 LAN 1	有効	180	3

[Link Fault Tolerance サマリ] - 表示項目

表示	説明
ポート マネジメントモジュール	管理 LAN 0, 管理 LAN 1, 保守 LAN のポートのいずれであるかを表示します。マネジメントモジュール 0 と 1 の同じポートで冗長構成となっています。
ステータス	Active : このポートを使用して通信していることを示しています。 Standby : ポートがスタンバイであり、Active ポートでリンクダウンを検出した場合に、切り替え可能であることを示します。 Down : このポートと対向スイッチの間がリンクダウンしていることを示します。

4.4.2 [管理 LAN] タブ



[管理 LAN] タブ - 表示項目

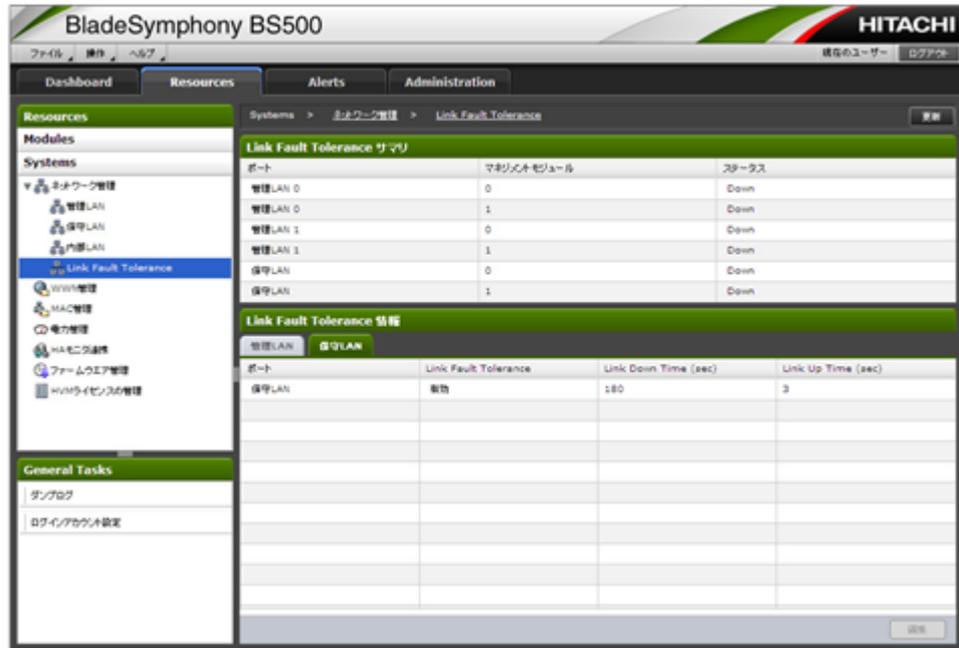
表示	説明
ポート	管理 LAN 0, 管理 LAN 1 のいずれであるかを表示します。
Link Fault Tolerance	Link Fault Tolerance 機能の有効/無効を表示します。
リンクダウン検出時間(秒)	設定された時間(秒)の間, 主系マネジメントモジュールでリンクダウンが持続した場合に, ポートの切り替えが発生します。
リンクアップ検出時間(秒)	設定された時間(秒)の間, 主系マネジメントモジュールでリンクアップが持続した場合に, ポートがマネジメントモジュール側に復帰します。

[管理 LAN] タブ - アクションボタン

[編集]

管理インターフェースの設定を編集します。

4.4.3 [保守 LAN] タブ



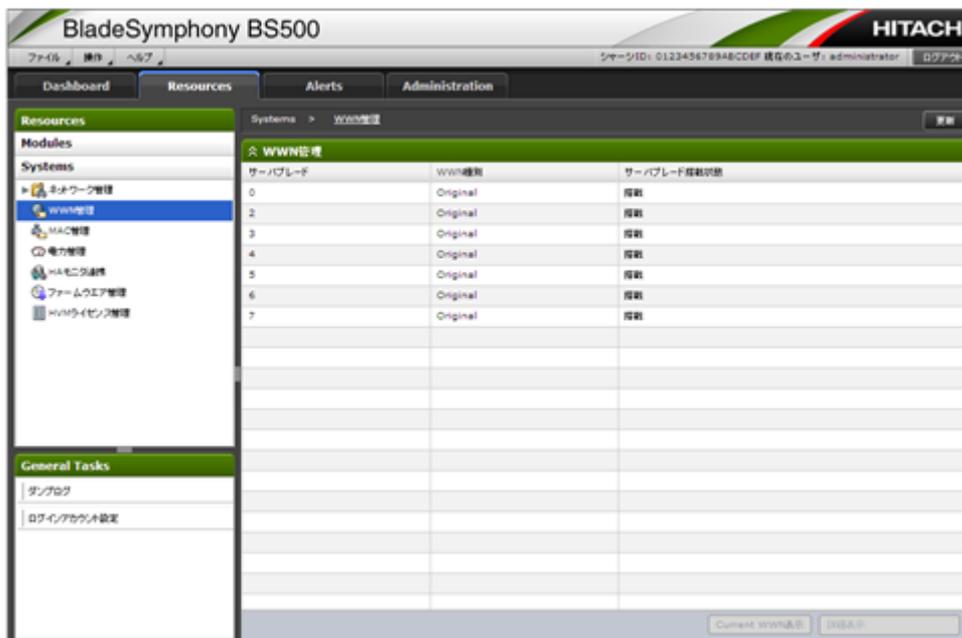
[保守 LAN] タブ - 表示項目

表示	説明
ポート	保守 LAN ポートであることを表示します。
Link Fault Tolerance	Link Fault Tolerance 機能の有効/無効を表示します。
リンクダウン検出時間(秒)	設定された時間(秒)の間、主系マネジメントモジュールでリンクダウンが持続した場合に、ポートの切り替えが発生します。
リンクアップ検出時間(秒)	設定された時間(秒)の間、主系マネジメントモジュールでリンクアップが持続した場合に、ポートがマネジメントモジュール側に復帰します。

4.5 [WWN 管理]

サーバブレードに搭載される拡張カードが使用する WWN (ハード固有の WWN (Original WWN), Additional WWN, Virtual WWN) を表示、設定します。

4.5.1 [WWN 管理]



[WWN 管理] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。
WWN 種別	WWN 種別を表示します。
サーバブレード搭載状態	サーバブレードの搭載状態を表示します。

[WWN 管理] - アクションボタン

[Current WWN 表示]

サーバブレードが使用する WWN の一覧を表示します。

表示される WWN は、サーバブレードの N+M 設定、WWN 種別設定により additional WWN または original WWN の一覧が表示されます。

[詳細表示]

[Additional WWN]

サーバブレードが使用する Additional WWN の一覧を表示します。

サーバブレードの N+M 設定、WWN 種別設定、拡張カード搭載数にかかわらず、サーバブレードに割り当てられた additional WWN がすべて表示されます。

[Original WWN]

サーバブレードに搭載されたファイバチャネル拡張カードが固有に持つ WWN (original WWN) の一覧を表示します。

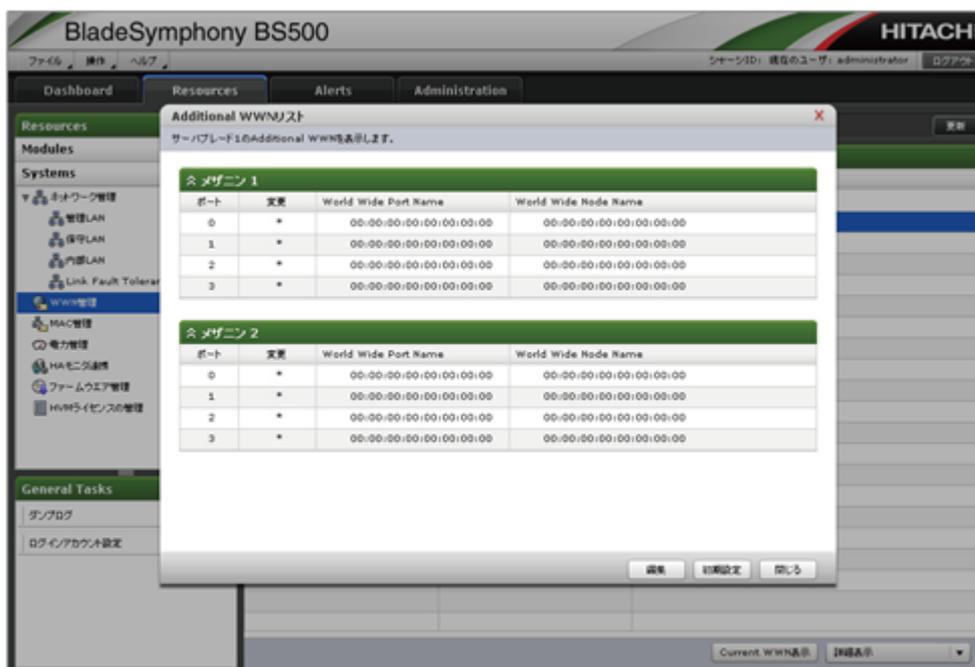
サーバブレードが搭載されていない場合、この項目は表示されません。

[Virtual WWN]

HVM で使用する仮想 WWN を表示します。

サーバブレードが搭載されていない場合、この項目は表示されません。

4.5.2 Additional WWN 表示



Additional WWN 表示 - 表示項目

表示	説明
表見出し	サーバブレードの番号とカードの番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
変更	Additional WWN の初期値から変更されている場合「*」が表示されます。
World Wide Port Name	World Wide Port Name を表示します。 装置内に重複する Additional WWN がある場合には、先頭に  が表示されます。編集ボタンにより Additional WWN が重複しないように修正してください。
World Wide Node Name	World Wide Node Name を表示します。 装置内に重複する Additional WWN がある場合には、先頭に  が表示されます。編集ボタンにより Additional WWN が重複しないように修正してください。

Additional WWN 表示 - アクションボタン

[編集]

Additional WWN を編集します。

開いた編集ダイアログに従い Additional WWN を入力します。

[初期設定]

Additional WWN を工場出荷時の状態に戻します。

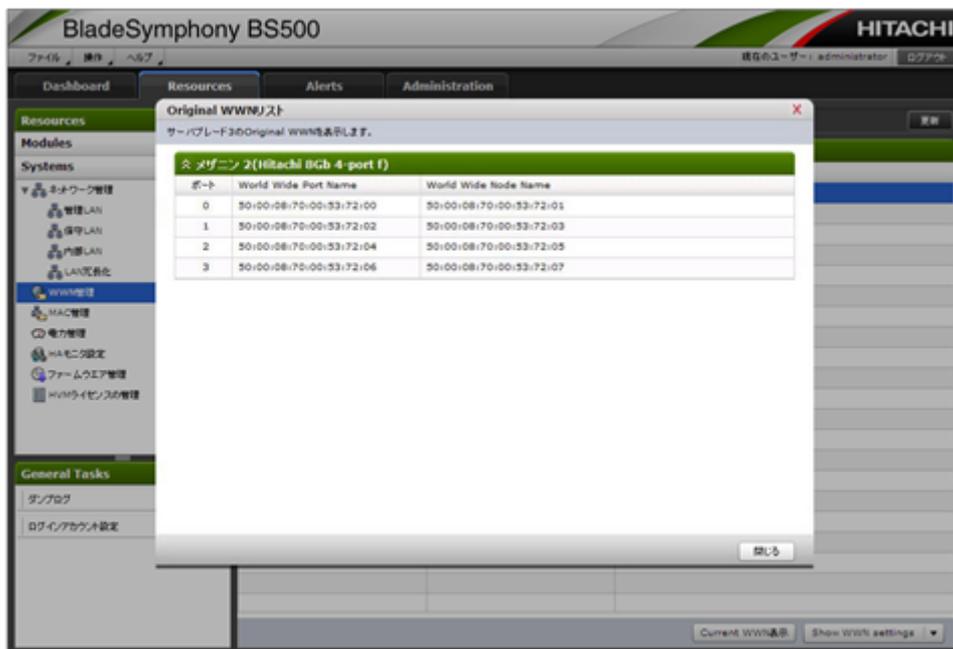
N+M 切り替えが発生しサーバブレードが切り替えられた状態などで Additional WWN を初期化すると、Additional WWN の重複が発生する場合があります。Additional WWN 初期化時には、必ず Additional WWN の重複がないことを確認してください。

また、Additional WWN を初期化すると BladeSymphony, SAN, JP1/ServerConductor/Blade Server Manager のそれぞれで設定の変更が必要となります。

[閉じる]

このダイアログを閉じます。

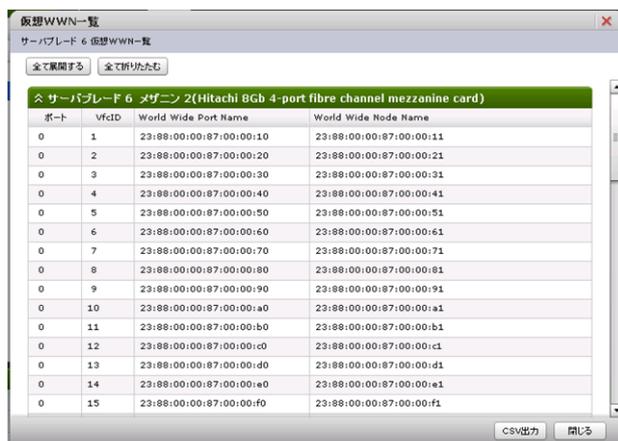
4.5.3 Original WWN 表示



Original WWN 表示 - 表示項目

表示	説明
表見出し	サーバブレードの番号とカードの番号と名称を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
World Wide Port Name	World Wide Port Name を表示します。
World Wide Node Name	World Wide Node Name を表示します。

4.5.4 Virtual WWN 表示



Virtual WWN 表示 - 表示項目

表示	説明
カード種別	—
ポート	ポート番号を表示します。
vfcID	vfcID を表示します。

[MAC 管理] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。
MAC 種別	MAC 種別を表示します。
サーバブレード搭載状態	サーバブレードの搭載状態を表示します。

[MAC 管理] - アクションボタン

[Current MAC 表示]

サーバブレードが使用する MAC アドレスの一覧を表示します。

表示される MAC アドレスは、サーバブレードの MAC 種別設定により additional MAC アドレスまたは original MAC アドレスの一覧が表示されます。

[詳細表示]

[Additional MAC]

サーバブレードが使用する Additional MAC アドレスの一覧を表示します。

サーバブレードの MAC 種別設定、拡張カード搭載数にかかわらず、サーバブレードに割り当てられた additional MAC アドレスがすべて表示されます。

[Original MAC]

サーバブレードに搭載された LAN 拡張カードが固有に持つ MAC アドレス (original MAC アドレス) の一覧を表示します。

サーバブレードが搭載されていない場合、この項目は表示されません。

[Virtual MAC]

HVM で使用する仮想 MAC アドレスを表示します。

4.6.2 Additional MAC 表示



Additional MAC 表示 - 表示項目

表示	説明
表見出し	サーバブレードの番号とカードの番号を表示します。
コントローラ	拡張カードに搭載されるネットワークコントローラの番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
変更	Additional MAC アドレスの初期値から変更されている場合「*」が表示されます。
MAC アドレス	装置内に重複する Additional MAC アドレスがある場合には、先頭に  が表示されます。編集ボタンにより Additional MAC アドレスが重複しないように修正してください。

Additional MAC 表示 - アクションボタン

[編集]

Additional MAC アドレスを編集します。開いた編集ダイアログに従い Additional MAC アドレスを入力します。

[初期設定]

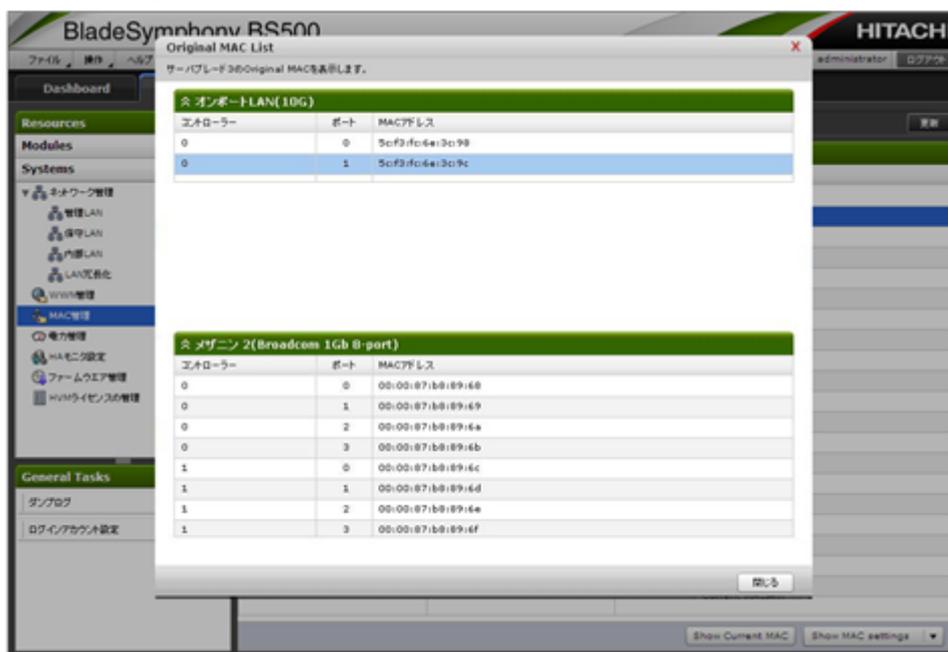
Additional MAC アドレスを工場出荷時の状態に戻します。

N+M 切り替えが発生しサーバブレードが切り替えられた状態などで Additional MAC アドレスを初期化すると Additional MAC アドレスの重複が発生する場合があります。Additional MAC アドレス 初期化時には、必ず Additional MAC アドレスの重複がないことを確認してください。

[閉じる]

このダイアログを閉じます。

4.6.3 Original MAC 表示

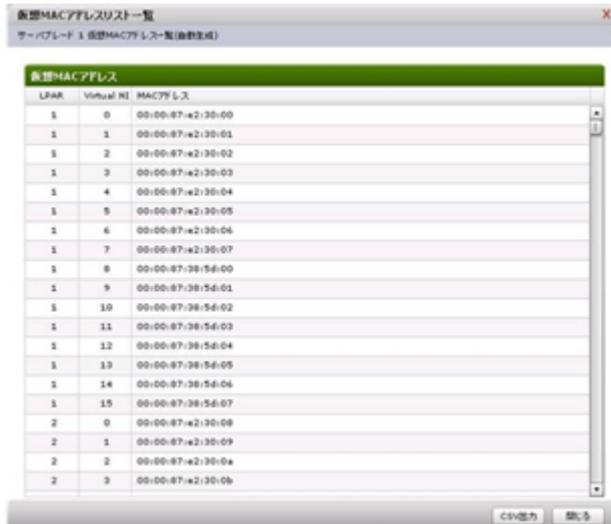


Original MAC 表示 - 表示項目

表示	説明
表見出し	サーバブレードの番号とカードの番号と名称を表示します。

表示	説明
コントローラ	拡張カードに搭載されるネットワークコントローラの番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
MAC アドレス	装置内に重複する Additional MAC アドレスがある場合には、先頭に  が表示されます。編集ボタンにより Additional MAC アドレスが重複しないように修正してください。

4.6.4 Virtual MAC 表示



LPAR	Virtual NIC	MACアドレス
1	0	00:00:07:e2:30:00
1	1	00:00:07:e2:30:01
1	2	00:00:07:e2:30:02
1	3	00:00:07:e2:30:03
1	4	00:00:07:e2:30:04
1	5	00:00:07:e2:30:05
1	6	00:00:07:e2:30:06
1	7	00:00:07:e2:30:07
1	8	00:00:07:38:56:00
1	9	00:00:07:38:56:01
1	10	00:00:07:38:56:02
1	11	00:00:07:38:56:03
1	12	00:00:07:38:56:04
1	13	00:00:07:38:56:05
1	14	00:00:07:38:56:06
1	15	00:00:07:38:56:07
2	0	00:00:07:e2:30:08
2	1	00:00:07:e2:30:09
2	2	00:00:07:e2:30:0a
2	3	00:00:07:e2:30:0b

Virtual MAC 表示 - 表示項目

表示	説明
仮想 MAC アドレスパネル	—
	仮想 MAC アドレスの一覧を表示します。
	LPAR
	LPAR 番号を表示します。
	Virtual NIC Number
	Virtual NIC Number を表示します。
	MAC アドレス
	LPAR 番号, Virtual NIC Number に対応する MAC アドレスを表示します。

Virtual MAC 表示 - アクションボタン

[CSV 出力]

仮想 MAC アドレスの一覧の内容を CSV ファイルに出力します。

[閉じる]

仮想 MAC アドレスの一覧ダイアログを閉じます。

4.7 [電力管理]

システム装置全体および個々のモジュールの電力を管理します。電力供給と消費の状態の表示、消費電力の制限、電源の冗長の設定ができます。電力管理の設定については、「*BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド*」を参照してください。

4.7.1 [電力サマリ]

The screenshot shows the BladeSymphony BS500 interface. The main content area is titled '電力サマリ' (Power Summary) and contains a table with the following data:

項目	現在値	上限値
入力電力(AC)	現在入力電力	345W
	運用時電力制限上限値(APC)AC換算(現在値)	2,611W
消費電力(DC)	現在消費電力	170W
	運用時電力制限上限値(APC)(現在値)	2,436W
	設備保護電力制限上限値(EPC)	2,436W
	定格電力	1,510W

Below this, there is a '電力情報' (Power Information) section with a table showing detailed power data for different components:

項目	現在値	上限値
入力電力(AC)	現在入力電力	345 W
	30秒間平均入力電力	348 W
	3分間平均入力電力	345 W
	3分間最大入力電力	352 W
	3分間最小入力電力	341 W
	1時間総入力電力	340 Wh
供給電力(DC)	最大供給電力	2,436 W
消費電力(DC)	現在消費電力	170 W
	3分間平均消費電力	168 W
	定格電力	1,510 W
パワーキャッピング	DCMIモード	無効
	運用時電力制限上限値(APC)(設定値)	2,436 W
	設備保護電力制限上限値(EPC)	2,436 W

[電力サマリ] - アクション項目

表示	説明
電源モジュール冗長構成設定	電源モジュールの冗長性を設定します。
電源モジュール最適制御機能設定	電源モジュール最適制御機能の有効/無効を設定します。
電源容量拡張機能設定	電源容量拡張機能の有効/無効を設定します。
電源設備環境設定	EPCに対する電源設備環境設定の有効/無効を設定します。
運用時電力上限設定(APC)	装置の消費電力上限値を設定します。 DCMIモード有効時は表示されません。
サーバブレード強制電源 OFF 設定	供給電力が不足したときのサーバブレード強制電源 OFF 設定の有効/無効を設定します。
サーバブレード電源 OFF 順位設定	供給電力が不足したときのサーバブレード強制電源 OFF 順位を設定します。サーバブレード強制電源 OFF 設定が無効でも設定できます。
シャーシ電力履歴のダウンロード	サーバシャーシの電力履歴をダウンロードします。 前日 24 時間分, 直前 24 時間分, 前日 0:00 から現在までの最大 48 時間分を CSV 形式で取得できます。
DCMI モード設定	DCMIモードの有効, 無効を設定します。 DCMIモードを有効にした場合, シャーシおよびサーバブレードの APC は, 操作出来なくなります。

重要 運用時電力上限を設定する前に, APCによる電力抑止を行いたくないサーバブレードに対して, APCを無効に設定してください。設定方法の詳細は「4.7.3 [サーバブレード] タブ」を参照してください。

[電力サマリ] - 表示項目

表示	説明
入力電力(AC)	現在の装置に対する入力電力(AC)を表示します。

表示		説明
	運用時電力制御上限値(APC)AC換算 (現在値)	APC で設定された消費電力上限値を AC 電力に換算した値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
消費電力 (DC)	現在消費電力	搭載されているモジュールの現在の消費電力の合計を表示します。
	運用時電力制御上限値(APC) (現在値)	APC の消費電力上限値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
	設備保護電力制御上限値(EPC)	EPC の消費電力上限値を表示します。
	定格電力	サーバシャーシに搭載されているモジュールの定格電力の合計を表示します。

4.7.2 [状態] タブ

The screenshot displays the 'BladeSymphony BS500' web interface. The 'Resources' tab is active, and the '電力管理' (Power Management) sub-tab is selected. The '電力サマリ' (Power Summary) table shows the following data:

電力サマリ		
入力電力(AC)	現在入力電力	330W
	運用時電力制御上限値(APC)AC換算(現在値)	2,611W
消費電力(DC)	現在消費電力	152W
	運用時電力制御上限値(APC)(現在値)	2,436W
	設備保護電力制御上限値 (EPC)	2,436W
	定格電力	1,504W

The '電力情報' (Power Information) table shows the following settings and states:

電力情報		
運用時電力制御上限値 (APC) (設定値)		2,436 W
設備保護電力制御上限値 (EPC)		2,436 W
運用時電力制御状態 (APC)		無効
設備保護電力制御状態 (EPC)		無効
電源モジュール冗長構成		N + 1
電源モジュール急速制御機能		有効
電源容量拡張		有効
電源設備環境設定	有効/無効	無効
サーキットブレーカ定格電流		-----
サーキットブレーカ台数		-----
PDU定格電流		-----
PDU台数		-----
サーバブレード強制電源OFF		有効

[状態] タブ - 表示項目

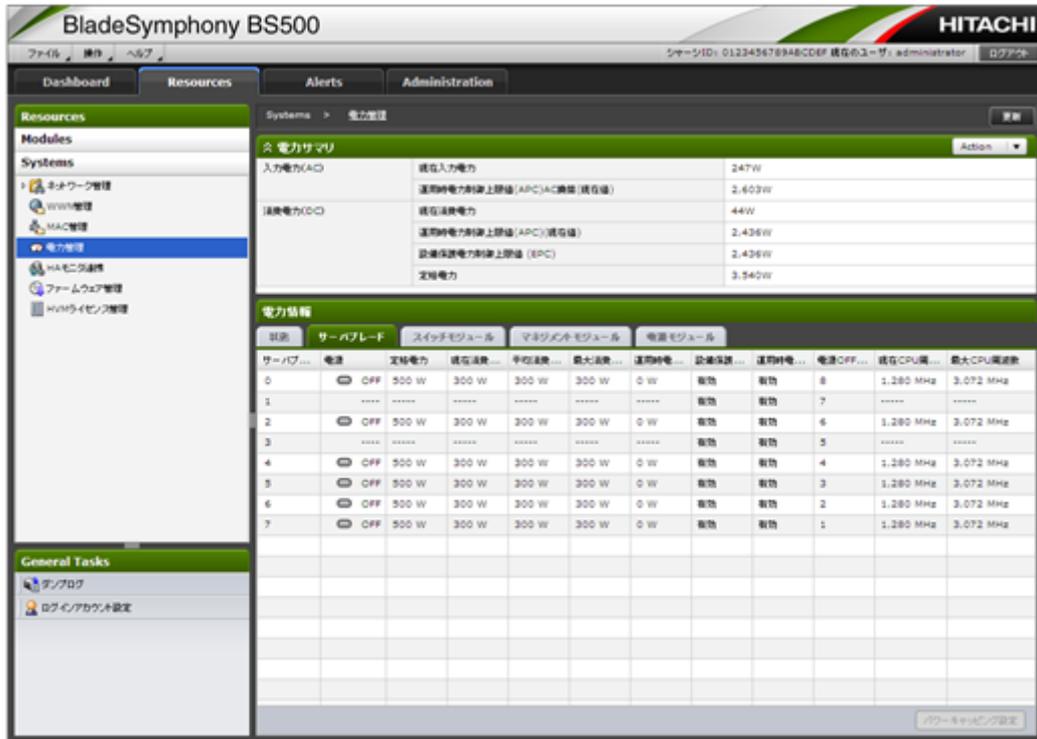
表示		説明
入力電力(AC)	現在入力電力	現在の装置に対する入力電力(AC)を表示します。
	30 秒間 平均入力電力	入力電力の 30 秒移動平均値を表示します。
	3 分間 平均入力電力	過去 3 分間の入力電力の平均値を表示します。
	3 分間 最大入力電力	過去 3 分間の入力電力の最大値を表示します。
	3 分間 最小入力電力	過去 3 分間の入力電力の最小値を表示します。
	1 時間 積算入力電力	過去 1 時間の消費電力量を表示します。

表示		説明
供給電力(DC)	最大供給電力	装置の電源モジュールが供給可能な電力の最大値を表示します。 装置の電源設備環境設定、搭載電源モジュール数と電源モジュール冗長設定、電源容量拡張設定により計算された値です。
消費電力 (DC)	現在消費電力	サーバシャーシに搭載されているモジュールの現在の消費電力の合計を表示します。
	3分間平均消費電力	サーバシャーシに搭載されているモジュールの消費電力の過去3分間の平均値を表示します。
	定格電力	サーバシャーシに搭載されているモジュールの定格電力の合計を表示します。
パワーキャッピング	DCMI モード	シャーシの DCMI モード設定の状態を表示します。 DCMI モード設定はアクション項目から行います。
	運用時電力制御上限値 (DCMI) (設定値)	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降】 DCMI キャッピング時の消費電力上限値を表示します。 DCMI モード無効時は表示されません。
	運用時電力制御上限値 (APC) (設定値)	APC の消費電力上限値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
	設備保護電力制御上限値 (EPC)	EPC の消費電力上限値を表示します。
	運用時電力制御状態(APC)	APC の設定値を超過し、性能抑止した状態かを表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
	設備保護電力制御状態 (EPC)	EPC の設定値を超過し、性能抑止した状態かを表示します。
電源モジュール冗長構成		電源モジュールの冗長設定を表示します。設備の電源電圧により次のいずれかとなります。 100VAC : N+N, N+1, N+0 200VAC-240VAC : N+N, N+1
電源モジュール最適制御機能		電源モジュール最適制御機能の有効/無効を表示します。
電源設備環境設定	有効/無効	EPC に対する電源設備環境設定の有効/無効を表示します。
	サーキットブレーカー定格電流	分電盤ヒューズフリーブレーカ(FFB)定格を表示します。 100VAC : 10A-100A (デフォルト=15A) 200VAC-240VAC : 15A-100A (PDU 数量=0 のとき、デフォルト=15A。PDU 数量 \geq 1 のとき、デフォルト= 30A)
	サーキットブレーカー台数	分電盤ヒューズフリーブレーカ(FFB)数量を設定します。 1/2/3/4 (N+N のとき、デフォルト=2。 N+1 のとき、デフォルト=1。N+0 のとき、デフォルト=1)
	PDU 定格電流	PDU 入力定格を設定します。 100VAC : 未サポート 200VAC-240VAC : 15A-100A (デフォルト=24A)
	PDU 台数	PDU 数量を設定します。

表示	説明
	0/1/2 (N+N のとき、デフォルト=2。N+1 のとき、デフォルト=1。ただし、電源モジュール 4 台構成時は、電源冗長構成によらずデフォルト=2)
サーバブレード強制電源 OFF	供給電力が不足したときのサーバブレード強制電源 OFF 設定の有効/無効を表示します。

4.7.3 [サーバブレード] タブ

サーバブレードごとの省電力上限値設定、電力消費状況を表示します。



[サーバブレード] タブ - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレードの番号を表示します。 SMP を構成しているサーバブレードのアイコンについて次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> P : プライマリサーバブレード NP : ノンプライマリサーバブレード
電源	電源状態を表示します。
定格電力	定格電力を表示します。
現在消費電力	現在の消費電力を表示します。
平均消費電力	過去 3 分間の消費電力の平均値を表示します。
最大消費電力	過去 3 分間の消費電力の最大値を表示します。
最小消費電力	過去 3 分間の消費電力の最小値を表示します。
運用時電力制御 (DCMI)	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降】 DCMI キャッピングの対象かどうかを表示します。 DCMI 非対応サーバブレードの場合は、"-----" と表示します。 DCMI モード無効時は表示されません。

表示	説明
運用時電力制御上限値 (DCMI)	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降】 DCMI キャッピングの上限値を表示します。 DCMI 非対応サーバブレードの場合は、"-----" と表示します。 DCMI モード無効時は表示されません。
DCMI 例外処理	【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降】 DCMI 例外処理を表示します。 表示される値は、次のいずれかです。 ・ 何もしない ・ 電源 OFF ・ SEL 出力 DCMI 非対応サーバブレードの場合は、"-----" と表示します。 DCMI モード無効時は表示されません。
運用時電力制御上限値 (APC)	APC によるパワーキャッピングの上限値を表示します。 DCMI モード有効時は表示されません。
設備保護電力制御 (EPC)	パワーキャッピング(設備保護電力制御)の対象かどうかを表示します。 0が付いた値は、設定変更はできますがその値を用いて動作することはありません。
運用時電力制御(APC)	パワーキャッピング(運用時電力制御)の対象かどうかを表示します。 0が付いた値は、設定変更はできますがその値を用いて動作することはありません。 DCMI モード有効時は表示されません。
電源 OFF 順位	供給電力が不足したときのサーバブレード強制電源 OFF 順序設定を表示します。 0が付いた値は、設定変更はできますがその値を用いて動作することはありません。 サーバブレード強制電源 OFF 設定が無効でも表示されます。
現在 CPU 周波数	現在の CPU 周波数を表示します。
平均 CPU 周波数	過去 3 分間の CPU 周波数の平均値を表示します。
最大 CPU 周波数	過去 3 分間の CPU 周波数の最大値を表示します。

[サーバブレード] タブ - アクションボタン

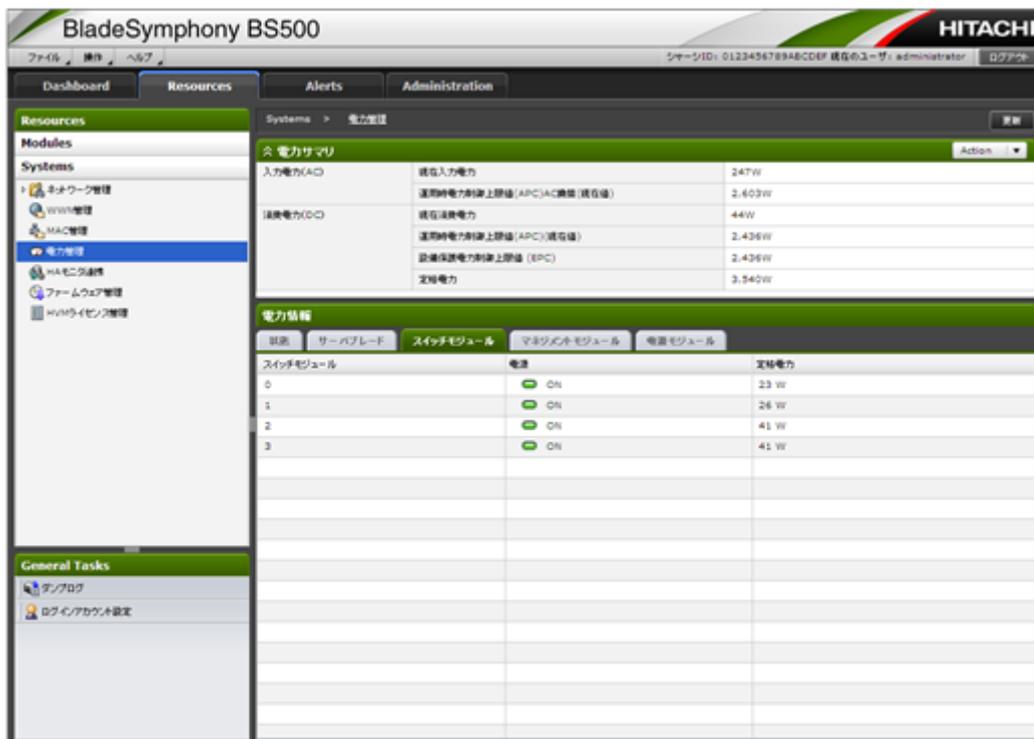
[パワーキャッピング設定]

選択したブレードのパワーキャッピング(APC, EPC)を設定します。

DCMI モード有効時は EPC のみ設定が可能です。

重要 EPC は無効に設定しないでください。

4.7.4 [スイッチモジュール] タブ



[スイッチモジュール] タブ - 表示項目

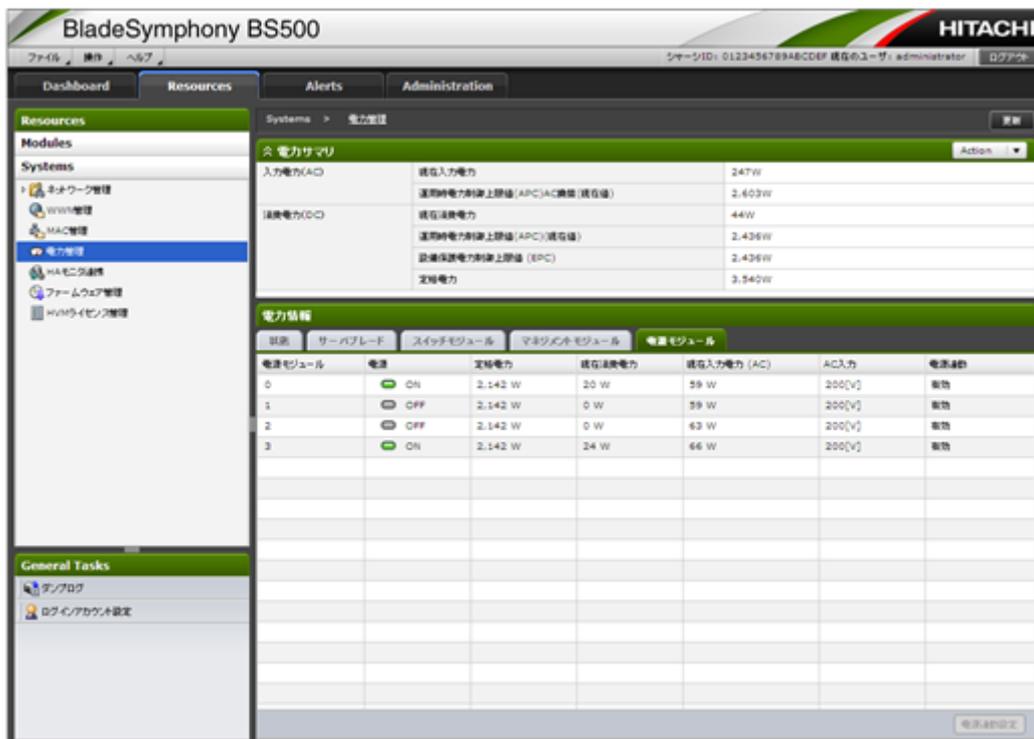
表示	説明
スイッチモジュール	スイッチモジュールの番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。
定格電力	定格電力を表示します。

4.7.5 [マネジメントモジュール] タブ

[マネジメントモジュール] タブ - 表示項目

表示	説明
マネジメントモジュール	マネジメントモジュールの番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。
定格電力	定格電力を表示します。

4.7.6 [電源モジュール] タブ



[電源モジュール] タブ - 表示項目

表示	説明
電源モジュール	電源モジュールの番号を表示します。
電源	電源状態を表示します。
定格電力	定格電力を表示します。
現在消費電力	現在の消費電力(DC)を表示します。
現在入力電力(AC)	現在の入力電力(AC)を表示します。
電源連動	サーバブレードの電源復旧時設定で電源 ON または障害発生前の状態に設定している場合、選択した電源モジュールの入力が復旧した際にサーバブレードの電源を ON するかどうかを示します。

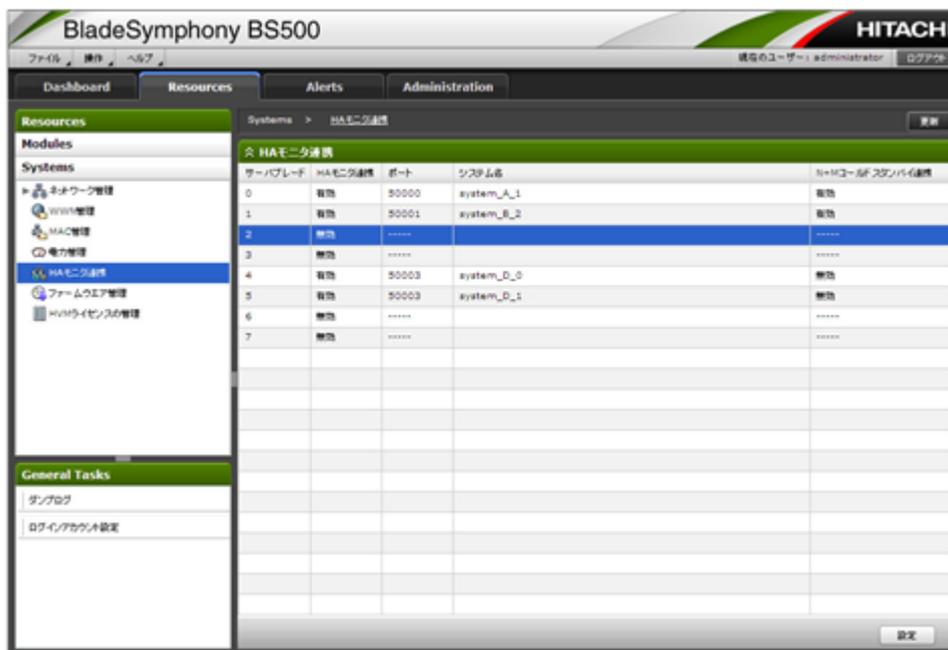
[電源モジュール] タブ - アクションボタン

[電源連動設定]

電源モジュールの電源連動について設定できます。

4.8 [HA モニタ連携]

HA モニタを使用する場合、HA モニタとの連携の設定を実施します。



[HA モニタ連携] - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。
HA モニタ連携	このサーバブレードで HA モニタを使用するかを表示します。 有効：HA モニタを使用する。 ポート、システム名、N+M コールドスタンバイの設定が可能になります。 無効：HA モニタを使用しない。 ポート、システム名、N+M コールドスタンバイの設定が無効化されます。
ポート	ポート番号を表示します。 系切り替え構成毎に、5001 から 65535 の範囲で設定します。 HA モニタの環境設定(monsetup)コマンドで設定する「スイッチ&マネジメントモジュールのポート番号」と同一の値を設定してください。
システム名	系切り替え構成で使用する HA モニタのシステム名を表示します。 HA モニタの環境設定(monsetup)コマンドで設定する「システムのパーティション名」と同一の名称を設定してください。
N+M コールドスタンバイ連携	N+M コールドスタンバイと連携して HA モニタを使用するかを表示します。 有効：N+M コールドスタンバイ構成で系切り替えを行う。 HA モニタの環境設定(monsetup)コマンドで設定する「スイッチ&マネジメントモジュールの IP アドレス」設定が"auto" である必要があります。 無効：N+M コールドスタンバイ構成で系切り替えを行わない。

[HA モニタ連携] - アクションボタン

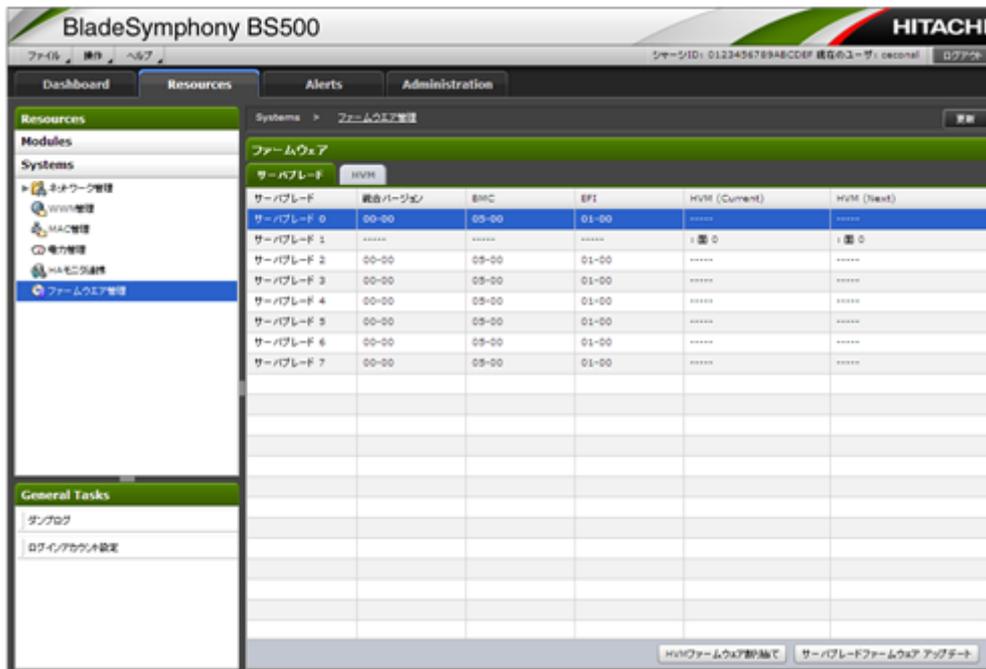
[設定]

HA モニタ設定を編集します。

4.9 [ファームウェア管理]

サーバブレードファームウェア、HVM ファームウェアのバージョン表示とアップデートを実施します。複数のサーバブレードのサーバブレードファームウェアを一度にアップデートすることができます。ファームウェア管理の詳細については、「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド」を参照してください。

4.9.1 [サーバブレード] タブ



[サーバブレード] タブ - 表示項目

表示	説明
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。 SMP を構成しているサーバブレードのアイコンについて次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> P : プライマリサーバブレード NP : ノンプライマリサーバブレード
統合バージョン	サーバブレードファームウェアのバージョンを表示します。 サーバブレードファームウェアには BMC と EFI が含まれます。
BMC	BMC のバージョンを表示します。
EFI	EFI のバージョンを表示します。
HVM (Current)	現在割り当てられている HVM バージョンと面番号を表示します。
HVM (Next)	次回起動時に割り当てられる HVM バージョンと面番号を表示します。 ()が付いた値は、設定されていますがその値を用いて動作することはありません。

[サーバブレード] タブ - アクションボタン

[HVM ファームウェア割り当て]

サーバブレードに割り当てる HVM ファームウェアのバージョンを変更します。

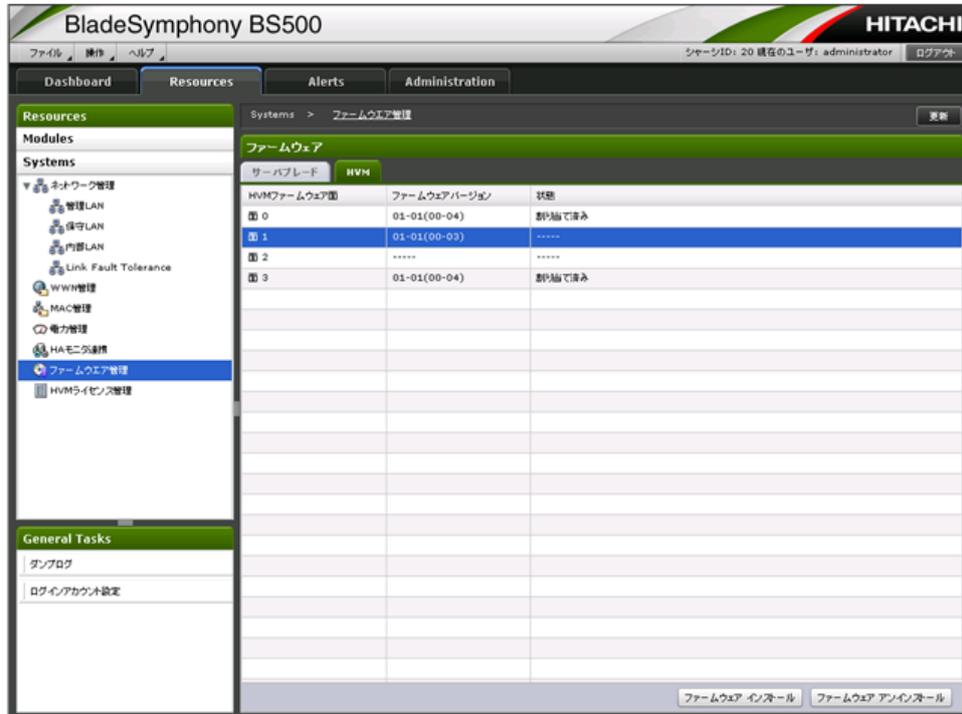
[サーバブレードファームウェアアップデート]

サーバブレードファームウェアを更新します。開くダイアログでサーバブレードファームウェアを選択し、アップデートします。

複数サーバブレードを一括してアップデートすることができます。

SMP 構成の場合、プライマリサーバブレードのファームウェアを選択してください。SMP を構成するすべてのサーバブレードのファームウェアがアップデートされます。ノンプライマリサーバブレードは選択しないでください。

4.9.2 [HVM] タブ



[HVM] タブ - 表示項目

表示	説明
HVM ファームウェア面	HVM ファームウェアの面番号を表示します。
ファームウェアバージョン	インストールされている HVM ファームウェアのバージョンを表示します。
状態	サーバブレードに割り当てられているかどうかを表示します。

[HVM] タブ - アクションボタン

[ファームウェア インストール]

HVM ファームウェアをインストールします。
([HVM ファームウェア インストール] ダイアログを表示します)

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0135 以前】

状態が"-----" (割り当てなし) の面を選択した場合に活性となります。

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0145 以降】

状態が"-----"(割り当てなし), または「割り当て済み(ファームウェア上書き可能)」の面を選択した場合に活性となります。

[ファームウェア アンインストール]

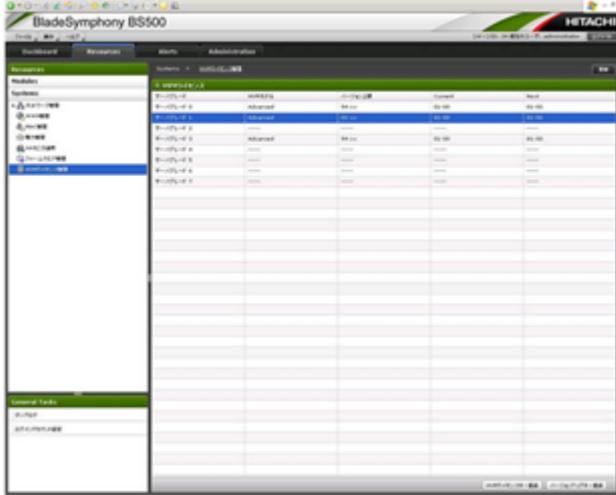
HVM ファームウェアをアンインストールします。
([HVM ファームウェア アンインストール] ダイアログを表示します)

HVM ファームウェアがインストールされている、かつ状態が"-----" (割り当てなし) の面を選択した場合に活性となります。

参考 各 HVM ファームウェア面に、どのサーバブレードが割り当てられているかを確認する場合は、[サーバブレード] タブを確認してください。

4.10 [HVM ライセンス管理]

HVM ライセンスを管理します。HVM ライセンス管理の詳細については、「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド」を参照してください。



[HVM ライセンス管理] - 表示項目

表示	説明
HVM ライセンスパネル	—
サーバブレード	サーバブレードを表示します。 SMP を構成しているサーバブレードのアイコンについて次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> •  : プライマリサーバブレード •  : ノンプライマリサーバブレード
HVM モデル	HVM モデルを表示します。
バージョン上限	アップグレード可能な HVM の上限バージョンを表示します。
Current	現在割り当てられている HVM バージョンを表示します。
Next	次回起動時に割り当てられる HVM バージョンを表示します。 0が付いた値は、設定されていますがその値を用いて動作することはありません。

[HVM ライセンス管理] - アクションボタン

[HVM ライセンスキー登録]

[HVM モデル変更] ダイアログを表示します。

[バージョンアップキー登録]

[バージョンアップキー登録] ダイアログを表示します。

4.10.1 [HVM モデル変更]



[HVM モデル変更] - 表示項目

表示		説明
サーバブレード番号		サーバブレードを表示します。
HVM モデル		HVM モデルを表示します。
キー	直接入力ラジオボタン	直接入力する方法で HVM ライセンスキーを登録します。
	直接入力テキストボックス	HVM ライセンスキーを直接入力します。 (直接入力ラジオボタンを選択している場合のみ入力可能です)
	ファイル名ラジオボタン	ファイルを読み込ませて、HVM ライセンスキーを登録します。
	参照ボタン	読み込ませる HVM ライセンスキーファイルを選択します。

[HVM モデル変更] - アクションボタン

[確認]

[キーチェック結果] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[HVM モデル変更] ダイアログを閉じます。

4.10.2 [HVM モデル変更] の [キーチェック結果]



[HVM モデル変更] の [キーチェック結果] - 表示項目

表示		説明
HVM モデル更新パネル	—	HVM モデルの更新内容を表示します。
	サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。

表示		説明	
	キー	HVM ライセンスキーを表示します。	
	キーファイル	HVM ライセンスキーファイルを表示します。 (ライセンスキーを直接入力した場合は、表示しません)	
	HVM モデル	現在	現在の HVM モデルを表示します。
		更新後	更新後の HVM モデルを表示します。

[HVM モデル変更] の [キーチェック結果] - アクションボタン

[戻る]

[HVM モデル変更] ダイアログに戻ります。

[OK]

設定内容を反映します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[キーチェック結果] ダイアログを閉じます。

4.10.3 [バージョンアップキー登録]



[バージョンアップキー登録] - 表示項目

表示		説明
	サーバブレード番号	サーバブレード番号を表示します。
	HVM バージョン上限	アップグレード可能な HVM の上限バージョンを表示します。
キー	直接入力ラジオボタン	直接入力する方法でライセンスキーを登録します。
	直接入力テキストボックス	ライセンスキーを直接入力します。(直接入力ラジオボタンを選択している場合のみ入力可能です)
	ファイル名ラジオボタン	ファイルを読み込ませて、ライセンスキーを登録します。
	参照ボタン	読み込ませるライセンスキーファイルを選択します。

[バージョンアップキー登録] - アクションボタン

[確認]

[キーチェック結果] ダイアログを表示します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[バージョンアップキー登録] ダイアログを閉じます。

4.10.4 [バージョンアップキー登録] の [キーチェック結果]



[バージョンアップキー登録] の [キーチェック結果] - 表示項目

表示		説明
サーバブレード番号		サーバブレード番号を表示します。
キー		バージョンアップキーを表示します。
キーファイル		バージョンアップキーファイルを表示します。
HVMバージョン上限	現在	現在のHVMバージョンを表示します。
	更新後	アップグレード後のHVMバージョンを表示します。

[バージョンアップキー登録] の [キーチェック結果] - アクションボタン

[戻る]

[バージョンアップキー登録] ダイアログに戻ります。

[OK]

設定内容を反映します。

[キャンセル]

設定内容を解除し、[キーチェック結果] ダイアログを閉じます。

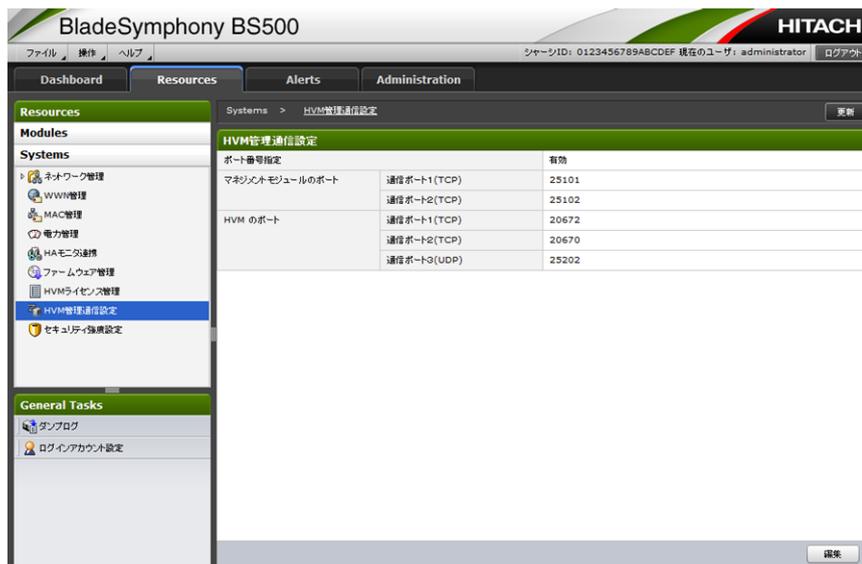
4.11 [HVM 管理通信設定]

【マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0260 以降】

HVM とマネジメントモジュール間の通信に使用するポート番号を設定します。

シャーシ内のすべてのHVMは共通のポート番号を使用します。個々のHVMで異なるポート番号を使用することはできません。

[動作モード] を [HVM] に設定したすべてのサーバブレードの電源が OFF の状態に変更してください。



[HVM 管理通信設定] - 表示項目

表示	説明
ポート番号指定	指定したポート番号を使用するかどうかを表示します。 有効：指定したポート番号を使用します。 無効：指定したポート番号を使用しません。
マネジメントモジュールのポート	マネジメントモジュールのポートを表示します。 1024 から 32767 の範囲の値を表示します。 ポート番号指定が無効に設定されている場合は、"-----"を表示します。
HVM のポート	HVM のポートを表示します。 1024 から 32767 の範囲の値を表示します。 ポート番号指定が無効に設定されている場合は、"-----"を表示します。

[HVM 管理通信設定] - アクションボタン

[編集]

HVM とマネジメントモジュール間の通信に使用するポート番号を設定します。

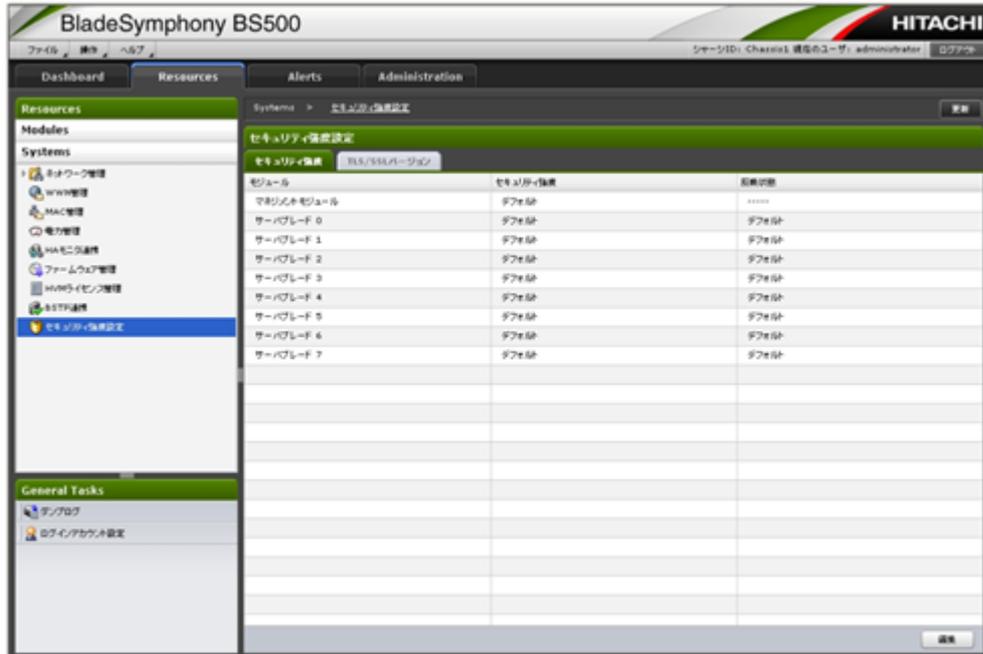
参考 ポート番号の詳細については「BladeSymphony BS500 HVM ユーザーズガイド」を参照してください。

4.12 [セキュリティ強度設定]

マネジメントモジュールとサーバブレードのセキュリティ強度の設定を実施します。

セキュリティ強度の詳細は「BladeSymphony BS500 マネジメントモジュールセットアップガイド」を参照してください。

4.12.1 [セキュリティ強度] タブ



[セキュリティ強度] タブ - 表示項目

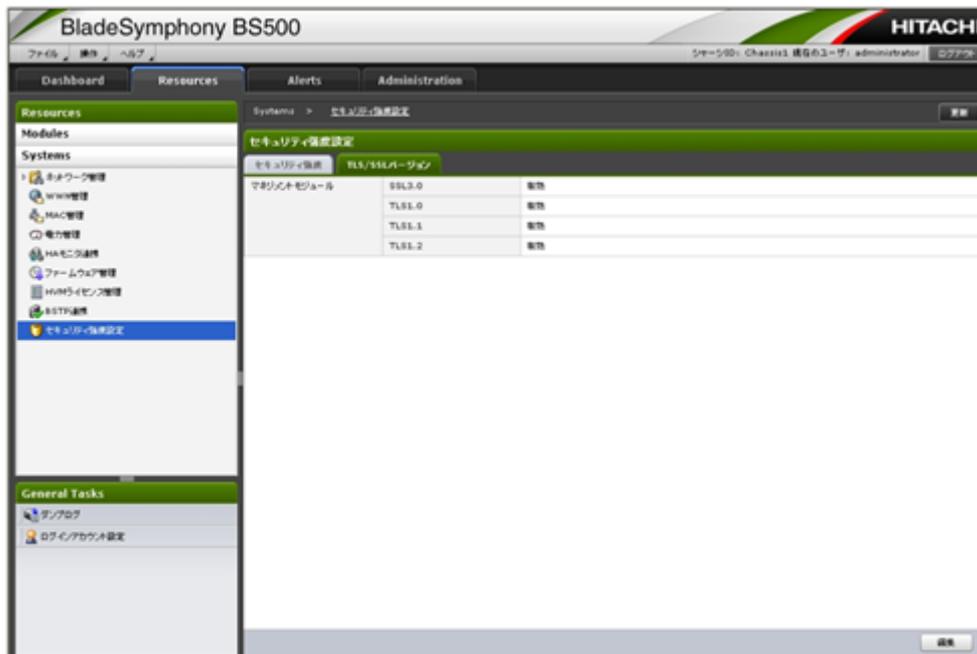
表示	説明
モジュール	モジュールの種類、番号を表示します。
セキュリティ強度	設定されているセキュリティ強度を表示します。 デフォルト：設定されているセキュリティ強度はデフォルトです。 高：設定されているセキュリティ強度は高です。
反映状態	セキュリティ強度のサーバブレードへの反映状態を表示します。 モジュールがサーバブレードの場合に表示されます。 デフォルト：サーバブレードに設定されているセキュリティ強度はデフォルトです。 高：サーバブレードに設定されているセキュリティ強度は高です。 サーバブレード非搭載：サーバブレードが搭載されていません。 非サポート：サーバブレードがセキュリティ強度設定をサポートしていません。 サーバブレード初期化中：サーバブレードが初期化中のため、反映状態が取得できませんでした。 サーバブレード初期化失敗：サーバブレードの初期化に失敗したため、反映状態が取得できませんでした。

[セキュリティ強度] タブ - アクションボタン

[編集]

セキュリティ強度の設定を変更します。

4.12.2 [TLS/SSL バージョン] タブ



[TLS/SSL バージョン] タブ - 表示項目

表示		説明
マネジメントモジュール	SSL3.0	SSL3.0の有効/無効を表示します。
	TLS1.0	TLS1.0の有効/無効を表示します。
	TLS1.1	TLS1.1の有効/無効を表示します。
	TLS1.2	TLS1.2の有効/無効を表示します。

[TLS/SSL バージョン] タブ - アクションボタン

[編集]

TLS/SSLバージョン設定を変更します。

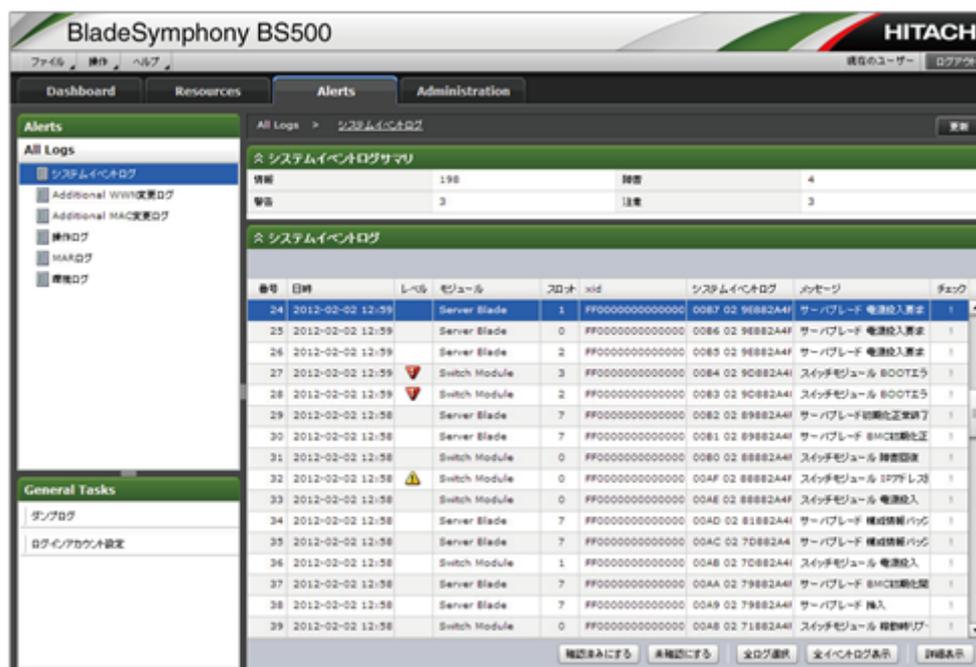
[Alerts]

Alerts に表示される項目について説明します。

- 5.1 [システムイベントログ]
- 5.2 [Additional WWN 変更ログ]
- 5.3 [Additional MAC 変更ログ]
- 5.4 [操作ログ]
- 5.5 [MAR ログ]
- 5.6 [環境ログ]

5.1 [システムイベントログ]

システムイベントログ (SEL) を表示します。警告, または障害イベントは, 詳細な情報を表示できる場合があります。



5.1.1 [システムイベントログサマリ]

[システムイベントログサマリ] - 表示項目

表示	説明
情報	未確認のインフォメーションレベルのイベントの件数を表示します。
障害	未確認の障害のイベントの件数を表示します。
警告	未確認の警告のイベントの件数を表示します。
注意	未確認の注意レベルのイベント件数を表示します。

5.1.2 [システムイベントログ]

[システムイベントログ] - 表示項目

表示	説明
日時	イベントが発生した日時を表示します。
レベル	<p>イベントのレベルは, 正常, 注意, 警告, 障害の 4 段階に分かれており, 次のように表示されます。</p> <p>空欄 : 装置を操作した場合など, 正常な操作・動作した場合に記録されます。注意レベルのイベントも空欄に表示されます。</p> <p> : 通信の異常や設定誤りの可能性など, ユーザに注意すべきイベントが発生した場合に記録されます。</p> <p> : いずれかのモジュールで継続可能な障害が発生した場合に記録されます。警告の詳細を確認し, 警告となる要因を取り除いてください。</p>

表示	説明
	 : いずれかのモジュールで動作不可能な障害が発生した場合に記録されます。障害の詳細を確認し、障害に対応してください。
モジュール	イベントが発生したモジュールを表示します。
スロット	該当モジュールが搭載されているスロット番号を表示します。
XID	イベントを示すコードを表示します。
システムイベントログ	
メッセージ	イベントの概要を示すメッセージを表示します。
チェック	イベントが確認済みかどうかを示します。 空欄 : このイベントが確認済みであることを示します。確認済みのイベントはサマリの件数にはカウントされません。 ! : このイベントが未確認であることを示します。未確認のイベントはサマリの件数にカウントされます。

[システムイベントログ] - アクションボタン

[確認済みにする]

選択したイベントを確認済みにします。

[未確認にする]

選択したイベントを未確認に戻します。

[全ログ選択]

すべてのイベントを選択します。

[全イベントログ表示]

記録されているすべてのイベントログを表示します。
初期状態では最新の 100 件のみが表示されます。

[詳細表示]

イベントが警告または障害レベルの場合、その詳細を表示します。
イベントによっては詳細内容がないものもあります。
詳細内容がない場合はこのボタンは押せません。

5.2 [Additional WWN 変更ログ]

Additional WWN の変更の履歴を表示します。Additional WWN は N+M コールドスタンバイで切り替え、復帰の際に変更されます。

No.	日時	サーバブレード	種別	スロット	ポート	WWN種別	変更前	変更後	要求元
0	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
1	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
2	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
3	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
4	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	2	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
5	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	2	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
6	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	3	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
7	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	3	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
8	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
9	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
10	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	1	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
11	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	1	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
12	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	2	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
13	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	2	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
14	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	3	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
15	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	3	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:00	console
16	2012/02/02 10:3	1	mezz	1	0	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:01	console
17	2012/02/02 10:3	1	mezz	1	0	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:01	console
18	2012/02/02 10:3	1	mezz	1	1	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:01	console
19	2012/02/02 10:3	1	mezz	1	1	wwnn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:01	console
20	2012/02/02 10:3	1	mezz	1	2	wwpn	00:00:00:00:00:00:00:00	24:00:00:00:87:00:00:01	console

[Additional WWN 変更ログ] - 表示項目

表示	説明
日時	変更が発生した時刻を表示します。
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。
種別	I/O カード種を表示します。
スロット	I/O カードが搭載されるスロット番号を表示します。
ポート	I/O カードのポート番号を表示します。
WWN 種別	WWN が WWPN(World Wide Port Name), WWNN(World Wide Node Name)のいずれであるかを表示します。
変更前	変更前の WWN を表示します。
変更後	変更後の WWN を表示します。
要求元	変更の要求元を Console または BSM0~BSM3 のいずれかとして表示します。

5.3 [Additional MAC 変更ログ]

Additional MAC アドレスの変更の履歴を表示します。Additional MAC アドレスは N+M コールドスタンバイで切り替え、復帰の際に変更されます。

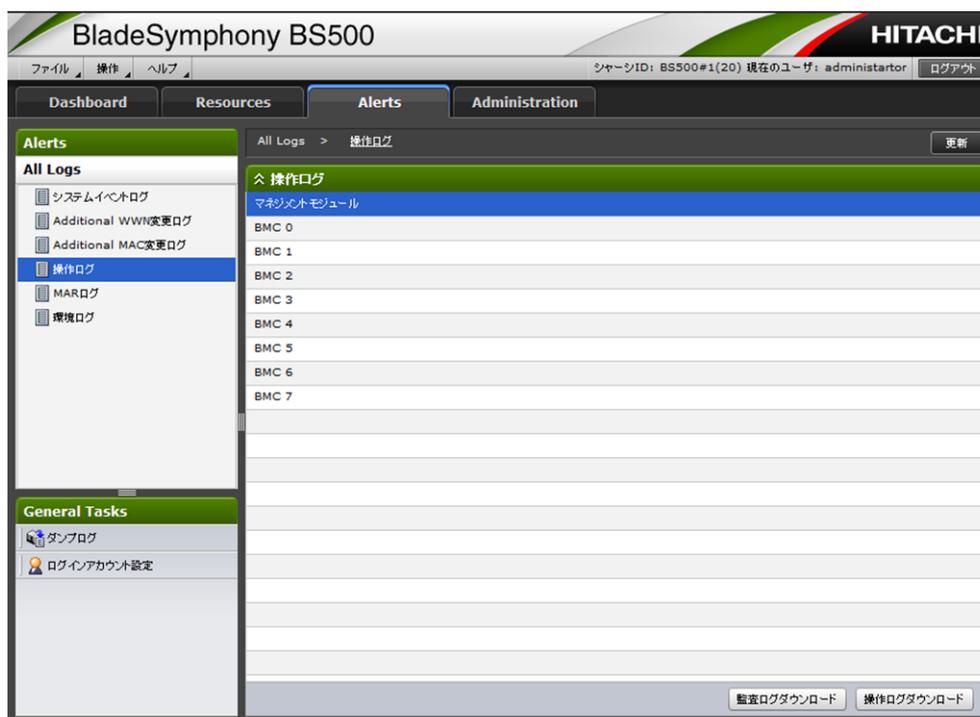
No.	日時	サーバブレード	種別	スロット	コントローラ	ポート	変更前	変更後	要求元
0	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	0	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:00	console
1	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	1	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:01	console
2	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	2	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:02	console
3	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	3	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:03	console
4	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	4	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:04	console
5	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	5	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:05	console
6	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	6	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:06	console
7	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	0	7	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:07	console
8	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	0	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:08	console
9	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	1	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:09	console
10	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	2	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0A	console
11	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	3	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0B	console
12	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	4	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0C	console
13	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	5	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0D	console
14	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	6	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0E	console
15	2012/02/02 10:3	0	mezz	1	1	7	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:0F	console
16	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	0	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:10	console
17	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	1	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:11	console
18	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	2	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:12	console
19	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	3	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:13	console
20	2012/02/02 10:3	0	mezz	2	0	4	00:00:00:00:00:00	00:00:87:78:AB:14	console

[Additional MAC 変更ログ] - 表示項目

表示	説明
日時	変更が発生した時刻を表示します。
サーバブレード	サーバブレード番号を表示します。
種別	I/O カード種を表示します。
スロット	I/O カードが搭載されるスロット番号を表示します。
コントローラ	I/O カードが Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードの場合、そのカードに搭載されるコントローラの番号を表示します。Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カード以外の場合は常に 0 が表示されます。 Emulex 10Gb 4 ポート LAN 拡張カード(XE104)の場合も常に 0 が表示されます。
ポート	I/O カードのポート番号を表示します。
変更前	変更前の MAC アドレスを表示します。
変更後	変更後の MAC アドレスを表示します。
要求元	変更の要求元を Console または BSM0~BSM3 のいずれかとして表示します。

5.4 [操作ログ]

マネジメントモジュール、サーバブレード (BMC) に対する操作ログと監査ログをダウンロードすることができます。



[操作ログ] - アクションボタン

[監査ログダウンロード]

マネジメントモジュール、サーバブレードの BMC0~BMC7 を選択して、監査ログをダウンロードします。

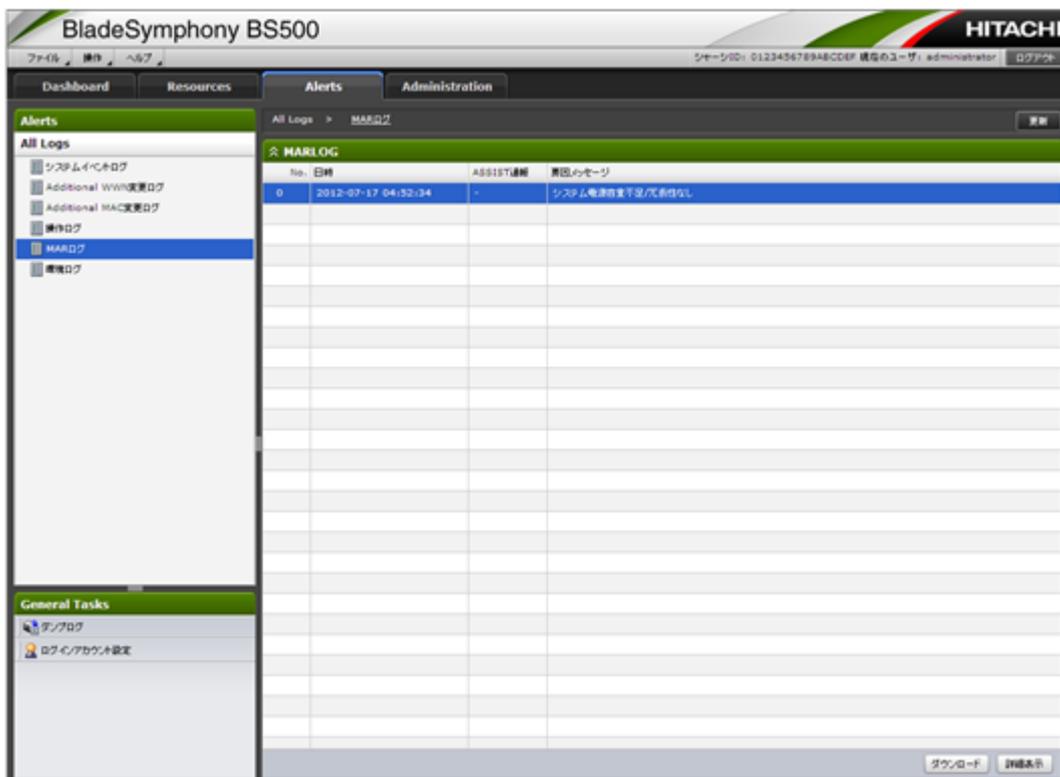
[操作ログダウンロード]

マネジメントモジュール、サーバブレードの BMC 0~BMC 7 を選択して、操作ログをダウンロードします。

参考 操作ログについては、「*BladeSymphony BS500* マネジメントモジュールセットアップガイド」を参照してください。

5.5 [MAR ログ]

障害通報の要因となった事象のログ（Maintenance Action Report, MAR）の一覧を表示します。障害の詳細の表示と障害時に採取したログをダウンロードすることができます。また、MAR ログは、障害発生時に保守員が確認するものです。



[MAR ログ] - 表示項目

表示	説明
日時	障害通報の要因となった事象が発生した日時を表示します。
ASSIST 通報	保守サービスにより障害発生時の ASSIST 通報設定をしている場合、ASSIST 通報の成否を表示します。
要因メッセージ	障害通報の要因となった事象を表示します。

[MAR ログ] - アクションボタン

[ダウンロード]

MAR ログをダウンロードします。

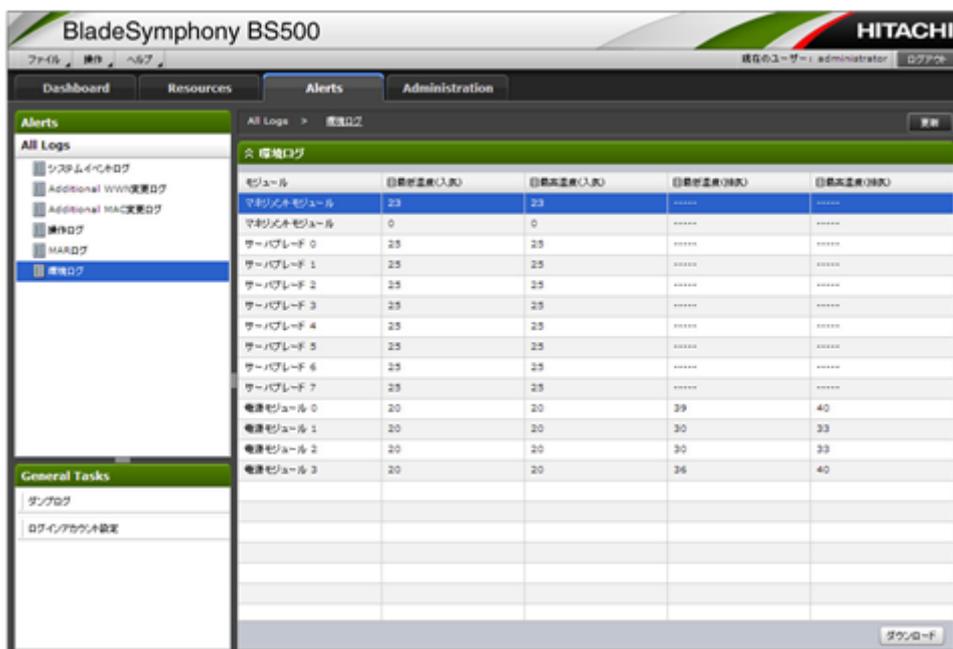
[詳細表示]

通報要因となった事象の詳細を表示します。

5.6 [環境ログ]

システムの入排気温の最高、最低を表示します。また履歴をダウンロードすることが可能です。

また、環境ログは、ロングライフサポートサービスの環境確認に、保守員が使用するものです。



[環境ログ] - 表示項目

表示	説明
モジュール	モジュール名と番号を表示します。
日最低温度 (入気)	該当モジュールにおける、当日の入気の最低温度を表示します。
日最高温度 (入気)	該当モジュールにおける、当日の入気の最高温度を表示します。
日最低温度 (排気)	該当モジュールにおける、当日の排気の最低温度を表示します。
日最高温度 (排気)	該当モジュールにおける、当日の排気の最高温度を表示します。

[環境ログ] - アクションボタン

[ダウンロード]

過去 700 日分の日ごとの最低温度、最高温度の履歴をダウンロードします。

[Administration]

[Administration] に表示される項目について説明します。

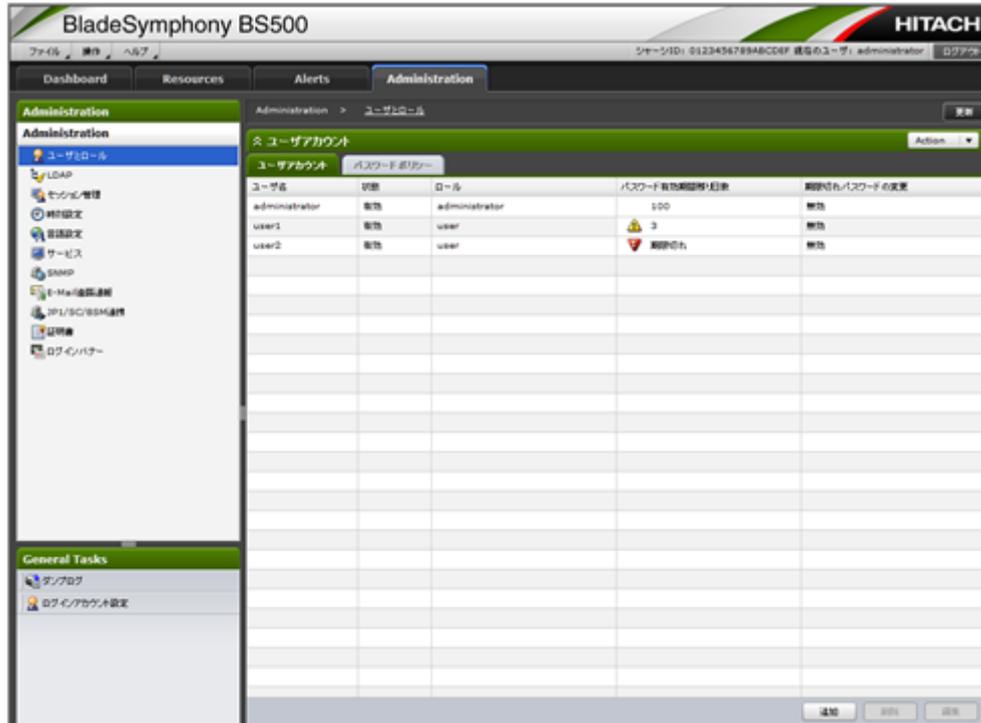
- 6.1 [ユーザとロール]
- 6.2 [LDAP/RADIUS]
- 6.3 [セッション管理]
- 6.4 [時刻設定]
- 6.5 [言語設定]
- 6.6 [サービス]
- 6.7 [SNMP]
- 6.8 [E-Mail 遠隔通報]
- 6.9 [JP1/SC/BSM 連携]
- 6.10 [HCSM 連携]
- 6.11 [証明書]
- 6.12 [ログインバナー]

6.1 [ユーザとロール]

本画面では、アカウントとロールの追加、削除、変更を実施します。また、LCD タッチコンソールの暗証番号の初期化ができます。

6.1.1 [ユーザアカウント]

[ユーザアカウント] に表示される項目について説明します。



[ユーザアカウント] - アクション項目

表示	説明
ロールの表示と設定	定義されているロールを表示、編集します。
LCD PIN 初期化	LCD タッチコンソールの暗証番号を初期化します。 初期化後は暗証番号入力なしで LCD タッチコンソールが使用できます。

[ユーザアカウント] - 表示項目

表示	説明
ユーザ名	登録されているアカウント名を表示します。
状態	アカウントが使用可能かどうかを表示します。 無効の場合、そのアカウントでログインすることはできません。 無効とすることで、アカウントを削除することなく、一時的に使用不可にすることができます。
ロール	アカウントに割り当てられたロールを表示します。そのロールで可能な操作はアクション項目からロール表示することで確認できます。
パスワード有効期間残り日数	パスワードの有効期間の残り日数を表示します。 期限が近い場合、  アイコンと日数が表示されます。 期限が切れている場合、  アイコンと「期限切れ」が表示されます。

表示	説明
	パスワードポリシーのパスワード有効期限の管理が無効の場合、「無期限」が表示されます。
期限切れパスワードの変更	パスワードが期限が切れになった場合、ログイン時にパスワードを変更できるかを表示します。 有効：期限切れの場合、ログイン時にパスワードの変更画面が表示されます 無効：期限切れの場合、ログインできません この項目は、パスワードポリシーのパスワード有効期限の管理が有効で、期限切れパスワードの変更が無効の場合にのみ表示されます。

[ユーザアカウント] - アクションボタン

[追加]

アカウントを追加、削除、編集します。追加、編集の詳細は「6.1.2 アカウント作成・編集」を参照してください。

[削除]

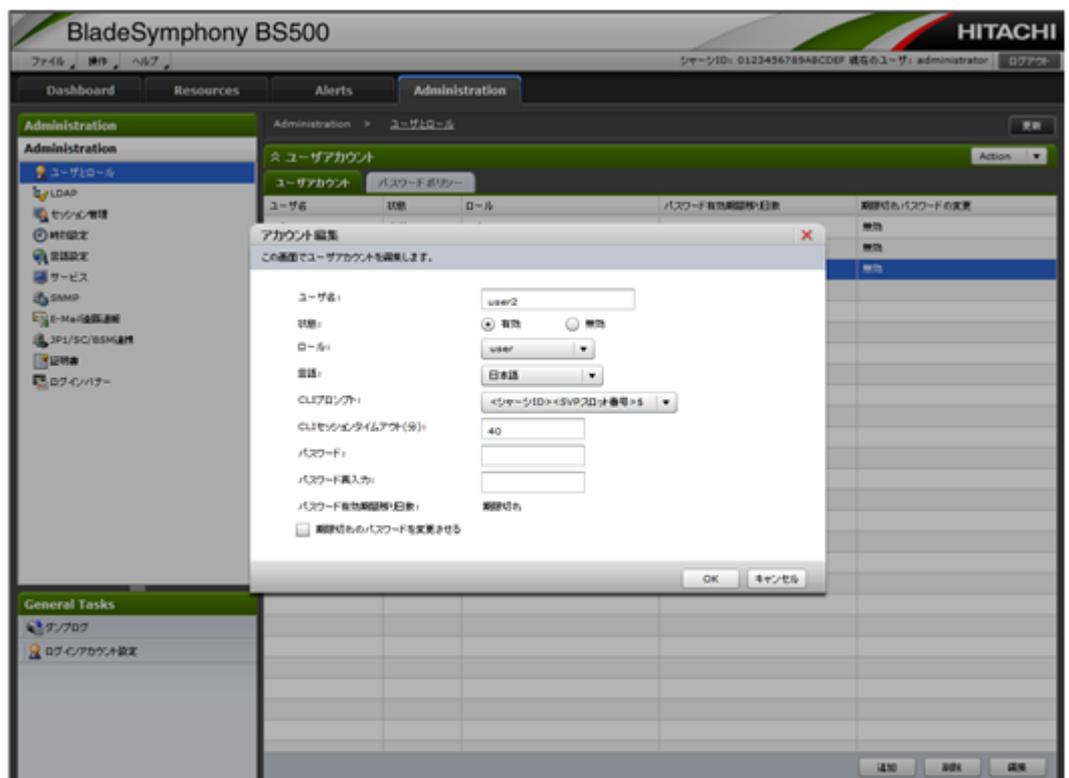
アカウントを追加、削除、編集します。追加、編集の詳細は「6.1.2 アカウント作成・編集」を参照してください。

[編集]

アカウントを追加、削除、編集します。追加、編集の詳細は「6.1.2 アカウント作成・編集」を参照してください。

6.1.2 アカウント作成・編集

[アカウント作成] および [アカウント編集] に表示される項目について説明します。

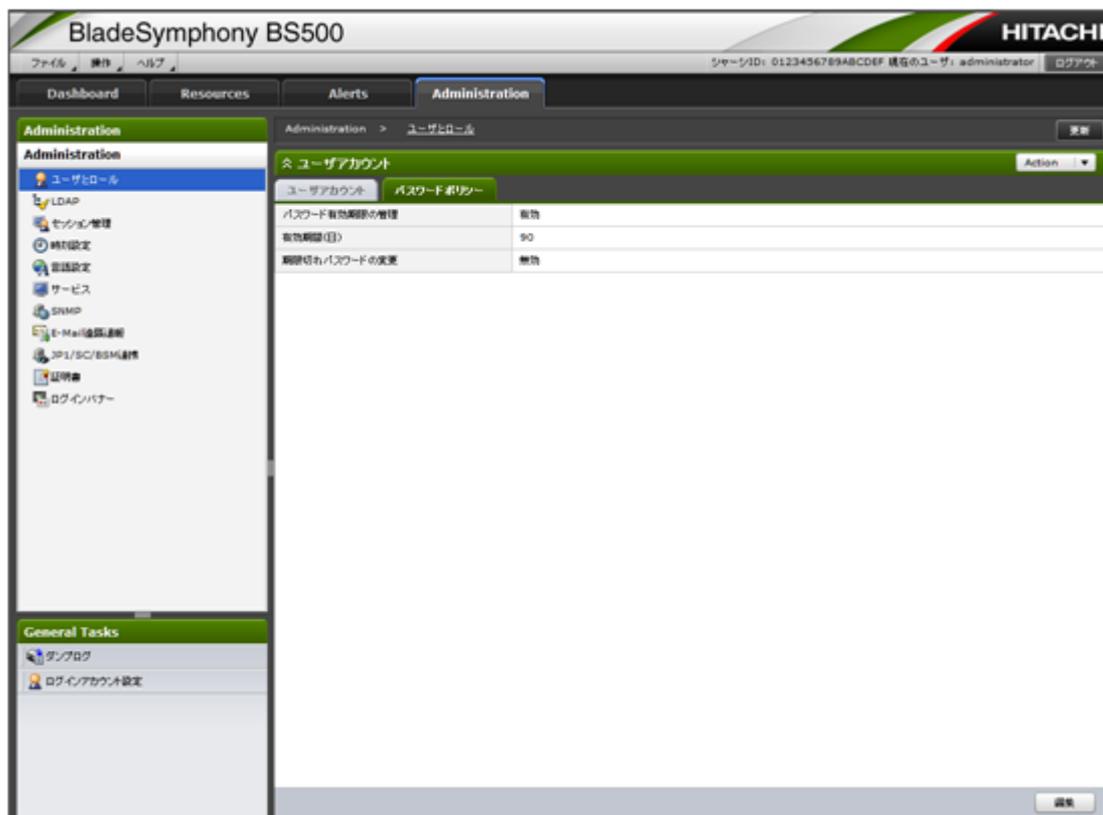


アカウント作成・編集 - 表示項目

表示	説明
ユーザ名	未登録のアカウント名を設定します。 最大 31 文字で、英字、数字、 "-"(ハイフン)、"."(ピリオド)、 "_"(下線)の使用が可能です。 先頭の文字は英字のみが使用できます。
状態	アカウントの有効/無効状態を表示します。 有効の場合、そのアカウントでログインできます。 無効の場合、そのアカウントでログインすることはできません。 無効とすることで、アカウントを削除することなく、一時的に使用不可にすることができます。
ロール	アカウントに割り当てられたロールを表示します。そのロールで可能な操作はアクション項目からロール表示することで確認できます。
言語	このアカウントでログインした際に、表示に使用する言語を表示します。「日本語」、「English」、「システム設定に従う」のいずれかとなります。「日本語」、「English」のいずれかを選択した場合は、システム設定に抛らず必ずその言語が使用されます。「システム設定に従う」を選択した場合は「6.5.1」で設定したシステム言語に従います。 言語設定を変更した場合、変更を反映するには、一度ログアウトする必要があります。
CLI プロンプト	CLI コンソールでのプロンプト表示の方法を表示します。 「\$」固定と、「シャーン ID(マネジメントモジュールのロット番号)\$」のいずれかを設定します。 プロンプトにシャーン ID を表示することで、複数のシステム装置を CLI で管理する場合に、操作中のシステム装置を特定することができます。
CLI セッションタイムアウト (分)	CLI コンソールで、無操作時に自動的にログアウトするまでの時間を表示します。 セッションタイムアウト時間は、0 分から 1440 分間の値となります。0 分を指定した場合、自動ログアウトは行いません。 なお、Web コンソールはこの設定にかかわらず、30 分で自動的にセッションが切断されます。
パスワード	ログインに必要なパスワード入力フィールドです。31 文字以内の表示可能な ASCII 文字が使用できます。 パスワード入力時は「*」が表示されます。 アカウント情報を表示する際は何も表示されませんので、お客様ご自身でパスワードの内容を大切に保管してください。
パスワード再入力	パスワード再入力フィールドです。パスワード入力時は「*」が表示されます。
パスワード有効期間残り日数	パスワードの有効期間の残り日数を表示します。 期限が切れている場合、「期限切れ」が表示されます。 この項目は、アカウントの編集の場合にのみ表示されます。
期限切れのパスワードを変更させる	パスワードが期限が切れになった場合、ログイン時にパスワード変更画面を表示して、パスワードを変更させる場合にチェックを付けてください。 この項目は、アカウントの編集の場合で、パスワードポリシーのパスワード有効期限の管理が有効で、期限切れパスワードの変更が無効の場合にのみ表示されます。

6.1.3 [パスワードポリシー]

[パスワードポリシー] に表示される項目について説明します。



[パスワードポリシー] - 表示項目

表示	説明
パスワード有効期限の管理	パスワード有効期限の管理が有効かを表示します。 有効：パスワードの有効期限を管理します 無効：パスワードの有効期限を管理しません
有効期間 (日)	パスワードの有効期間を表示します。
期限切れパスワードの変更	パスワードが期限が切れたアカウントが、ログイン時にパスワードを変更できるかを表示します。 有効：期限切れの場合、ログイン時にパスワードの変更画面が表示されます 無効：期限切れの場合、ログインできません 本設定が無効の場合でも、アカウント編集画面で個別に有効に設定することができます。また、アカウントを操作する権限のあるユーザの場合、本設定に関わらず、ログイン時にパスワードを変更できます。

[パスワードポリシー] - アクションボタン

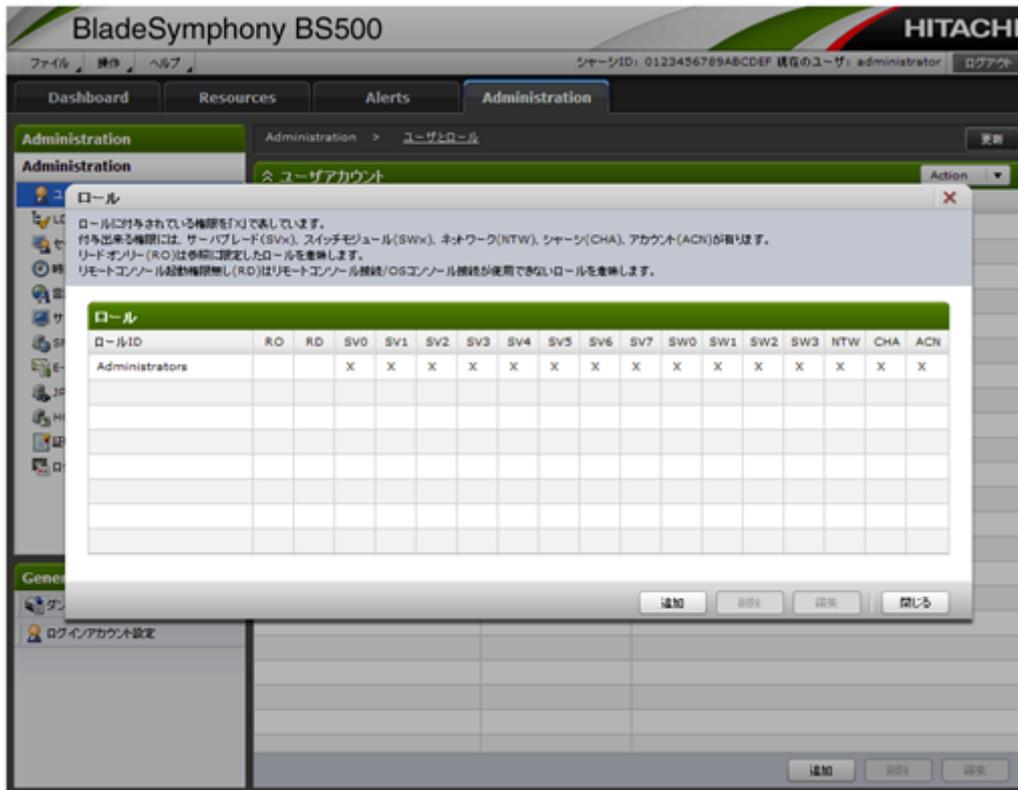
[編集]

パスワードポリシーを編集します。

参考 パスワード有効期限の管理が有効の場合、アカウントを操作する権限のあるユーザがログインする際に有効期限が近づいているアカウントがある場合、または有効期限が切れたアカウントがある場合に、パスワード有効期限の警告ダイアログが表示されます。

6.1.4 [ロール]

ロールに表示される項目について説明します。



[ロール] - 表示項目

表示		説明
ロール ID		定義したロールの名称を表示します。 最大 31 文字で、英字の使用が可能です。
権限	RO	装置の設定、操作の可否を示します。RO は Read Only の略です。 この項目がチェックされている場合、定義されたロールが装置状態の参照のみの権限であることを示しています。
	RD	サーバブレードのリモートコンソール・OS コンソールの接続不可を示します。RD は Remote Disable の略です。 この項目がチェックされている場合、サーバブレードの設定変更、操作の権限(SV0～SV7)がチェックされていても、リモートコンソール・OS コンソールには接続できません。
	SV0～SV7	サーバブレード 0～サーバブレード 7 のそれぞれに対して状態の参照、設定変更、操作が可能であるかどうかを表示します。 RO がチェックされている場合は、本欄にチェックがあっても、サーバブレードの設定変更、操作はできません。
	SW0～SW3	スイッチモジュール 0～スイッチモジュール 3 のそれぞれに対して状態の参照、設定変更、操作が可能であるかどうかを表示します。 RO がチェックされている場合は、本欄にチェックがあっても、スイッチモジュールの設定変更、操作はできません。
	NTW	管理ネットワークの状態の参照、設定変更、操作が可能であるかを表示します。 RO がチェックされている場合は、本欄にチェックがあっても、管理ネットワークの設定変更、操作はできません。
	CHA	システム装置の動作状態の参照、設定変更、操作が可能であるかを表示します。

表示		説明
		RO がチェックされている場合は、本欄にチェックがあっても、システム装置の設定変更、操作はできません。
	ACN	アカウント、ロールの参照、追加、削除、変更が可能であるかを表示します。 RO がチェックされている場合は、本欄にチェックがあってもアカウントの設定変更、操作はできません。

[ロール] - アクションボタン

[追加]

ロールを追加、削除、編集します。

[削除]

ロールを追加、削除、編集します。

[編集]

ロールを追加、削除、編集します。

[閉じる]

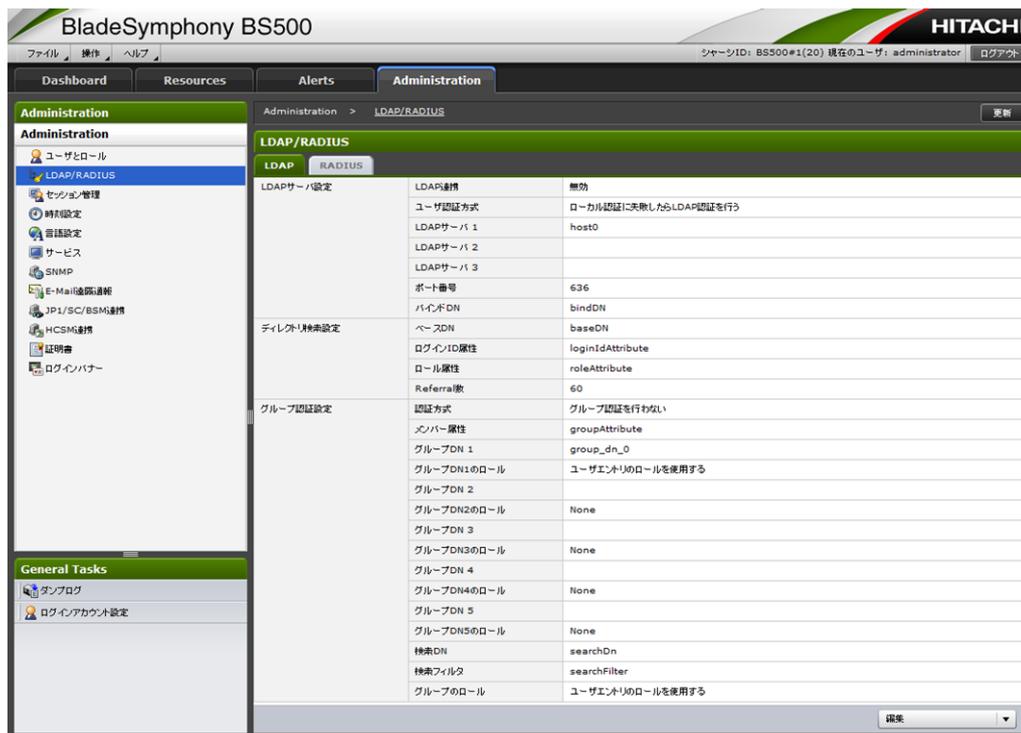
ダイアログボックスを閉じます。

重要 SMP 構成のサーバブレードに権限を割り当てるためには、Web コンソール上で SMP を構成するすべてのサーバブレードを選択してください。

6.2 [LDAP/RADIUS]

LDAP サーバまたは RADIUS サーバとの連携を設定します。LDAP サーバまたは RADIUS サーバと連携することにより、アカウントを一元管理することが可能となります。

6.2.1 [LDAP]



[LDAP] - 表示項目

表示	説明
LDAP サーバ設定	LDAP 連携
	LDAP 機能の有効/無効設定です。 有効/無効の値を取ります。 システム装置出荷時は無効になっています。 本設定を有効にすることで、ユーザ認証時に LDAP サーバ上の LDAP ディレクトリを検索し、認証を試みるようになります。 RADIUS 連携が有効の場合、LDAP 連携は有効にできません。
	ユーザ認証方式
	LDAP 連携の認証方式です。 LDAP 認証のみの場合、LDAP ディレクトリ上のアカウントでだけユーザ認証を実施します。 ローカル認証に失敗したら LDAP 認証を行う場合、マネジメントモジュールに登録されたアカウントでのユーザ認証を先に実施し、認証失敗した場合は LDAP ディレクトリ上のアカウントでのユーザ認証を実施します。
	LDAP サーバ 1
	LDAP サーバ 2
	LDAP サーバ 3
	LDAP サーバのホスト名です。 ホスト名、IP アドレスのどちらでも設定可能です。 FQDN、IPv4 形式または IPv6 形式 (最大 127 文字) 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 FQDN に使用できる文字種は英字 ([A-Z] [a-z])、数字 ([0-9])、ハイフン (-)、ピリオド (.), コロン (:)
	ポート番号
	LDAP サーバへの接続時に使用するポート番号です。 1-65535 の値を取ります。 デフォルト (636) のポート番号以外を使用する必要がある場合のみ設定を変更してください。
	バインド DN
	バインド DN です。 ユーザ認証時に LDAP サーバに接続する際の方式を設定します。 1 文字以上 256 文字以下の ASCII 文字です。※1

表示		説明
		先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。
ディレクトリ検索設定	ベース DN	ベース DN です。 検索対象とする LDAP ディレクトリのルートディレクトリの DN を指定します。ここで指定したルートディレクトリ以下すべてが、ユーザ認証時の検索範囲となります。 1 文字以上 256 文字以下の ASCII 文字です。※ ¹ 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。
	ログイン ID 属性	ログイン ID を表す属性です。 ユーザ認証時に指定されたユーザ ID と LDAP ディレクトリ上の各エントリのどの属性を比較するかを指定します。 Active Directory の場合、通常属性名"sAMAccountName"をログイン ID 検索に使用します。 1 文字以上 64 文字以下の ASCII 文字です。 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 属性設定は、1 文字目は英字 ([A-Z] [a-z])、2 文字目以降は英数字 ([0-9] [A-Z] [a-z]) です。
	ロール属性	ロールを表す属性です。 ユーザアカウントにロールを付与した場合は、ロール付与に使用した Attribute を指定します。 ロールを付与しなかった場合は、本設定は不要です。 1 文字以上 64 文字以下の ASCII 文字です。 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 属性設定は、1 文字目は英字 ([A-Z] [a-z])、2 文字目以降は英数字 ([0-9] [A-Z] [a-z]) です。
	Referral 数	LDAP ディレクトリを複数の LDAP サーバで分割して管理する方式を実現するために LDAP サーバが他の LDAP サーバを紹介した場合に、その紹介情報に基づいて LDAP サーバを追跡し、LDAP サーバへの照会（検索など）を行う回数を設定します。本設定を 0 に設定した場合は、LDAP サーバから別の LDAP サーバを紹介されてもマネジメントモジュールは追跡を行いません。
グループ認証設定	認証方式	LDAP サーバのグループ認証方式です。グループ認証を行わない場合、LDAP 連携を行う設定なら、LDAP 連携有効時の認証方式設定に従い、マネジメントモジュールに登録されたアカウント、もしくは LDAP ディレクトリ上のアカウントでユーザ認証を実施します。 スタティックグループの場合、ログインを許可する DN に認証対象のユーザアカウントが所属しているかどうかを確認する方法で認証を実施します。 ダイナミックグループの場合、検索フィルタに設定された条件に当てはまるすべてのユーザアカウントの中に認証対象のユーザアカウントが含まれるかどうかを確認する方法で認証を実施します。
	メンバー属性	グループのメンバーを表す属性です。 ログインを許可するアカウントの一覧が格納されている属性を指定します。 Active Directory の場合、通常属性名"member"にユーザアカウント一覧が格納されます。 1 文字以上 64 文字以下の ASCII 文字です。 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 属性設定は、1 文字目は英字 ([A-Z] [a-z])、2 文字目以降は英数字 ([0-9] [A-Z] [a-z]) です。 グループ認証方式がスタティックグループ認証方式の場合に有効です。

表示	説明
グループ DN 1	ログインを許可するグループの DN 1~5 です。 ログインを許可したいアカウントは指定されたグループのいずれかに属している必要があります。 1 文字以上 256 文字以下の ASCII 文字です。※1 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 グループ認証方式がスタティックグループ認証方式の場合に有効です。
グループ DN 1 のロール	ログインを許可するグループ DN 1 のロールを付与します。 グループ認証方式がスタティックグループ認証方式の場合に有効です。
グループ DN 2	グループ DN 1 に同じです。
グループ DN 2 のロール	
グループ DN 3	
グループ DN 3 のロール	
グループ DN 4	
グループ DN 4 のロール	
グループ DN 5	
グループ DN 5 のロール	
検索 DN	
検索フィルタ	ダイナミックグループの検索フィルタです。 ダイナミックグループ認証時に LDAP ディレクトリ内を検索する際の属性と属性値の条件を設定します。 1 文字以上 256 文字以下の ASCII 文字です。 先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 グループ認証方式がダイナミックグループ認証方式の場合に有効です。
グループの ロール	ダイナミックグループのロールを付与します。 グループ認証方式がダイナミックグループ認証方式の場合に有効です。

注※1

マネジメントモジュールファームウェア A0330 より前のバージョンの場合は、先頭と最後以外もスペースは使用できません。また、長さは 74 文字以内で設定してください。

[LDAP] タブ - アクションボタン

[LDAP サーバ設定編集]

LDAP サーバ設定を編集します。

表示項目の内容を設定します。バインドパスワードは、32文字以内のASCII文字で設定してください。

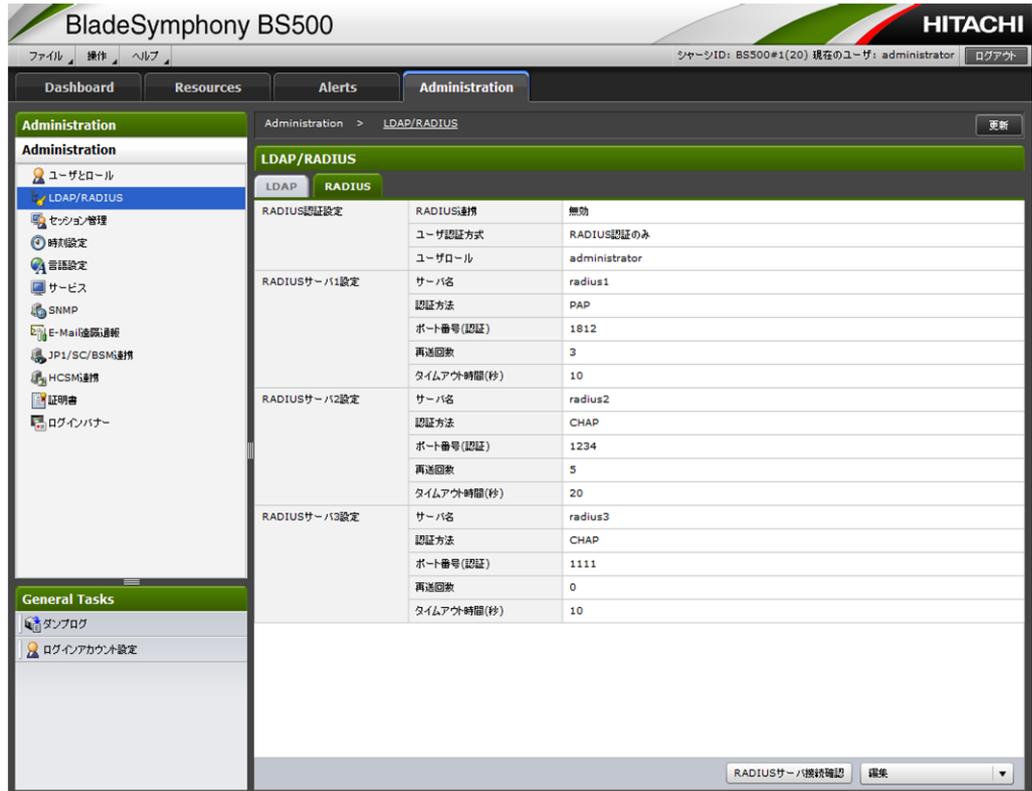
[ディレクトリ検索設定編集]

ディレクトリ検索設定を編集します。

[グループ認証設定編集]

グループ認証設定を編集します。

6.2.2 [RADIUS]



[RADIUS] タブ - 表示項目

表示	説明
RADIUS 認証設定	RADIUS 連携 RADIUS 機能の有効/無効設定です。 有効/無効の値を取ります。 システム装置出荷時は無効になっています。 本設定を有効にすることで、ユーザ認証時に RADIUS サーバで認証を試みるようになります。 LDAP 連携が有効の場合、RADIUS 連携は有効にできません。
	ユーザ認証方式 RADIUS 連携の認証方式です。 RADIUS 認証のみの場合、RADIUS サーバだけでユーザ認証を実施します。 ローカル認証に失敗したら RADIUS 認証を行う場合、マネジメントモジュールに登録されたアカウントでのユーザ認証を先に実施し、認証失敗した場合は RADIUS サーバでユーザ認証を実施します。
	ユーザロール RADIUS 認証したユーザに割り当てるロールを指定します。 指定するロールは、マネジメントモジュールに登録されているロールです。

表示		説明
		RADIUS 認証時に、マネジメントモジュールに登録されているロールがない場合は、最小限の表示のみが行えるロールが割り当てられます。デフォルトは、Administrators です。
RADIUS サーバ 1 設定	サーバ名	RADIUS サーバのホスト名です。 ホスト名、IP アドレスのどちらでも設定可能です。 FQDN、IPv4 形式または IPv6 形式（最大 127 文字）先頭もしくは最後はスペースであってはなりません。 FQDN に使用できる文字種は英字 ([A-Z] [a-z])、数字 ([0-9])、ハイフン (-)、ピリオド (.)、コロン (:) です。
	認証方法	RADIUS サーバのユーザ認証方法です。 PAP、CHAP、MS-CHAPv2 の値を取ります。
	ポート番号(認証)	RADIUS サーバとの接続時に使用するポート番号です。 1-65535 の値を取ります。 デフォルト (1812) のポート番号以外を使用する必要がある場合のみ設定を変更してください。
	Shared secret	RADIUS サーバとの共有鍵です。 1 文字以上 64 文字以下で、表示可能な ASCII 文字が使用できません。 入力時は「*」が表示されます。 RADIUS サーバ設定を表示する際は何も表示されません。
	再送回数	RADIUS サーバとの接続時に応答がない場合のリトライ回数です。 0 回～10 回の値を取ります。デフォルトは 3 回です。 0 回を指定した場合は、リトライしません。
	タイムアウト時間 (秒)	RADIUS サーバとの接続時に応答を待つタイムアウト時間です。 1 秒～60 秒の値を取ります。デフォルトは 10 秒です。 タイムアウトが発生した場合は、再送回数で設定した回数だけリトライします。
RADIUS サーバ 2 設定		RADIUS サーバ 1 設定に同じです。
RADIUS サーバ 3 設定		

[RADIUS] - アクションボタン

[RADIUS 認証設定編集]

RADIUS 認証設定を編集します。

[RADIUS サーバ設定編集]

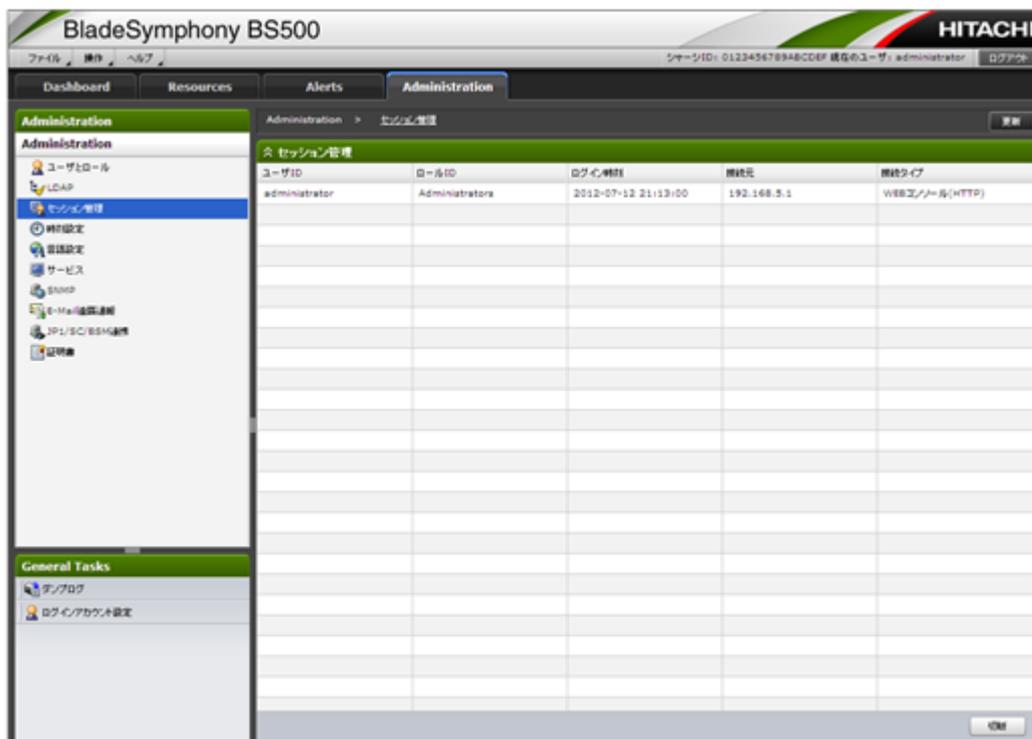
RADIUS サーバ 1～3 設定を編集します。

[RADIUS サーバ接続確認]

RADIUS サーバ 1～3 との接続確認を行います。

6.3 [セッション管理]

ログインしているユーザの一覧を表示します。不要な接続は強制的に切断することができます。



[セッション管理] - 表示項目

表示	説明
ユーザ ID	現在マネジメントモジュールにログインしているユーザ ID を表示します。
ロール ID	ユーザのロール ID を表示します。
ログイン時刻	ユーザがログインした日時を表示します。
接続元	接続元の IP アドレスを表示します。 シリアル接続の場合は"-----"を表示します。
接続タイプ	接続方法を表示します。 表示される値は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> WEB コンソール(HTTP) WEB コンソール(HTTPS) CLI コンソール(SSH) CLI コンソール(Telnet) CLI コンソール(Serial)

[セッション管理] - アクションボタン

[切断]

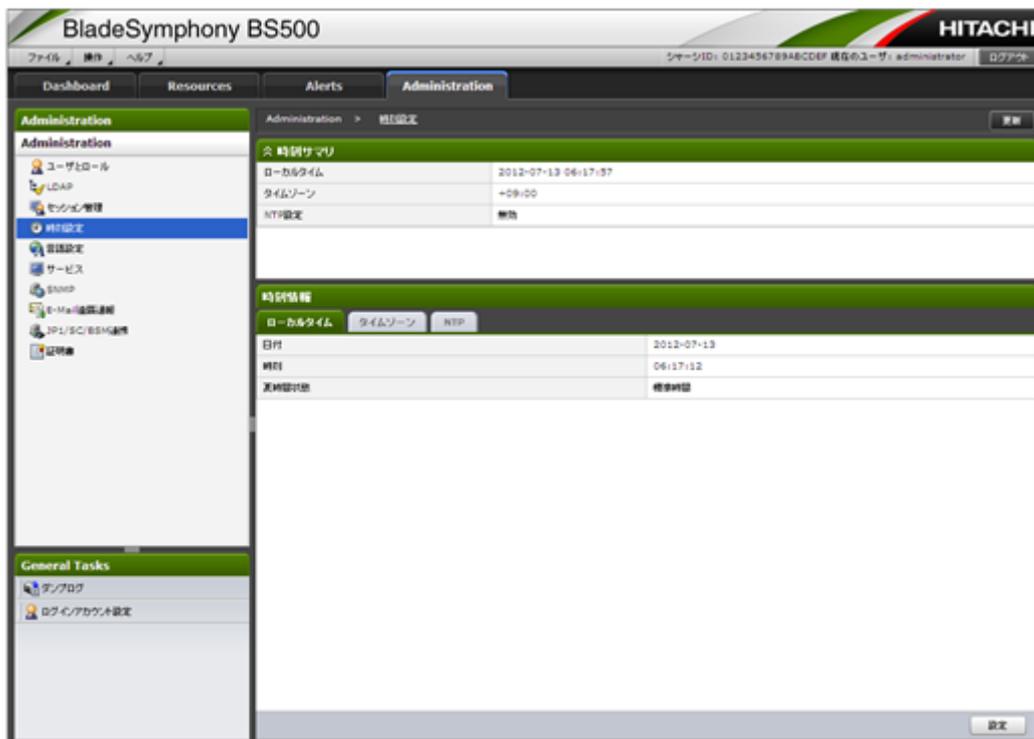
選択したセッションを強制的に切断します。

切断されたセッションで変更中の設定は破棄されます。

6.4 [時刻設定]

マネジメントモジュールの時刻を管理します。ローカルタイム、タイムゾーン、夏時間、NTP サーバの設定ができます。

6.4.1 [ローカルタイム] タブ



[ローカルタイム] タブ - 表示項目

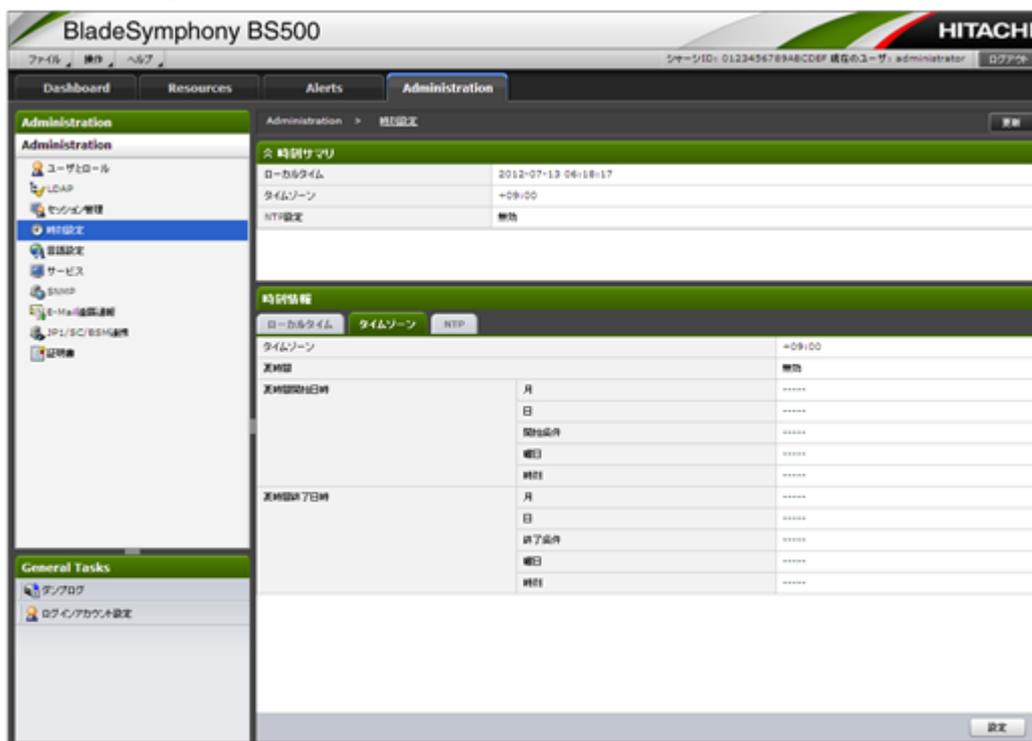
表示	説明
日付	タイムゾーンで指定した時間帯のローカルタイムを表示します。
時刻	
夏時間設定	現在が夏時間または標準時間のいずれであるかを表示します。

[ローカルタイム] タブ - アクションボタン

[設定]

マネジメントモジュールのローカル時刻を設定します。

6.4.2 [タイムゾーン] タブ



[タイムゾーン] タブ - 表示項目

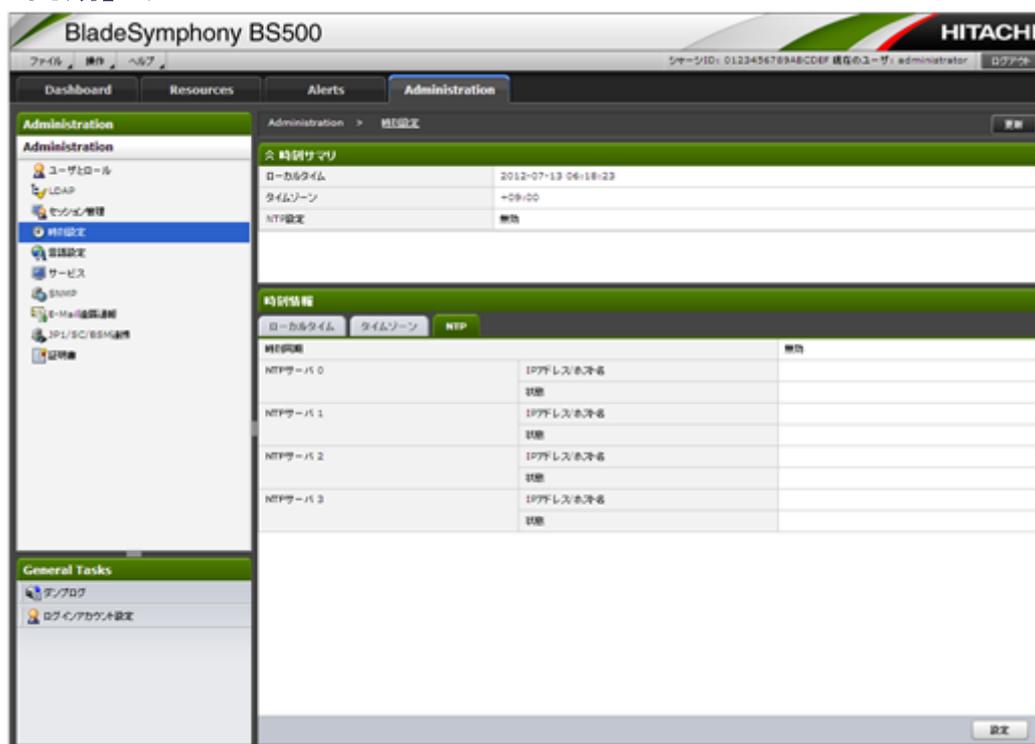
表示	説明
タイムゾーン	タイムゾーン設定を表示します。
夏時間	夏時間設定の有効/無効を表示します。
夏時間開始日時	<p>【夏時間開始日時、夏時間終了日時について】 夏時間開始日時・終了日時については、次の意味となります。「月:」、 「時刻:」については表示されている月、時刻がそのまま夏時間開始日 時・終了日時となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件が「日」の場合: 指定した月の指定した日付に夏時間が開始・終了することを示しま す。この条件では、曜日の指定は無効となります。 条件が「日以降の最初の曜日」の場合: 指定した日付以降最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最初の曜日」が「日」で、「日:」が「8」 の場合、月の8日目以降の最初の日曜日、つまり第2日曜日を 示します。 条件が「日以降の最後の曜日」の場合: 指定した日付以前の最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最後の曜日」が「日」で、「月:」が「3」 、「日:」が「24」の場合、3月の24日目以前の最初の日曜日、つ まり月の終わりから2番目の日曜日を 示します。 条件が「最終の曜日」の場合: 指定した日付以前の最初の指定曜日に開始・終了します。 たとえば、「指定日以降の最後の曜日」が「日」で、「月:」が「3」 、「日:」が「24」の場合、月の24日目以前の最初の日曜日、つ まり月の終わりから2番目の日曜日を 示します。この条件では、 「日:」の指定は無効となります。
夏時間終了日時	

[タイムゾーン] タブ - アクションボタン

[設定]

タイムゾーン、夏時間の開始、終了日時を編集します。

6.4.3 [NTP 同期] タブ



[NTP 同期] タブ - 操作項目

表示		説明
時刻同期		NTP サーバとの時刻同期機能を使用するかを表示します。
NTP Server0～3	IP アドレス/ホスト名	NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を表示します。 FQDN は、255 文字以内で設定してください。FQDN に使用できる文字種は英字 ([A-Z] [a-z])、数字 ([0-9])、ハイフン (-)、ピリオド (.), コロン (:) です。 最大 4 個表示されます。
	状態	NTP サーバとの接続状態を未接続/接続/同期中/未同期で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 未接続：時刻取得失敗 接続：時刻取得可能 同期中：同期中 未同期：時刻差が大きいため同期していない

[NTP 同期] タブ - アクションボタン

[設定]

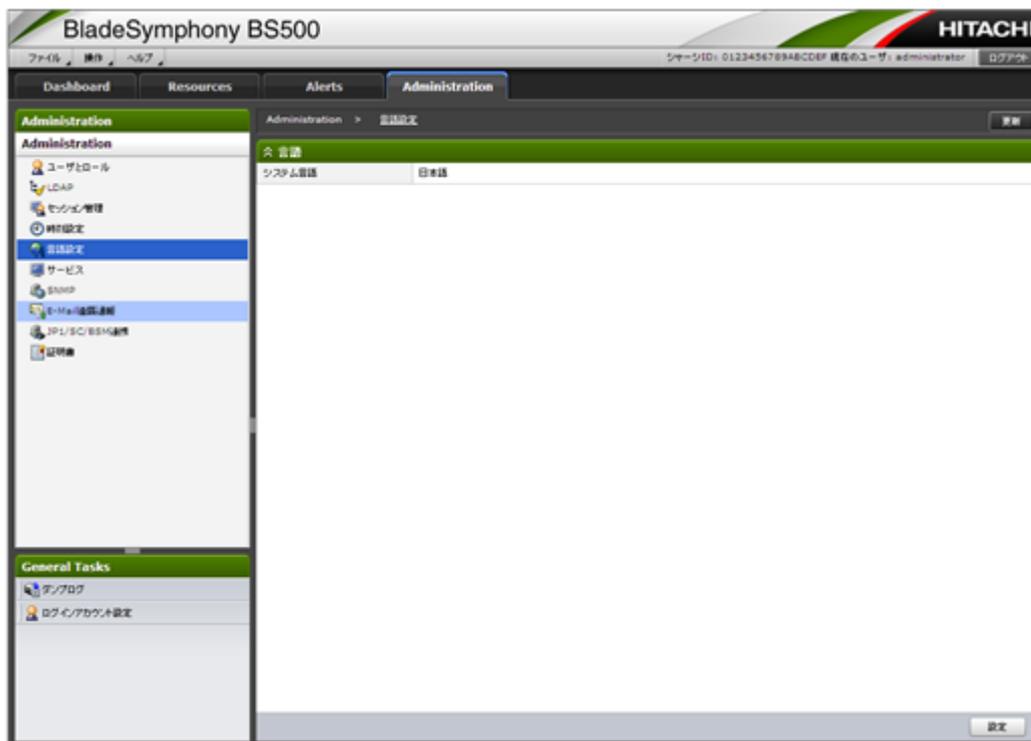
NTP サーバの IP アドレス設定を編集します。

参考 HVM で NTP 設定を、マネジメントモジュールからインポートした場合、NTPServer0 と NTPServer1 に設定されている IP アドレスの値が HVM に取り込まれます。

6.5 [言語設定]

システム装置のコンソール、アラート通知、e-mail 通報に使用する言語を日本語、英語から選択することができます。

6.5.1 [言語]



[言語] - 表示項目

表示	説明
システム言語	このシステム装置のコンソール、ログ、各種通知機能で使用する言語が、日本語、英語のいずれかであることを表示します。 コンソールで使用する言語は、ユーザごとに設定することが可能です。詳細は「6.1.1」を参照してください。

[言語] - アクションボタン

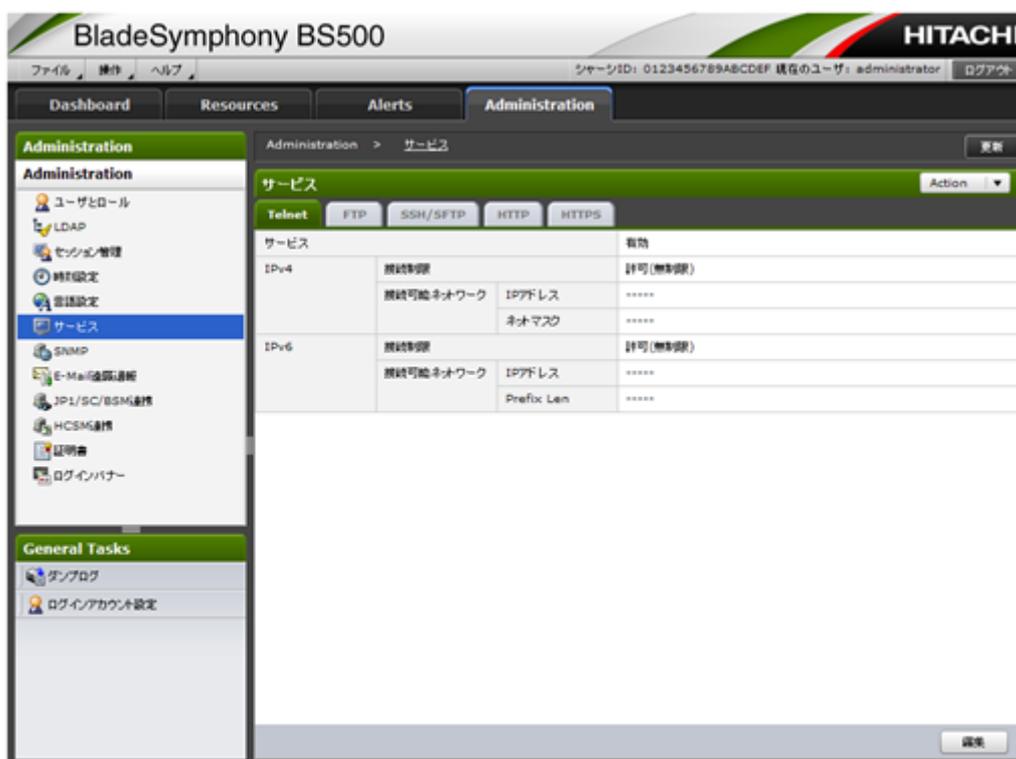
[設定]

システム言語を変更します。

言語設定を変更した場合、変更を反映させるためには、一度ログアウトする必要があります。

6.6 [サービス]

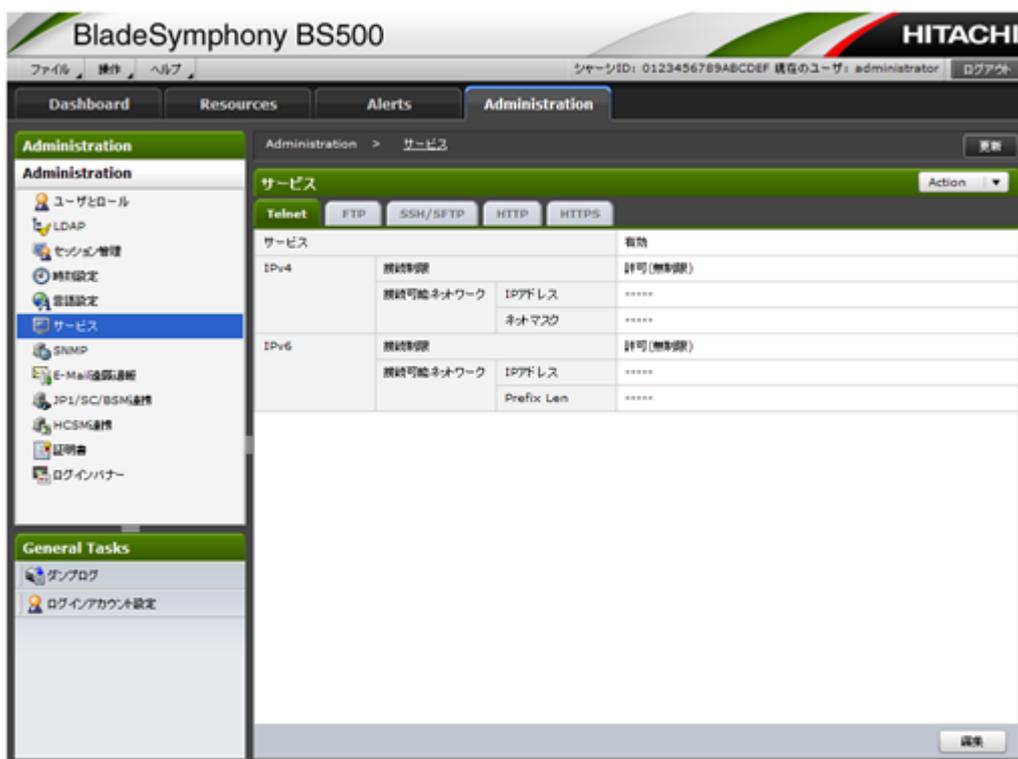
マネジメントモジュールが提供するサービス (Telnet, FTP, SSH/SFTP, HTTP, HTTPS) の有効、無効の切り替え, ポート番号変更, 接続制限を実施します。



[サービス] - アクション項目

表示	説明
SSH ホスト鍵設定	SSH ホスト鍵情報 (鍵長・フィンガープリント) の確認と再作成を行います。

6.6.1 [Telnet] タブ



[Telnet] タブ - 表示項目

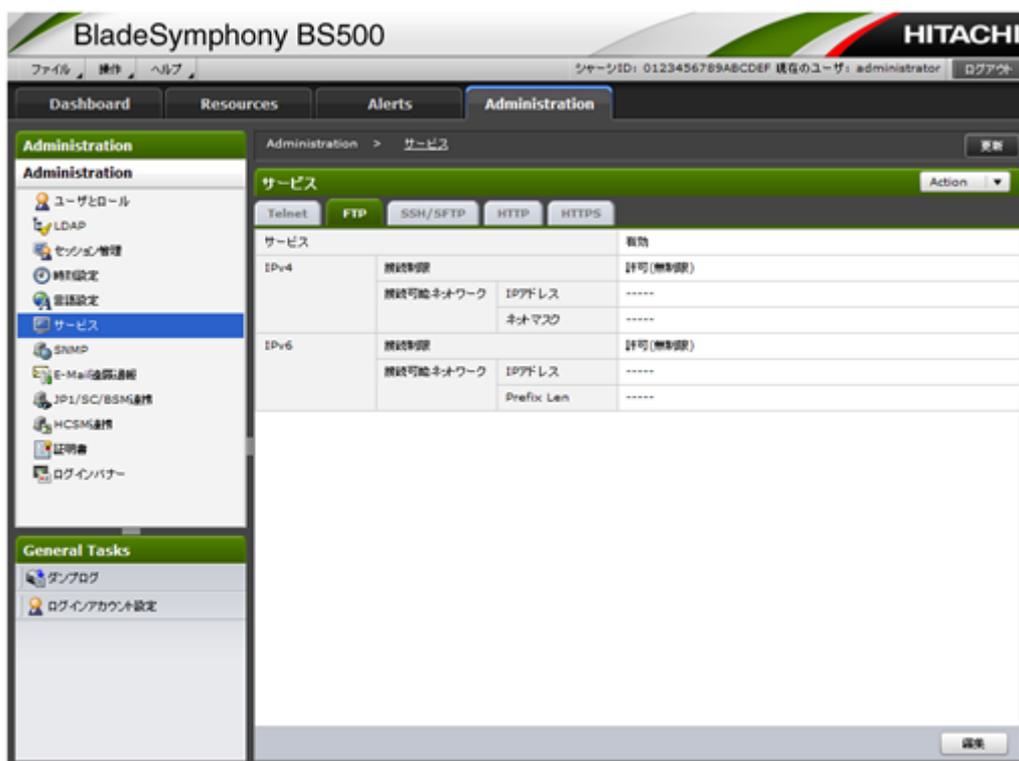
表示		説明
サービス		Telnet による管理モジュールへの接続の有効/無効を表示します。
IPv4	接続制限	IPv4 の Telnet による管理モジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとサブネットマスクを表示します。
IPv6	接続制限	IPv6 の Telnet による管理モジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとプレフィックスの長さを表示します。

[Telnet] タブ - アクションボタン

[編集]

Telnet サービスの設定を編集します。

6.6.2 [FTP] タブ



[FTP] タブ - 表示項目

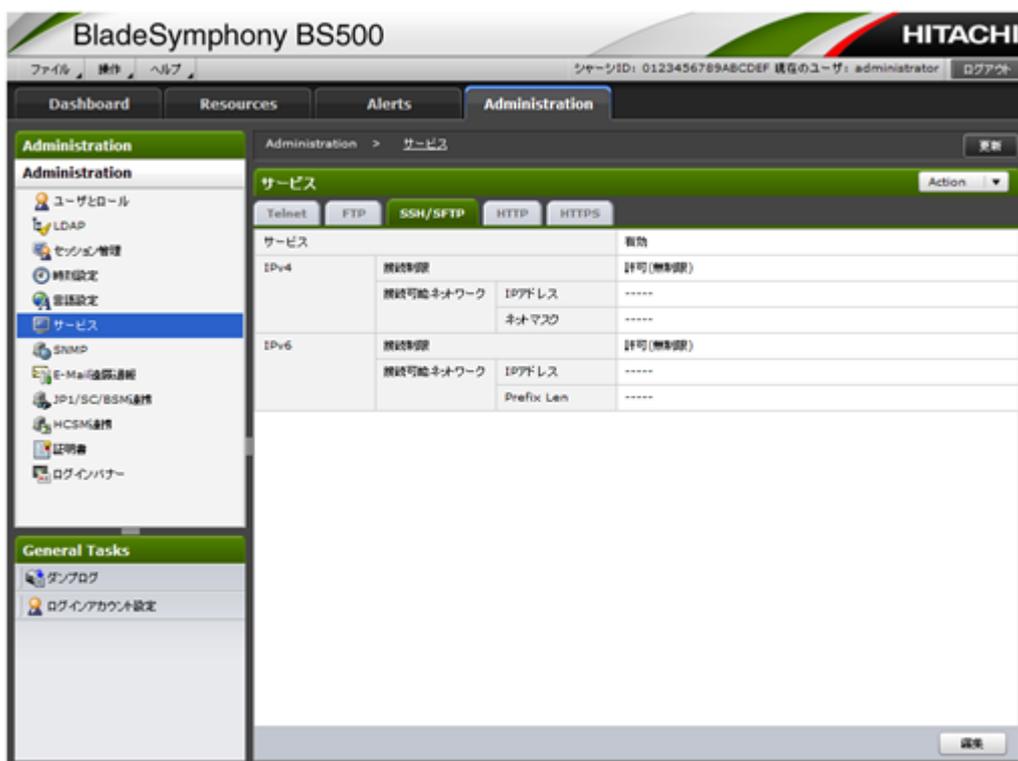
表示		説明
サービス		FTP による管理モジュールへの接続の有効/無効を表示します。
IPv4	接続制限	IPv4 の FTP による管理モジュールへの接続制限を許可（無制限）/許可（制限）/禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可（制限）」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとサブネットマスクを表示します。
IPv6	接続制限	IPv6 の FTP による管理モジュールへの接続制限を許可（無制限）/許可（制限）/禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可（制限）」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとプレフィックスの長さを表示します。

[FTP] タブ - アクションボタン

[編集]

FTP サービスの設定を編集します。

6.6.3 [SSH/SFTP] タブ



[SSH/SFTP] タブ - 表示項目

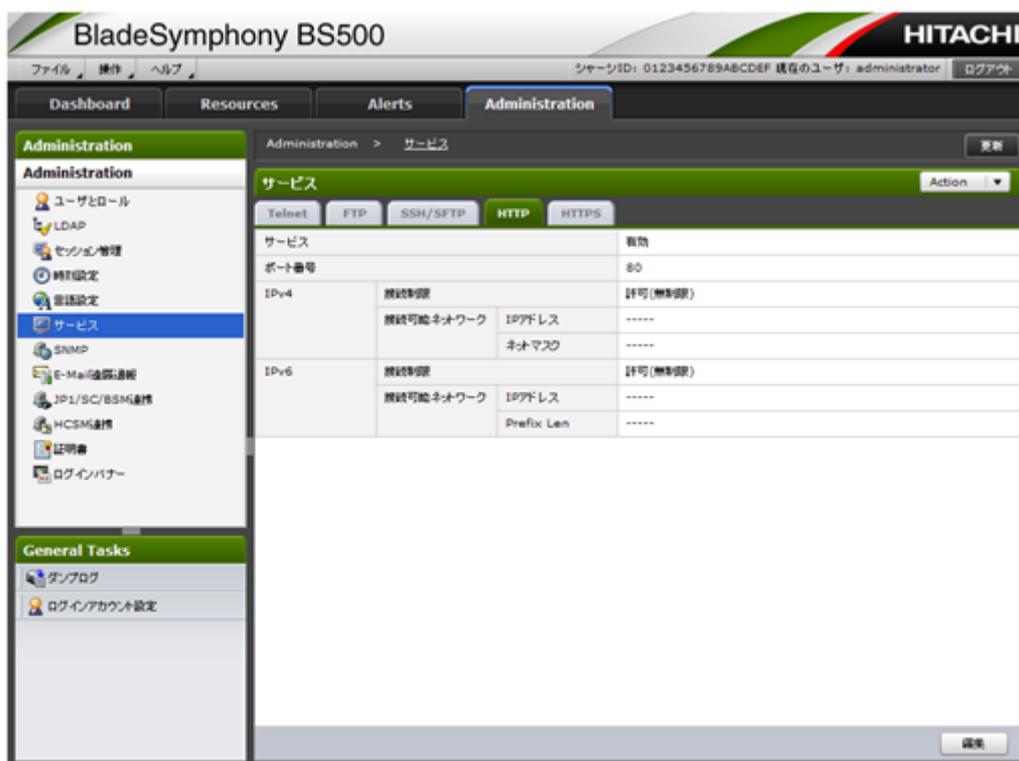
表示		説明
サービス		SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を表示します。
IPv4	接続制限	IPv4 の SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとサブネットワークを表示します。
IPv6	接続制限	IPv6 の SSH/SFTP によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとプレフィックスの長さを表示します。

[SSH/SFTP] タブ - アクションボタン

[編集]

SSH/SFTP サービスの設定を編集します。

6.6.4 [HTTP] タブ



[HTTP] タブ - 表示項目

表示		説明
サービス		HTTP によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を表示します。
ポート番号		HTTP によるマネジメントモジュールへの接続を行うポート番号を表示します。
IPv4	接続制限	IPv4 の HTTP によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可（無制限）/許可（制限）/禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可（制限）」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとサブネットマスクを表示します。
IPv6	接続制限	IPv6 の HTTP によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可（無制限）/許可（制限）/禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可（制限）」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとプレフィックスの長さを表示します。

[HTTP] タブ - アクションボタン

[編集]

HTTP サービスの設定を編集します。

6.6.5 [HTTPS] タブ



[HTTPS] タブ - 表示項目

表示		説明
サービス		HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続の有効/無効を表示します。
ポート番号		HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続を行うポート番号を表示します。
IPv4	接続制限	IPv4 の HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとサブネットマスクを表示します。
IPv6	接続制限	IPv6 の HTTPS によるマネジメントモジュールへの接続制限を許可 (無制限) / 許可 (制限) / 禁止で表示します。
	接続可能ネットワーク	接続制限が「許可 (制限)」の場合に、接続を許可する接続元のネットワークアドレスとプレフィックスの長さを表示します。

[HTTPS] タブ - アクションボタン

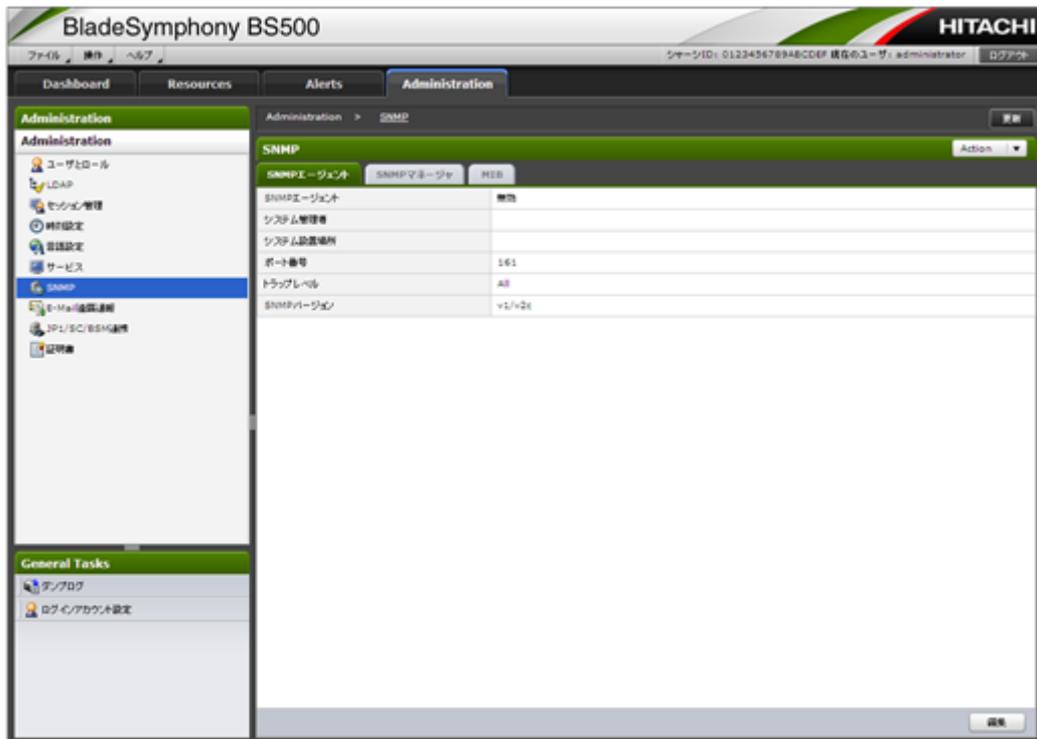
[編集]

HTTPS サービスの設定を編集します。

6.7 [SNMP]

SNMP マネージャと接続設定, SNMP エージェント (マネジメントモジュール) の設定を表示, 編集します。

6.7.1 [SNMP エージェント] タブ



[SNMP エージェント] タブ - アクション項目

表示	説明
SNMP トラップ送信	SNMP トラップを送信します。 設定確認のためのテスト送信に使用することができます。

[SNMP エージェント] タブ - 表示項目

表示	説明
SNMP エージェント	SNMP エージェント機能の有効/無効を表示します。 SNMP 機能自体を使用するかどうかの設定です。
システム管理者	システム管理者連絡先を表示します。 60 文字以内で、半角英数字記号が使用できます。ただし、「\」, 「"」, および空白は使用できません。
システム設置場所	システム設置場所を連絡します。 60 文字以内で、半角英数字記号が使用できます。ただし、「\」, 「"」, および空白は使用できません。
ポート番号	SNMP で使用するポート番号を表示します。 1-65535 の間が使用可能です。初期値は 161 です。
トラップレベル	通知するトラップの種類を障害、警告、情報のレベルから 1 つまたは複数を選択することができます。 All : 障害、警告、情報のすべてのレベルのトラップを通知します。 Alert : 障害または警告のレベルのトラップを通知します。 Information : 情報レベルのトラップを通知します。 Disable : すべてのトラップを通知しません。
SNMP バージョン	エージェントが使用可能な SNMP のバージョンを表示します。 v1/v2c もしくは v1/v2c/v3 の値を取ります。
エンジン ID 作成文字列	(SNMP バージョンが v1/v2c/v3 の場合のみ有効) エージェントが使用するエンジン ID を作成するための文字列を表示します。 27 文字以内で、半角英数字記号が使用可能です。

表示	説明
	マネジメントモジュールと SNMP マネージャ間の通信に SNMPv3 を適用する場合、このエンジン ID 作成文字列を必ず設定してください。
エンジン ID	(SNMP バージョンが v1/v2c/v3 の場合のみ有効) エージェントが使用するエンジン ID を表示します。 エンジン ID 作成文字列の設定値からエンジン ID は下記を設定します。 1~5 オクテット : 0x8000007404 (固定) 6~32 オクテット : エンジン ID 作成文字列の設定値

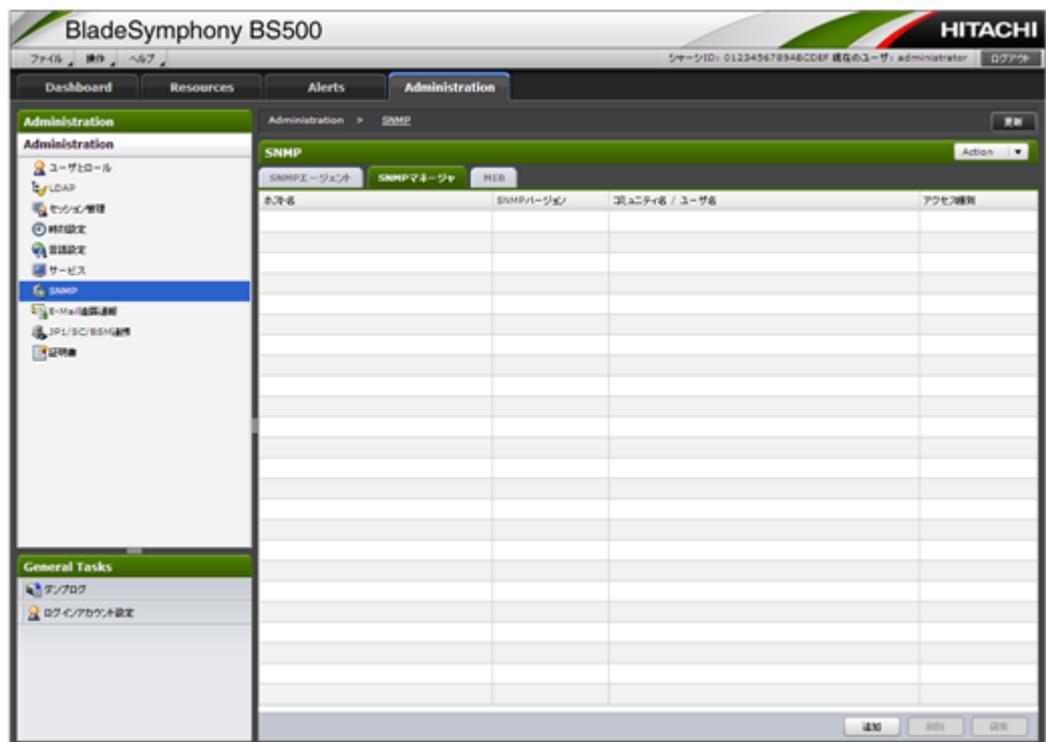
[SNMP エージェント] タブ - アクションボタン

[編集]

SNMP エージェント設定を編集します。

参考 マネジメントモジュールファームウェア A0330 以降では、SNMP バージョンを v1/v2c/v3 に設定したときの初期値としてシャーシの製造番号を設定します。エンジン ID 作成文字列を変更すると、SNMP マネージャの再設定が必要な場合もありますので SNMP トラップ送信でテスト送信を実行して確認してください。

6.7.2 [SNMP マネージャ] タブ



[SNMP マネージャ] タブ - 表示項目

表示	説明
ホスト名	SNMP マネージャの IP アドレスを表示します。
SNMP バージョン	SNMP マネージャが使用する SNMP バージョンを表示します。 表示されるバージョンは、v1/v2c または v3 です。
コミュニティ名 / ユーザ名	SNMP マネージャのバージョンが v1/v2c の場合、コミュニティ名を表示します。 SNMP マネージャのバージョンが v3 の場合、ユーザ名を表示します。
アクセス種別	(SNMP バージョンが v3 の場合のみ有効) SNMP マネージャのアクセス種別を表示します。 noAuthnoPriv, AuthnoPriv, AuthPriv のいずれかの値を取ります。

[SNMP マネージャ] タブ - アクションボタン

[追加]

接続する SNMP マネージャを追加します。

[削除]

接続する SNMP マネージャを削除します。

[編集]

接続する SNMP マネージャを編集します。

6.7.3 [マネージャ設定] ダイアログ

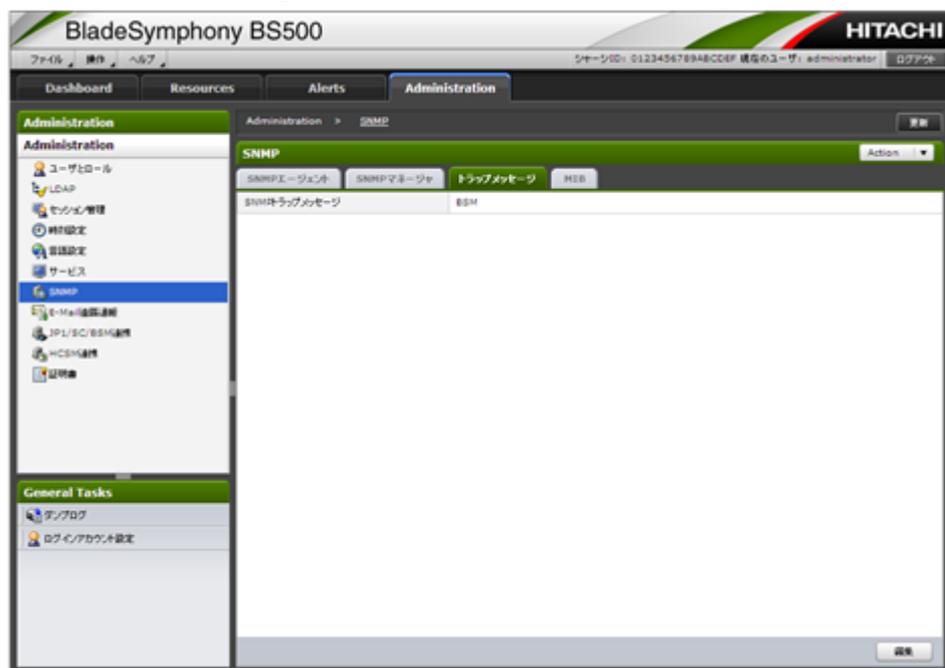


[マネージャ設定] ダイアログ - 設定項目

表示	説明
ホスト名	SNMP マネージャの IP アドレスもしくはホスト名です。 FQDN は、255 文字以内で設定してください。ただし、空白は使用できません。
ポート番号	SNMP マネージャのトラップ通知先ポート番号を入力します。 1-65535 の間が使用可能です。初期値は 162 です。
SNMP バージョン	SNMP マネージャが使用する SNMP バージョンを選択します。 v1/v2c または v3 が選択可能です。
コミュニティ名	(SNMP バージョンが v1/v2c の場合のみ有効) コミュニティ名を入力します。60 文字以内で、半角英数字記号が使用できます。 ただし、「\」、「"」、および空白は使用できません。
ユーザ名	(SNMP バージョンが v3 の場合のみ有効) ユーザ名を入力します。32 文字以内で、半角英数字記号が使用できます。ただし、「\」、「"」、および空白は使用できません。
アクセス種別	(SNMP バージョンが v3 の場合のみ有効) SNMP マネージャのアクセス種別を選択します。 noAuthnoPriv、AuthnoPriv、AuthPriv が選択可能です。

表示	説明
認証種別	(SNMPバージョンが v3 の場合で、かつアクセス種別が AuthPriv または AuthPriv の場合のみ有効) SNMP マネージャの認証を行う認証形式を選択します。 MD5, SHA が選択可能です。
認証パスワード	(SNMPバージョンが v3 の場合で、かつアクセス種別が AuthPriv または AuthPriv の場合のみ有効) SNMP マネージャの認証を行う場合のパスワードを入力します。 8 文字以上 64 文字以下で、半角英数字記号が使用できます。ただし、「\」、「"」、および空白は使用できません。
暗号化種別	(SNMPバージョンが v3 の場合のみ有効かつアクセス種別が AuthPriv の場合のみ有効) SNMP マネージャの暗号化を行う場合の暗号化形式を選択します。 DES, AES が選択可能です。
暗号化パスワード	(SNMPバージョンが v3 の場合のみ有効かつアクセス種別が AuthPriv の場合のみ有効) SNMP マネージャの認証を行う場合のパスワードを入力します。 8 文字以上 64 文字以下で、半角英数字記号が使用できます。ただし、「\」、「"」、および空白は使用できません。

6.7.4 [トラップメッセージ] タブ



[トラップメッセージ] タブ - 表示項目

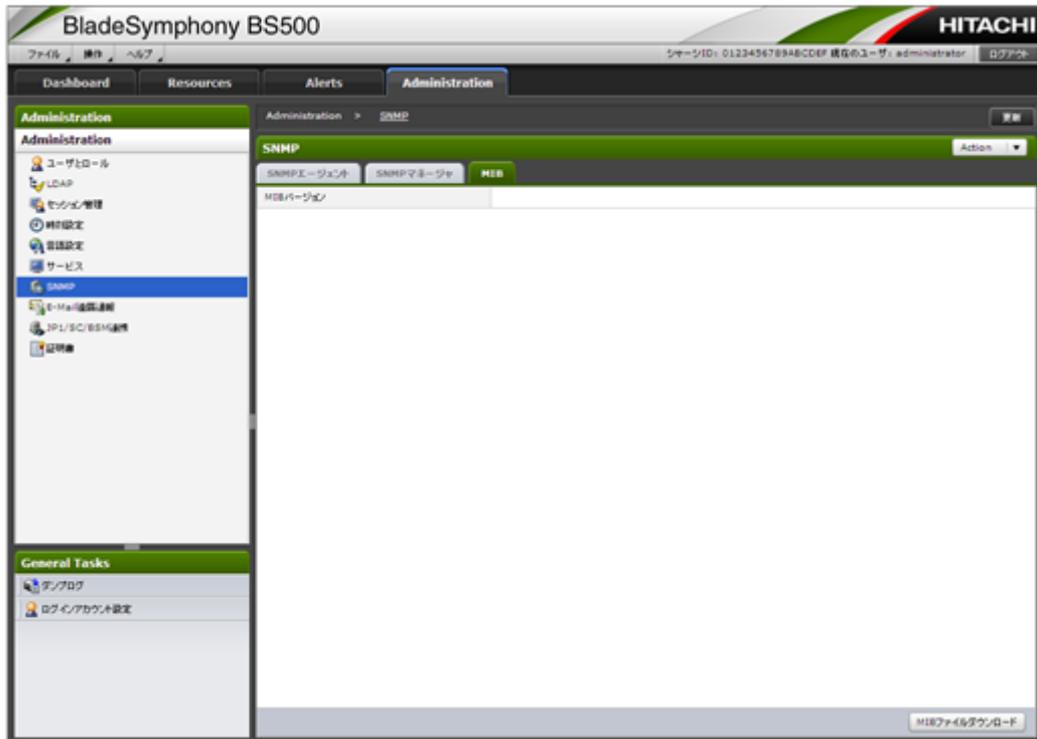
表示	説明
HCSM	送信する SNMP トラップメッセージを設定します。 以下のメッセージを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • BSM (デフォルト) • HCSM

[トラップメッセージ] タブ - アクションボタン

[編集]

SNMP トラップメッセージを変更します。

6.7.5 [MIB] タブ



[MIB] タブ - 表示項目

表示	説明
MIB バージョン	MIB ファイルのバージョンを表示します。

[MIB] タブ - アクションボタン

[MIB ファイルダウンロード]

MIB ファイルをダウンロードします。

6.8 [E-Mail 遠隔通報]

E-Mail 遠隔通報設定を実施します。

6.8.1 [通報設定] タブ



[通報設定] タブ - アクション項目

表示	説明
通報履歴	通報履歴を表示します。通報結果が状態欄に表示されますが、複数の宛先に同時に通報した場合は、最も優先度の高い結果が1つだけ表示されます。優先度の高い順から、「リトライ中」「失敗」「ログ作成中」「成功」「通知先無し」になります。また、通報履歴を選択して再通報することができます。
現状通報	現在の状態を通報します。

[通報設定] タブ - 表示項目

表示	説明	
障害通報機能	障害通報機能の有効/無効を表示します。	
クライアント情報	E-Mail アドレス	通報元の E-Mail アドレスを表示します。 64 文字以内で設定できます。 文字は、英数字と?@\$#%^&*_+=.[]が使用可能です。 本設定が、E-mail の差出人(from)として使用されます。
	ホスト名 (FQDN)	ホスト名を表示します。 64 文字以内(FQDN)で設定できます。
	コメント	任意に設定したコメントを表示します。 32 文字以内で設定できます。
SMTP サーバ	ホスト名 (FQDN)	SMTP サーバホスト名を表示します。 IP アドレスもしくはホスト名で設定します。 64 文字以内(FQDN)で設定できます。
	SMTP 経路暗号化	SMTP 経路暗号化の設定を表示します。無効/SSL/TLS に設定できます。
	ポート番号	SMTP サーバのポート番号を表示します。 1-65535 の値を取ります。

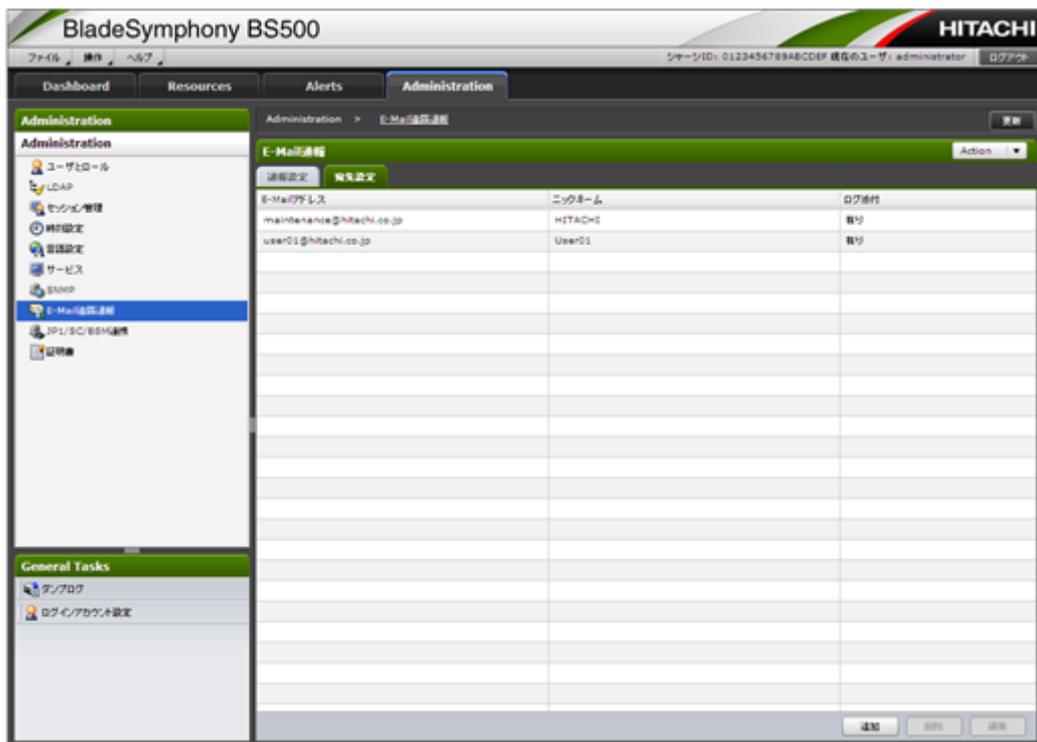
表示		説明
		SMTP 経路暗号化の設定が無効/TLS の場合は 25, SSL の場合は 465 が初期状態となります。
SMTP 認証	機能	SMTP 認証の有効/無効を表示します。
	SMTP 認証方式	SMTP 認証方式を表示します。PLAIN (平文にて認証) / CRAM-MD5 (チャレンジ&レスポンス方式) / LOGIN (平文にて対話式認証) に設定できます。
	ユーザ名	SMTP 認証時のユーザ名を表示します。 64 文字以内で設定できます。 文字は、英数字と?@\$#%^&*_+=_[]が使用可能です。 設定においてはパスワードも指定できます。 アカウントおよびパスワードは SMTP 認証を有効にした場合は必須です。

[通報設定] タブ - アクションボタン

[編集]

E-Mail 遠隔通報設定を編集します。

6.8.2 [宛先設定] タブ



[宛先設定] タブ - 表示項目

表示	説明
E-Mail アドレス	通報先の E-Mail アドレスを表示します。 64 文字以内で設定できます。 文字は、英数字と?@\$#%^&*_+=_[]が使用可能です。
ニックネーム	通報先のニックネームを表示します。 15 文字以内で設定できます。 本項目はコンソールでの表示上使用されるだけで、実際の通報には使用されません。

表示	説明
ログ添付	E-Mail へのログ添付の有無を表示します。

[宛先設定] タブ - アクションボタン

[追加]

通報する宛先を追加します。追加できる宛先は最大で4つです。

[削除]

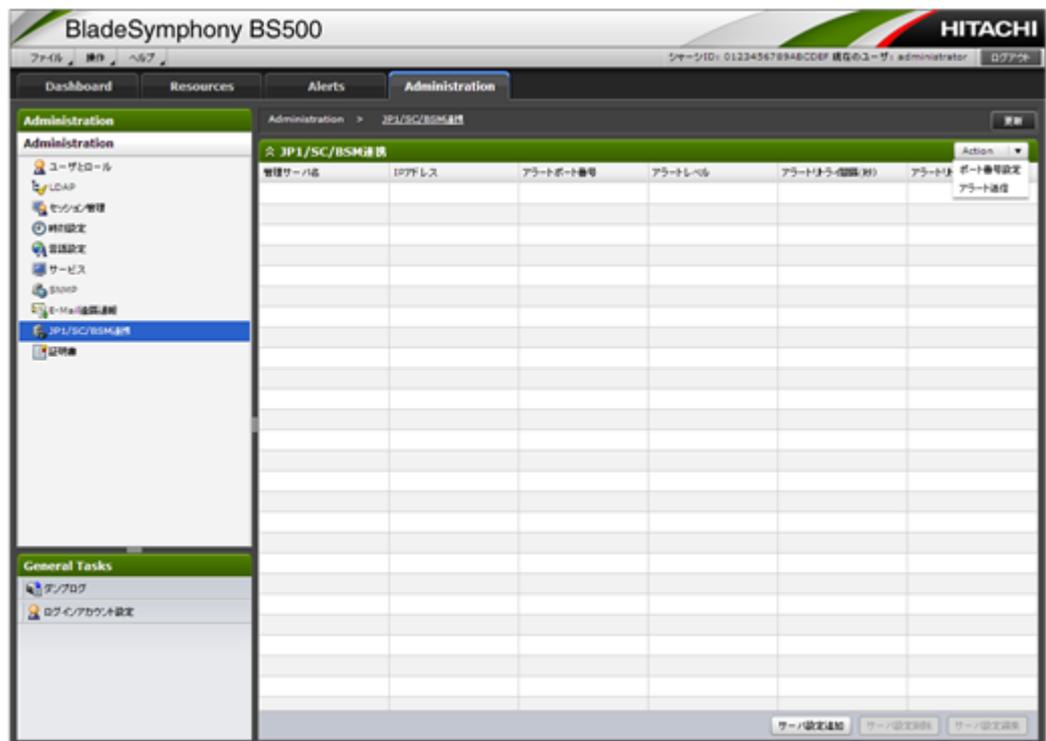
通報する宛先を削除します。

[編集]

通報する宛先を編集します。

6.9 [JP1/SC/BSM 連携]

JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (以下 JP1/SC/BSM) との連携設定を実施します。



[JP1/SC/BSM 連携] - アクション項目

表示	説明
ポート番号設定	マネジメントモジュールが JP1/SC/BSM からの要求コマンドを受信するための、ポート番号を設定します。 デフォルトのポート番号(21001)以外を使用したい場合のみ、変更してください。
アラート送信	N+M コールドスタンバイにおける現用系サーバブレードの切り替えテストのための、アラートを送信します。即時切り替えアラートと遅延切り替えアラートを選択できます。

[JP1/SC/BSM 連携] - 表示項目

表示	説明
管理サーバ名	JP1/SC/BSM の名称を指定します。 最大 15 文字で、英数字と記号の使用が可能です。 本名称はマネジメントモジュールのコンソール上のみに表示され、JP1/SC/BSM のコンソールなどでは表示されません。
IP アドレス	JP1/SC/BSM の IP アドレスを設定します。
アラートポート番号	マネジメントモジュールからアラート通知先の JP1/SC/BSM に、アラートを通知する際に使用するポート番号を指定します。 デフォルトのポート番号(20079)以外を使用したい場合のみ変更してください。
アラートレベル	通知するアラートの種類を次のいずれかから選択することができます。 All : 障害、警告、情報のすべてのレベルのアラートを通知します。 無効 : すべてのアラートを通知しません。 アラート : 障害または警告のレベルのアラートを通知します。 情報 : 情報レベルのアラートを通知します。
アラートリトライ間隔 (秒)	マネジメントモジュールから BSM にアラートを送信できなかった場合の、リトライ間隔を設定します。 5 秒～50 秒の範囲で設定可能です。 システム装置の工場出荷時には 5 秒で設定されています。 通常は、本設定は変更不要です。
アラートリトライ継続時間 (分)	ネットワークが一時的に不通になったなどの理由で、マネジメントモジュールから JP1/SC/BSM にアラートを送信できなかった場合の、リトライ継続時間を指定します。 4 分～20 分の範囲で設定可能です。 システム装置の工場出荷時には 10 分で設定されています。 通常は、本設定は変更不要です。

[JP1/SC/BSM 連携] - アクションボタン

[サーバ設定追加]

接続する JP1/SC/BSM を追加します。

[サーバ設定削除]

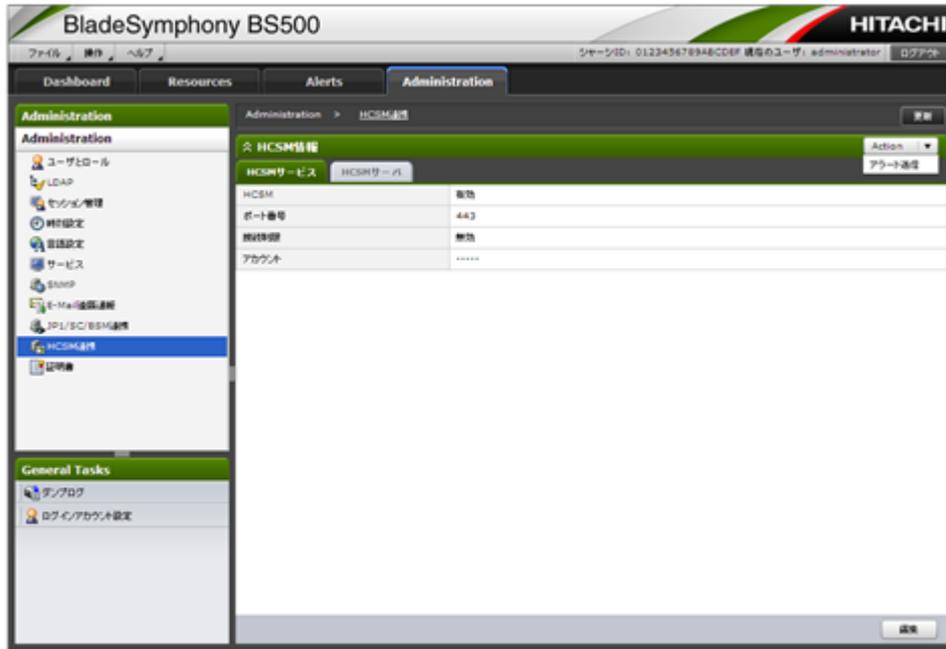
選択した JP1/SC/BSM の登録を削除します。

[サーバ設定編集]

選択した JP1/SC/BSM との接続設定を変更します。

6.10 [HCSM 連携]

Hitachi Compute Systems Manager (以下, HCSM) との連携設定を実施します。



[HCSM 連携] - アクション項目

表示	説明
アラート送信	HCSM ヘテストアラートを送信します。以下のアラート内容を指定します。 サーバブレード番号： アラートを発生させるサーバブレード番号 (0~7) アラートタイプ： N+M コールドスタンバイ (即時切替) N+M コールドスタンバイ (遅延切替)

6.10.1 [HCSM サービス] タブ

[HCSM サービス] タブ - 表示項目

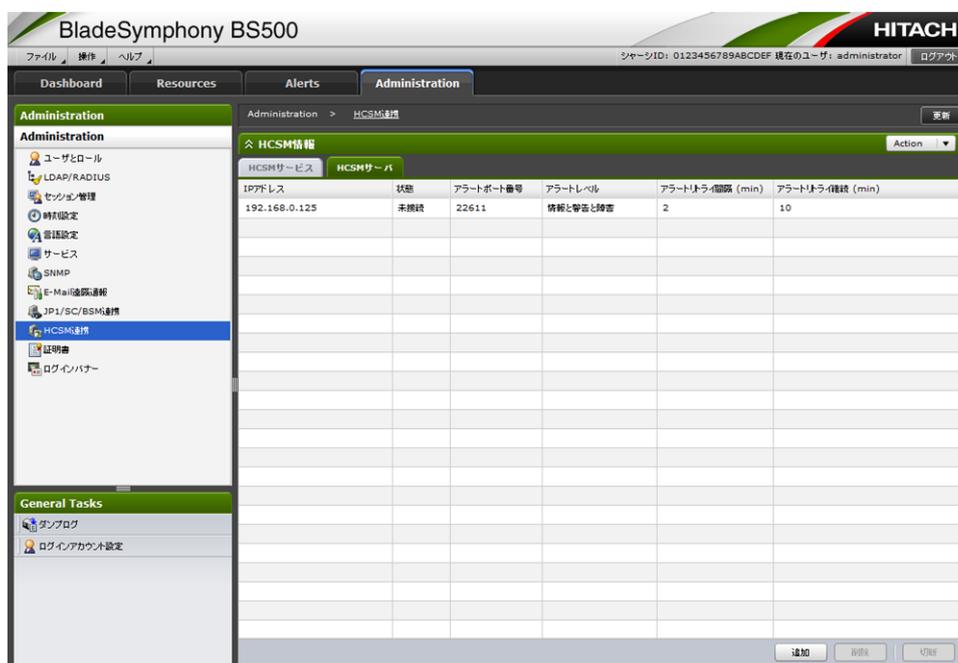
表示	説明
HCSM	HCSM 連携機能の有効または無効を設定します。 無効に設定した場合, HCSM からの接続は受け付けません。
ポート番号	HCSM と接続するポート番号です。この画面では変更はできません。 デフォルト値: 443 ポート番号の変更をする場合は, サービスの HTTPS タブで変更してください。変更した値が反映されて, 表示されます。
接続制限	登録済みの IP アドレスのみ接続を受け入れる場合は有効に設定します。接続制限しない場合は無効に設定します。
アカウント	HCSM から接続を受け入れる際のアカウントを設定します。マネジメントモジュールと HCSM にはそれぞれ同じアカウント/パスワードを設定してください。マネジメントモジュールと HCSM のそれぞれで使用するアカウント/パスワードが一致しないと, 認証に失敗し HCSM と連携できなくなります。

[HCSM サービス] タブ - アクションボタン

[編集]

HCSM 連携設定を変更します。

6.10.2 [HCSM サーバ] タブ



[HCSM サーバ] タブ - 表示項目

表示	説明
IP アドレス	登録した HCSM の IP アドレスです。
状態	HCSM との接続状態です。
アラートポート番号	アラート送信先のポート番号です。 デフォルト値：22611
アラートレベル	通知するアラートレベルです。以下いずれかの設定になります。 情報と警告と障害：全てのアラートレベルを通知します。 警告と障害：警告と障害レベルのアラートを通知します。 情報レベルは通知しません。 障害のみ：障害レベルのみ通知します。 通知しない：通知はしません。
アラートリトライ間隔(min)	アラート通知できない場合にリトライする間隔時間です。 1～4 分の間での設定になります。
アラートリトライ継続(min)	アラート通知できない場合リトライを継続する時間です。 4～15 分の間での設定になります。

[HCSM サーバ] タブ - アクションボタン

[追加]

HCSM マネージャ設定を追加します。

[削除]

選択した HCSM マネージャ設定を削除します。

[切断]

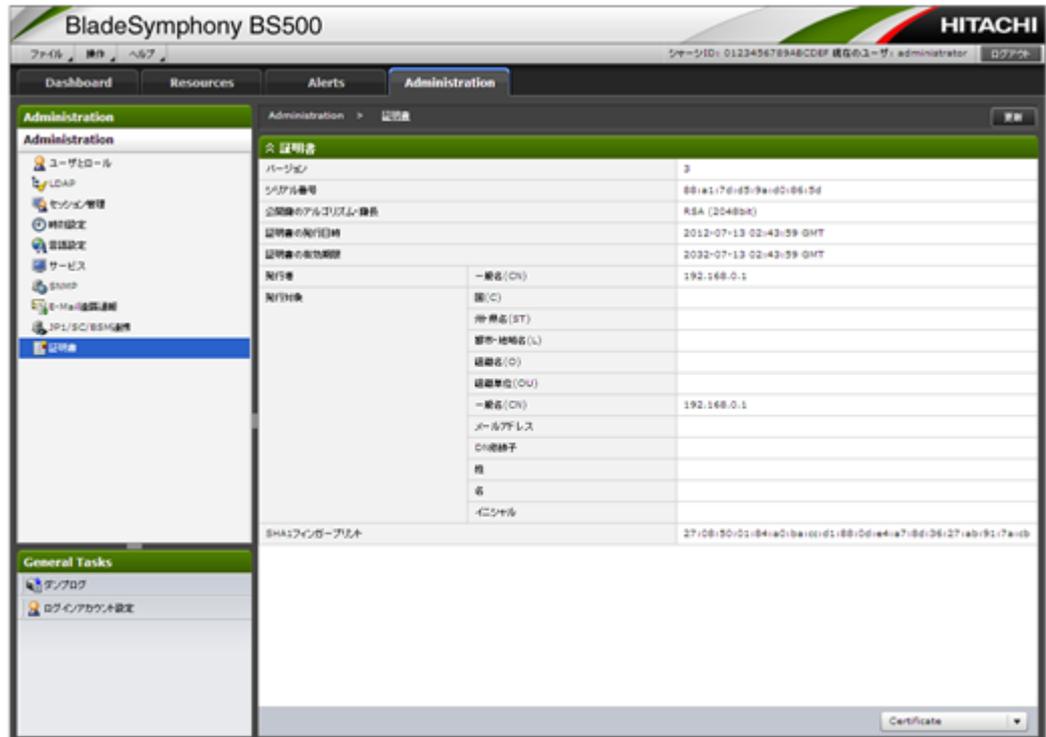
選択した HCSM を切断します。

重要 マネジメントモジュールファームウェアバージョン A0270 より前のバージョンでは Web コンソールの画面に [編集] ボタンが表示され、以下の設定に関しては推奨値を変更可能ですが、変更しないでください。詳細については、『BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド』の HCSM 連携のオプション設定に関する説明を参照してください。

- [アラートポート番号]
- [アラートレベル]
- [アラートリトライ間隔(min)]
- [アラートリトライ継続(min)]

6.11 [証明書]

マネジメントモジュールの SSL 鍵、証明書の表示、作成、インポートを実施します。



[証明書] - 表示項目

表示	説明
バージョン	証明書バージョンを表示します。 1～3 のいずれかの値となります。
シリアル番号	鍵のシリアル番号を表示します。
公開鍵のアルゴリズム・鍵長	SSL 公開鍵に使用しているアルゴリズム、鍵長を表示します。 使用可能なアルゴリズム、鍵長は RSA, 2048 ビットです。
証明書の発行日時	証明書の発行日時を表示します。
証明書の有効期限	証明書の有効期限を表示します。
発行者	一般名(CN) 認証局 (発行者)
発行対象	国(C) 国名を示す 2 文字の英字を表示します。
	州・県名(ST) 州, 県名を表示します。

表示	説明	
	最大 30 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。	
都市・地域名 (L)	都市、地域名を表示します。 最大 50 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。	
組織名 (O)	組織名（会社名）を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。	
組織単位 (OU)	組織単位名（部署名）を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。	
一般名 (CN)	一般名（マネジメントモジュール接続時のドメイン名）を表示します。 最大 60 文字で、英数字、"-", ".", ":", "[,]"の文字が使用できます。 必ず入力する必要があります。	
メールアドレス	メールアドレスを表示します。 表示可能な ASCII 文字が使用できます。	
DN 修飾子	DN 修飾子を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。	
発行対象	姓	姓を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	名	名を表示します。 最大 60 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
	イニシャル	イニシャルを表示します。 最大 20 文字で、英数字、" (空白)", "", "(,)", "+", ",", "-", ".", "/", ":", "=", "?"の文字が使用できます。
SHA1 フィンガープリント	証明書のフィンガープリント（指紋）を表示します。 指紋は、（SHA1 アルゴリズムによる 20 バイトのハッシュ値）です。	

証明書 - アクションボタン

[CSR 作成]

SSL サーバ証明書を発行するための署名要求（Certificate Signing Request : CSR）を作成します。

CSR 作成に必要な項目は「[3.4.11 CSR 作成時の入力項目](#)」を参照を参照してください。

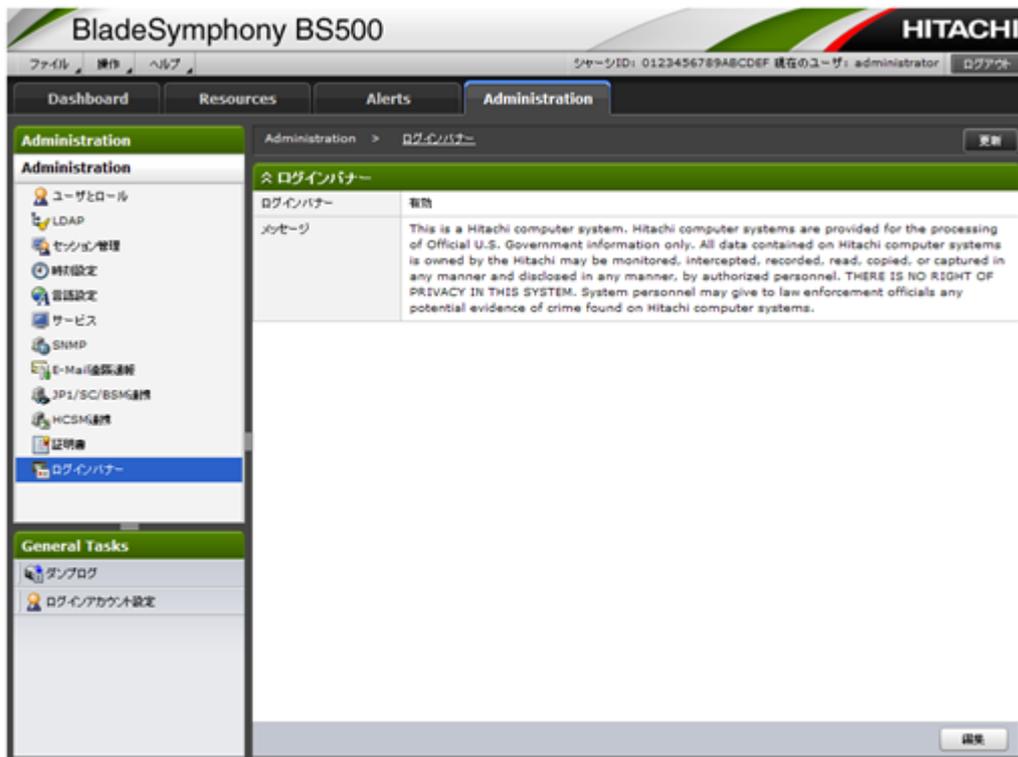
[サーバ証明書のインポート]

インポート可能な証明書ファイルの形式は PEM です。

インポート完了後、HTTP、HTTPS での接続が最大 15 秒程度不可となります。

6.12 [ログインバナー]

ログインバナー設定を実施します。



[ログインバナー] - 表示項目

表示	説明
ログインバナー	ログインバナーの有効/無効を表示します。
メッセージ	ログインバナーに表示するメッセージを表示します。 最大 1599 文字で、英数字、"(空白)", 改行, "!", "''", "#", "\$", "&", "(", ")", "*", "+", ",", "-", ".", "/", ":", ";", "<", "=", ">", "?", "@", "[,]", "^", "_", "`", "{, " ", "}", "~"が使用できます。

[ログインバナー] - アクションボタン

[編集]

ログインバナー設定を編集します。

